

第 16 回
野 田 市 民 意 識 調 査
報 告 書

令和 2 年 6 月

野田市

市 長 あ い さ つ

今回実施しました「第１６回野田市民意識調査」は、広聴活動の一環として４年ごとに行っているもので、市民の皆様のまちづくりに対する意識の変化や、市政についてのご意見等を幅広くお聞きし、市政運営に役立てようとするものです。

今回は、特に令和元年１０月の台風１９号の上陸に伴い、災害対策本部を設置し、全市的に災害対策を経験したことを踏まえ、新たに防災に関する項目を盛り込んでおります。

また市では、平成３１年３月に野田市行政改革大綱を改訂し、将来にわたって安定的に満足度の高い行政サービスを提供していくため、事務事業や組織等の見直し等により、様々な角度から行財政運営の効率化を進めておりますが、更に皆様の声を反映させていきたいと考えております。

今回の調査にあたり、ご協力いただきました市民の皆様を始め、関係者各位に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも市政運営にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和２年６月

野田市長 鈴木 有

目 次

I	調査の概要.....	1
II	調査回答者の属性.....	5
III	調査結果.....	11
1	住み心地と生活環境.....	13
問 1	野田市の住み心地.....	13
問 2	定住意識.....	15
問 2－1	住み続けたい理由.....	17
問 2－2	移転したい理由.....	19
問 3	野田市に対する誇り・愛着.....	21
問 4	生活環境について.....	23
問 5	公共施設への要望.....	72
2	野田市の景観.....	78
問 6	野田市の景観の魅力.....	78
問 7	野田市の景観に対する満足度.....	80
3	地域での社会活動.....	99
問 8	自治会・町内会への加入状況.....	99
問 8－1	加入していない理由.....	102
問 9	自治会（町内会）、団体・サークル活動への参加状況.....	105
4	文化やスポーツ活動.....	107
問 10	余暇の時間の過ごし方.....	107
5	ごみや環境.....	110
問 11	日常生活で心がけていること.....	110
問 12	資源回収への参加状況.....	113
問 12－1	知りながら参加していない理由.....	116
問 13	ごみ減量化のために市に力を入れてほしいこと.....	118
6	福祉やボランティア活動.....	120
問 14	老後の生活の生きがい.....	120
問 15	高齢社会が進む中で市に期待すること.....	123
問 16	ボランティア活動への参加状況.....	126
問 17	やってみたいボランティア活動.....	128
7	男女共同参画.....	131
問 18	男女共同参画社会の実現において重要なこと.....	131

8	市政への参加意識.....	134
問 1 9	市政についての関心度.....	134
問 2 0	市政に関して意見・不満があるときに取る行動.....	136
問 2 1	市に関する情報の入手手段.....	139
問 2 2	「市報のだ」の入手手段.....	141
問 2 3	「市報のだ」の閲読状況.....	145
問 2 3－1	ほとんど毎回読む理由.....	147
問 2 4	「市報のだ」でよく読む記事.....	149
問 2 5	自治会に加入していない場合の「市報のだ」の入手方法....	152
9	情報の入手方法.....	155
問 2 6	情報の入手方法.....	155
問 2 7	保有している情報通信機器.....	158
1 0	市政全般.....	160
問 2 8	よくなった施設と力を入れるべき施策.....	160
問 2 8－①	ここ数年特によくなったと感じるもの.....	161
問 2 8－②	今後、力を入れていったらよいと思うもの.....	165
1 1	市役所について.....	169
問 2 9	市役所職員の対応に対する印象.....	169
1 2	防災対策.....	171
問 3 0	災害発生時の市情報の入手手段.....	171
問 3 1	防災対策として備えていること.....	174
問 3 2	災害別の指定避難場所の認知度.....	176
問 3 2－1	災害別の家族での避難場所の決定状況.....	178
1 3	自由意見.....	180
IV	調査票.....	187

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の皆様のまちづくりに対する意識の変化や、これまでの施策の変化、市政についてのご意見・ご要望を幅広くお聞きし、市民の皆様のご要望に添った市政運営に役立てることを目的として実施した。

2. 調査の概要

(1)調査方法

郵送調査（郵送配布・郵送回収）

(2)調査対象

- ①調査地域：野田市全域
- ②調査対象：市内に居住する満18歳以上の男女個人
- ③標本数：3,000人
- ④標本抽出：住民基本台帳から無作為抽出

(3)調査内容の概要

- ①住み心地と生活環境について
- ②野田市の景観について
- ③地域での社会活動について
- ④文化やスポーツ活動について
- ⑤ごみや環境について
- ⑥福祉やボランティア活動について
- ⑦男女共同参画について
- ⑧市政への参加意識について
- ⑨情報の入手方法について
- ⑩市政全般について
- ⑪市役所について
- ⑫防災対策について

(4)回収率

標本数	回答数	回収率
3,000	1,459	48.6%

(5)アンケート調査の実施期間

- 調査票発送：令和2年1月23日（木）
- 礼状兼督促はがき発送：令和2年2月3日（月）
- 回答投函締切：令和2年2月14日（金）

3. 業務実施期間

令和元年8月27日～令和2年6月30日

4. 本報告書を読むにあたっての注意事項

- (1)本報告書の集計結果（割合）は小数点以下第 2 位を四捨五入して表示しているため、合計が 100%にならない場合がある。
- (2)複数回答設問では、割合の合計が 100%を超える場合がある。
- (3)質問の回答者数は「n」として掲載した。
- (4)本文、集計表・グラフでは回答選択肢を短縮・簡略化して表記している場合がある。
- (5)属性別クロス集計では属性無回答者は除外したので、各属性別の回答者合計と全体集計回答者数が一致しない場合がある。
- (6)年代別集計における 10 歳代は「18～19 歳」を意味する。
- (7)割合（％）の差はポイント（文中では「P」と略称）で示した。
- (8)割合を比較した際の「やや多い」「やや少ない」と言う表現は原則として、差が 5P 未満の場合に用いた。
- (9)地区別集計で最高割合地区と 10P 以上の差があるとして複数の地区を示した場合に、それらの地区群内においても 10P 以上の地区差が発生している場合がある。
- (10)標本誤差

全体（母集団）から一部の標本を無作為に抽出して調査を行う標本調査では、その結果が必ずしも母集団の値（真の値）とは一致しないことがあり、その差を「標本誤差」という。

標本誤差は数学的に計算することが可能であり、以下の数式によって得られる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=募集団数(野田市の18歳以上人口)
n=比率算出の基礎(回答者数)
p=回答の比率(%)

今回の調査結果の標本誤差は以下となる。

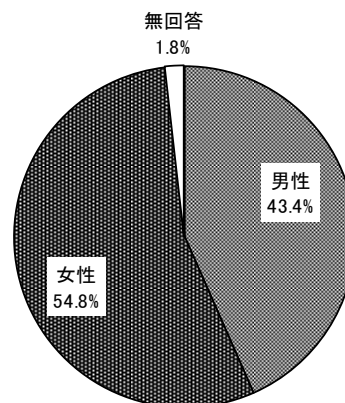
n (回答者数)	回答割合別の標本誤差								
	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%
1,459	±1.53%	±2.04%	±2.34%	±2.50%	±2.55%	±2.50%	±2.34%	±2.04%	±1.53%
1,000	±1.85%	±2.47%	±2.83%	±3.02%	±3.09%	±3.02%	±2.83%	±2.47%	±1.85%
500	±2.62%	±3.50%	±4.01%	±4.29%	±4.37%	±4.29%	±4.01%	±3.50%	±2.62%
100	±5.88%	±7.84%	±8.98%	±9.60%	±9.80%	±9.60%	±8.98%	±7.84%	±5.88%
50	±8.31%	±11.09%	±12.70%	±13.58%	±13.86%	±13.58%	±12.70%	±11.09%	±8.31%

(表の見方) 例えば問1の回答者数が1,459名で、「住みよい」とした回答者割合が18.4%であった場合、その回答割合の誤差の範囲は±2.04%以内(16.4%～20.4%の範囲内)にあると見ることができる。

Ⅱ 調査回答者の属性

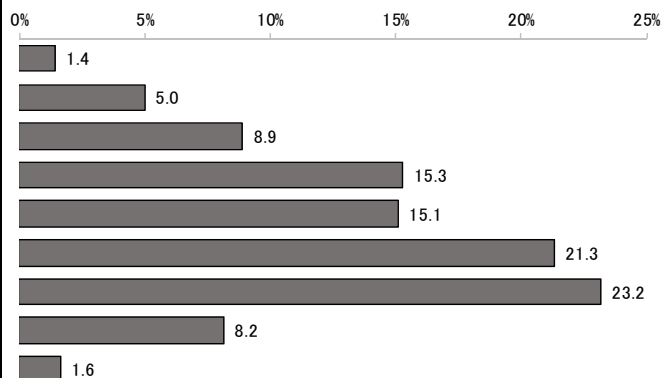
1. 性別構成

カテゴリー名	n	%
男性	633	43.4
女性	800	54.8
無回答	26	1.8
全体	1459	100.0



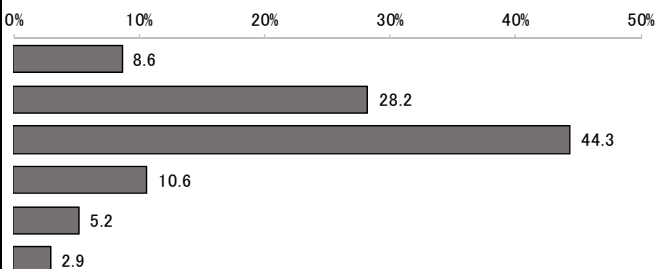
2. 年代別構成

カテゴリー名	n	%
10歳代	21	1.4
20歳代	73	5.0
30歳代	130	8.9
40歳代	223	15.3
50歳代	220	15.1
60歳代	311	21.3
70歳代	338	23.2
80歳以上	119	8.2
無回答	24	1.6
全体	1459	100.0

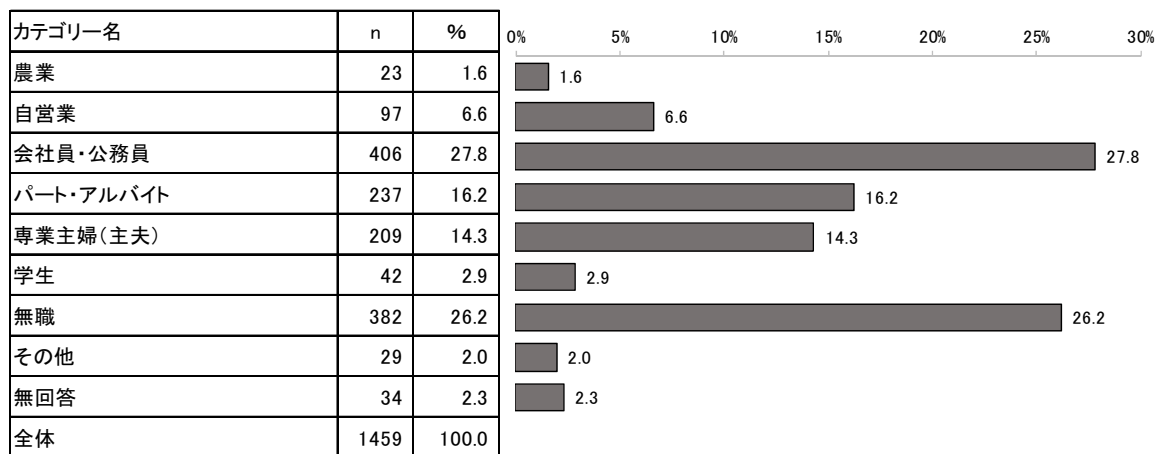


3. 家族構成

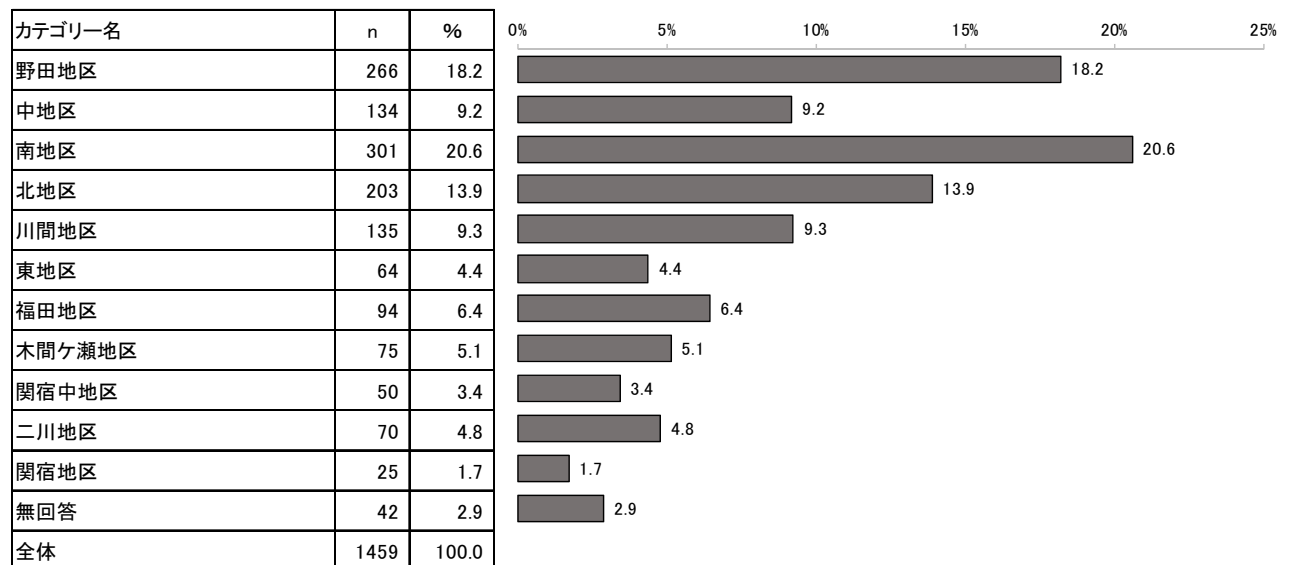
カテゴリー名	n	%
一人暮らし	126	8.6
夫婦のみ	412	28.2
親と子	647	44.3
親、子、孫など3世代以上	155	10.6
その他	76	5.2
無回答	43	2.9
全体	1459	100.0



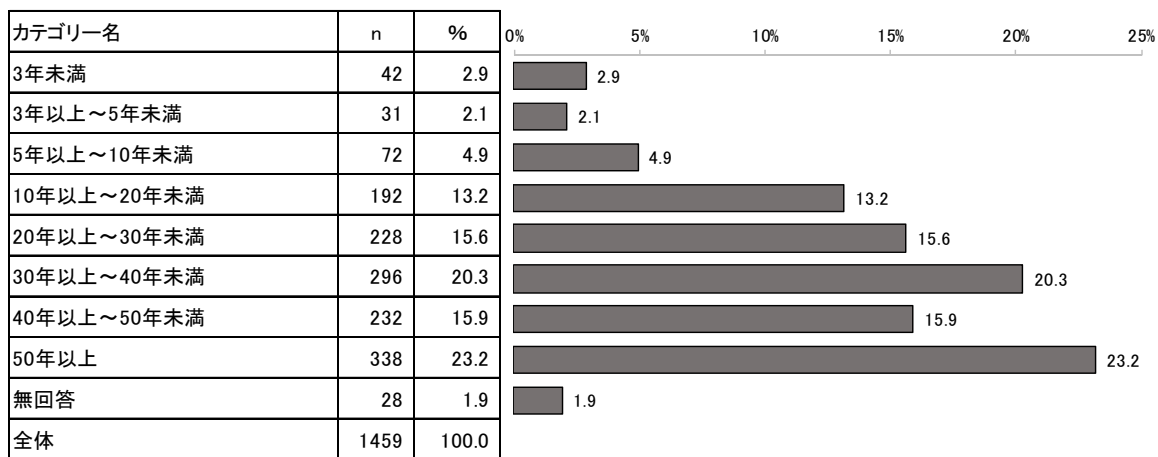
4. 職業別構成



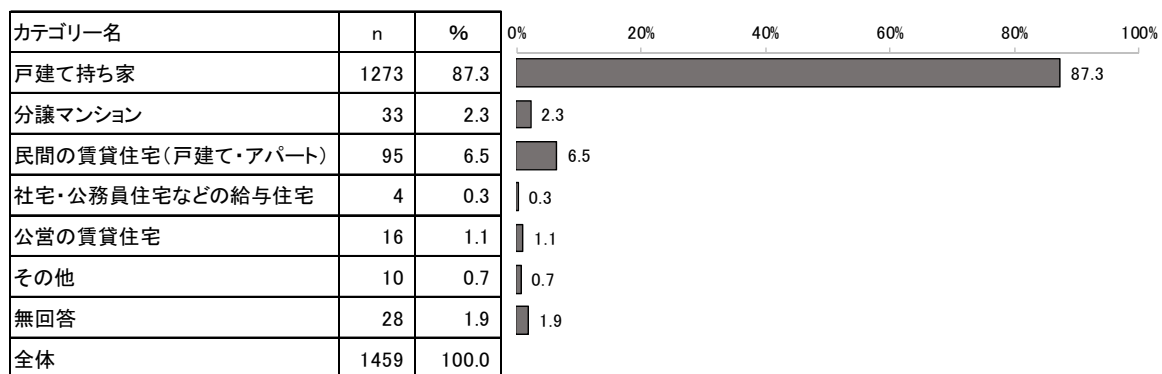
5. 居住地域別構成 ※地域区分図を10頁に掲載



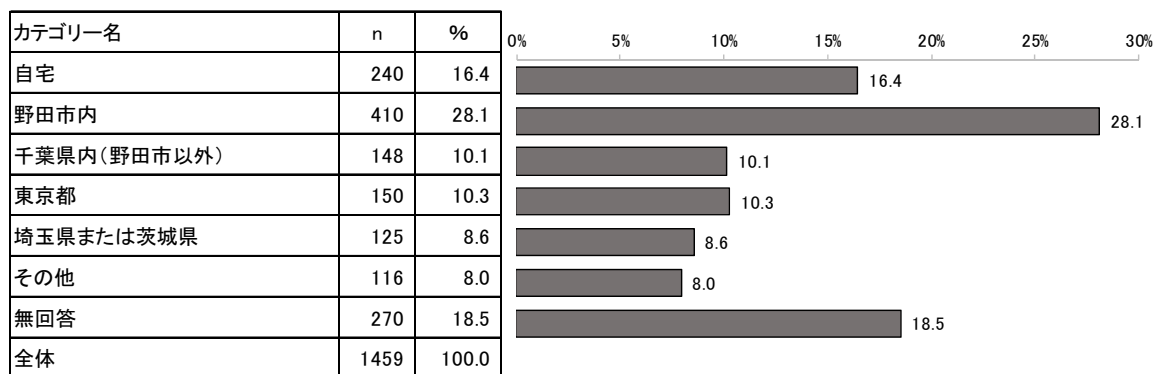
6. 居住年数別構成



7. 住居形態別構成



8. 勤務地・就学地別構成



【地域区分図】



Ⅲ 調查結果

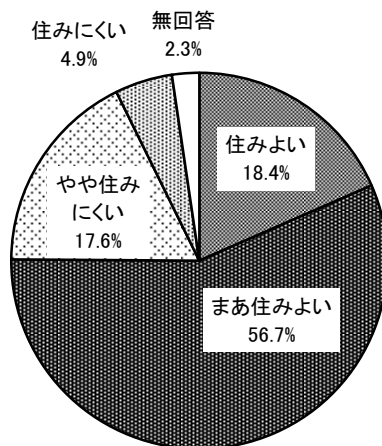
1 住み心地と生活環境

問1 野田市の住み心地

(問1 あなたにとって、現在の野田市の住み心地はいかがですか。次の中から1つだけ選んでください。)

◇『住みよい(計)』は7割台半ば

n=1459



(全体)

➤現在の野田市の住み心地は、『住みよい』が 75.1% (「住みよい 18.4%」「まあ住みよい 56.7%」の合計。以下、同じ) を占めた。

(性別)

➤『住みよい』は、男性 (77.1%) が女性 (73.8%) よりやや多い。

(年代別)

➤『住みよい』は、10～50 歳代では 70%前後だが、60 歳代では 75.2%に、70 歳代以上では 83%前後に増加する。

(地区別)

➤『住みよい』は、野田・中・南・北・川間・東地区の 6 地区は 80%前後 (76～84%) だが、福田・木間ヶ瀬・関宿中・二川・関宿の 5 地区では 60%前後 (54～68%) に減少する。

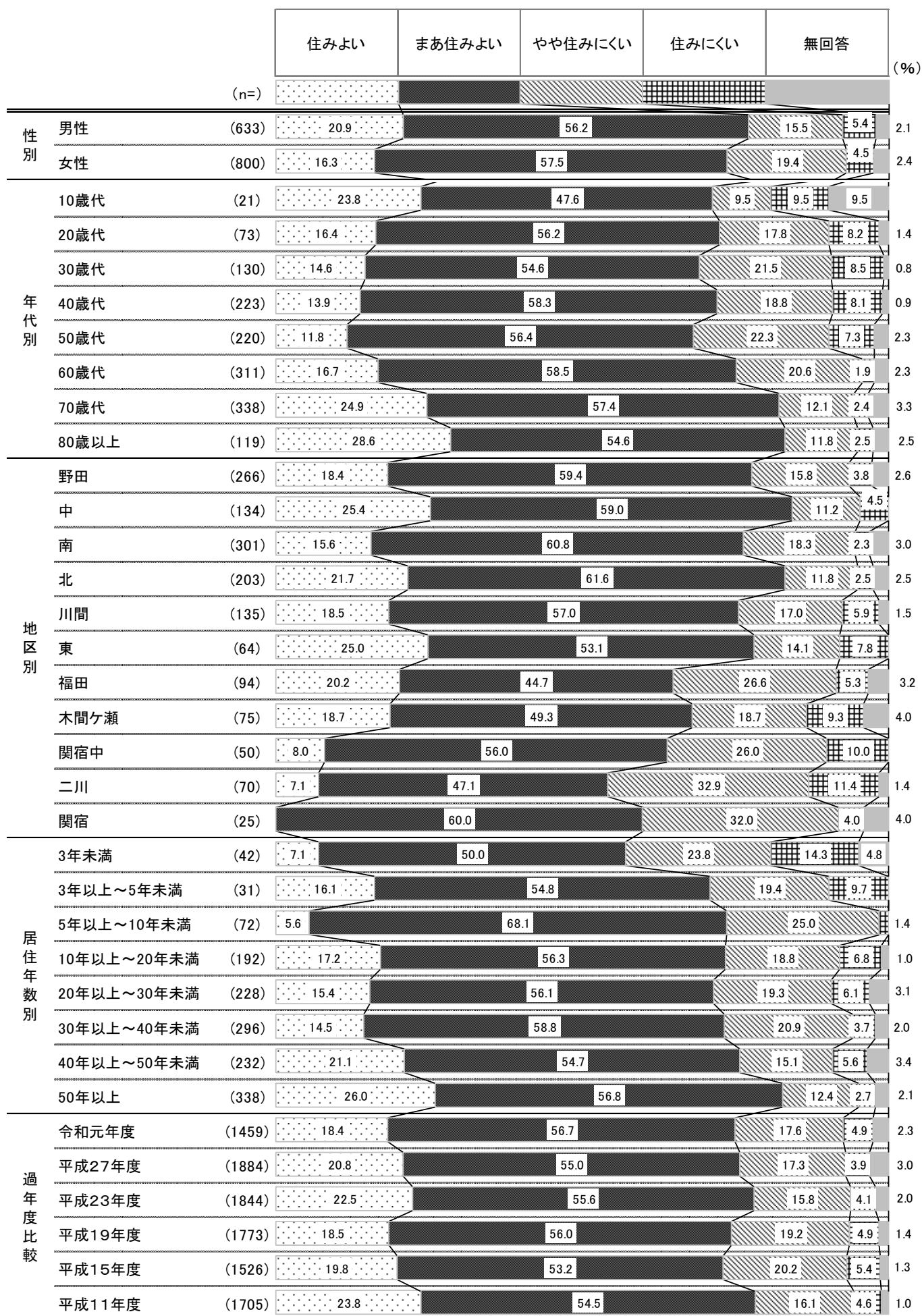
➤『住みよい』は、中地区が 84.4%で最も多く、二川地区が 54.2%で最も少ない。

(居住年数別)

➤『住みよい』は、「3 年未満」が 57.1%で最も少ないが、概ね居住年数が長くなるにつれて増加し、「3 年以上～50 年未満」では 73%前後 (71～76%) に、さらに「50 年以上」では 82.8%になる。

(過年度比較)

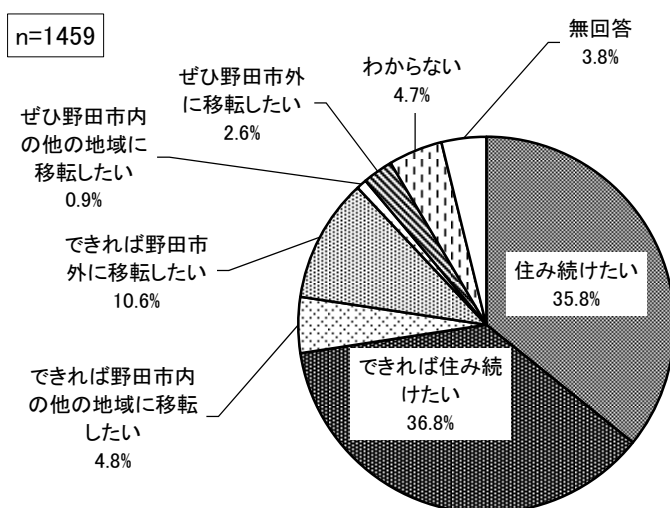
➤前回調査 (平成 27 年度) と比べて、『住みよい』はほとんど変化がないが、「住みよい」は前々回調査 (平成 23 年度) 以降漸減傾向 (22.5%→20.8%→18.4%) にある。



問2 定住意識

(問2 あなたは、現在お住まいの地域に、今後もずっと住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。)

◇『住み続けたい(計)』は約7割



(全体)

➤現在の居住地域に今後も『住み続けたい』は 72.6% (「住み続けたい 35.8%」「できれば住み続けたい 36.8%」の合計。以下、同じ) を占めた。

(性別)

➤『住み続けたい』は、男性 (74.4%) が女性 (71.4%) よりやや多い。

(年代別)

➤『住み続けたい』は、年代による規則的な傾向は見受けられず、80 歳以上が 84.0%で最も多く、10 歳代が 42.8%で最も少ない。

(地区別)

➤『住み続けたい』は、関宿地区 (84.0%) が最も多く、川間地区 (66.7%) が最も少ない。

(居住年数別)

➤『住み続けたい』は、「30 年未満」では 60%前後 (55~64%) だが、「30 年以上」になると 70%を超えて増加傾向となり、「50 年以上」が 87.3%で最も多い。

(過年度比較)

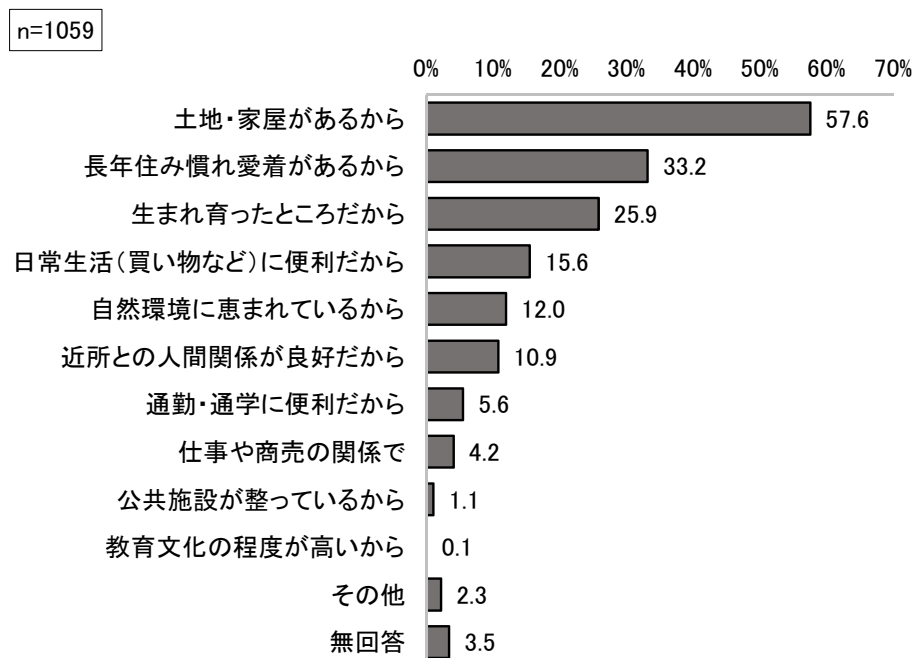
➤『住み続けたい』は、前回調査 (平成 27 年度) より若干 (1.3P) 増加した。



問2-1 住み続けたい理由

(問2-1 住み続けたいと思う主な理由は何ですか。次の中から2つ以内で選んでください。)

◇「土地・家屋があるから」が約6割



(全体)

➤前問で「1. 住み続けたい」「2. できれば住み続けたい」を選択した回答者(全体の72.6%)にその理由を聞いたところ、「土地・家屋があるから」を回答者の57.6%が選択して最も多い。

(性別)

➤住み続けたい理由は男女いずれも上位1~3位まで同じであった。

(年代別)

➤住み続けたい理由は、10歳代では「長年住み慣れ愛着があるから55.6%」が、20歳代では「生まれ育ったところだから48.7%」が最も多いが、30歳代以上になると「土地・家屋があるから50~67%」が半数を超えて最も多い。

(地区別)

➤全ての地区で、「土地・家屋があるから52~67%」が半数を超えて最も多い。

(居住年数別)

➤居住年数に関わらず「土地・家屋があるから41~73%」が最も多いが、これ以外の理由の選択割合順位は居住年数によって異なる。

(過年度比較)

➤『住み続けたい』理由として、「自然環境に恵まれているから」が前々回調査(平成23年度)以降漸減傾向(18.8%→14.4%→12.0%)にある。また、前回調査(平成27年度)と比べると、「長年住み慣れ愛着があるから」が減少(37.0%→33.2%)した一方で、「土地・家屋があるから」が増加(54.3%→57.6%)した。

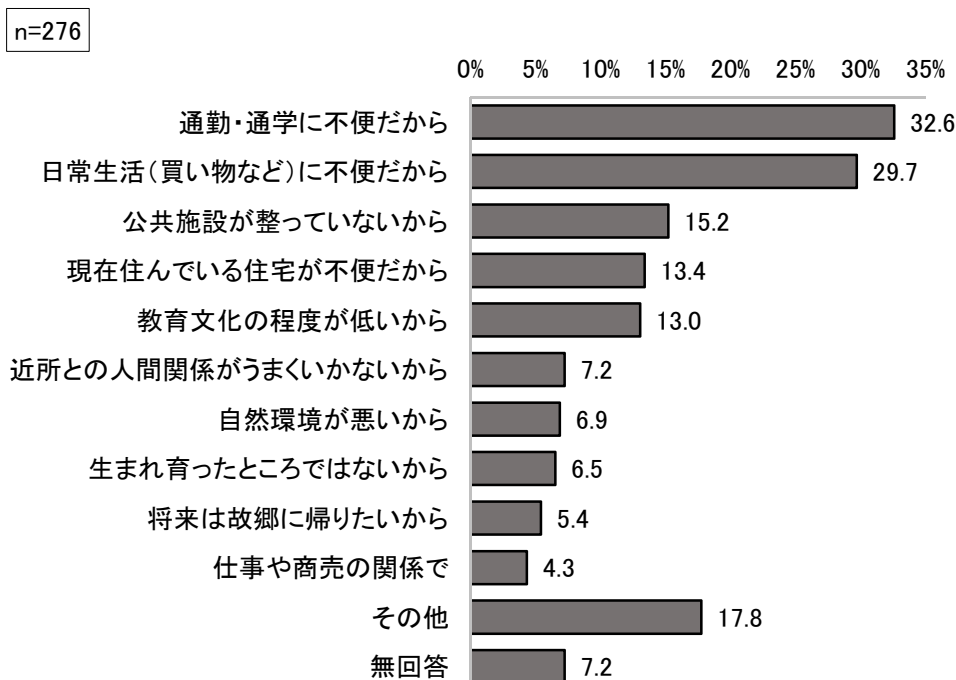
(%)

		n	1 生まれ育ったところ	2 長年住み慣れ愛着があるから	3 通勤・通学に便利だから	4 土地・家屋があるから	5 自然環境に恵まれているから	6 近所との人間関係が良好だから	7 日常生活（買い物など）に便利だから	8 公共施設が整っているから	9 教育文化の程度が高いから	10 仕事や商売の関係で	11 その他	無回答
全体		1059	25.9	33.2	5.6	57.6	12.0	10.9	15.6	1.1	0.1	4.2	2.3	3.5
性別	男性	471	31.0	33.5	6.6	56.1	15.9	7.2	14.2	1.1	0.2	4.2	1.1	3.4
	女性	571	21.0	32.7	4.9	59.2	8.9	13.8	17.0	1.2	0.0	3.9	3.3	3.7
年代別	10歳代	9	44.4	55.6	11.1	0.0	22.2	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
	20歳代	39	48.7	35.9	12.8	30.8	5.1	15.4	7.7	0.0	0.0	2.6	0.0	5.1
	30歳代	98	32.7	20.4	16.3	50.0	8.2	5.1	10.2	3.1	1.0	8.2	0.0	4.1
	40歳代	138	23.9	23.9	13.0	54.3	10.9	8.0	21.7	1.4	0.0	3.6	2.9	4.3
	50歳代	146	29.5	28.8	6.2	60.3	8.2	6.8	11.0	0.7	0.0	10.3	4.8	2.7
	60歳代	244	21.3	34.0	2.0	67.2	14.3	12.3	16.0	0.4	0.0	1.6	0.8	2.9
	70歳代	269	22.3	37.9	1.9	57.2	14.9	13.4	18.2	1.5	0.0	3.0	3.7	4.5
	80歳以上	100	24.0	46.0	0.0	59.0	12.0	14.0	15.0	1.0	0.0	1.0	0.0	2.0
地区別	野田	189	34.9	37.6	7.4	51.9	9.5	9.0	10.6	0.5	0.0	3.2	2.6	3.7
	中	106	25.5	29.2	9.4	55.7	7.5	9.4	26.4	3.8	0.0	0.9	5.7	4.7
	南	222	19.8	27.5	5.9	59.5	14.9	7.2	22.1	0.9	0.0	2.7	4.1	4.1
	北	155	16.1	34.2	3.2	61.3	14.2	14.2	22.6	0.6	0.0	1.9	0.6	4.5
	川間	90	24.4	35.6	5.6	60.0	6.7	13.3	13.3	0.0	0.0	4.4	0.0	2.2
	東	48	35.4	31.3	4.2	62.5	12.5	10.4	0.0	2.1	0.0	10.4	0.0	6.3
	福田	67	23.9	29.9	3.0	64.2	26.9	13.4	3.0	1.5	0.0	6.0	0.0	3.0
	木間ヶ瀬	51	33.3	39.2	7.8	54.9	3.9	15.7	9.8	0.0	0.0	9.8	2.0	0.0
	関宿中	34	26.5	38.2	0.0	52.9	14.7	20.6	14.7	5.9	0.0	2.9	0.0	5.9
	二川	49	28.6	46.9	6.1	55.1	10.2	10.2	2.0	0.0	2.0	8.2	0.0	0.0
	関宿	21	33.3	19.0	0.0	66.7	9.5	9.5	0.0	0.0	0.0	14.3	9.5	0.0
居住年数別	3年未満	26	0.0	0.0	15.4	73.1	11.5	15.4	19.2	0.0	0.0	0.0	7.7	3.8
	3年以上～5年未満	17	0.0	0.0	17.6	41.2	11.8	11.8	35.3	5.9	5.9	11.8	5.9	11.8
	5年以上～10年未満	45	0.0	11.1	15.6	57.8	13.3	13.3	22.2	2.2	0.0	4.4	8.9	4.4
	10年以上～20年未満	122	9.8	18.9	12.3	50.0	23.8	12.3	25.4	1.6	0.0	4.1	2.5	3.3
	20年以上～30年未満	140	17.9	26.4	6.4	60.0	13.6	13.6	18.6	1.4	0.0	6.4	0.0	4.3
	30年以上～40年未満	213	16.4	41.8	4.7	60.6	14.6	12.2	14.6	1.9	0.0	4.7	3.3	2.3
	40年以上～50年未満	182	18.1	46.2	2.7	60.4	9.3	9.3	13.2	0.5	0.0	3.8	2.7	4.9
	50年以上	295	54.9	36.3	2.0	55.9	6.1	8.1	9.8	0.3	0.0	2.4	0.7	2.7
過年度比較	令和元年度	1059	25.9	33.2	5.6	57.6	12.0	10.9	15.6	1.1	0.1	4.2	2.3	3.5
	平成27年度	1343	25.5	37.0	6.6	54.3	14.4	11.5	15.4	1.3	0.0	3.9	1.9	0.7
	平成23年度	1365	26.4	34.0		57.3	18.8	11.4	15.3					
	平成19年度	1194	27.8	31.1		54.9	17.3	12.9	11.4					
	平成15年度	1015	26.9	35.6		59.0	16.5	11.5	13.1					

問2-2 移転したい理由

(問2-1 移転したいと思う主な理由は何ですか。次の中から2つ以内で選んでください。)

◇「通勤・通学に不便だから」と「日常生活(買い物など)に不便だから」が約3割



(全体)

➤問2で「3. できれば野田市内の他の地域に移転したい」「4. できれば野田市外に移転したい」「5. ぜひ野田市内の他の地域に移転したい」「6. ぜひ野田市外に移転したい」を選択した回答者(全体の18.9%)にその理由を聞いたところ、「通勤・通学に不便だから32.6%」「日常生活に不便だから29.7%」をそれぞれ回答者の3割前後が選択して他の理由に比べて多い。

(性別)

➤移転したい理由は男女いずれも上位1~2位まで同じであった。(男性は1~2位が同率)

(年代別)

➤移転したい理由は、10~40歳代は「通勤・通学に不便だから37~76%」が最も多いが、50歳代以上になると「日常生活に不便だから23~42%」が最も多い。

(地区別)

➤野田・北・川間・木間ヶ瀬・関宿中・二川の6地区は「通勤・通学に不便だから26~67%」が最も多いが、中・東・福田・関宿の4地区は「日常生活(買い物など)に不便だから39~75%」が最も多い。

(居住年数別)

➤居住年数「5~40年未満」では「通勤・通学に不便だから28~48%」が最も多いが、「5年未満」及び「40年以上」では「日常生活に不便だから29~50%」が最も多い。

(過年度比較)

➤「移転したい」理由として、前回調査(平成27年度)から「生まれ育ったところではないから」「通勤・通学に不便だから」「日常生活に不便だから」「公共施設が整っていないから」がそれぞれ4P前後減少した一方で、「教育文化の程度が低いから」がやや増加し(10.2%→13.0%)、また、無回答が7P増加した。

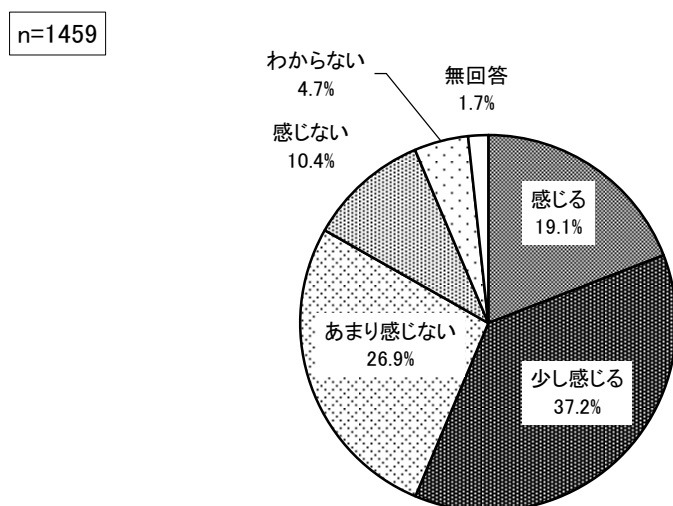
(%)

			1 は生 ない から 育つ たこ ろで	2 から 将来 は故 郷に 帰り たい	3 ら通 勤・ 通学 に不 便だ か	4 不現 在だ から いる 住宅 が	5 自然 環境 が悪 いから	6 ま近 所と の間 関係 がう	7 ど日 常生 活へ 買い 物な	8 い公 共施 設が 整っ てい な	9 から 教育 文化 の程 度が 低い	10 仕事 や商 売の 関係 で	11 その 他	無 回 答
		n												
全体		276	6.5	5.4	32.6	13.4	6.9	7.2	29.7	15.2	13.0	4.3	17.8	7.2
性別	男性	111	5.4	7.2	29.7	15.3	8.1	6.3	29.7	13.5	13.5	9.0	19.8	3.6
	女性	159	7.5	4.4	35.2	11.9	5.0	7.5	29.6	16.4	13.2	1.3	17.0	9.4
年代別	10歳代	8	0.0	0.0	50.0	0.0	12.5	0.0	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5
	20歳代	29	3.4	6.9	75.9	6.9	0.0	6.9	27.6	10.3	6.9	6.9	13.8	0.0
	30歳代	22	9.1	4.5	40.9	4.5	0.0	4.5	27.3	18.2	22.7	0.0	18.2	9.1
	40歳代	59	6.8	3.4	37.3	11.9	1.7	5.1	35.6	16.9	23.7	5.1	16.9	1.7
	50歳代	54	7.4	5.6	24.1	14.8	11.1	5.6	25.9	16.7	7.4	1.9	18.5	13.0
	60歳代	47	6.4	6.4	23.4	17.0	8.5	6.4	38.3	17.0	10.6	4.3	19.1	4.3
	70歳代	40	7.5	5.0	17.5	17.5	10.0	12.5	22.5	12.5	7.5	7.5	22.5	12.5
	80歳以上	12	8.3	16.7	8.3	25.0	16.7	25.0	41.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0
地区別	野田	47	8.5	8.5	31.9	10.6	2.1	12.8	19.1	19.1	14.9	10.6	19.1	8.5
	中	18	5.6	0.0	27.8	16.7	5.6	5.6	38.9	22.2	16.7	0.0	22.2	0.0
	南	52	11.5	7.7	21.2	13.5	1.9	5.8	21.2	26.9	15.4	1.9	19.2	9.6
	北	29	10.3	6.9	37.9	10.3	10.3	0.0	13.8	17.2	24.1	3.4	20.7	3.4
	川間	35	2.9	0.0	34.3	14.3	8.6	5.7	28.6	8.6	11.4	2.9	14.3	14.3
	東	12	8.3	0.0	25.0	16.7	8.3	0.0	58.3	8.3	8.3	0.0	25.0	0.0
	福田	23	0.0	13.0	43.5	8.7	0.0	13.0	65.2	13.0	4.3	0.0	8.7	4.3
	木間ヶ瀬	19	5.3	0.0	26.3	26.3	15.8	5.3	21.1	10.5	5.3	10.5	10.5	5.3
	関宿中	13	7.7	15.4	30.8	15.4	23.1	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	15.4	23.1
	二川	15	0.0	0.0	66.7	6.7	13.3	13.3	46.7	0.0	6.7	13.3	13.3	0.0
	関宿	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
居住年数別	3年未満	12	8.3	16.7	33.3	8.3	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	3年以上～5年未満	7	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0
	5年以上～10年未満	15	6.7	6.7	46.7	20.0	0.0	0.0	40.0	13.3	6.7	0.0	33.3	0.0
	10年以上～20年未満	48	10.4	4.2	31.3	12.5	6.3	6.3	22.9	25.0	20.8	2.1	14.6	8.3
	20年以上～30年未満	63	3.2	1.6	47.6	15.9	1.6	6.3	34.9	9.5	7.9	3.2	17.5	6.3
	30年以上～40年未満	64	9.4	10.9	28.1	14.1	7.8	7.8	25.0	10.9	9.4	6.3	14.1	9.4
	40年以上～50年未満	37	2.7	0.0	24.3	13.5	10.8	13.5	29.7	21.6	21.6	5.4	13.5	8.1
	50年以上	26	3.8	0.0	19.2	7.7	19.2	11.5	30.8	7.7	7.7	11.5	26.9	7.7
比較	令和元年度	276	6.5	5.4	32.6	13.4	6.9	7.2	29.7	15.2	13.0	4.3	17.8	7.2
	平成27年度	343	11.7	7.3	36.2	15.5	7.0	6.1	34.4	19.8	10.2	7.0	17.2	0.3

問3 野田市に対する誇り・愛着

(問3 あなたは、野田市に誇りや、愛着のようなものを感じますか。次の中から1つだけ選んでください。)

◇『誇りや愛着を感じる(計)』は5割台半ば



(全体)

➤野田市に対する誇り・愛着を『感じる』は56.3%（「感じる19.1%」「少し感じる37.2%」の合計。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『感じる』は、男性（57.9%）が女性（55.2%）よりやや多い。

(年代別)

➤『感じる』は、30歳代のみが半数を下回る40.0%で最も少なく、概ねこれより年代が上がる下がるにつれて増加し、80歳以上（65.6%）が最も多い。

(地区別)

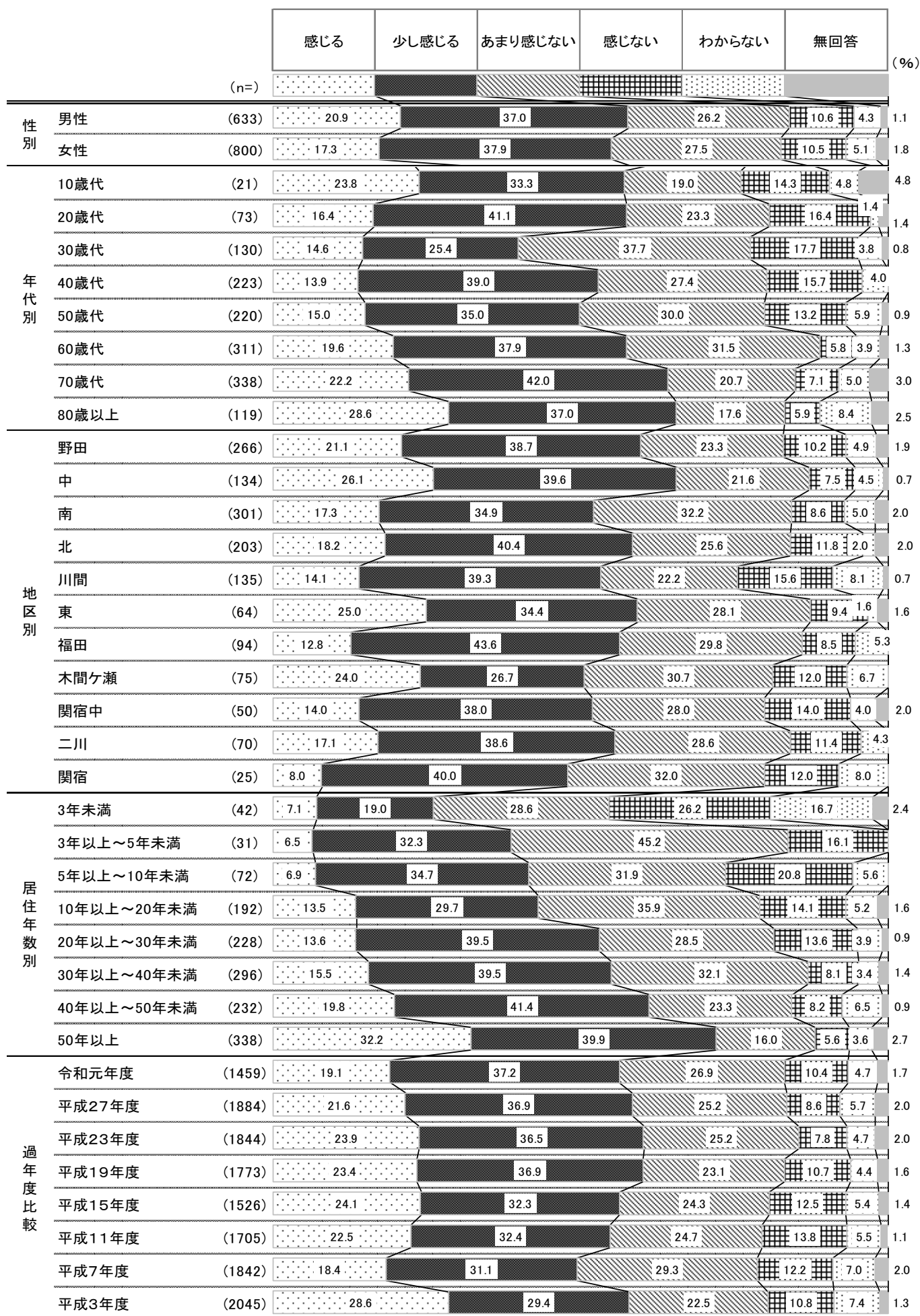
➤『感じる』は、中地区（65.7%）が最も多く、関宿地区（48.0%）が最も少ない。

(居住年数別)

➤『感じる』は、「3年未満26.1%」が最も少なく、居住年数が長くなるに従って増加し、「50年以上」が72.1%で最も多い。

(過年度比較)

➤『感じる』は、前回調査（平成27年度）より若干（2.2P）減少した。



問4 生活環境について

(問4 あなたの生活環境についておうかがいします。下記の項目 [ア～ニ] について、あてはまるものをそれぞれ1～5の中から1つだけ選んでください。)

◇『良い(計)』は「日照や風通し」と「ごみの回収状況」が約5割

総 合

(分野別)

➤ 5分野それぞれについて、今回提示した項目だけを評価対象として見たとき、『良い』（「良い」「まあ良い」の合計。以下、同じ）と評価した回答者の分野別平均割合は多い順に以下となる。

1. 快適性 : 36.3%
2. 利便性 : 26.3%
3. 安全性 : 20.8%
4. 福祉・保健 : 17.7%
5. 教育 : 13.9%

【問4 環境評価 分野別】

(%)

			n	良 い	平均	良 い	ま あ 良 い	普 通	良 く な い	良 く あ ま り な い	悪 い	無 回 答
安 全 性	ア)	防犯の面	1459	23.7	20.8	4.6	19.1	55.0	19.7	15.4	4.3	1.6
	イ)	災害発生時の身の安全性	1459	21.5		5.1	16.4	47.6	28.6	20.8	7.8	2.3
	ウ)	交通面での安全性	1459	17.3		3.6	13.7	46.3	33.6	25.2	8.4	2.8
利 便 性	エ)	交通の便	1459	17.0	26.3	4.5	12.5	30.4	50.7	30.1	20.6	2.0
	オ)	買い物の便	1459	35.5		11.6	23.9	33.9	28.8	19.1	9.7	1.7
快 適 性	カ)	下水・排水の状況	1459	31.4	36.3	10.8	20.6	44.6	22.1	12.8	9.3	1.8
	キ)	道路の整備状況	1459	19.2		4.5	14.7	36.6	42.2	28.2	14.0	1.9
	ク)	日照や風通し	1459	52.2		22.7	29.5	35.8	10.3	8.0	2.3	1.8
	ケ)	騒音や振動	1459	37.1		13.5	23.6	39.3	21.8	13.8	8.0	1.9
	コ)	大気汚染や悪臭	1459	39.5		12.4	27.1	45.1	13.4	9.2	4.2	1.9
	サ)	ごみの回収状況	1459	49.7		20.6	29.1	38.8	9.8	7.3	2.5	1.7
	シ)	公園や子どもの遊び場	1459	20.7		6.4	14.3	44.6	32.2	23.2	9.0	2.5
	ス)	上水道の状況	1459	35.5		12.7	22.8	53.5	8.9	6.2	2.7	2.1
	セ)	緑の保全や自然環境	1459	41.2		12.6	28.6	45.0	12.2	10.1	2.1	1.6
福 祉 ・ 保 健	ソ)	検診など保健活動	1459	31.1	17.7	9.4	21.7	58.9	7.9	6.0	1.9	2.1
	タ)	病院など医療施設	1459	25.0		6.9	18.1	46.8	26.4	20.6	5.8	1.9
	チ)	子ども・子育ての支援や施設の状況	1459	11.1		2.3	8.8	61.6	22.1	16.6	5.5	5.1
	ツ)	高齢者の支援や施設の状況	1459	11.7		2.0	9.7	58.4	26.0	21.3	4.7	3.9
	テ)	障がい者の支援や施設の状況	1459	9.6		1.9	7.7	63.7	21.3	17.1	4.2	5.3
教 育	ト)	学校教育	1459	11.6	13.9	2.9	8.7	64.2	19.1	14.4	4.7	5.1
	ナ)	公民館や図書館等の生涯学習環境	1459	17.5		4.5	13.0	63.7	15.5	12.8	2.7	3.2
	ニ)	スポーツ・レクリエーション施設	1459	12.6		2.7	9.9	57.2	26.8	21.0	5.8	3.4

(項目別)

➤分野に関係なく、各項目別に評価(『良い』の割合)を見ると、「日照や風通し」のみが半数を超える52.2%で最も評価が高い。

➤これに次いで「ごみの回収状況49.7%」「緑の保全や自然環境41.2%」が40%を超え、最も低い評価は「障がい者の支援や施設の状況9.6%」で1割を下回った。

➤また、22項目中の以下に示す11項目では、『良くない』が『良い』を上回った。

- イ) 災害発生時の身の安全性
- ウ) 交通面での安全性
- エ) 交通の便
- キ) 道路の整備状況
- シ) 公園や子どもの遊び場
- タ) 病院など医療施設
- チ) 子ども・子育ての支援や施設の状況
- ツ) 高齢者の支援や施設の状況
- テ) 障がい者の支援や施設の状況
- ト) 学校教育
- ニ) スポーツ・レクリエーション施設

【問4 環境評価 項目別『良い』降順】

項目別の『良い』『良くない』の比較で割合の大きい方

			n	良い			普通	良くない			無回答
				良い	まあ良い			良くない	あまり良くない	悪い	
快適性	ク)	日照や風通し	1459	52.2	22.7	29.5	35.8	10.3	8.0	2.3	1.8
快適性	サ)	ごみの回収状況	1459	49.7	20.6	29.1	38.8	9.8	7.3	2.5	1.7
快適性	セ)	緑の保全や自然環境	1459	41.2	12.6	28.6	45.0	12.2	10.1	2.1	1.6
快適性	コ)	大気汚染や悪臭	1459	39.5	12.4	27.1	45.1	13.4	9.2	4.2	1.9
快適性	ケ)	騒音や振動	1459	37.1	13.5	23.6	39.3	21.8	13.8	8.0	1.9
利便性	オ)	買い物の便	1459	35.5	11.6	23.9	33.9	28.8	19.1	9.7	1.7
快適性	ス)	上水道の状況	1459	35.5	12.7	22.8	53.5	8.9	6.2	2.7	2.1
快適性	カ)	下水・排水の状況	1459	31.4	10.8	20.6	44.6	22.1	12.8	9.3	1.8
福祉・保健	ソ)	検診など保健活動	1459	31.1	9.4	21.7	58.9	7.9	6.0	1.9	2.1
福祉・保健	タ)	病院など医療施設	1459	25.0	6.9	18.1	46.8	26.4	20.6	5.8	1.9
安全性	ア)	防犯の面	1459	23.7	4.6	19.1	55.0	19.7	15.4	4.3	1.6
安全性	イ)	災害発生時の身の安全性	1459	21.5	5.1	16.4	47.6	28.6	20.8	7.8	2.3
快適性	シ)	公園や子どもの遊び場	1459	20.7	6.4	14.3	44.6	32.2	23.2	9.0	2.5
快適性	キ)	道路の整備状況	1459	19.2	4.5	14.7	36.6	42.2	28.2	14.0	1.9
教育	ナ)	公民館や図書館等の生涯学習環境	1459	17.5	4.5	13.0	63.7	15.5	12.8	2.7	3.2
安全性	ウ)	交通面での安全性	1459	17.3	3.6	13.7	46.3	33.6	25.2	8.4	2.8
利便性	エ)	交通の便	1459	17.0	4.5	12.5	30.4	50.7	30.1	20.6	2.0
教育	ニ)	スポーツ・レクリエーション施設	1459	12.6	2.7	9.9	57.2	26.8	21.0	5.8	3.4
福祉・保健	ツ)	高齢者の支援や施設の状況	1459	11.7	2.0	9.7	58.4	26.0	21.3	4.7	3.9
教育	ト)	学校教育	1459	11.6	2.9	8.7	64.2	19.1	14.4	4.7	5.1
福祉・保健	チ)	子ども・子育ての支援や施設の状況	1459	11.1	2.3	8.8	61.6	22.1	16.6	5.5	5.1
福祉・保健	テ)	障がい者の支援や施設の状況	1459	9.6	1.9	7.7	63.7	21.3	17.1	4.2	5.3

(地区別)

➤回答選択肢に以下のように評価点を付与し、回答者数を加味した加重平均値で各項目ごとに全体及び地区別の評価点を算出して、次頁に掲載した。

回答選択肢	評価点	
良い	+2	
まあ良い	+1	
普通	0	
あまり良くない	-1	→表中では「-」は「▲」とした。
悪い	-2	→表中では「-」は「▲」とした。

※ 100人が回答して、100人が「普通」を選択すれば、その項目の評価点は「0」となる。
※ 100人が回答して、70人が「まあ良い」、30人が「あまり良くない」を選択すれば、その項目の評価点は「0.4」となる。
※ 各項目で、あり得る最高評価点は「2」、あり得る最低評価点は「▲2」となる。
※ 次頁掲載表では、評価点の差を見るために原則として小数点以下第3位まで表示した。

➤全 22 項目の各評価点の単純平均値が全体集計結果（0.05 点）を上回ったのは中地区（0.18 点）、北地区（0.14 点）、南地区（0.11 点）、野田地区（0.10 点）の 4 地区であった。

➤全 22 項目中で評価点が「0」を超える項目の数は、地区別に多い順に以下であった。

- ・ 中地区 : 14 項目
- ・ 野田地区 : 13 項目
- ・ 南地区、北地区、東地区 : 12 項目
- ・ 川間地区、福田地区 : 10 項目
- ・ 木間ヶ瀬地区、関宿中地区 : 9 地区
- ・ 関宿地区 : 7 項目
- ・ 二川地区 : 6 項目

(過年度比較)

➤『良い』は、前回調査（平成 27 年度）に比べて以下の項目で 3P 以上の増減があった。

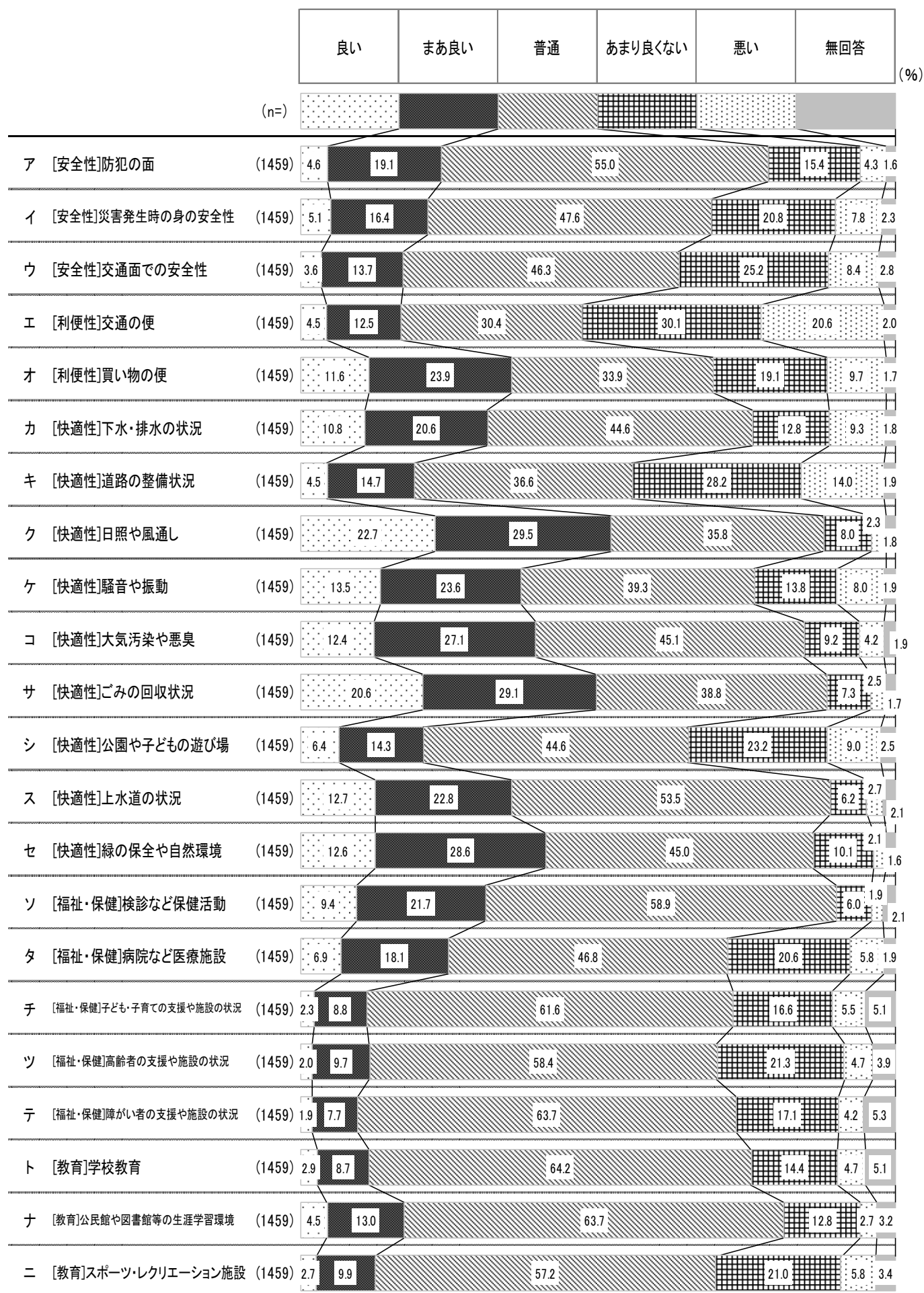
- ・ 3P 以上の増加：「買物の便 30.8%→35.5%」「公園や子どもの遊び場 16.7%→20.7%」
「上水道の状況（平成 27 年度は「飲料水の状況」）27.7%→35.5%」
- ・ 3P 以上の減少：「検診など保健活動 35.9%→31.1%」「子ども・子育ての支援や施設の状況（平成 27 年度は「保育所や幼稚園」）16.8%→11.1%」「公民館や図書館等の生涯学習環境（平成 27 年度は「公民館や図書館等の整備」）22.6%→17.5%」

【問4 環境の項目別評価点(加重平均値)】

全体集計結果より評価が高い

(注)「騒音や振動」「大気汚染や悪臭」の一部では小数点以下第4位まで表示

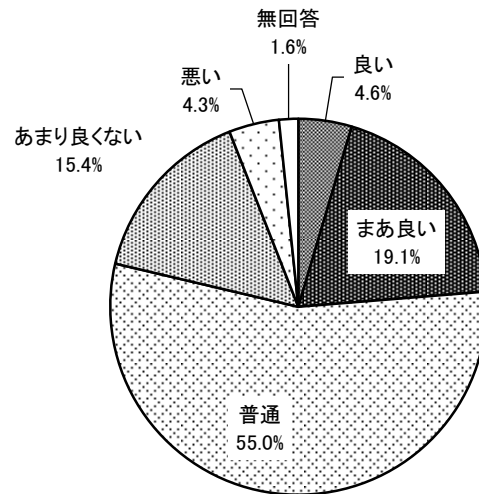
評価項目	全体集計	地区別										
		野田	中	南	北	川間	東	福田	木間ヶ瀬	関宿中	二川	関宿
	1459	266	134	301	203	135	64	94	75	50	70	25
防犯の面	0.044	0.100	0.241	0.017	0.115	0.037	0.097	0.022	▲ 0.149	▲ 0.286	▲ 0.130	▲ 0.160
災害時の身の安全性	▲ 0.100	0.008	0.254	0.067	▲ 0.149	▲ 0.153	0.081	▲ 0.097	▲ 0.360	▲ 0.653	▲ 0.824	▲ 1.040
交通面での安全性	▲ 0.217	▲ 0.125	0.045	▲ 0.157	▲ 0.061	▲ 0.381	▲ 0.177	▲ 0.355	▲ 0.467	▲ 0.633	▲ 0.485	▲ 0.708
交通の便	▲ 0.508	▲ 0.363	▲ 0.097	▲ 0.251	▲ 0.218	▲ 0.604	▲ 0.903	▲ 1.032	▲ 1.081	▲ 1.102	▲ 1.103	▲ 1.440
買い物の便	0.086	0.207	0.590	0.391	0.579	0.015	▲ 0.429	▲ 0.947	▲ 0.649	▲ 0.286	▲ 0.565	▲ 0.960
下水・排水の状況	0.110	0.315	0.306	0.211	0.337	▲ 0.052	▲ 0.210	▲ 0.086	▲ 0.467	▲ 0.306	▲ 0.188	0.120
道路の整備状況	▲ 0.331	▲ 0.312	▲ 0.448	▲ 0.242	▲ 0.157	▲ 0.311	▲ 0.435	▲ 0.277	▲ 0.608	▲ 0.653	▲ 0.529	▲ 0.240
日照や風通し	0.636	0.603	0.652	0.604	0.663	0.526	0.889	0.691	0.493	0.673	0.806	0.720
騒音や振動	0.2116	0.238	0.239	0.2121	0.312	0.090	0.032	0.441	0.147	0.208	0.029	0.000
大気汚染や悪臭	0.3494	0.442	0.541	0.405	0.520	0.230	0.3492	0.330	0.137	0.020	▲ 0.044	▲ 0.708
ごみの回収状況	0.589	0.534	0.679	0.601	0.618	0.556	0.444	0.613	0.730	0.583	0.557	0.400
公園や子どもの遊び場	▲ 0.144	▲ 0.146	▲ 0.218	0.074	▲ 0.025	▲ 0.180	▲ 0.413	0.011	▲ 0.347	▲ 0.367	▲ 0.677	▲ 0.680
上水道の状況	0.372	0.447	0.398	0.500	0.465	0.343	▲ 0.016	0.290	0.133	0.167	0.227	0.280
緑の保全や自然環境	0.403	0.439	0.396	0.462	0.444	0.415	0.397	0.750	0.253	0.000	0.000	0.320
検診など保健活動	0.314	0.335	0.463	0.299	0.365	0.293	0.226	0.309	0.293	0.265	0.186	0.040
病院など医療施設	▲ 0.003	0.062	0.286	▲ 0.044	0.010	▲ 0.044	0.095	▲ 0.021	0.040	▲ 0.163	▲ 0.319	▲ 0.680
子ども・子育ての支援や施設の状況	▲ 0.148	▲ 0.091	▲ 0.121	▲ 0.111	▲ 0.192	▲ 0.299	▲ 0.063	▲ 0.056	▲ 0.071	▲ 0.265	▲ 0.231	▲ 0.440
高齢者の支援や施設の状況	▲ 0.178	▲ 0.193	▲ 0.076	▲ 0.137	▲ 0.157	▲ 0.185	▲ 0.111	▲ 0.183	▲ 0.230	▲ 0.408	▲ 0.343	▲ 0.250
障がい者の支援や施設の状況	▲ 0.149	▲ 0.177	▲ 0.076	▲ 0.140	▲ 0.203	▲ 0.115	0.032	▲ 0.055	▲ 0.139	▲ 0.188	▲ 0.338	▲ 0.375
学校教育	▲ 0.099	▲ 0.119	▲ 0.114	▲ 0.077	▲ 0.121	▲ 0.148	0.032	▲ 0.045	▲ 0.057	▲ 0.106	▲ 0.130	▲ 0.120
公民館や図書館等の生涯学習環境	0.039	0.065	0.090	▲ 0.010	0.051	0.023	0.111	0.097	0.069	0.087	▲ 0.116	▲ 0.042
スポーツ・レクリエーション施設	▲ 0.181	▲ 0.178	▲ 0.135	▲ 0.267	▲ 0.072	▲ 0.293	▲ 0.079	▲ 0.204	▲ 0.096	0.021	▲ 0.224	▲ 0.458
		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
項目別評価の単純平均	0.050	0.095	0.177	0.109	0.142	▲ 0.011	▲ 0.002	0.009	▲ 0.110	▲ 0.154	▲ 0.202	▲ 0.292
全体集計より評価が高い項目の数		16	18	16	18	3	11	11	7	3	1	3
評価が「0」以上の項目の数	11	13	14	12	12	10	12	10	9	9	6	7



(1)安全性

ア)防犯の面

n=1459



(全体)

- 「普通」が半数を超える 55.0%で最も多い。
- 『良い 23.7%』が『良くない 19.7%』よりやや多い。

(性別)

- 男女いずれも「普通 55%前後」が半数を超えて最も多い。
- 女性は、『良くない 22.5%』が『良い 20.3%』を上回っている。

(年代別)

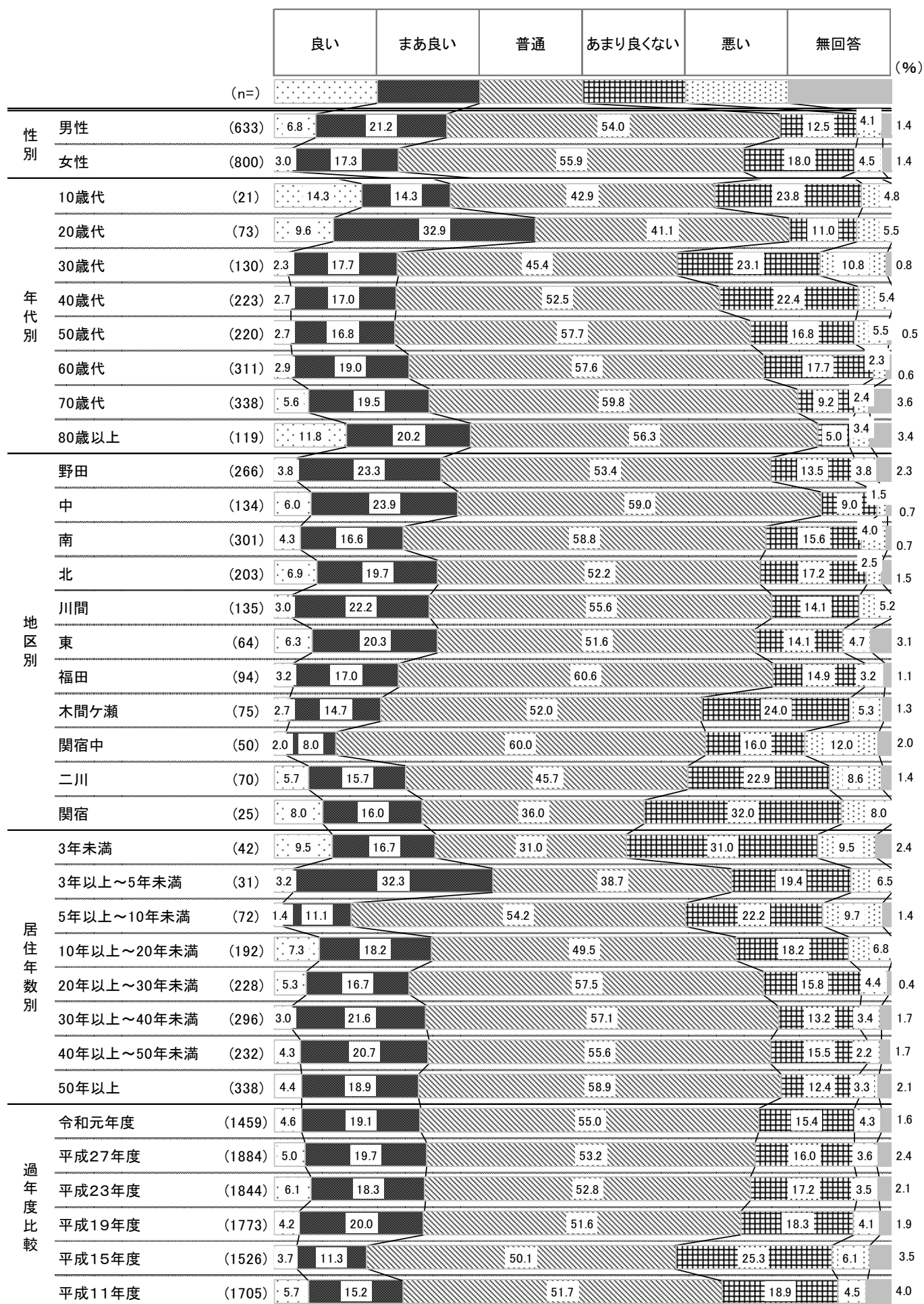
- 20 歳代は『良い 42.5%』が最も多いが、これ以外の全ての年代で『普通 43～60%』が最も多い。
- 『良い』は、50 歳代 (19.5%) が最も少ない。
- 30～50 歳代では『良くない 22～34%』が『良い 20%前後』を上回っている

(地区別)

- 10 地区で『普通 46～61%』が最も多いが、関宿地区は『良くない 40.0%』が最も多い。
- 『良い』は中地区 (29.9%) が最も多く、関宿中地区 (10.0%) が最も少ない。
- 木間ヶ瀬・関宿中・二川・関宿の 4 地区では『良くない 28～40%』が『良い 10～24%』を上回っている。

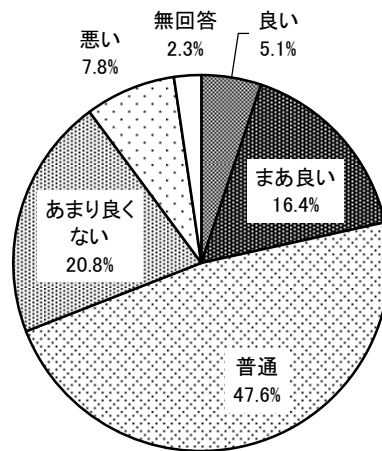
(居住年数別)

- 「3 年未満」では『良くない 40.5%』が最も多いが、3 年以上の全ての居住年数帯では「普通 39～59%」が最も多い。
- 『良い』は「3 年以上～5 年未満 35.5%」が最も多く、「5 年以上～10 年未満 12.5%」が最も少ない。
- 「3 年未満」「5 年以上～10 年未満」では、『良くない 32～41%』が『良い 13～26%』を上回っている。



イ)災害発生時の身の安全性

n=1459



(全体)

- 「普通」が 47.6%で最も多い。
- 『良くない 28.6%』が『良い 21.5%』より 7.1P 多い。

(性別)

- 男女いずれも「普通 48%前後」が最も多い。
- 『良い』は、男性 (24.6%) が女性 (19.0%) より 5.6P 多い。
- 男性は『良い 24.6%』が『良くない 23.9%』を若干上回ったが、女性は『良くない 32.5%』が『良い 19.0%』を大きく上回っている。

(年代別)

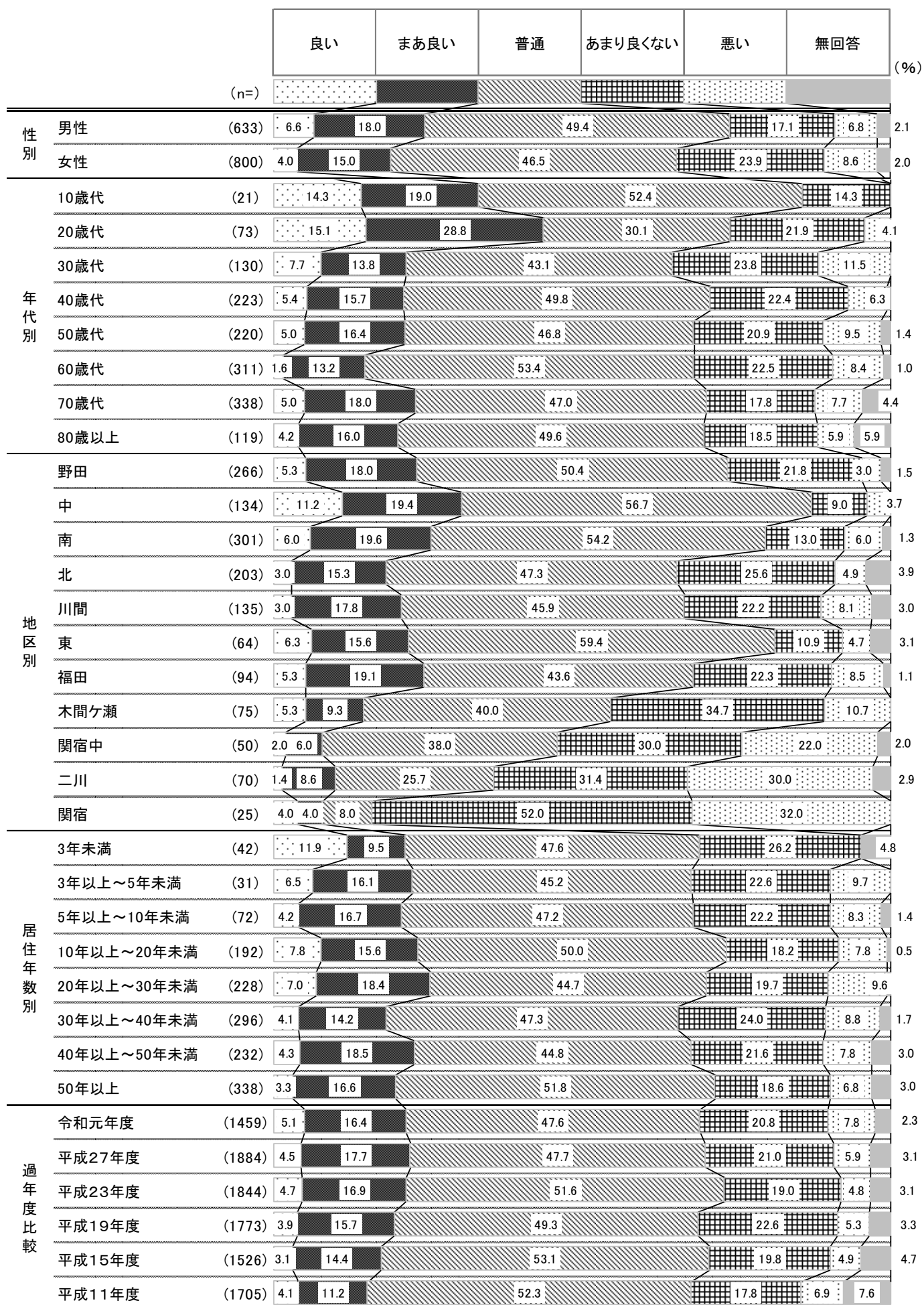
- 20 歳代は『良い 43.9%』が最も多いが、これ以外の全ての年代で「普通 43～53%」が最も多い。
- 『良い』は、20 歳代 (43.9%) が最も多く、60 歳代 (14.8%) が最も少ない。
- 10・20 歳代を除く全ての年代で、『良くない 24～35%』が『良い 15～23%』を上回っている

(地区別)

- 木間ヶ瀬・関宿中・二川・関宿の 4 地区では『良くない 45～84%』が最も多いが、他の 7 地区では「普通 44～59%」が最も多い。
- 『良い』は、中地区 (30.6%) が最も多く、関宿中・関宿地区 (いずれも 8.0%) が最も少ない。
- 野田・北・川間・福田・木間ヶ瀬・関宿中・二川・関宿の 8 地区では、『良くない 25～84%』が『良い 8～24%』を上回っている。

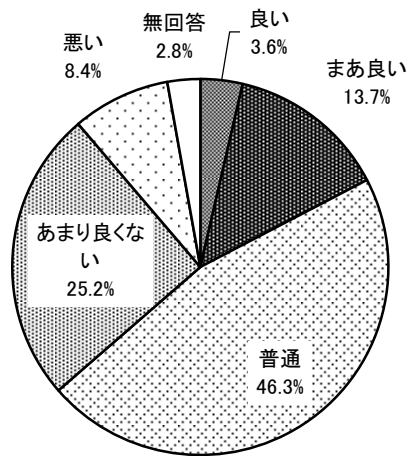
(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で「普通 45～52%」が最も多い。
- 『良い』は、「20 年以上～30 年未満 25.4%」が最も多く、「30 年以上～40 年未満 18.3%」が最も少ない。
- 全ての居住年数帯で、『良くない 25～33%』が『良い 18～25%』を上回っている。



ウ)交通面での安全性

n=1459



(全体)

- 「普通」が 46.3%で最も多い。
- 『良くない 33.6%』が『良い 17.3%』より 16.3P 多い。

(性別)

- 男女いずれも「普通 46%強」が最も多い。
- 『良い』は、男性 (19.1%) が女性 (15.8%) よりやや多い。
- 男女いずれも『良くない 32～35%』が『良い 16～19%』を大きく上回っている。

(年代別)

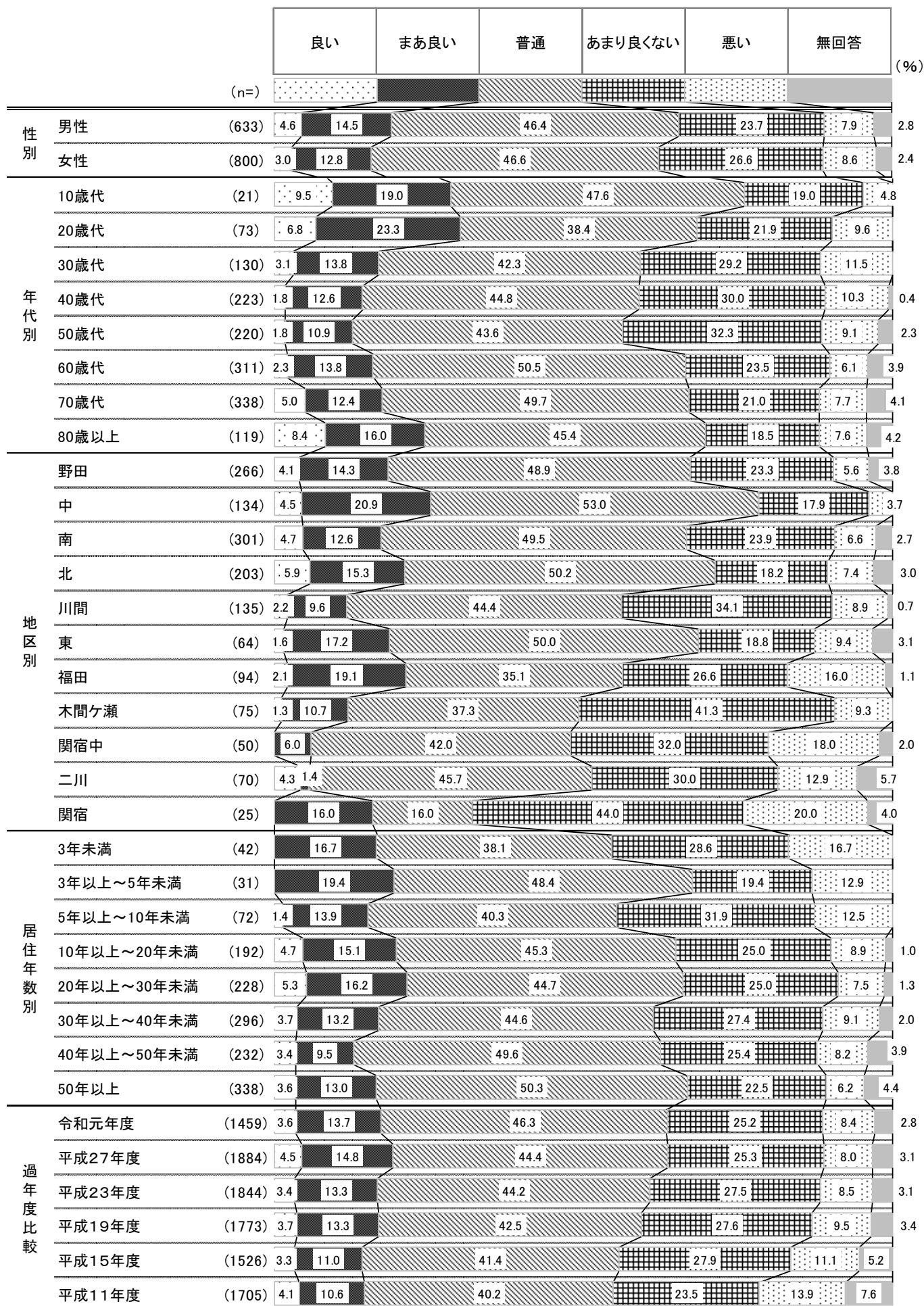
- 全ての年代で「普通 38～51%」が最も多い。
- 『良い』は、50 歳代 (12.7%) が最も少なく、20 歳代 (30.1%) が最も多い。
- 10 歳代では『良い 28.5%』が『良くない 23.8%』を上回ったが、20 歳代以上になると『良くない 26～41%』が『良い 13～30%』を上回っている。

(地区別)

- 7 地区で「普通 44～53%」が最も多いが、福田・木間ヶ瀬・関宿中・関宿の 4 地区では『良くない 43～64%』が最も多い。
- 『良い』は中地区 (25.4%) が最も多く、二川地区 (5.7%) が最も少ない。
- 中地区を除く 10 地区で、『良くない 26～64%』が『良い 6～21%』を上回っている。

(居住年数別)

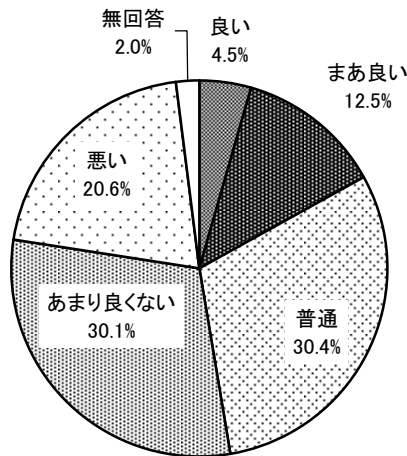
- 「3 年未満」「5 年以上～10 年未満」では『良くない 45%前後』が最も多いが、他の居住年数帯では「普通 45～50%」が最も多い。
- 『良い』は、居住年数による規則的な傾向は見受けられないが、「20 年以上～30 年未満 21.5%」が最も多く、「40 年以上～50 年未満 12.9%」が最も少ない。
- 全ての居住年数帯で、『良くない 29～45%』が『良い 13～22%』を上回っている。



(2)利便性

工)交通の便

n=1459



(全体)

- 『良くない 50.7%』が半数を超えて最も多く、「普通 30.4%」「良い 17.0%」を大きく上回った。

(性別)

- 男女いずれも『良くない 50%前後』が最も多い。
- 『良い』は、男性（18.4%）が女性（15.9%）よりやや多い。

(年代別)

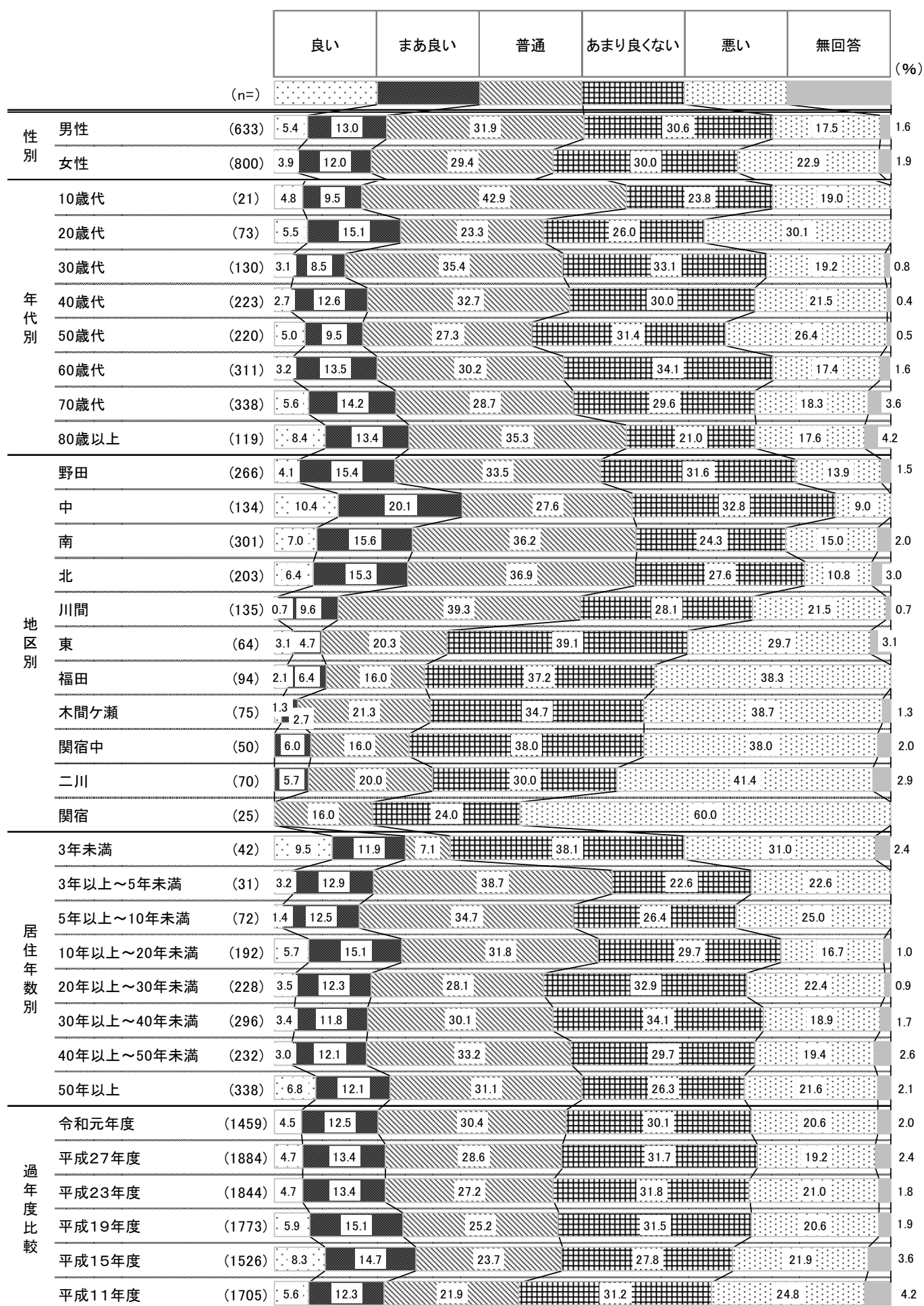
- 10 歳代では「普通 42.9%」が最も多く、20 歳代以上になると『良くない 39～58%』が最も多くなる。
- 『良い』は、30 歳代（11.6%）が最も少なく、80 歳以上（21.8%）が最も多い。

(地区別)

- 全ての地区で『良くない 38～84%』が最も多い。
- 『良い』は、中地区（30.5%）が最も多く、関宿地区（0.0%）が最も少ない。

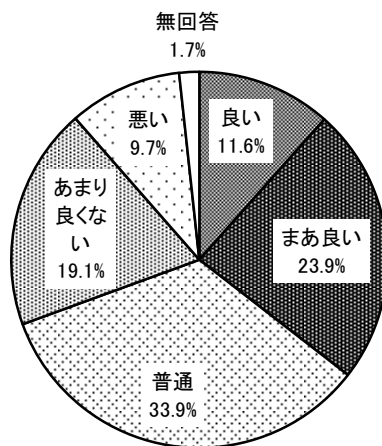
(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で『良くない 45～69%』が最も多い。
- 『良い』は、居住年数による規則的な傾向は見受けられないが、「3 年未満 21.4%」が最も多く、「5 年以上～10 年未満 13.9%」が最も少なく、他の居住年数帯は 15～21%であった。



オ) 買い物の便

n=1459



(全体)

➤『良い 35.5%』が最も多く、「普通 33.9%」「良くない 28.8%」を上回った。

(性別)

➤男女いずれも『良い 35%前後』が最も多く、『良くない 29%前後』を上回っている。

(年代別)

➤20・50・60 歳代は「普通 36～41%」が最も多いが、他の年代では『良い 40%前後』が最も多い（但し、10 歳代は「普通」「良い」が 38.1%で同率）。

➤20・60 歳代では、『良くない 33%弱』が『良い 30%前後』よりやや多い。

(地区別)

➤地区によって大きな差があり、野田・中・南・北の 4 地区では『良い 38～55%』が最も多く、川間・東の 2 地区では「普通 39～47%」が最も多く、福田・木間ヶ瀬・関宿中・二川・関宿の 5 地区では『良くない 40～75%』が最も多い。

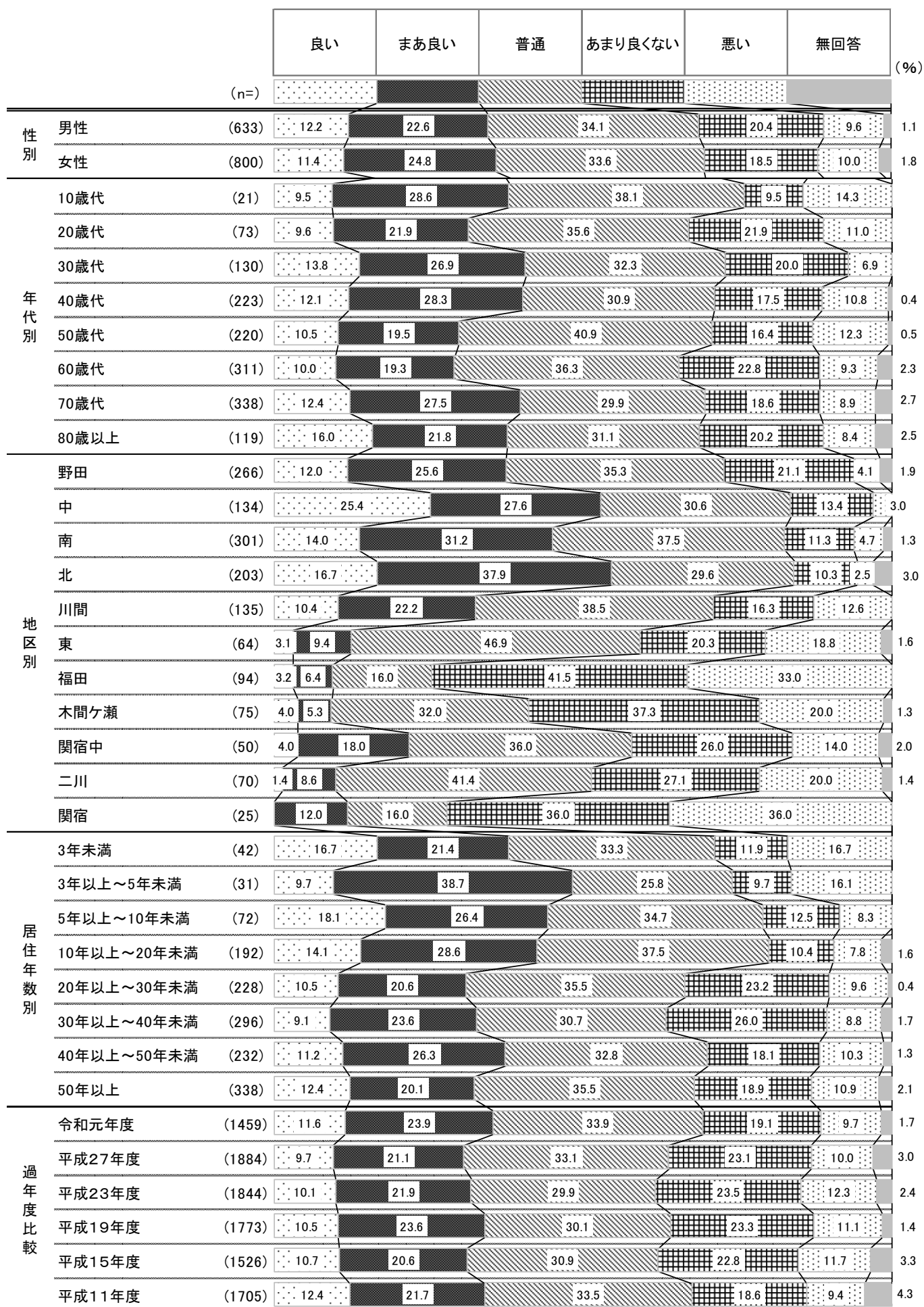
➤『良い』は、北地区（54.6%）が最も多く、木間ヶ瀬地区（9.3%）が最も少ない。

➤東・福田・木間ヶ瀬・関宿中・二川・関宿の 6 地区では、『良くない 39～75%』が『良い 9～22%』を大きく上回っている。

(居住年数別)

➤『良い』は、「20 年未満」及び「40 年以上～50 年未満」では 38～48%だが、他の居住年数帯では 32%前後で少なくなる。

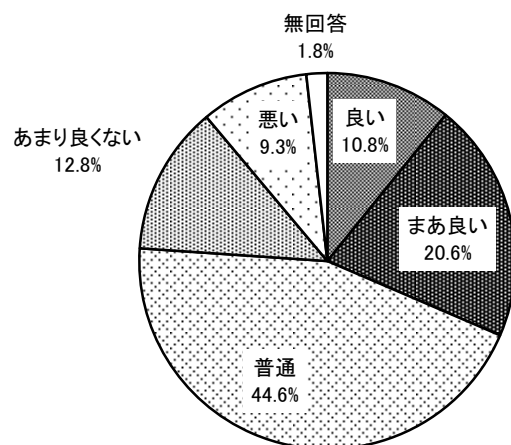
➤「20 年以上～40 年未満」では、『良くない 34%前後』が『良い 32%前後』をやや上回っている。



(3)快適性

力)下水・排水の状況

n=1459



(全体)

- 「普通」が 44.6%で最も多い。
- 『良い 31.4%』が『良くない 22.1%』より 9.3P 多い。

(性別)

- 男女いずれも「普通 42～47%」が最も多い。
- 『良い』は、男女いずれも 32%前後で、『良くない 21～24%』を上回っている。

(年代別)

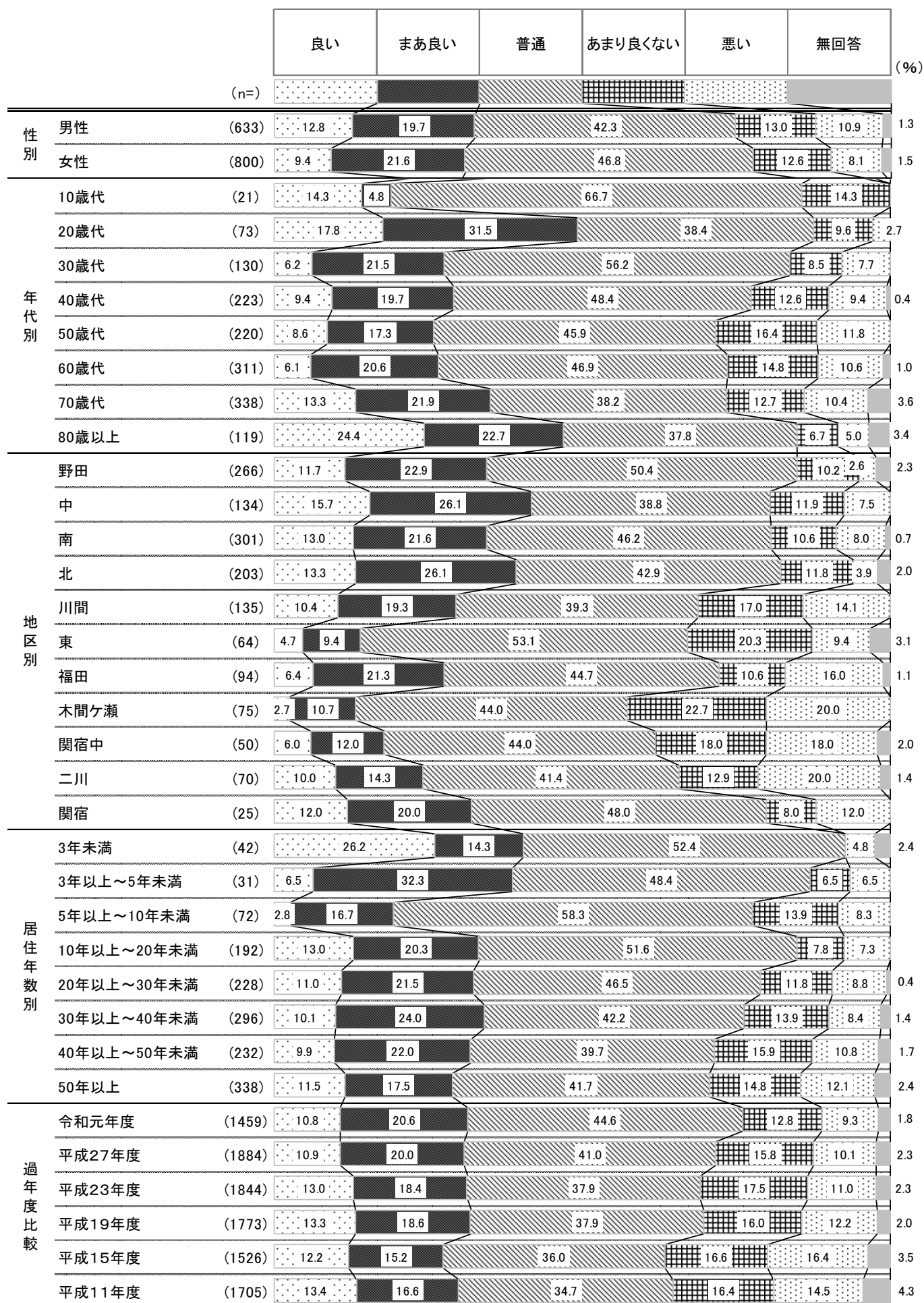
- 20 歳代及び 80 歳以上では『良い 48%前後』が最も多いが、その他の年代では「普通 38～67%」が最も多い。
- 『良い』は、10 歳代 (19.1%) が最も少なく、20 歳代 (49.3%) が最も多い。
- 50 歳代を除く全ての年代で、『良い 19～49%』が『良くない 12～25%』より多い。

(地区別)

- 10 地区で「普通 39～53%」が最も多いが、中地区では『良い 41.8%』が最も多い。
- 『良い』は、中地区 (41.8%) が最も多く、木間ヶ瀬地区 (13.4%) が最も少ない。
- 川間・東・木間ヶ瀬・関宿中・二川の 5 地区では、『良くない 30～43%』が『良い 13～30%』を上回っている。

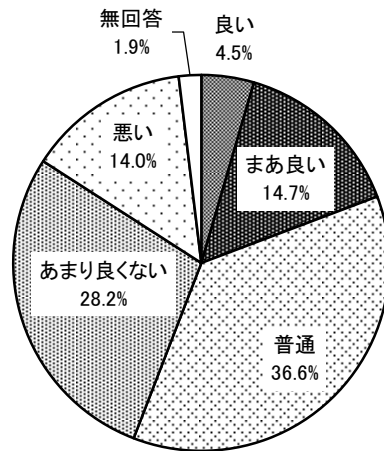
(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で「普通 40～58%」が最も多い。
- 『良い』は、「3 年未満」「3 年以上～5 年未満」が 40%前後で多く、「5 年以上～10 年未満」が 19.5%で最も少なく、「10 年以上」帯は 29～34%となっている。



キ)道路の整備状況

n=1459



(全体)

➤『良くない』が 42.2%で最も多く、「普通 36.6%」「良い 19.2%」を上回っている。

(性別)

➤男女いずれも『良くない 40～45%』が最も多く、『良い 19%強』を大きく上回っている。

(年代別)

➤『良い』は、30 歳代 (13.8%) が最も少なく、20 歳代 (35.6%) が最も多い。

➤20 歳代を除く全ての年代で、『良くない 35～49%』が『良い 14～25%』を大きく上回った。

(地区別)

➤9 地区で『良くない 37～53%』が最も多いが (南地区は「普通」も同率 39.2%)、東・関宿の 2 地区では「普通 40～48%」が最も多い。

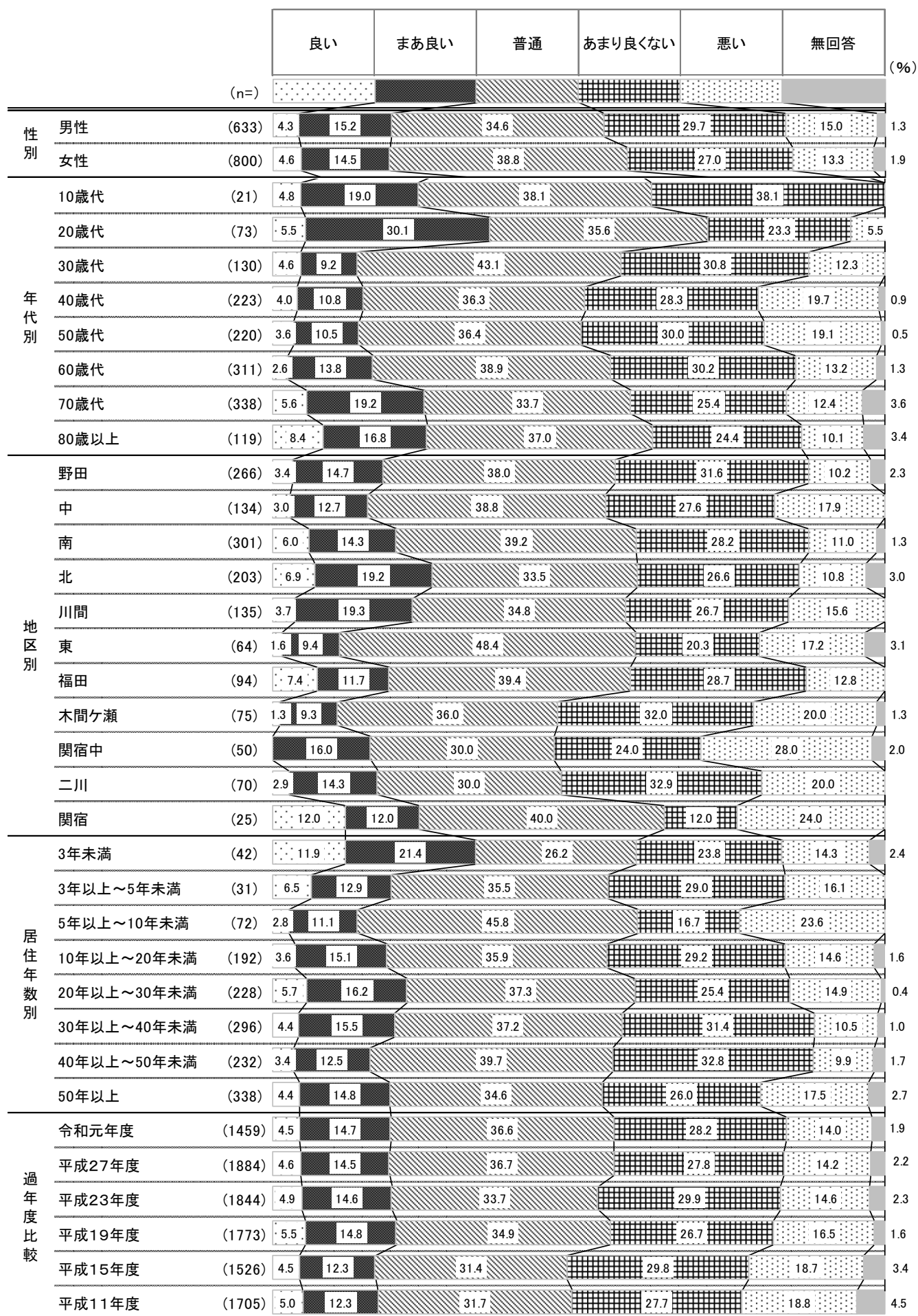
➤『良い』は、北地区 (26.1%) が最も多く、木間ヶ瀬地区 (10.6%) が最も少ない。

➤全ての地区で、『良くない 36～53%』が『良い 11～26%』を大きく上回っている。

(居住年数別)

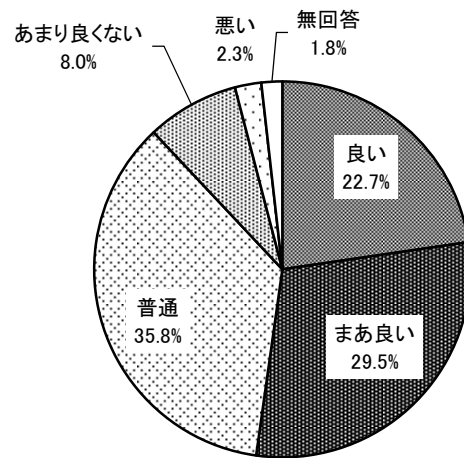
「5 年以上～10 年未満」では「普通 45.8%」が最も多いが、その他の全ての居住年数帯では『良くない 38～45%』が最も多い。

➤全ての居住年数帯で、『良くない 38～45%』が『良い 14～33%』を大きく上回っている。



ク)日照や風通し

n=1459



(全体)

- 『良い』が半数を超える 52.2%で最も多く、「普通 35.8%」「良くない 10.3%」を上回っている。

(性別)

- 男女いずれも『良い 52%前後』が半数を超えて最も多く、『良くない 8~12%』を大きく上回っている。

(年代別)

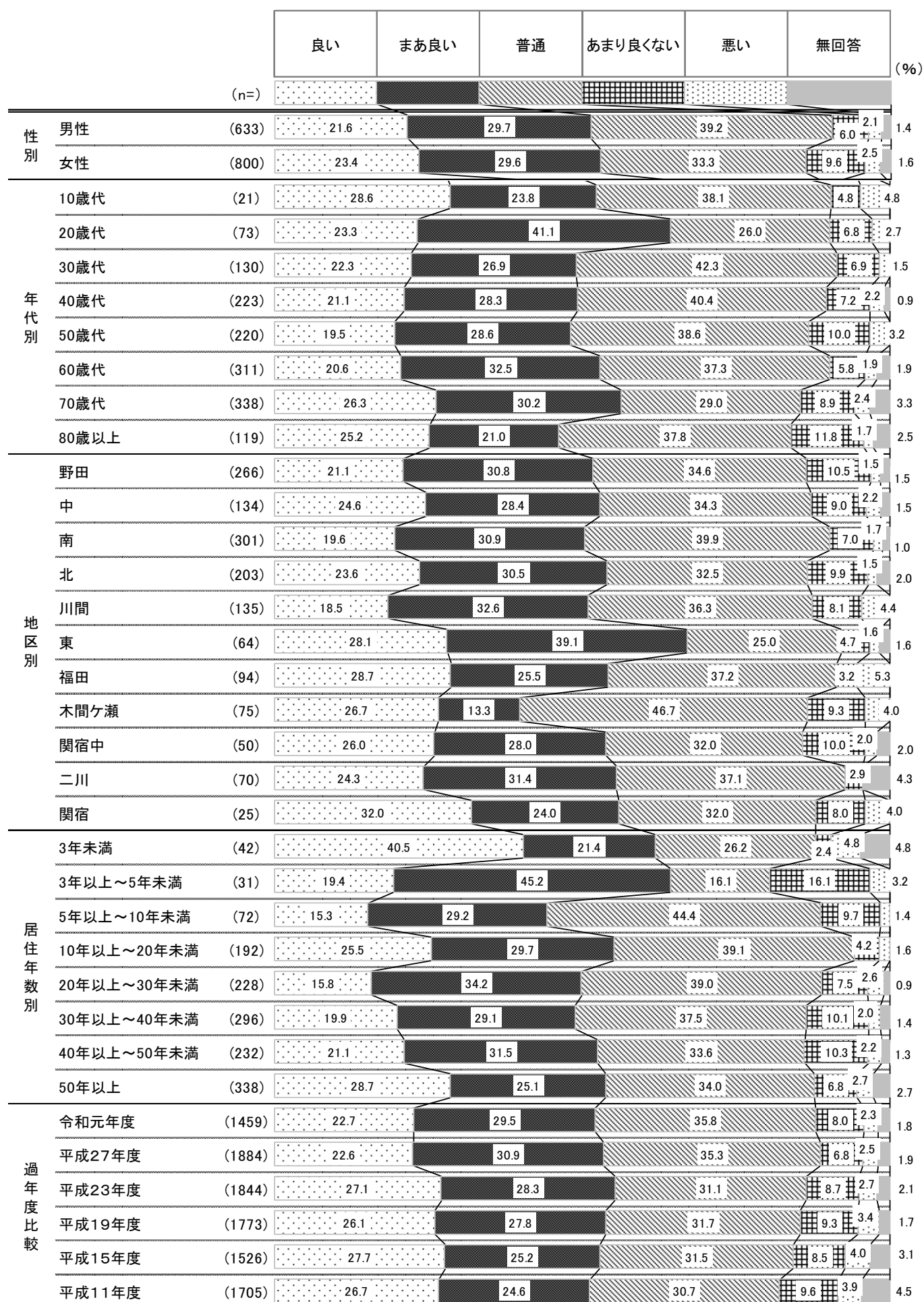
- 全ての年代で『良い 46~64%』が最も多く、『良くない 8~14%』を大きく上回った。
- 『良い』は、20 歳代 (64.4%) が最も多く、80 歳以上 (46.2%) が最も少ない。

(地区別)

- 10 地区で『良い 51~67%』が半数を超えて最も多いが、木間ヶ瀬地区では「普通 46.7%」が最も多い。
- 『良い』は、東地区 (67.2%) が最も多く、木間ヶ瀬地区 (40.0%) が最も少ない。
- 全ての地区で、『良い 40~67%』が『良くない 6~13%』を大きく上回っている。

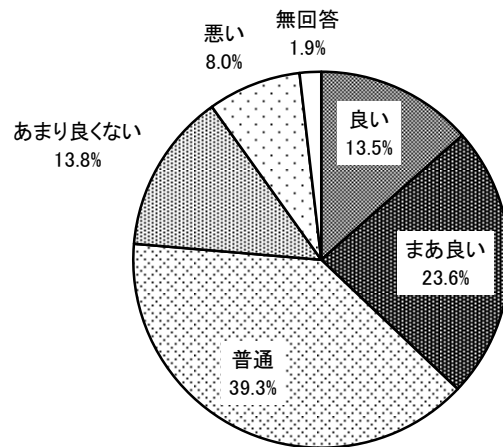
(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で『良い 45~65%』が最も多い。
- 『良い』は、「3 年以上~5 年未満」が 64.6%で最も多く、「5 年以上~10 年未満」が 44.5%で最も少ない。
- 全ての居住年数帯で、『良い 45~65%』が『良くない 6~19%』を大きく上回っている。



ケ)騒音や振動

n=1459



(全体)

- 「普通」が 39.3%で最も多い。
- 『良い 37.1%』が『良くない 21.8%』より 15.3P 多い。

(性別)

- 男女いずれも「普通 39%前後」が最も多い。
- 男女いずれも、『良い 37%前後』が『良くない 20～24%』を大きく上回っている。

(年代別)

- 20～40 歳代は『良い 40～45%』が最も多いが、10 歳代及び 50 歳代以上では「普通 41%前後」が最も多い。
- 『良い』は、30 歳代 (44.7%) が最も多く、50 歳代 (29.6%) が最も少ない。
- 全ての年代で、『良い 30～45%』が『良くない 18～28%』を上回った。

(地区別)

- 7 地区で「普通 38～47%」が最も多いが、野田・南・福田・二川の 4 地区では『良い 37～48%』が最も多い。
- 『良い』は、福田地区 (47.9%) が最も多く、関宿地区 (28.0%) が最も少ない。
- 関宿地区のみは、『良くない 32.0%』が『良い 28.0%』をやや上回った。

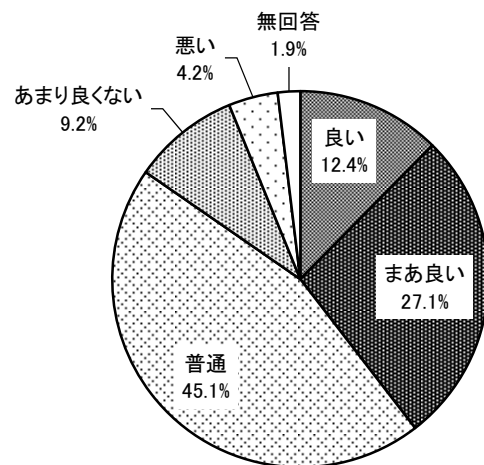
(居住年数別)

- 『良い』は、「3 年未満 57.1%」が最も多く、「50 年以上 32.5%」が最も少ない。
- 全ての居住年数帯で、『良い 33～57%』が『良くない 18～26%』を上回っている。



コ)大気汚染や悪臭

n=1459



(全体)

- 「普通」が 45.1%で最も多い。
- 『良い 39.5%』が『良くない 13.4%』より 26.1P 多い。

(性別)

- 男女いずれも『良い 40%前後』が最も多く、『良くない 13%前後』を大きく上回っている。

(年代別)

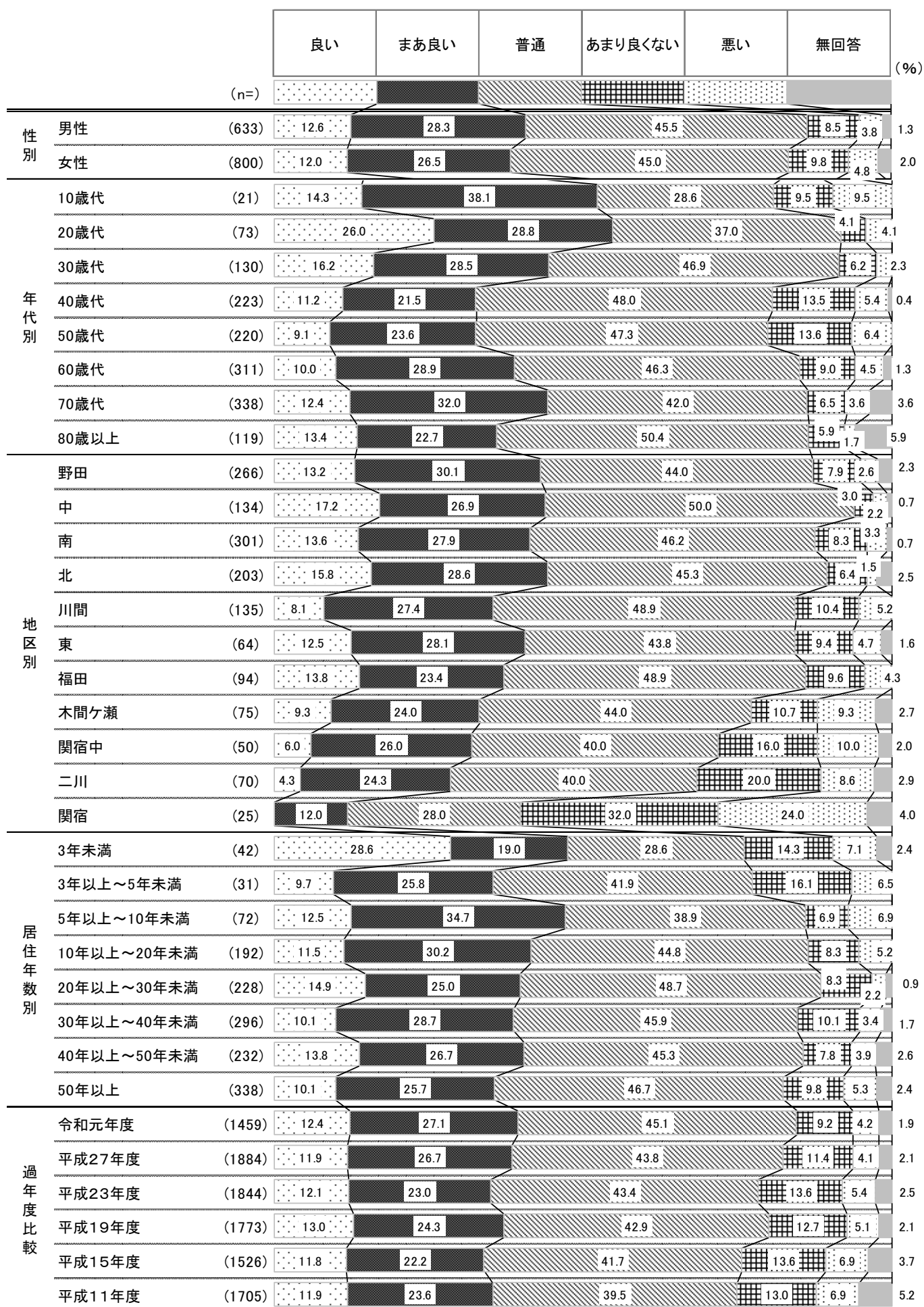
- 『良い』は、40・50 歳代（いずれも 32.7%）が最も少なく、20 歳代（54.8%）が最も多い。
- 全ての年代で、『良い 33～55%』が『良くない 8～20%』を上回った。

(地区別)

- 関宿地区のみは『良くない 56.0%』が半数を超えて最も多いが、他の 10 地区では「普通 40～50%」が最も多い。
- 『良い』は、北地区（44.4%）が最も多く、関宿地区（12.0%）が最も少ない。
- 関宿地区のみは、『良くない 56.0%』が『良い 12.0%』を大きく上回った。

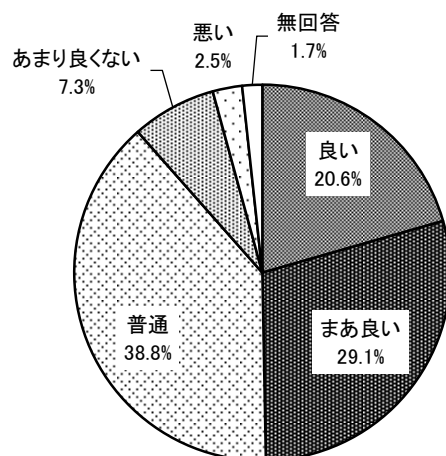
(居住年数別)

- 「3 年未満」「5 年以上～10 年未満」は『良い 47%強』が最も多いが、他の居住年数帯は「普通 42～49%」が最も多い。
- 全ての居住年数帯で、『良い 36～48%』が『良くない 11～23%』を上回っている。



サ)ごみの回収状況

n=1459



(全体)

➤『良い』がほぼ半数の 49.7%で最も多く、「普通 38.8%」「良くない 9.8%」を上回った。

(性別)

➤男女いずれも『良い』50%前後が最も多く、『良くない 8～12%』を大きく上回っている。

(年代別)

➤30・40 歳代は「普通 44%前後」が最も多いが、他の年代では『良い 45～65%』が最も多い。

➤『良い』は、40 歳代 (36.7%) が最も少なく、80 歳以上 (64.7%) が最も多い。

➤全ての年代で、『良い 37～65%』が『良くない 3～20%』を大きく上回った。

(地区別)

➤10 地区で『良い 45～58%』が最も多いが、二川地区のみは「普通 52.9%」が最も多い。

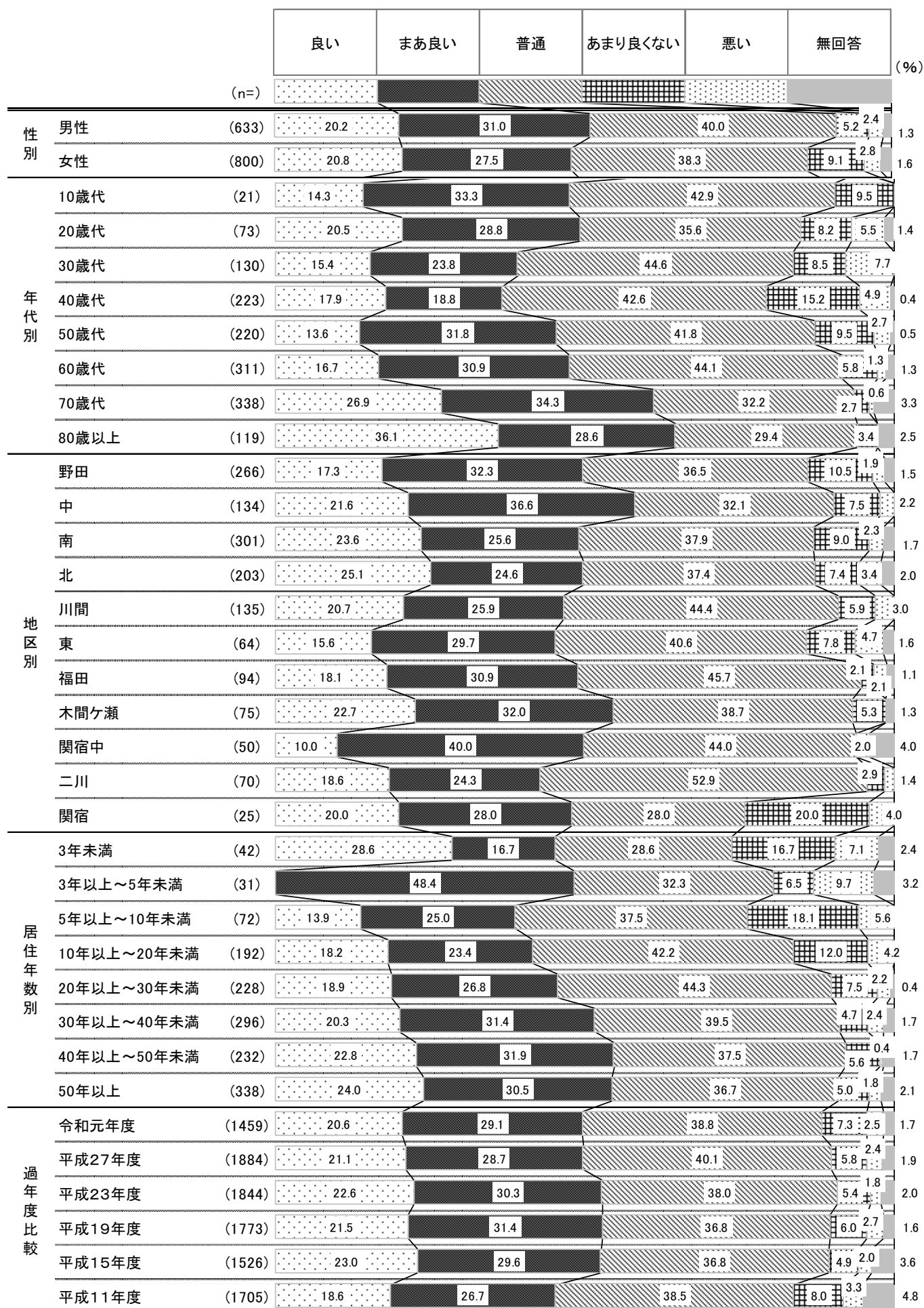
➤『良い』は、中地区 (58.2%) が最も多く、二川地区 (42.9%) が最も少ない。

➤全ての地区で、『良い 43～58%』が『良くない 4～24%』を大きく上回った。

(居住年数別)

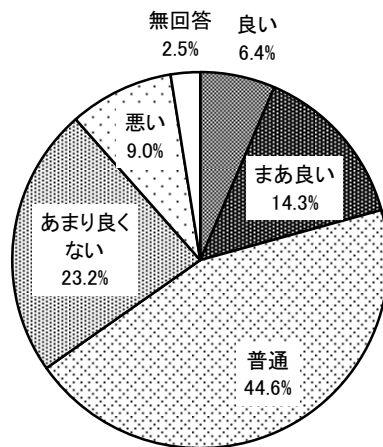
➤『良い』は、「5 年以上～10 年未満 38.9%」が最も少なく、「40 年以上～50 年未満 54.7%」が最も多い。

➤全ての居住年数帯で、『良い 39～55%』が『良くない 7～24%』を上回っている。



シ) 公園や子どもの遊び場

n=1459



(全体)

- 「普通」が 44.6% で最も多い。
- 『良くない 32.2%』が『良い 20.7%』を 11.5P 上回っている。

(性別)

- 男女いずれも「普通 45% 前後」が最も多い。
- 男女いずれも、『良くない 28～36%』が『良い 19～23%』を上回っている。

(年代別)

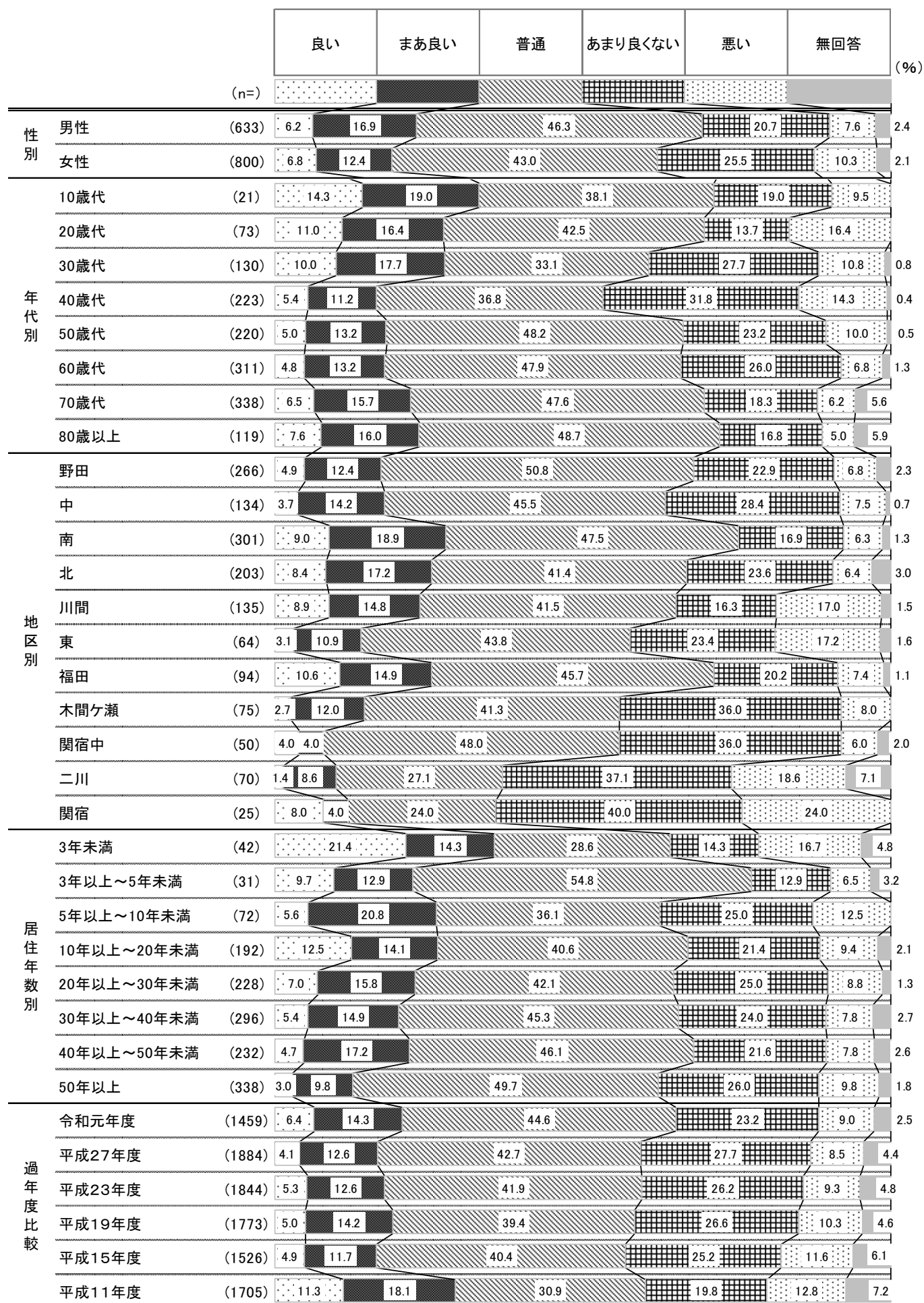
- 30・40 歳代は『良くない 39～46%』が最も多く、他の年代では「普通 38～49%」が最も多い。
- 『良い』は、40 歳代 (16.6%) が最も少なく、10 歳代 (33.3%) が最も多い。
- 10 歳代・80 歳以上を除く全ての年代で、『良くない 25～46%』が『良い 17～28%』を上回った。

(地区別)

- 8 地区で「普通 41～51%」が最も多いが、木間ヶ瀬・二川・関宿の 3 地区では『良くない 44～64%』が最も多い。
- 『良い』は、南地区 (27.9%) が最も多く、関宿中地区 (8.0%) が最も少ない。
- 南地区を除く全ての地区で、『良くない 28～64%』が『良い 8～26%』を上回った。

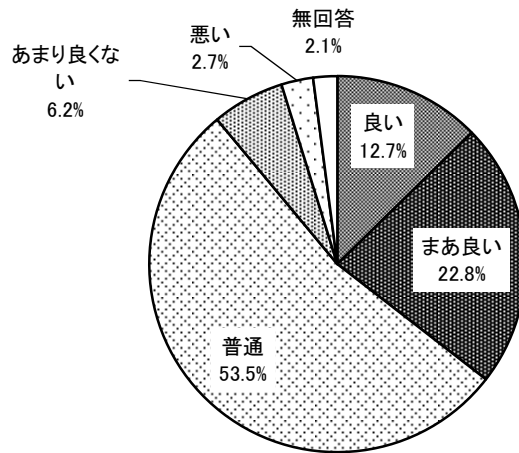
(居住年数別)

- 『良い』は、「3 年未満 35.7%」が最も多く、「50 年以上 12.8%」が最も少ない。
- 「3 年未満」「3 年以上～5 年未満」を除く全ての居住年数帯で、『良くない 29～38%』が『良い 13～27%』を上回っている。



ス) 上水道の状況

n=1459



(全体)

- 「普通」が半数を超える 53.5%で最も多い。
- 『良い 35.5%』が『良くない 8.9%』より 26.6P 多い。

(性別)

- 男女いずれも「普通 50～57%」が最も多い。
- 男女いずれも、『良い 33～39%』が『良くない 9%前後』を大きく上回っている。

(年代別)

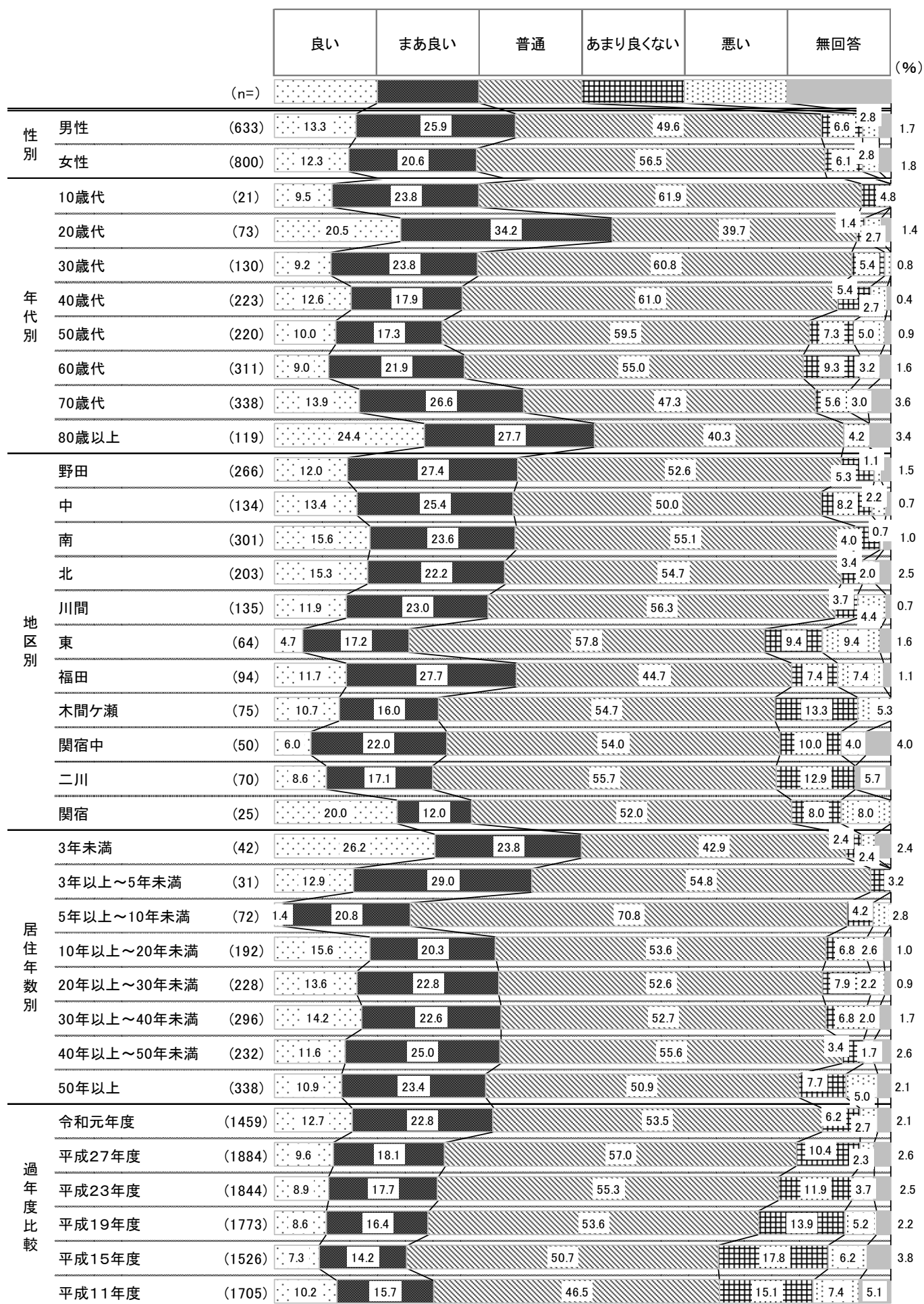
- 20 歳代と 80 歳以上は『良い 53%前後』が半数を超えて最も多いが、それ以外の年代では「普通 47～62%」が最も多い。
- 『良い』は、50 歳代 (27.3%) が最も少なく、20 歳代 (54.7%) が最も多い。
- 全ての年代で、『良い 27～55%』が『良くない 4～13%』を大きく上回った。

(地区別)

- 全ての地区で「普通 45～58%」が最も多い。
- 『良い』は、野田地区及び福田地区 (39.4%) が最も多く、東地区 (21.9%) が最も少ない。
- 全ての地区で、『良い 22～39%』が『良くない 5～19%』を上回った。

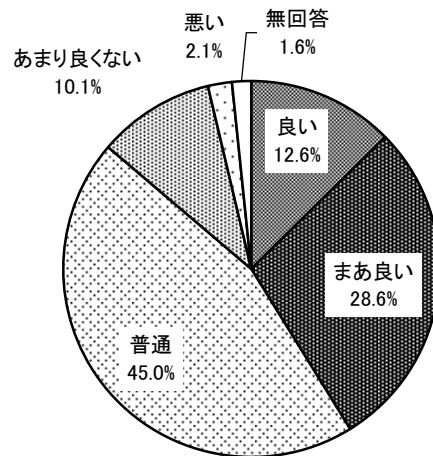
(居住年数別)

- 「3 年未満」は『良い 50.0%』が最も多いが、3 年以上になると全ての居住年数帯で「普通 51～71%」が最も多い。
- 全ての居住年数帯で、『良い 22～50%』が『良くない 3～13%』を大きく上回っている。



セ)緑の保全や自然環境

n=1459



(全体)

- 「普通」が 45.0%で最も多い。
- 『良い 41.2%』が『良くない 12.2%』より 29.0P 多い。

(性別)

- 男女いずれも「普通 45%前後」が最も多い。
- 男女いずれも、『良い 42%前後』が『良くない 12%前後』を大きく上回っている。

(年代別)

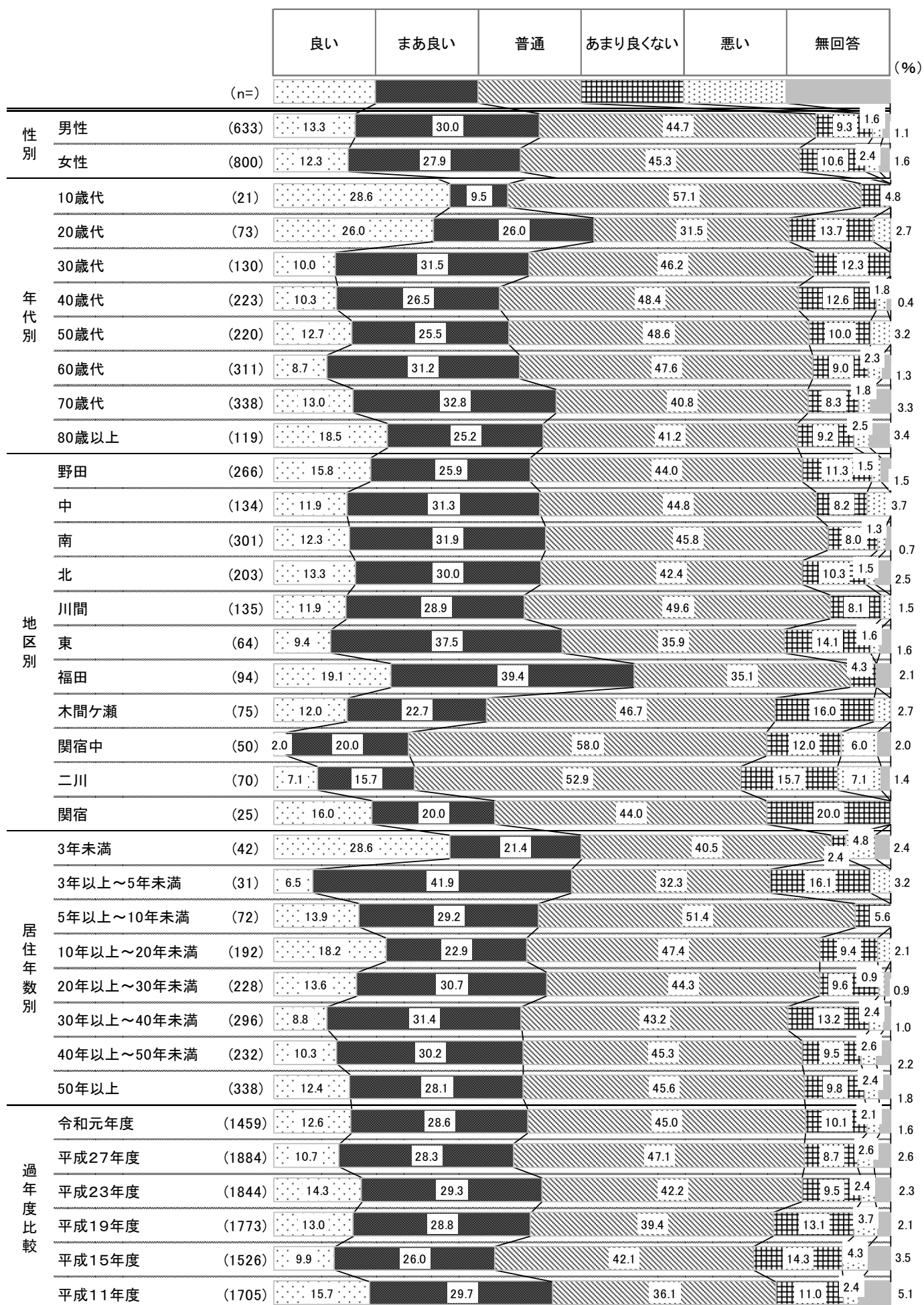
- 20 歳代及び 70 歳代以上は『良い 44～52%』が最も多いが、それ以外の年代では「普通 46～57%」が最も多い。
- 『良い』は、40 歳代 (36.8%) が最も少なく、20 歳代 (52.0%) が最も多い。
- 全ての年代で、『良い 37～52%』が『良くない 5～16%』を大きく上回った。

(地区別)

- 8 地区で「普通 44～58%」が最も多いが、北・東・福田の 3 地区では『良い 43～59%』が最も多い。
- 『良い』は、福田地区 (58.5%) が最も多く、関宿中地区 (22.0%) が最も少ない。
- 全ての地区で、『良い 22～59%』が『良くない 4～23%』を上回った。(但し、二川地区は両者が同率)

(居住年数別)

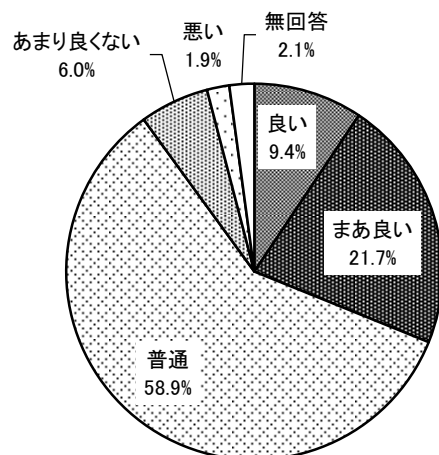
- 全ての居住年数帯で、『良い 40～50%』が『良くない 6～19%』を大きく上回っている。



(4)福祉・保健

ソ) 検診など保健活動

n=1459



(全体)

- 「普通」が半数を超える 58.9%で最も多い。
- 『良い 31.1%』が『良くない 7.9%』より 23.2P 多い。

(性別)

- 男女いずれも「普通 59%前後」が最も多い。
- 男女いずれも、『良い 31%前後』が『良くない 8%前後』を大きく上回っている。

(年代別)

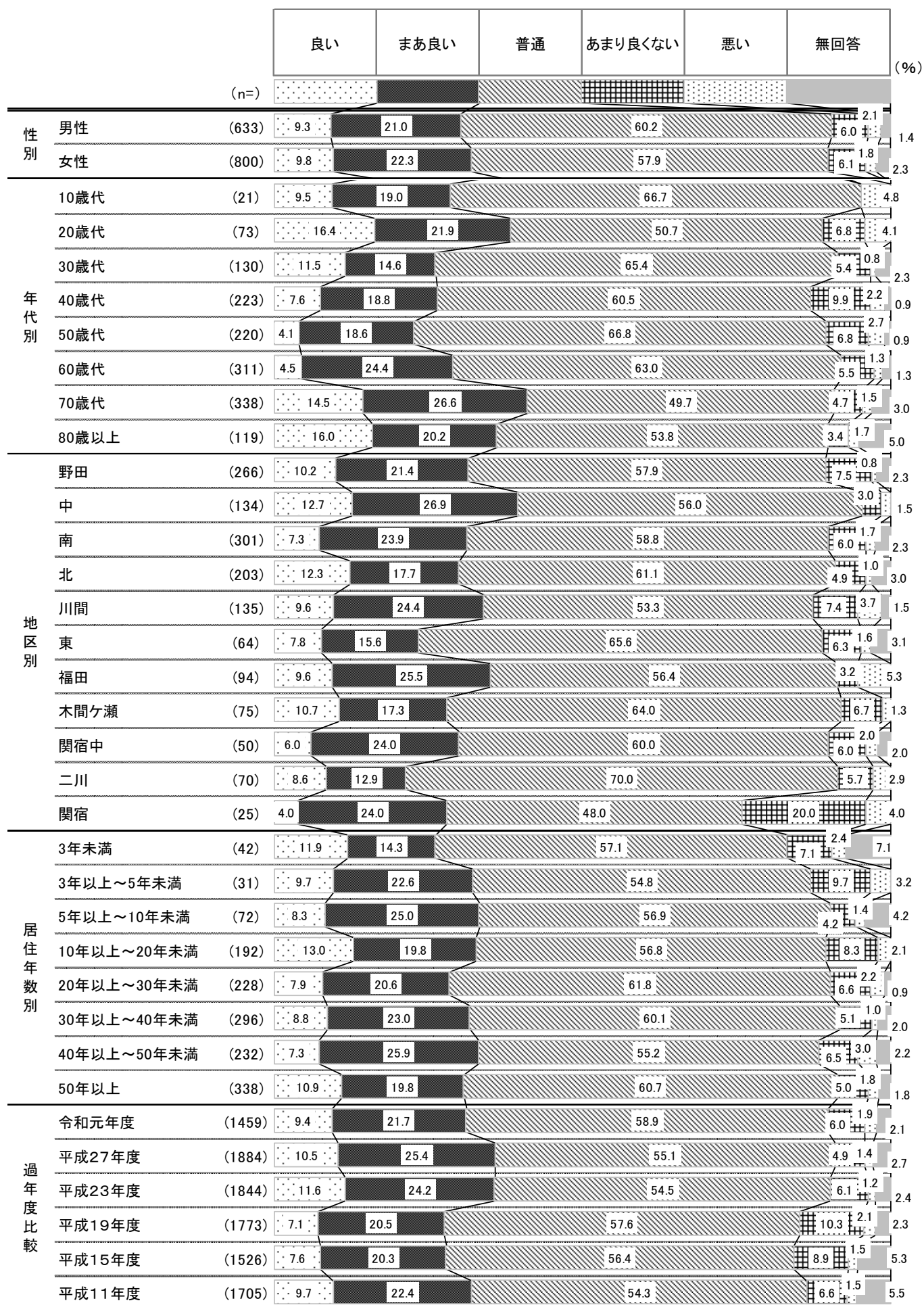
- 全ての年代で「普通 50～67%」が最も多い。
- 『良い』は、50 歳代 (22.7%) が最も少なく、70 歳代 (41.1%) が最も多い。
- 全ての年代で、『良い 23～41%』が『良くない 5～12%』を大きく上回った。

(地区別)

- 全ての地区で「普通 48～70%」が最も多い。
- 『良い』は、中地区 (39.6%) が最も多く、二川地区 (21.5%) が最も少ない。
- 全ての地区で、『良い 22～40%』が『良くない 5～24%』を上回った。

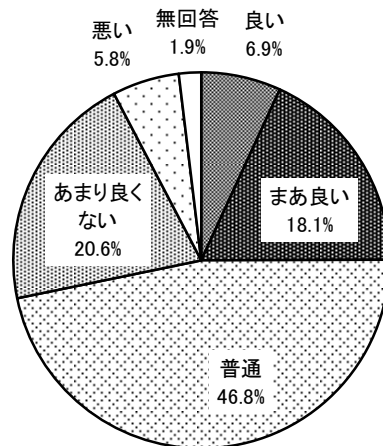
(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で「普通 55～62%」が最も多い。
- 『良い』は、「5 年以上～10 年未満 33.3%」が最も多く、「3 年未満 26.2%」が最も少ない。
- 全ての居住年数帯で、『良い 26～33%』が『良くない 6～13%』を上回っている。



タ) 病院など医療施設

n=1459



(全体)

- 「普通」が 46.8% で最も多い。
- 『良くない 26.4%』が『良い 25.0%』よりやや多い。

(性別)

- 男女いずれも「普通 47% 前後」が最も多い。
- 『良い』は、男性 (28.9%) が女性 (21.8%) より 7.1P 多い。

(年代別)

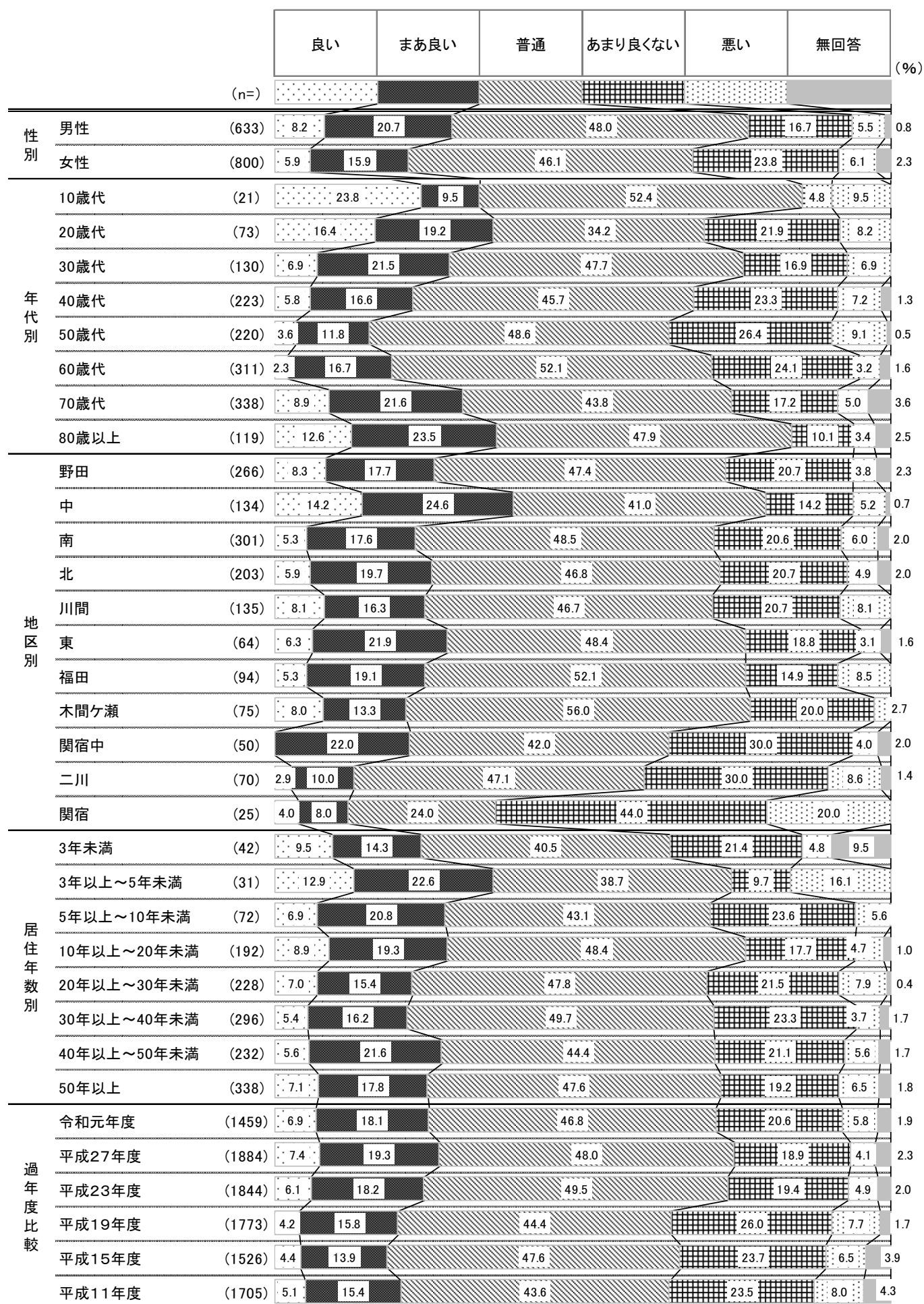
- 20 歳代は『良い 35.6%』が最も多いが、これ以外の年代では「普通 44～52%」が最も多い。
- 『良い』は、50 歳代 (15.4%) が最も少なく、80 歳以上 (36.1%) が最も多い。

(地区別)

- 10 地区で「普通 41～56%」が最も多いが、関宿地区は『良くない 64.0%』が最も多い。
- 『良い』は、中地区 (38.8%) が最も多く、関宿地区 (12.0%) が最も少ない。
- 野田・中・東・福田の 4 地区では『良い 24～39%』が『良くない 19～25%』を上回り、北地区は両者が同率であったが、南・川間・木間ヶ瀬・関宿中・二川・関宿の 6 地区では『良くない 23～64%』が『良い 12～24%』を上回った。

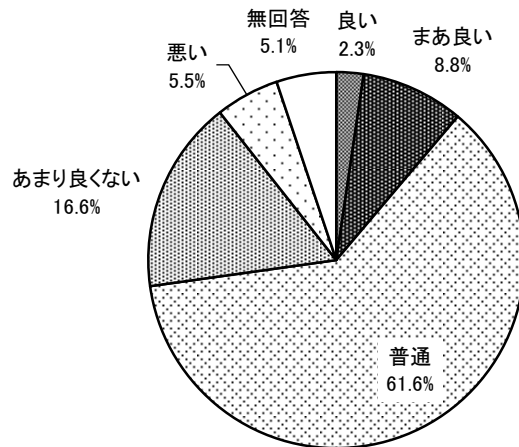
(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で「普通 39～50%」が最も多い。
- 『良い』は、「3 年以上～5 年未満 35.5%」が最も多く、「30 年以上～40 年未満 21.6%」が最も少ない。



チ)子ども・子育ての支援や施設の状況

n=1459



(全体)

- 「普通」が6割を超える61.6%で最も多い。
- 『良くない22.1%』が『良い11.1%』より11.0P多い。

(性別)

- 男女いずれも「普通60～65%」が最も多い。
- 男女いずれも、『良くない20～24%』が『良い10～13%』より多い。

(年代別)

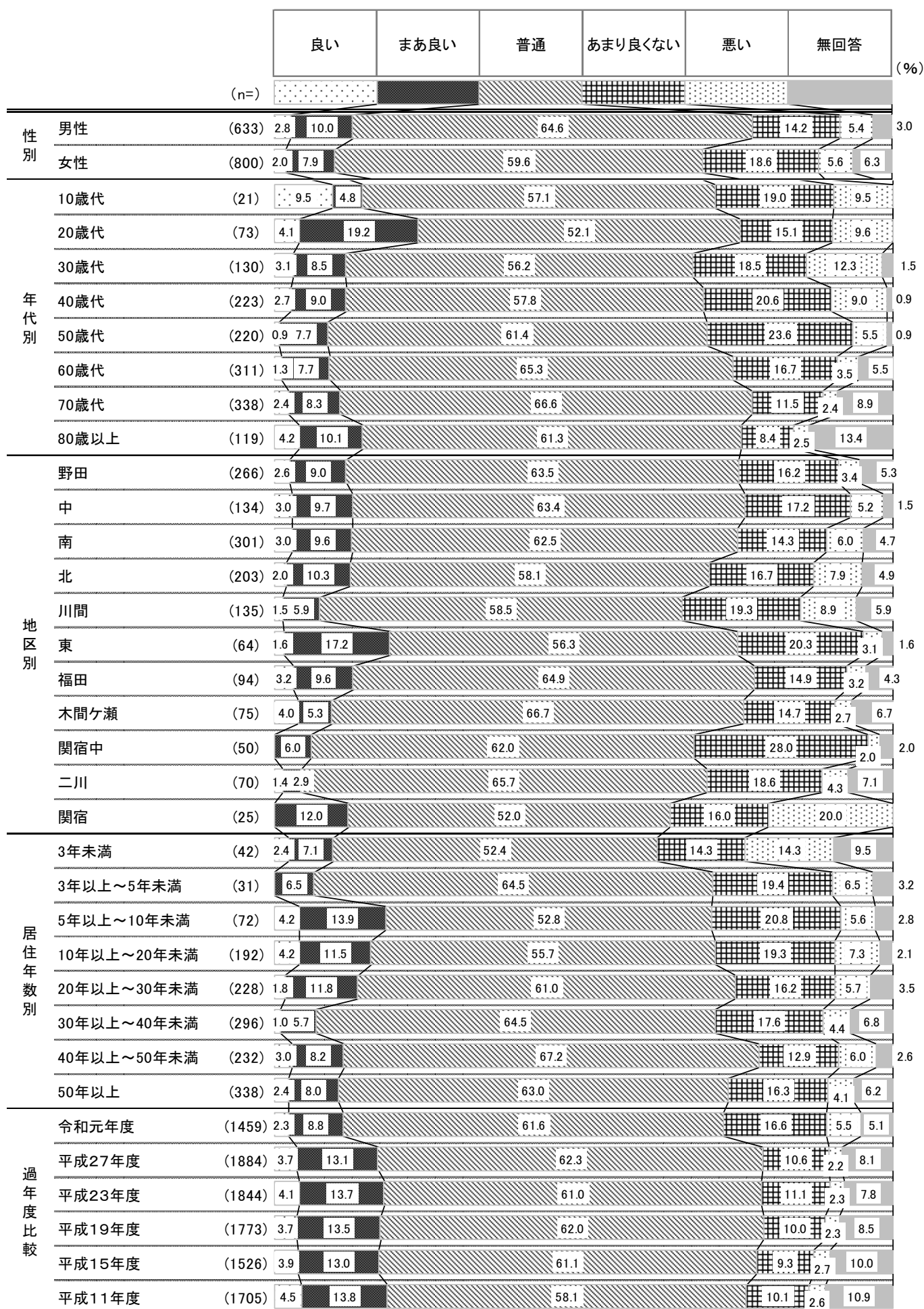
- 全ての年代で「普通52～67%」が最も多い。
- 『良い』は、50歳代(8.6%)が最も少なく、20歳代(23.3%)が最も多い。
- 80歳以上を除く全ての年代で、『良くない14～31%』が『良い9～23%』を上回った。

(地区別)

- 全ての地区で「普通52～67%」が最も多い。
- 『良い』は、東地区(18.8%)が最も多く、二川地区(4.3%)が最も少ない。
- 全ての地区で、『良くない17～36%』が『良い4～19%』を上回った。

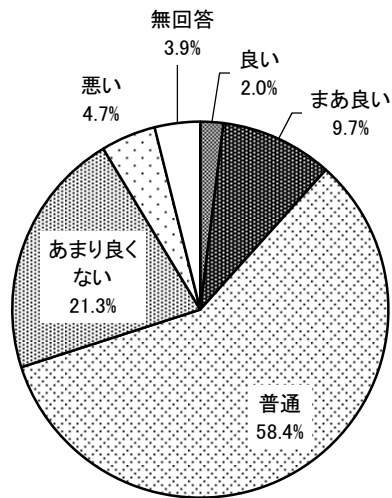
(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で「普通52～67%」が最も多い。
- 『良い』は、「5年以上～10年未満18.1%」が最も多く、「3年以上～5年未満6.5%」が最も少ない。
- 全ての居住年数帯で、『良くない19～29%』が『良い7～18%』を上回った。



ツ) 高齢者の支援や施設の状況

n=1459



(全体)

- 「普通」が半数を超える 58.4%で最も多い。
- 『良くない 26.0%』が『良い 11.7%』より 14.3P 多い。

(性別)

- 男女いずれも「普通 59%前後」が最も多い。
- 男女いずれも、『良くない 26%前後』が『良い 10～13%』より多い。

(年代別)

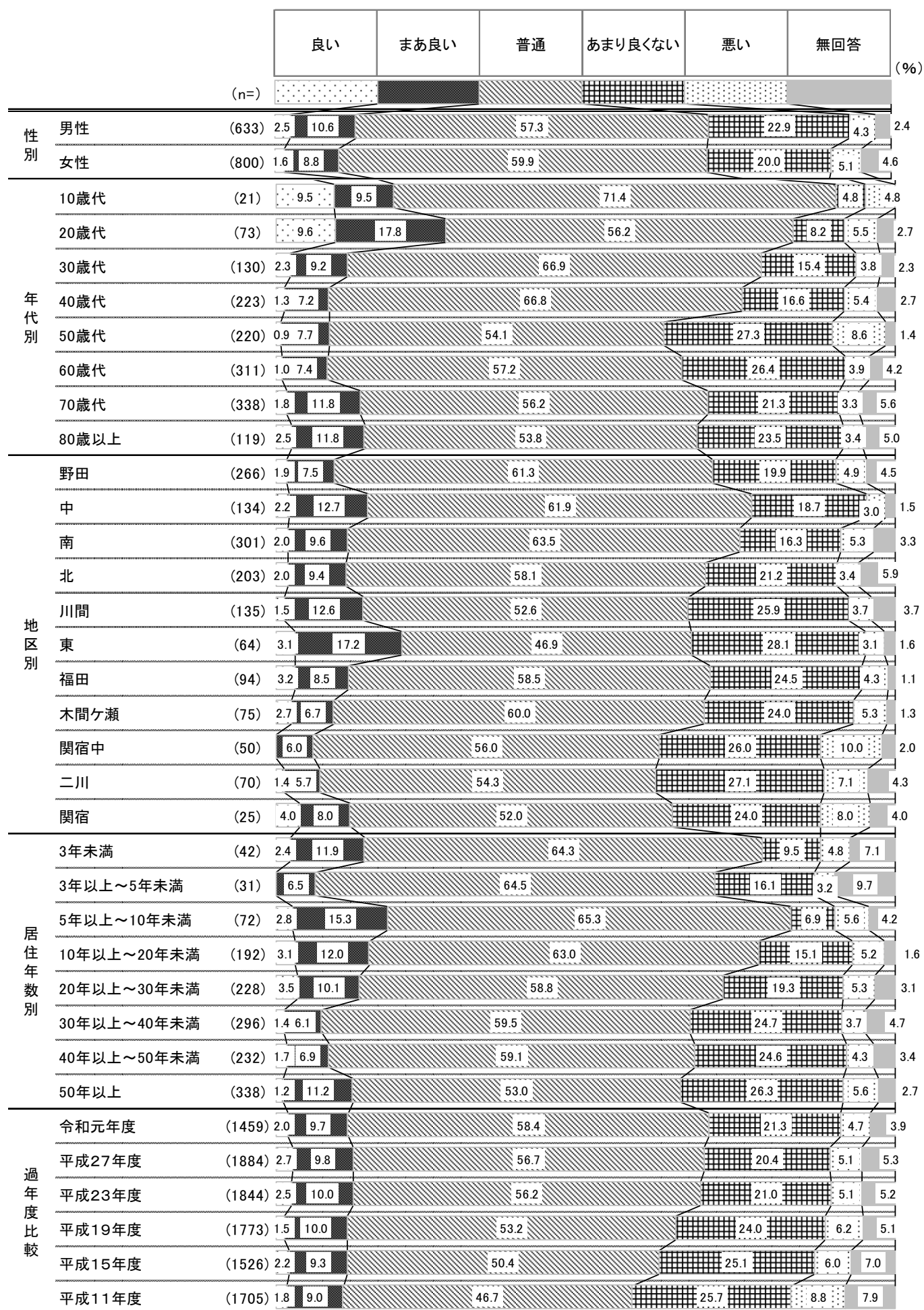
- 全ての年代で「普通 54～71%」が最も多い。
- 『良い』は、40～60 歳代 (8%強) が少なく、20 歳代 (27.4%) が最も多い。
- 10・20 歳代を除く全ての年代で、『良くない 19～36%』が『良い 8～14%』を上回った。

(地区別)

- 全ての地区で「普通 47～64%」が最も多い。
- 『良い』は、東地区 (20.3%) が最も多く、関宿中地区 (6.0%) が最も少ない。
- 全ての地区で、『良くない 22～36%』が『良い 6～20%』を上回った。

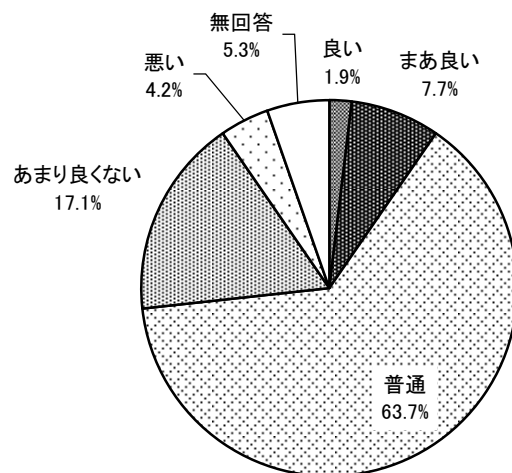
(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で「普通 53～65%」が最も多い。
- 『良い』は、「5 年以上～10 年未満 18.1%」が最も多く、「3 年以上～5 年未満 6.5%」が最も少ない。



テ)障がい者の支援や施設の状況

n=1459



(全体)

- 「普通」が6割を超える63.7%で最も多い。
- 『良くない21.3%』が『良い9.6%』より11.7P多い。

(性別)

- 男女いずれも「普通64%前後」が最も多い。
- 男女いずれも、『良くない21%前後』が『良い10%前後』より多い。

(年代別)

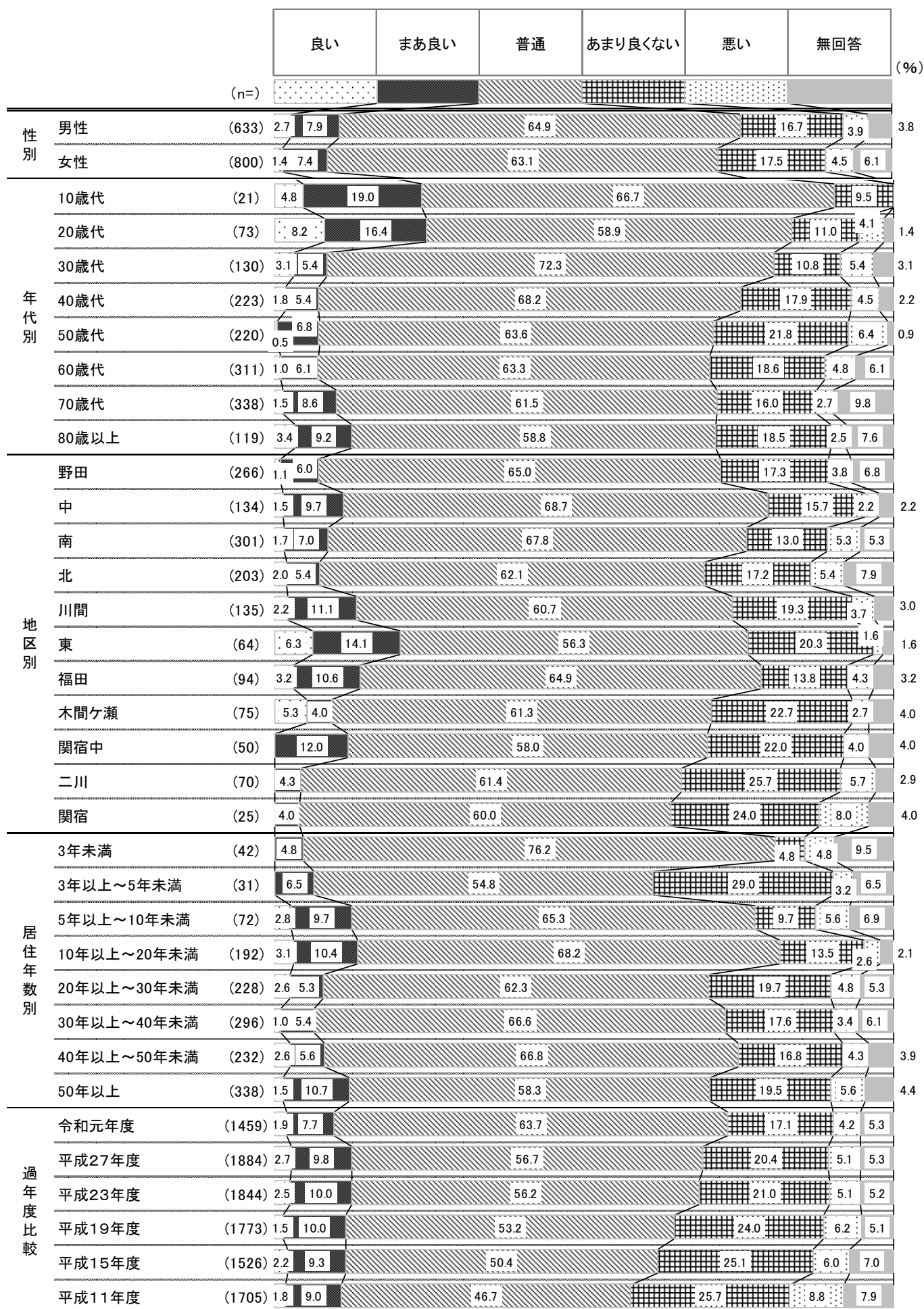
- 全ての年代で「普通59～72%」が最も多い。
- 『良い』は、40～60歳代(7%強)が少なく、20歳代(24.6%)が最も多い。
- 10・20歳代を除く全ての年代で、『良くない16～28%』が『良い7～13%』を上回った。

(地区別)

- 全ての地区で「普通56～69%」が最も多い。
- 『良い』は、東地区(20.4%)が最も多く、関宿地区(4.0%)が最も少ない。
- 全ての地区で、『良くない18～32%』が『良い4～20%』を上回った。

(居住年数別)

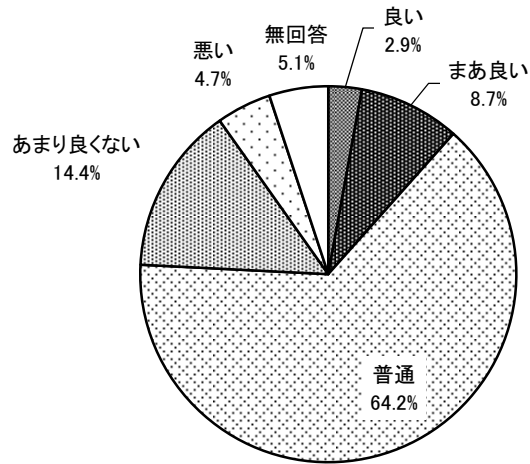
- 全ての居住年数帯で「普通55～76%」が最も多い。
- 『良い』は、「10年以上～20年未満13.5%」が最も多く、「3年未満4.8%」が最も少ない。
- 全ての居住年数帯で、『良くない10～32%』が『良い5～14%』を上回った。



(5)教育

ト)学校教育

n=1459



(全体)

- 「普通」が6割を超える64.2%で最も多い。
- 『良くない19.1%』が『良い11.6%』より7.5P多い。

(性別)

- 男女いずれも「普通64%前後」が最も多い。
- 男女いずれも、『良くない19%前後』が『良い12%前後』より多い。

(年代別)

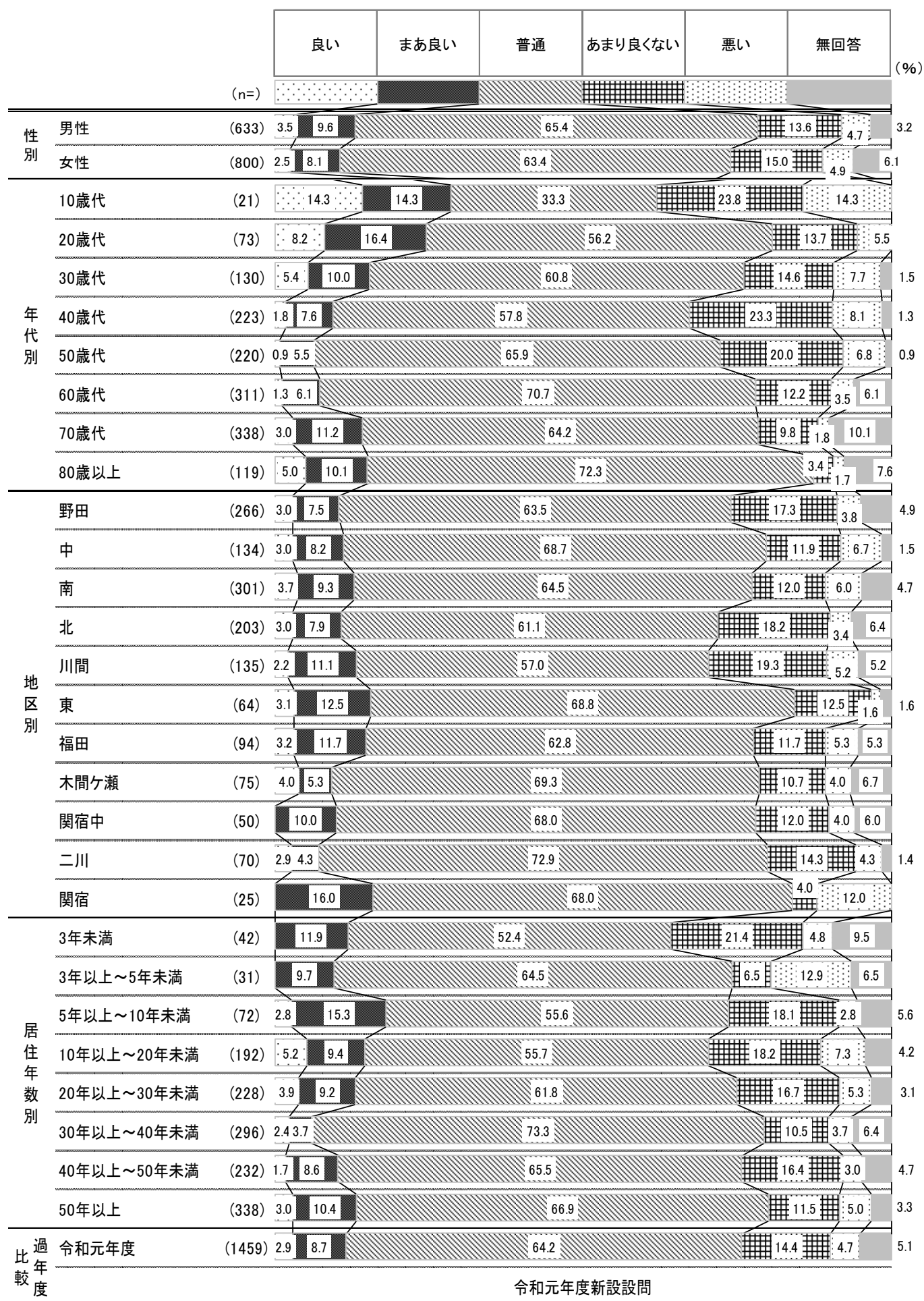
- 10歳代は『良くない38.1%』が最も多いが、20歳代以上では「普通56～72%」が最も多い。
- 『良い』は、50歳代(6.4%)が最も少なく、10歳代(28.6%)が最も多い。

(地区別)

- 全ての地区で「普通57～73%」が最も多い。
- 『良い』は、東地区(15.6%)が最も多く、二川地区(7.2%)が最も少ない。

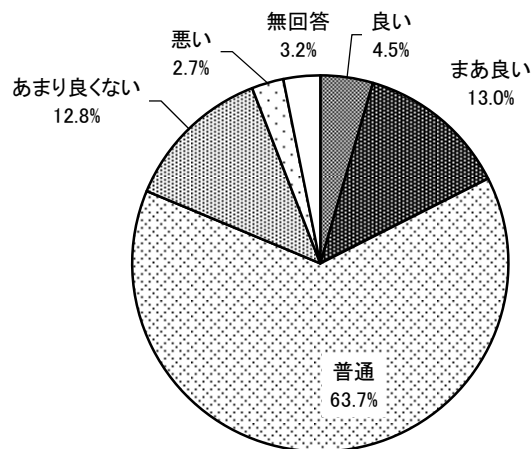
(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で「普通52～73%」が最も多い。
- 『良い』は、「5年以上～10年未満18.1%」が最も多く、「30年以上～40年未満6.1%」が最も少ない。
- 全ての居住年数帯で、『良くない14～26%』が『良い6～18%』を上回った。



ナ) 公民館や図書館等の生涯学習環境

n=1459



(全体)

- 「普通」が6割を超える63.7%で最も多い。
- 『良い17.5%』が『良くない15.5%』よりやや多い。

(性別)

- 男女いずれも「普通64%前後」が最も多い。
- 男性は『良い19.6%』が『良くない14.3%』を上回ったが、女性は『良くない16.8%』が『良い15.9%』をやや上回った。

(年代別)

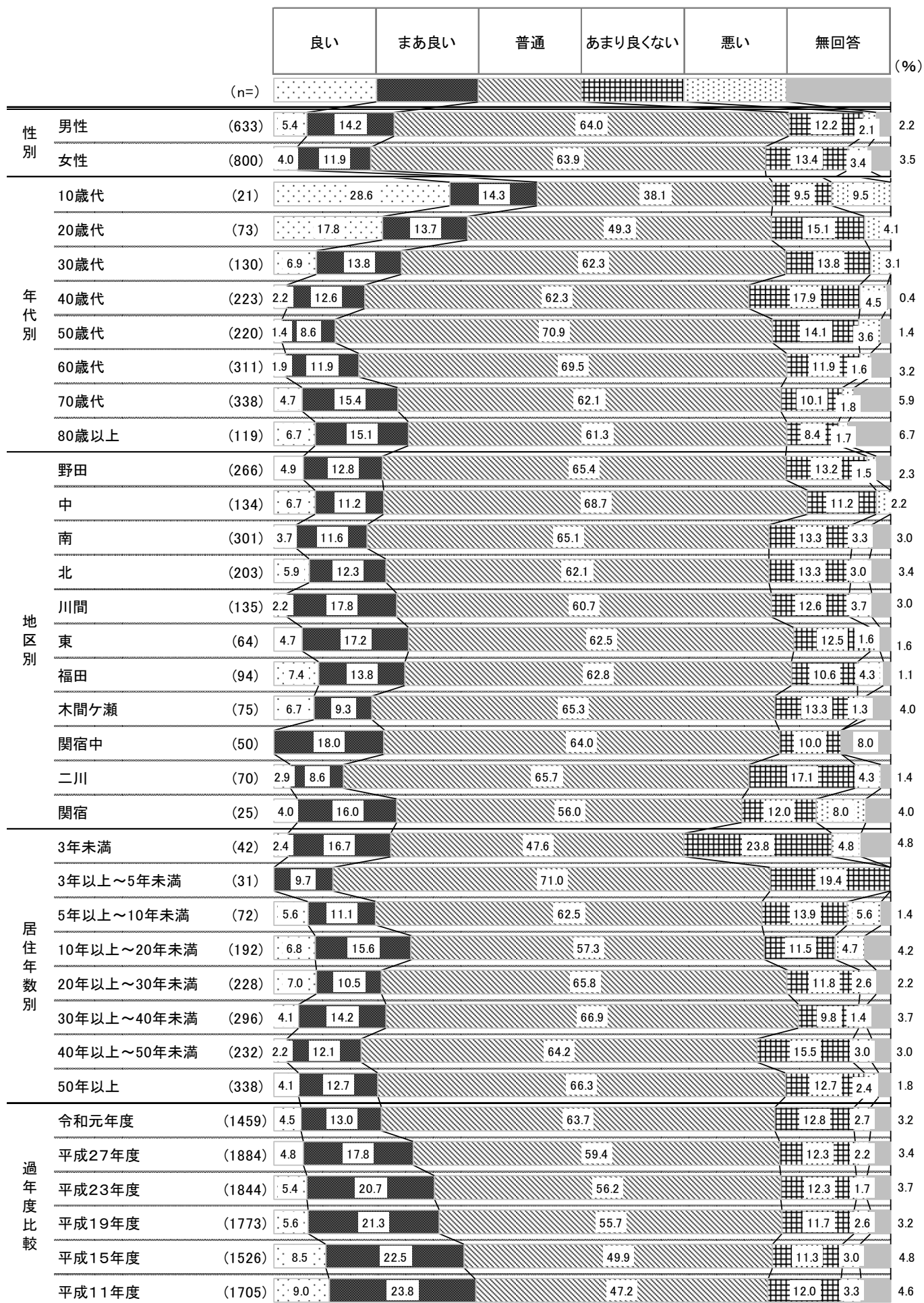
- 10歳代は『良い42.9%』が最も多いが、20歳代以上になると「普通49～71%」が最も多い。
- 『良い』は、50歳代(10.0%)が最も少なく、10歳代(42.9%)が最も多い。
- 40・50歳代では、『良くない18～22%』が『良い10～15%』を上回った。

(地区別)

- 全ての地区で「普通56～69%」が最も多い。
- 『良い』は、東地区(21.9%)が最も多く、二川地区(11.5%)が最も少ない。
- 8地区で『良い16～22%』が『良くない10～16%』を上回ったが、南・二川の2地区で『良くない17～21%』が『良い12～15%』を上回り、関宿地区では両者が同率(20.0%)であった。

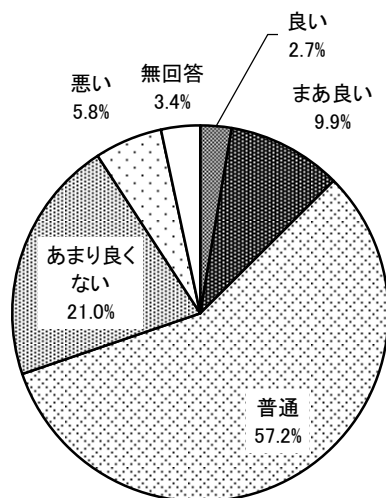
(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で「普通48～71%」が最も多い。
- 『良い』は、「10年以上～20年未満22.4%」が最も多く、「3年以上～5年未満9.7%」が最も少ない。



二) スポーツ・レクリエーション施設

n=1459



(全体)

- 「普通」が半数を超える 57.2%で最も多い。
- 『良くない 26.8%』が『良い 12.6%』より 14.2P 多い。

(性別)

- 男女いずれも「普通 57%前後」が最も多い。
- 男女いずれも、『良くない 27%前後』が『良い 13%前後』を上回った。

(年代別)

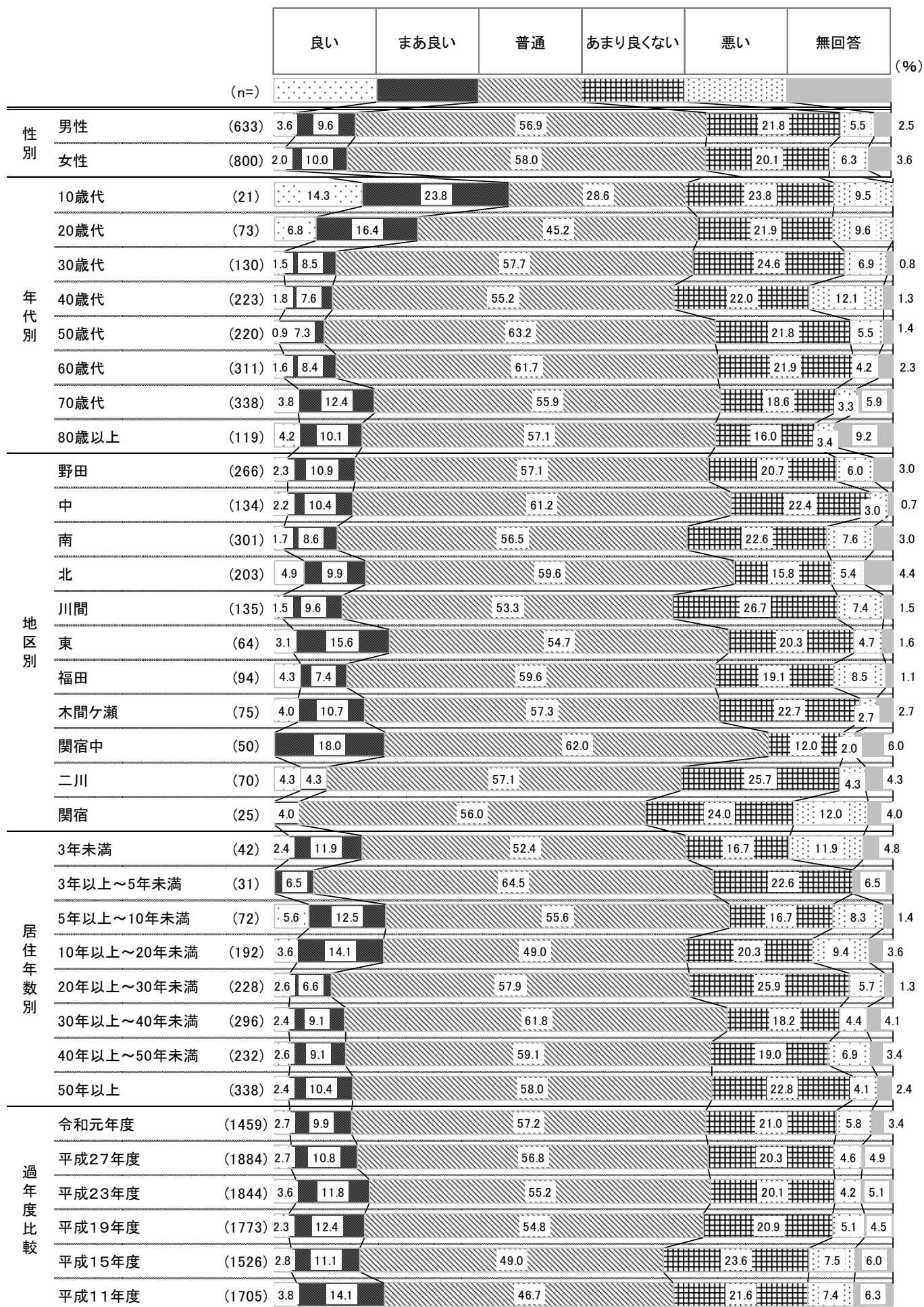
- 10 歳代は『良い 38.1%』が最も多いが、20 歳代以上は「普通 45～63%」が最も多い。
- 『良い』は、50 歳代 (8.2%) が最も少なく、10 歳代 (38.1%) が最も多い。
- 10 歳代を除く全ての年代で、『良くない 19～34%』が『良い 8～23%』を上回った。

(地区別)

- 全ての地区で「普通 53～62%」が最も多い。
- 『良い』は、東地区 (18.7%) が最も多く、関宿地区 (4.0%) が最も少ない。
- 関宿中地区を除く全ての地区で、『良くない 21～36%』が『良い 4～19%』を上回った。

(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で「普通 49～65%」が最も多い。
- 『良い』は、「5 年以上～10 年未満 18.1%」が最も多く、「3 年以上～5 年未満 6.5%」が最も少ない。
- 全ての居住年数帯で、『良くない 23～32%』が『良い 7～18%』を上回った。

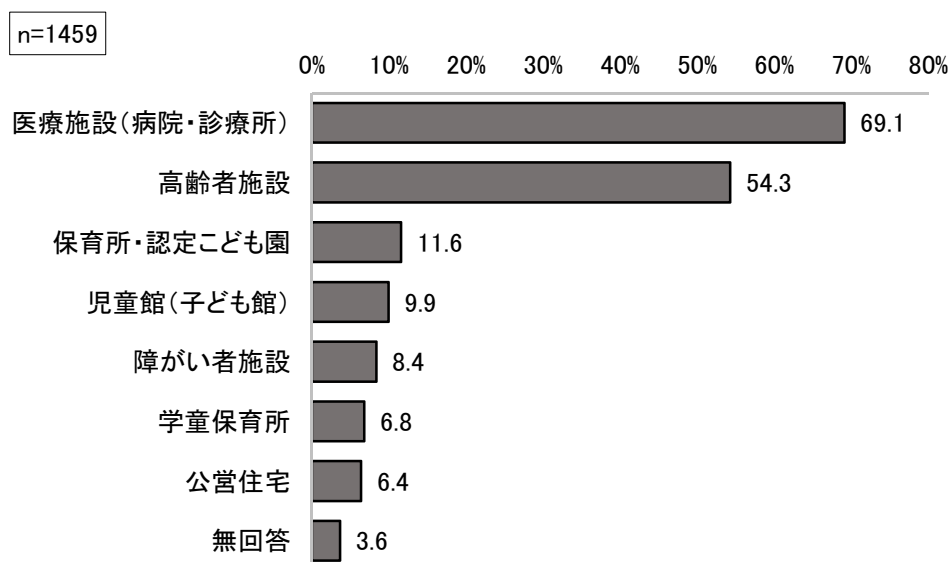


問5 公共施設への要望

(問5 あなたが、次の①「保健・医療・福祉施設」、②「教育・文化・スポーツ施設」、③「生活環境施設」のそれぞれの公共施設の中で、特に充実を望むものをそれぞれ2つ以内で選んでください。

◇「医療施設(病院・診療所)」が約7割、「高齢者施設」が5割台半ば

(1)保健・医療・福祉施設



(全体)

➤「保健・医療・福祉施設」の中で特に充実を望むものとしては、「医療施設(病院・診療所)」を回答者の69.1%が選択して最も多い。

(性別)

➤男女で、上位1～3位まで同じであった。

(年代別)

➤70歳代を除く全ての年代で「医療施設(病院・診療所)63～76%」が最も多く、70歳代では「高齢者施設74.3%」が最も多い。

➤これに次いで、10・20歳代は「保育所・認定こども園43～47%」、30歳代は「児童館(子ども館)26.9%」、40歳代以上は「高齢者施設40～71%」(70歳代は「医療施設62.7%」)であった。

(地区別)

➤全ての地区で、上位1・2位が同じであった。

(居住年数別)

➤全ての居住年数帯で「医療施設(病院・診療所)60～72%」が最も多いが、これ以外の施設の選択割合順位は居住年数によって異なる。

➤「高齢者施設」は、概ね居住年数が長くなるにつれて多くなる。

(過年度比較)

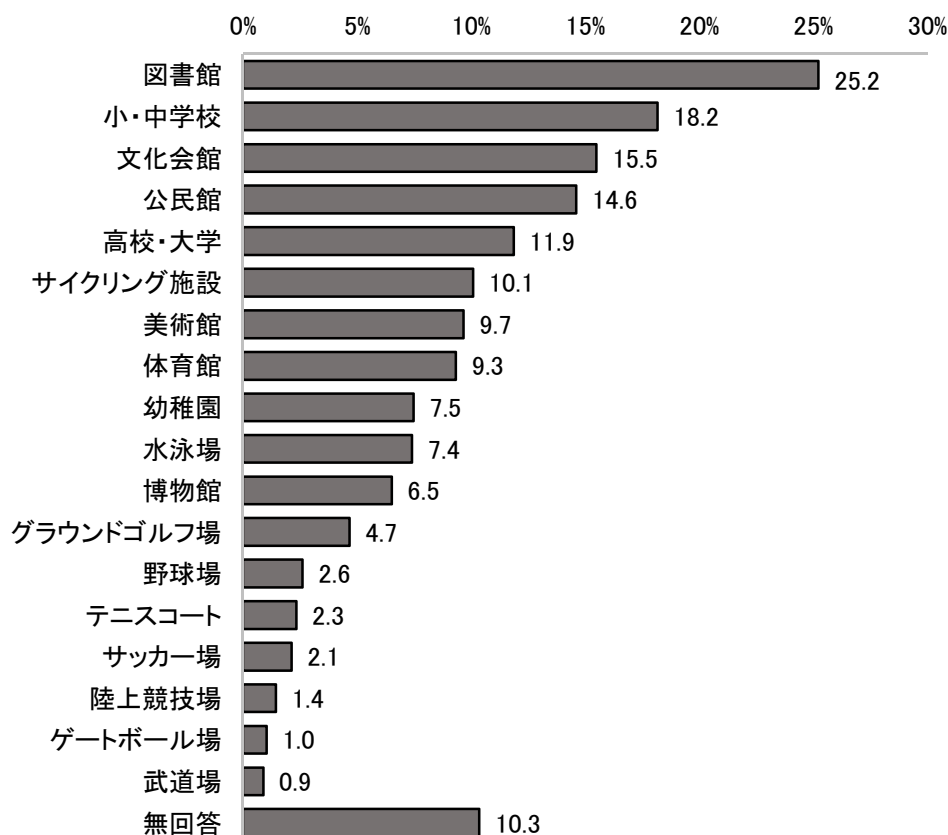
➤今年度、回答選択肢に「学童保育所」を追加したので正確な比較はできないが、前回調査(平成27年度)に比べて、「高齢者施設」が5.8P減少して、新規追加の「学童保育所」は6.8%であった。

(%)

			1 高 齢 者 施 設	2 障 が い 者 施 設	3 も 児 館 童 館 (子 ど	4 学 童 保 育 所	5 院 医 療 施 設 (病 診 療 所)	6 公 営 住 宅	7 こ 保 ど 育 も 所 ・ 認 定	無 回 答
		n								
全体		1459	54.3	8.4	9.9	6.8	69.1	6.4	11.6	3.6
性 別	男性	633	58.5	9.2	8.1	7.1	66.8	7.7	11.1	3.5
	女性	800	51.3	7.9	11.6	6.4	70.9	5.4	12.1	3.4
年 代 別	10歳代	21	19.0	14.3	9.5	9.5	76.2	14.3	42.9	0.0
	20歳代	73	17.8	8.2	12.3	9.6	65.8	8.2	46.6	0.0
	30歳代	130	23.8	8.5	26.9	13.8	63.1	3.1	24.6	3.1
	40歳代	223	39.9	8.5	19.7	6.7	71.7	8.1	11.7	1.8
	50歳代	220	50.9	8.6	8.2	4.5	75.5	9.1	8.6	2.3
	60歳代	311	63.0	8.4	6.1	7.1	71.1	6.1	8.0	2.3
	70歳代	338	74.3	9.5	4.1	5.3	62.7	5.6	5.3	5.6
	80歳以上	119	71.4	4.2	2.5	3.4	73.9	2.5	4.2	7.6
地 区 別	野田	266	55.3	8.3	7.5	7.1	66.5	8.3	15.4	3.0
	中	134	53.7	11.9	14.9	8.2	67.2	2.2	12.7	2.2
	南	301	53.2	8.3	10.3	6.0	70.4	6.3	12.6	3.0
	北	203	55.2	6.9	15.8	7.9	70.0	4.9	11.8	1.5
	川間	135	51.1	7.4	6.7	8.1	69.6	8.1	8.1	3.7
	東	64	50.0	7.8	4.7	14.1	75.0	3.1	12.5	3.1
	福田	94	60.6	10.6	13.8	3.2	63.8	4.3	7.4	6.4
	木間ヶ瀬	75	56.0	6.7	2.7	1.3	73.3	10.7	6.7	5.3
	関宿中	50	56.0	6.0	10.0	2.0	74.0	4.0	6.0	6.0
	二川	70	58.6	11.4	8.6	7.1	71.4	10.0	8.6	4.3
	関宿	25	52.0	12.0	12.0	4.0	72.0	0.0	16.0	8.0
居 住 年 数 別	3年未満	42	23.8	4.8	26.2	9.5	59.5	7.1	26.2	4.8
	3年以上～5年未満	31	29.0	6.5	25.8	9.7	64.5	9.7	32.3	0.0
	5年以上～10年未満	72	29.2	6.9	25.0	13.9	70.8	5.6	15.3	4.2
	10年以上～20年未満	192	41.7	10.4	14.1	7.3	68.8	8.3	14.6	3.6
	20年以上～30年未満	228	46.5	7.5	8.3	6.1	71.5	8.3	18.9	1.3
	30年以上～40年未満	296	59.1	7.4	10.1	6.1	67.9	5.1	9.1	4.4
	40年以上～50年未満	232	62.1	7.8	7.3	3.0	68.1	6.0	9.1	4.7
	50年以上	338	69.2	10.4	4.1	7.4	71.3	5.0	5.0	2.7
過 年 度 比 較	令和元年度	1459	54.3	8.4	9.9	6.8	69.1	6.4	11.6	3.6
	平成27年度	1884	60.1	8.9	11.1		68.7	5.5	12.9	2.6
	平成23年度	1844	57.8	9.6	11.7		71.6	5.6	13.4	
	平成19年度	1773	60.3	9.1	11.8		75.4	5.6	9.7	
	平成15年度	1526	64.6	10.9	8.2		73.7	7.3	8.7	

(2)教育・文化・スポーツ施設

n=1459



(全体)

➤「教育・文化・スポーツ施設」の中で特に充実を望むものとしては、回答がやや分散したが、なかでは「図書館」を回答者の 25.2%が選択して最も多い。

(性別)

➤男女いずれも、「図書館」が最も多いが、その割合は女性 (26.6%) が男性 (23.9%) よりやや多い。

(年代別)

➤10・20 歳代及び 50 歳代以上では「図書館 21~36%」が最も多く (10 歳代は「小・中学校 33.3%」も同率最多)、その中間の 30・40 歳代では「小・中学校 31~37%」が最も多い。これら以外の施設の選択割合順位は年代によって異なる。

(地区別)

➤9 地区で「図書館 19~34%」が最も多く、木間ヶ瀬・関宿の 2 地区では「文化会館 21~28%」が最も多い。これら以外の施設の選択割合順位は地区によって異なる。

(居住年数別)

➤ほとんどの居住年数帯で「図書館 21~32%」が最も多いが、「5 年以上~10 年未満」では「小・中学校 48.6%」が、「40 年以上~50 年未満」では「公民館 21.6%」が最も多い。これら以外の施設の選択割合順位は居住年数によって異なる。

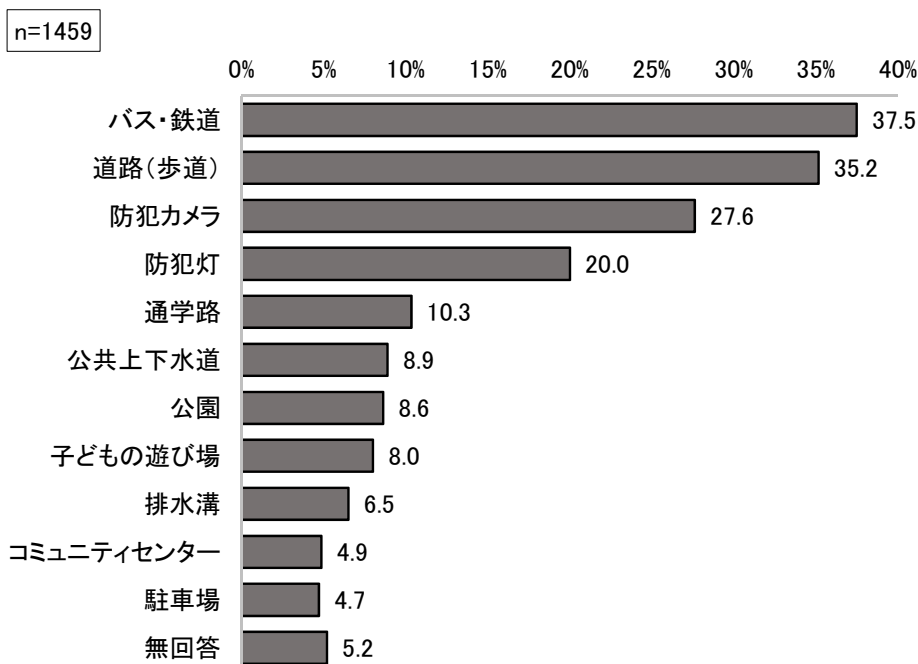
(過年度比較)

➤今年度、回答選択肢に「ゲートボール場」「グラウンドゴルフ場」「武道場」を追加したので正確な比較はできないが、前回調査 (平成 27 年度) で対象とした施設について大きな変化はない。

(%)

			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
		n	幼稚園	小・中学校	高校・大学	公民館	図書館	博物館	文化会館	美術館	体育館	陸上競技場	サイクリング施設	テニスコート	サッカー場	ゲートボール場	グラウンドゴルフ場	武道場	野球場	水泳場	無回答
全体		1459	7.5	18.2	11.9	14.6	25.2	6.5	15.5	9.7	9.3	1.4	10.1	2.3	2.1	1.0	4.7	0.9	2.6	7.4	10.3
性別	男性	633	7.4	13.4	12.6	12.0	23.9	9.6	16.1	10.4	9.2	1.7	13.9	2.1	2.7	1.4	5.1	1.1	4.6	6.2	9.0
	女性	800	7.8	22.3	11.4	16.5	26.6	4.0	15.3	9.0	9.4	1.3	7.1	2.5	1.8	0.8	4.1	0.8	1.1	8.5	10.9
年代別	10歳代	21	4.8	33.3	19.0	14.3	33.3	9.5	4.8	4.8	14.3	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	9.5	9.5	0.0
	20歳代	73	20.5	28.8	17.8	4.1	35.6	5.5	8.2	8.2	5.5	2.7	4.1	4.1	2.7	0.0	0.0	0.0	5.5	9.6	2.7
	30歳代	130	23.1	36.9	13.8	4.6	27.7	8.5	8.5	6.2	10.8	0.8	6.9	4.6	2.3	0.0	0.8	1.5	4.6	12.3	2.3
	40歳代	223	7.2	31.4	19.3	11.7	28.7	6.7	11.2	5.8	11.2	2.2	11.2	4.0	5.8	0.4	0.9	0.4	4.0	8.5	3.1
	50歳代	220	6.8	14.5	12.7	11.8	28.2	7.7	19.1	5.5	9.5	2.3	10.9	1.8	2.7	1.4	0.9	0.5	1.8	8.6	7.7
	60歳代	311	5.1	15.4	9.3	18.0	20.9	6.1	18.0	14.5	10.0	1.3	12.5	1.3	0.3	0.6	3.2	1.9	1.9	6.4	11.3
	70歳代	338	4.1	8.6	8.9	19.2	23.1	5.3	18.9	12.7	8.9	0.9	10.9	1.8	0.9	0.9	10.9	0.6	1.8	5.9	16.0
	80歳以上	119	1.7	5.9	5.9	20.2	21.8	6.7	16.0	8.4	5.0	0.8	6.7	0.8	1.7	5.0	11.8	0.8	0.8	3.4	21.8
地区別	野田	266	9.0	17.7	14.7	15.0	22.2	5.3	15.0	9.8	9.4	0.8	8.6	2.3	4.9	1.1	5.3	0.4	1.9	6.0	12.0
	中	134	10.4	24.6	14.9	11.2	26.1	9.7	11.2	11.9	7.5	1.5	10.4	2.2	1.5	0.7	4.5	0.0	3.0	7.5	8.2
	南	301	7.3	25.9	11.6	13.3	28.9	6.0	14.0	9.0	9.6	0.7	11.3	4.0	0.7	1.0	4.0	0.7	2.0	9.0	7.0
	北	203	6.4	18.2	13.8	16.7	25.6	8.4	17.7	9.4	8.4	1.5	8.9	1.5	3.0	1.0	3.9	1.5	3.9	7.4	7.4
	川間	135	5.2	15.6	8.1	14.1	24.4	5.9	14.1	8.9	15.6	3.0	9.6	1.5	1.5	0.7	6.7	1.5	2.2	5.2	11.1
	東	64	9.4	9.4	15.6	10.9	34.4	7.8	17.2	15.6	6.3	0.0	9.4	1.6	0.0	1.6	1.6	3.1	3.1	1.6	7.8
	福田	94	8.5	14.9	8.5	20.2	30.9	4.3	13.8	11.7	7.4	2.1	12.8	5.3	2.1	1.1	3.2	0.0	3.2	5.3	12.8
	木間ヶ瀬	75	6.7	12.0	8.0	14.7	13.3	9.3	21.3	12.0	9.3	4.0	13.3	0.0	0.0	1.3	2.7	0.0	5.3	9.3	12.0
	関宿中	50	2.0	6.0	6.0	18.0	28.0	4.0	22.0	8.0	10.0	2.0	12.0	0.0	6.0	2.0	2.0	2.0	0.0	14.0	14.0
	二川	70	4.3	14.3	14.3	15.7	18.6	5.7	15.7	4.3	11.4	2.9	8.6	1.4	1.4	1.4	5.7	1.4	2.9	17.1	10.0
	関宿	25	12.0	16.0	4.0	8.0	12.0	8.0	28.0	4.0	4.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	16.0	0.0	4.0	0.0	20.0
居住年数別	3年未満	42	16.7	19.0	14.3	4.8	26.2	7.1	9.5	4.8	7.1	0.0	7.1	7.1	2.4	0.0	2.4	0.0	4.8	19.0	11.9
	3年以上～5年未満	31	16.1	25.8	12.9	16.1	32.3	6.5	19.4	6.5	9.7	0.0	3.2	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	12.9
	5年以上～10年未満	72	15.3	48.6	12.5	8.3	27.8	6.9	8.3	4.2	8.3	1.4	6.9	0.0	2.8	0.0	1.4	0.0	5.6	8.3	8.3
	10年以上～20年未満	192	7.3	25.0	16.7	11.5	28.6	8.9	12.5	8.9	10.4	1.6	10.4	1.6	1.6	0.5	2.6	0.5	3.6	9.4	6.3
	20年以上～30年未満	228	11.4	21.5	12.3	12.3	29.8	6.6	16.7	5.3	8.3	1.3	9.2	3.9	1.3	0.9	1.3	0.9	3.5	10.1	6.6
	30年以上～40年未満	296	5.4	12.2	7.8	13.5	28.4	7.4	15.2	14.9	10.8	1.4	10.8	2.0	4.4	1.0	5.4	2.0	2.0	7.1	8.4
	40年以上～50年未満	232	5.2	18.1	13.4	21.6	19.4	4.7	15.1	10.3	10.3	1.7	10.8	1.7	2.6	1.3	6.0	0.9	3.0	6.9	8.6
	50年以上	338	5.3	10.7	11.2	16.6	20.7	5.6	19.5	10.1	8.0	1.8	10.9	1.5	0.6	1.8	7.7	0.6	0.9	4.4	16.3
比較	令和元年度	1459	7.5	18.2	11.9	14.6	25.2	6.5	15.5	9.7	9.3	1.4	10.1	2.3	2.1	1.0	4.7	0.9	2.6	7.4	10.3
	平成27年度	1884	7.4	17.1	11.4	13.1	27.0	8.2	15.9	11.8	7.5	0.8	12.8	3.3	2.4				2.2	9.5	10.0

(3)生活環境施設



(全体)

- 「生活環境施設」の中で特に充実を望むものとしては、「バス・鉄道 37.5%」「道路（歩道） 35.2%」をそれぞれ回答者の 36%前後が選択して多い。

(性別)

- 男性は「道路（歩道） 37.3%」が最も多く、次いで「バス・鉄道 37.1%」だが、女性ではこの順位が逆転して、「バス・鉄道 38.0%」が最も多く、次いで「道路（歩道） 34.1%」であった。

(年代別)

- 10～60 歳代では「バス・鉄道 36～48%」が最も多く、次いで「道路（歩道） 29～38%」であった。
- 70 歳代・80 歳以上では「道路（歩道） 37～40%」が最も多いが、これに次いでは、70 歳代は「バス・鉄道 33.7%」、80 歳以上は「防犯カメラ 30.3%」であった。

(地区別)

- 野田・中・南・北の 4 地区では「1 位 道路（歩道） 37～45%」「2 位 バス・鉄道 30～35%」「3 位 防犯カメラ 25～33%」「4 位 防犯灯 18～26%」まで同じであった。
- 川間・東・福田・木間ヶ瀬・関宿中・二川・関宿の 7 地区では「1 位 バス・鉄道 37～60%」は同じだが、これに次いでは、東・福田・木間ヶ瀬・関宿中・二川の 5 地区は「道路（歩道） 29～34%」、川間・関宿の 2 地区は「防犯カメラ 32～44%」であった。

(居住年数別)

- ほとんどの居住年数帯で「バス・鉄道 37～48%」が最も多いが、「3 年以上～5 年未満」では「防犯カメラ 32.3%」が、「10 年以上～20 年未満」「50 年以上」では「道路（歩道） 34～39%」が最も多い。

(過年度比較)

- 今年度、回答選択肢に「バス・鉄道」「防犯灯」「防犯カメラ」を追加したので正確な比較はできないが、前回調査（平成 27 年度）で対象とした施設は大きく減少して、新規追加の「バス・鉄道 37.5%」「防犯灯 20.0%」「防犯カメラ 27.6%」がそれぞれ大きな割合を占めた。

(%)

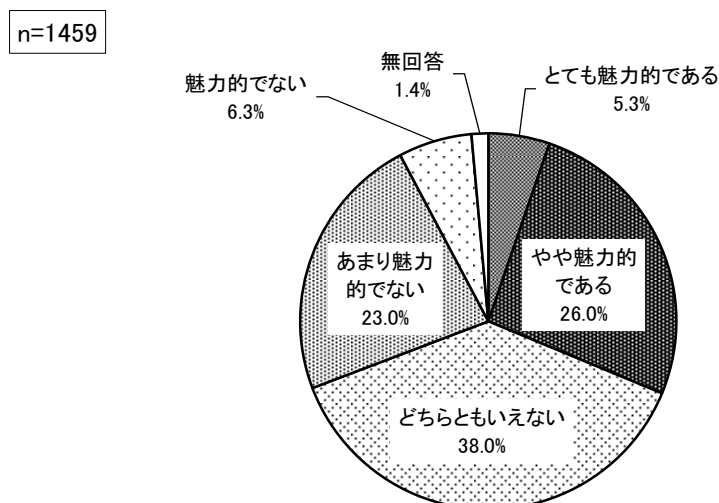
		n	1 通 学 路	2 公 園	3 駐 車 場	4 道 路 (歩 道)	5 公 共 上 下 水 道	6 排 水 溝	7 子 ど も の 遊 び 場	8 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー	9 バ ス ・ 鉄 道	10 防 犯 灯	11 防 犯 カ メ ラ	無 回 答
全体		1459	10.3	8.6	4.7	35.2	8.9	6.5	8.0	4.9	37.5	20.0	27.6	5.2
性 別	男性	633	10.0	7.4	3.8	37.3	12.0	7.1	6.8	4.9	37.1	18.8	28.9	4.7
	女性	800	10.9	9.8	5.4	34.1	6.6	6.1	9.3	4.8	38.0	20.8	26.8	5.1
年 代 別	10歳代	21	23.8	4.8	4.8	28.6	4.8	4.8	19.0	0.0	47.6	19.0	23.8	0.0
	20歳代	73	11.0	13.7	6.8	30.1	5.5	2.7	12.3	1.4	43.8	24.7	16.4	4.1
	30歳代	130	18.5	12.3	3.8	28.5	6.9	3.1	25.4	2.3	40.0	20.0	19.2	3.1
	40歳代	223	17.9	10.8	3.6	35.4	8.5	4.9	13.9	2.2	35.9	18.4	30.0	3.1
	50歳代	220	7.7	7.7	5.0	38.2	8.6	5.9	3.6	5.5	46.4	21.4	27.3	2.7
	60歳代	311	9.0	7.4	4.2	35.4	11.6	8.7	5.5	5.8	37.6	20.9	29.6	4.2
	70歳代	338	7.1	8.0	6.2	37.0	8.6	6.8	3.3	6.5	33.7	19.5	29.9	7.1
	80歳以上	119	3.4	5.9	2.5	40.3	10.1	10.9	3.4	6.7	26.9	16.0	30.3	11.8
地 区 別	野田	266	9.8	7.9	7.5	40.2	4.1	4.1	7.9	4.1	35.0	19.2	33.1	5.3
	中	134	10.4	11.9	3.0	44.8	12.7	6.7	12.7	1.5	35.1	17.9	24.6	3.0
	南	301	10.3	8.6	2.0	37.9	11.0	7.0	9.6	5.6	32.2	21.6	27.9	5.6
	北	203	9.9	10.3	3.9	36.5	6.4	4.9	8.9	8.4	30.0	26.1	27.1	5.9
	川間	135	14.1	6.7	5.2	26.7	11.1	5.9	5.9	5.9	37.0	19.3	31.9	3.7
	東	64	10.9	4.7	10.9	32.8	14.1	7.8	7.8	6.3	40.6	17.2	20.3	4.7
	福田	94	8.5	9.6	5.3	28.7	10.6	8.5	7.4	6.4	50.0	14.9	25.5	2.1
	木間ヶ瀬	75	14.7	8.0	6.7	33.3	10.7	14.7	4.0	0.0	50.7	12.0	13.3	4.0
	関宿中	50	8.0	12.0	0.0	34.0	16.0	2.0	2.0	2.0	42.0	20.0	28.0	10.0
	二川	70	11.4	11.4	4.3	31.4	2.9	10.0	5.7	2.9	54.3	17.1	24.3	4.3
	関宿	25	4.0	0.0	4.0	12.0	8.0	4.0	8.0	4.0	60.0	20.0	44.0	8.0
居 住 年 数 別	3年未満	42	16.7	9.5	2.4	38.1	0.0	2.4	16.7	2.4	47.6	23.8	21.4	7.1
	3年以上～5年未満	31	16.1	16.1	9.7	25.8	3.2	6.5	12.9	3.2	29.0	19.4	32.3	6.5
	5年以上～10年未満	72	20.8	15.3	0.0	23.6	11.1	4.2	20.8	1.4	38.9	22.2	25.0	4.2
	10年以上～20年未満	192	17.2	12.0	4.2	34.4	4.7	4.7	12.0	5.2	33.9	20.8	28.1	4.2
	20年以上～30年未満	228	7.9	6.6	5.7	35.1	9.2	5.7	9.6	4.4	41.7	23.7	20.2	5.3
	30年以上～40年未満	296	7.4	9.1	3.4	36.1	11.1	6.8	6.4	5.4	37.8	23.6	26.4	4.1
	40年以上～50年未満	232	10.3	8.6	3.0	37.1	8.6	9.1	5.2	6.0	37.1	17.2	30.6	3.4
	50年以上	338	7.4	5.6	7.4	38.5	10.9	7.4	3.8	4.7	36.4	14.8	33.1	6.5
比 較	令和元年度	1459	10.3	8.6	4.7	35.2	8.9	6.5	8.0	4.9	37.5	20.0	27.6	5.2
	平成27年度	1884	17.6	17.8	7.8	60.5	15.1	18.1	15.6	11.9				3.9

2 野田市の景観

問6 野田市の景観の魅力

(問6 あなたは、野田市の景観(自然や歴史、文化、街並みなどを見たり、感じたりすること)を魅力的だと感じますか。次の中から1つだけ選んでください。)

◇『魅力的である(計)』が約3割



(全体)

➤野田市の景観(自然や歴史、文化、街並みなど)については、「どちらともいえない」が38.0%で最も多いが、『魅力的31.3%』が『魅力的でない29.3%』を若干上回った。

(性別)

➤男性は「どちらともいえない37.6%」が最も多く、『魅力的34.1%』が『魅力的でない27.6%』を6.5P上回った。

➤女性も「どちらともいえない38.0%」が最も多いが、男性とは逆に、『魅力的でない31.1%』が『魅力的29.3%』を若干上回った。

(年代別)

➤ほとんどの年代で「どちらともいえない37~42%」が最も多いが、10・70歳代では『魅力的36~43%』が最も多い。

(地区別)

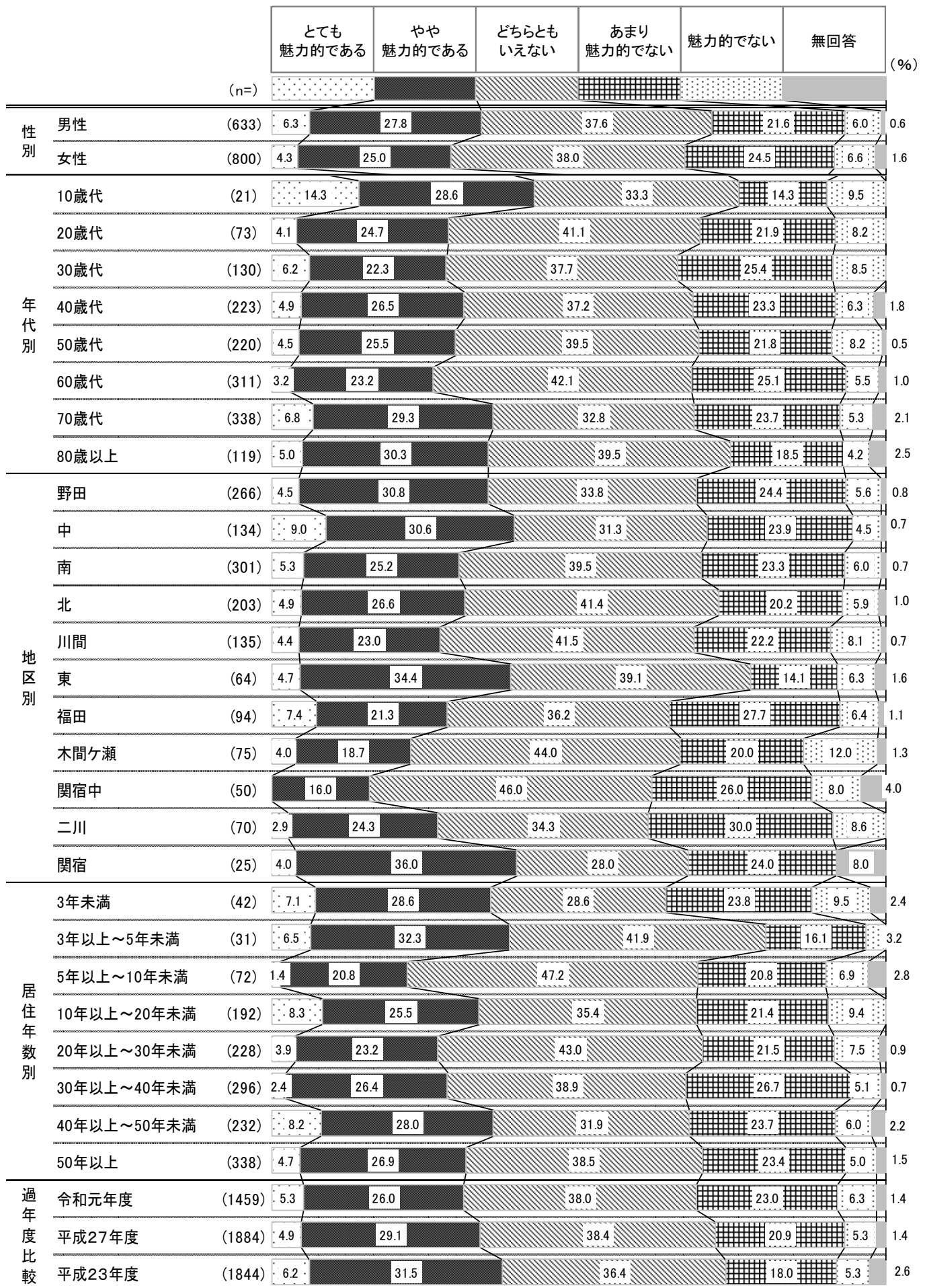
➤野田・中・東・関宿の4地区では『魅力的35~40%』が最も多いが(東地区は「どちらともいえない」も同率で39.1%)、南・北・川間・福田・木間ヶ瀬・関宿中の6地区では『どちらともいえない36~46%』が、二川地区では『魅力的でない38.6%』が最も多い。

(居住年数別)

➤ほとんどの居住年数帯で「どちらともいえない35~47%」が最も多いが、「3年未満」「40年以上~50年未満」では『魅力的36%前後』が最も多い。

(過年度比較)

➤『魅力的』は、前々回調査(平成23年度)以降減少傾向にある(37.7%→34.0%→31.3%)。



問7 野田市の景観に対する満足度

(問7 あなたは、野田市の景観にどのくらい満足していますか。下記の「ア～ケ」について、あてはまるものをそれぞれ1～5の中から1つだけ選んでください。)

◇『満足(計)』は「自然の景観や眺望(里山や桜など)」で約6割

【総合】

➤提示した9項目別に『満足』(「満足」「まあ満足」の合計。以下、同じ)の割合を見ると、「自然の景観や眺望(里山や桜など)」のみが半数を超えて58.2%で、最も満足度が高い。

➤これ以外では、「大規模な公園・緑地の景観 39.9%」「寺や神社、古い街並みなどの歴史的景観 39.1%」「水辺の環境 36.0%」「農村集落のある田園景観 33.3%」が33～40%の範囲にあり、他の景観については23%未満であった。

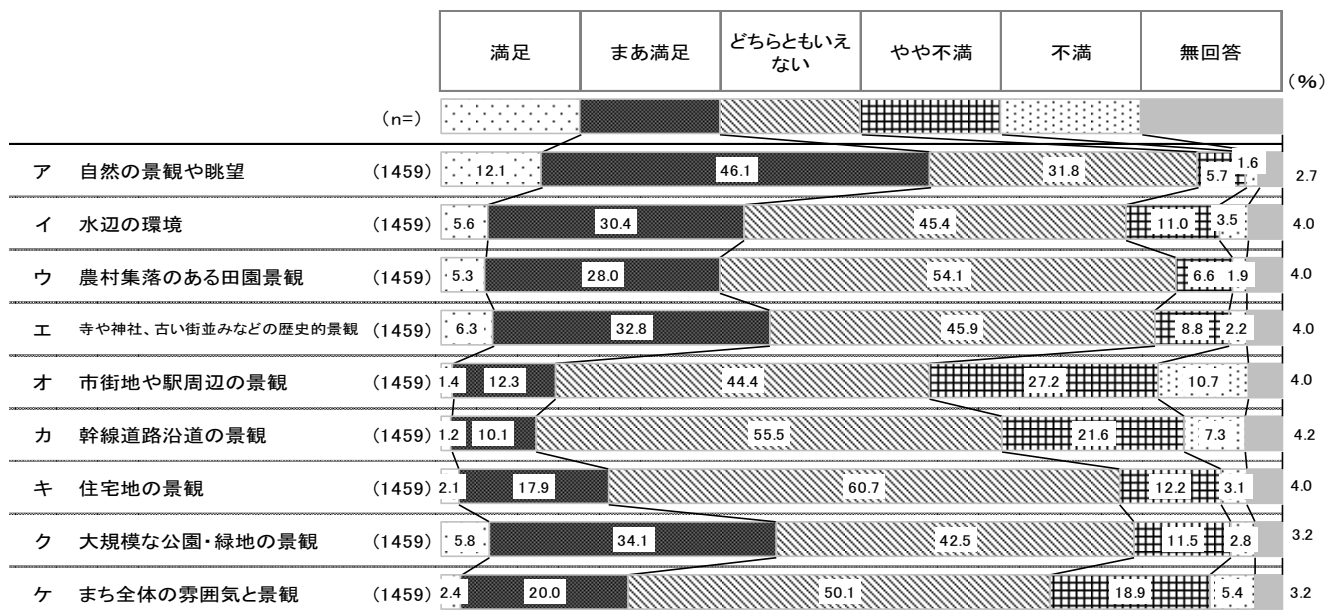
➤また、9項目中の以下に示す3項目では、『不満』が『満足』を上回った。

- オ) 市街地や駅周辺の景観
- カ) 幹線道路沿道の景観
- ケ) まち全体の雰囲気と景観

【野田市の景観の満足度】※『満足』割合降順

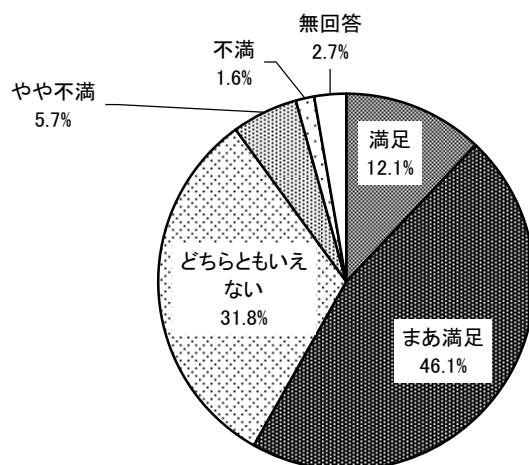
は項目別に「満足」「不満」を比較して割合の大きい方

		n	満足	満足	まあ満足	いどちらもないとも	不満	やや不満	不満	無回答
問7	ア) 自然の景観や眺望(里山や桜など)	1459	58.2	12.1	46.1	31.8	7.3	5.7	1.6	2.7
	ク) 大規模な公園・緑地の景観(総合公園や中央の杜など)	1459	39.9	5.8	34.1	42.5	14.3	11.5	2.8	3.2
	エ) 寺や神社、古い街並みなどの歴史的景観	1459	39.1	6.3	32.8	45.9	11.0	8.8	2.2	4.0
	イ) 水辺の環境(川や沼など)	1459	36.0	5.6	30.4	45.4	14.5	11.0	3.5	4.0
	ウ) 農村集落のある田園景観	1459	33.3	5.3	28.0	54.1	8.5	6.6	1.9	4.0
	ケ) まち全体の雰囲気と景観	1459	22.4	2.4	20.0	50.1	24.3	18.9	5.4	3.2
	キ) 住宅地の景観	1459	20.0	2.1	17.9	60.7	15.3	12.2	3.1	4.0
	オ) 市街地や駅周辺の景観	1459	13.7	1.4	12.3	44.4	37.9	27.2	10.7	4.0
	カ) 幹線道路沿道の景観	1459	11.3	1.2	10.1	55.5	28.9	21.6	7.3	4.2



ア) 自然の景観や眺望(里山や桜など)

n=1459



(全体)

- 『満足』が半数を超える 58.2%で、「どちらともいえない 31.8%」「不満 7.3%」を大きく上回った。

(性別)

- 男女いずれも『満足 58%強』が最も多い。
- 男女いずれも、『満足 58%強』が『不満 8%前後』を大きく上回っている。

(年代別)

- 全ての年代で『満足 52～81%』が最も多い。その割合は、50 歳代 (52.2%) が最も少なく、10 歳代 (81.0%) が最も多い。
- 全ての年代で、『満足 52～81%』が『不満 5～8%』を大きく上回った。

(地区別)

- 全ての地区で『満足』が最も多い。その割合は、野田地区 (65.8%) が最も多く、関宿中地区 (42.0%) が最も少ない。
- 全ての地区で、『満足 42～66%』が『不満 0～16%』を大きく上回った。

(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で『満足』が最も多い。「5 年以上～10 年未満 63.9%」が最も多く、「20 年以上～30 年未満 54.8%」が最も少ない。
- 全ての居住年数帯で、『満足 55～64%』が『不満 1～12%』を大きく上回った。

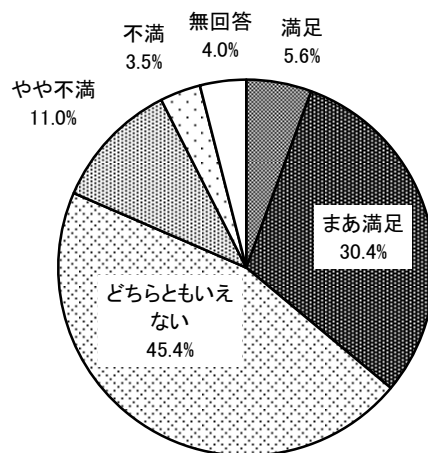
(過年度比較)

- 『満足』は、前回調査 (平成 27 年度) と比べて若干減少した (60.6%→58.2%)。



イ) 水辺の環境(川や沼など)

n=1459



(全体)

- 「どちらともいえない」が45.4%で最も多い。
- 『満足 36.0%』が『不満 14.5%』より21.5P多い。

(性別)

- 男女いずれも「どちらともいえない」が最も多く、その割合は、女性(49.4%)が男性(41.1%)より8.3P多い。
- 男女いずれも『満足 34～40%』が『不満 15%前後』を大きく上回っている。

(年代別)

- 10・20歳代は『満足 41%前後』が最も多いが、30歳代以上になると「どちらともいえない 40～50%」が最も多い。
- 『満足』は、10歳代(42.9%)が最も多く、30歳代(29.2%)が最も少ない。
- 全ての年代で、『満足 29～43%』が『不満 9～25%』を上回った。

(地区別)

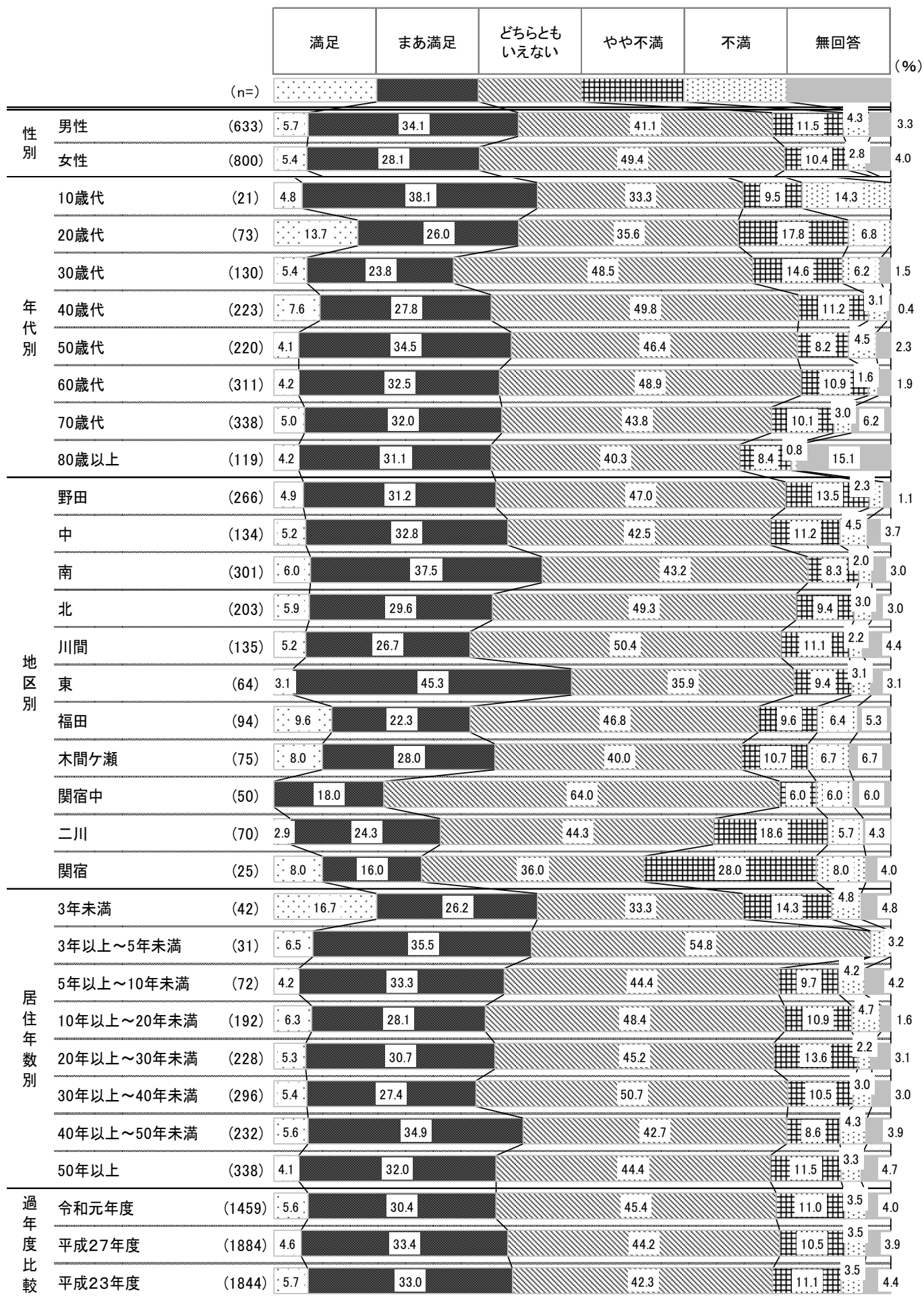
- 9地区で「どちらともいえない 36～64%」が最も多いが、南・東の2地区では『満足(43.5%、48.4%)』が最も多い。
- 『満足』は、東地区(48.4%)が最も多く、関宿中地区(18.0%)が最も少ない。
- 関宿地区を除く10地区で、『満足 18～48%』が『不満 10～24%』を上回った。

(居住年数別)

- ほとんどの居住年数帯で「どちらともいえない 43～55%」が最も多いが、「3年未満」では『満足 42.9%』が最も多い。
- 『満足』は、「30年以上～40年未満 32.8%」が最も少なく、「3年未満 42.9%」が最も多い。
- 全ての居住年数帯で、『満足 33～43%』が『不満 3～19%』を上回った。

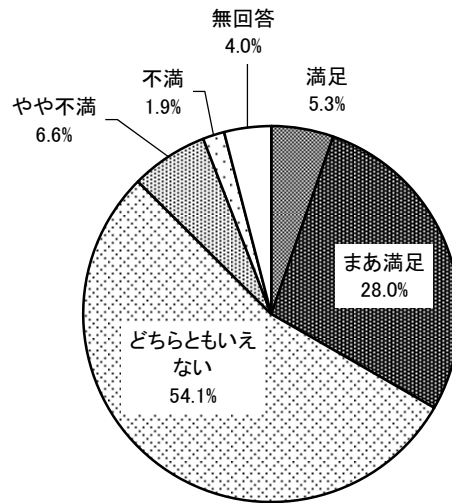
(過年度比較)

- 『満足』は、前回調査(平成27年度)と比べて若干減少した(38.0%→36.0%)。



ウ) 農村集落のある田園景観

n=1459



(全体)

- 「どちらともいえない」が半数を超える 54.1%で最も多い。
- 『満足 33.3%』が『不満 8.5%』より 24.8P 多い。

(性別)

- 男女いずれも「どちらともいえない 54%強」が最も多い。
- 男女いずれも、『満足 34%前後』が『不満 8%強』を大きく上回っている。

(年代別)

- 10 歳代は『満足 57.1%』が最も多いが、20 歳代以上になると「どちらともいえない 49～59%」が最も多くなる。
- 『満足』は、10 歳代 (57.1%) が最も多く、80 歳以上 (29.4%) が最も少ない。
- 全ての年代で、『満足 29～57%』が『不満 0～12%』を上回った。

(地区別)

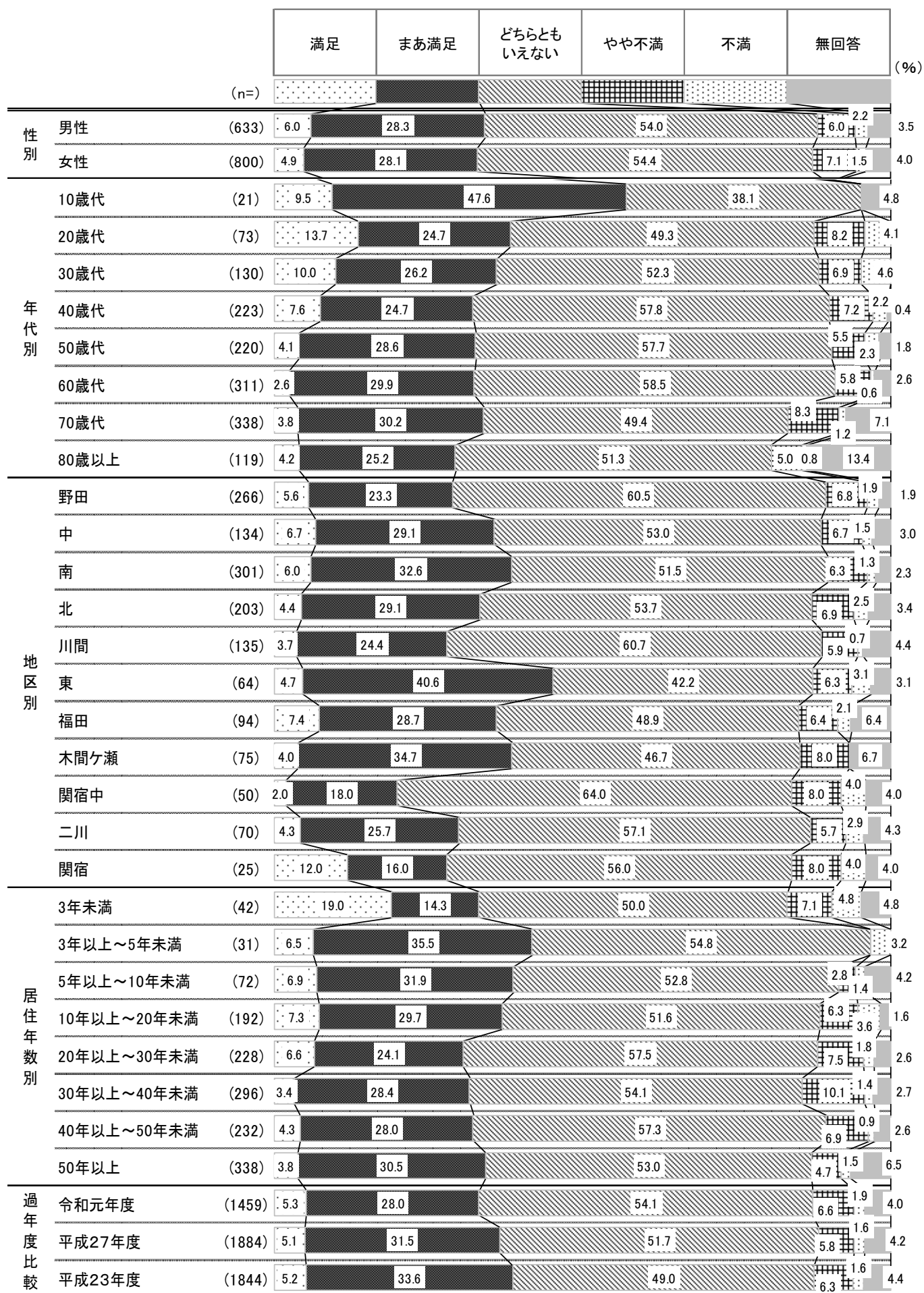
- 10 地区で「どちらともいえない 47～64%」が多いが、東地区では『満足 45.3%』が最も多い。
- 『満足』は、東地区 (45.3%) が最も多く、関宿中地区 (20.0%) が最も少ない。
- 全ての地区で、『満足 20～45%』が『不満 7～12%』を上回った。

(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で「どちらともいえない 50～58%」が最も多い。
- 『満足』は、「3 年以上～5 年未満 42.0%」が最も多く、「20 年以上～30 年未満 30.7%」が最も少ない。
- 全ての居住年数帯で、『満足 31～42%』が『不満 3～12%』を上回った。

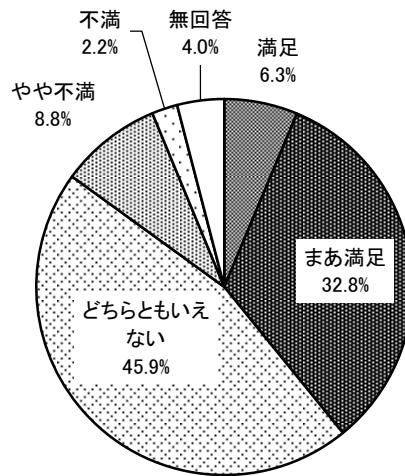
(過年度比較)

- 『満足』は、前回調査 (平成 27 年度) と比べてやや減少した (36.6%→33.3%)。



工) 寺や神社、古い街並みなどの歴史的景観

n=1459



(全体)

- 「どちらともいえない」が45.9%で最も多い。
- 『満足 39.1%』が『不満 11.0%』より28.1P多い。

(性別)

- 男女いずれも「どちらともいえない46%前後」が最も多い。
- 男女いずれも、『満足 39%前後』が『不満 11%前後』を大きく上回っている。

(年代別)

- 10・20歳代は『満足 53～67%』が最も多いが、30歳代以上になると「どちらともいえない42～52%」が最も多くなる。
- 『満足』は、60歳代(33.4%)が最も少なく、10歳代(66.6%)が最も多い。
- 全ての年代で、『満足 33～67%』が『不満 5～14%』を上回った。

(地区別)

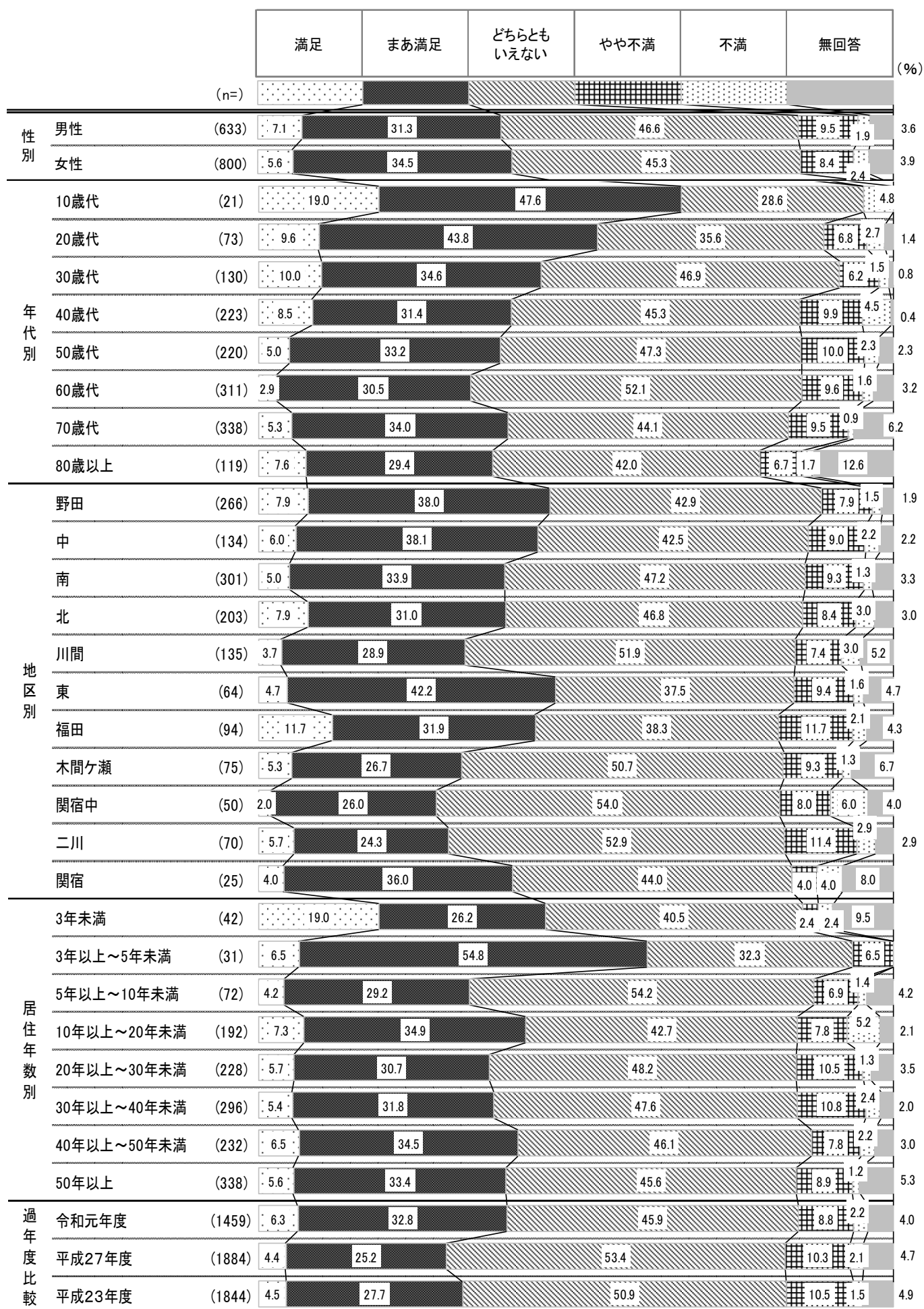
- 野田・中・東・福田の4地区は『満足 44～47%』が最も多いが、他の7地区では「どちらともいえない44～54%」が最も多い。
- 『満足』は、東地区(46.9%)が最も多く、関宿中地区(28.0%)が最も少ない。
- 全ての地区で、『満足 28～47%』が『不満 8～14%』を上回った。

(居住年数別)

- 「5年未満」では『満足 45～61%』が最も多いが、「5年以上」では全ての居住年数帯で「どちらともいえない43～54%」が最も多い。
- 『満足』は、「3年以上～5年未満 61.3%」が最も多く、「5年以上～10年未満 33.4%」が最も少ない。
- 全ての居住年数帯で、『満足 33～61%』が『不満 5～13%』を上回った。

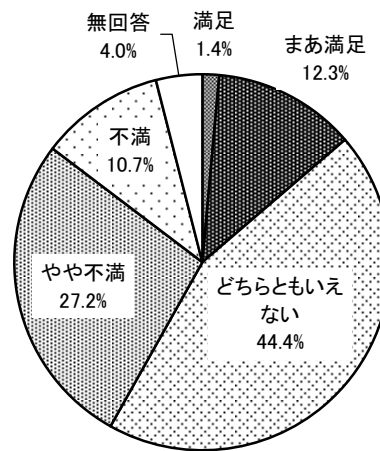
(過年度比較)

- 『満足』は、前回調査(平成27年度)と比べて9.5P増加した(29.6%→39.1%)。



オ)市街地や駅周辺の景観

n=1459



(全体)

- 「どちらともいえない」が 44.4%で最も多い。
- 『不満 37.9%』が『満足 13.7%』より 24.2P 多い。

(性別)

- 男女いずれも、「どちらともいえない 44%強」が最も多い。
- 男女いずれも、『不満 37%強』が『満足 14%前後』を大きく上回っている。

(年代別)

- 30 歳代のみは『不満 43.9%』が最も多いが、それ以外の年代では「どちらともいえない 43～47%」が最も多い。
- 『満足』は、10・20 歳代（20%前後）が 30 歳代以上（11～15%）に比べて多い。
- 全ての年代で、『不満 29～44%』が『満足 11～22%』を上回った。

(地区別)

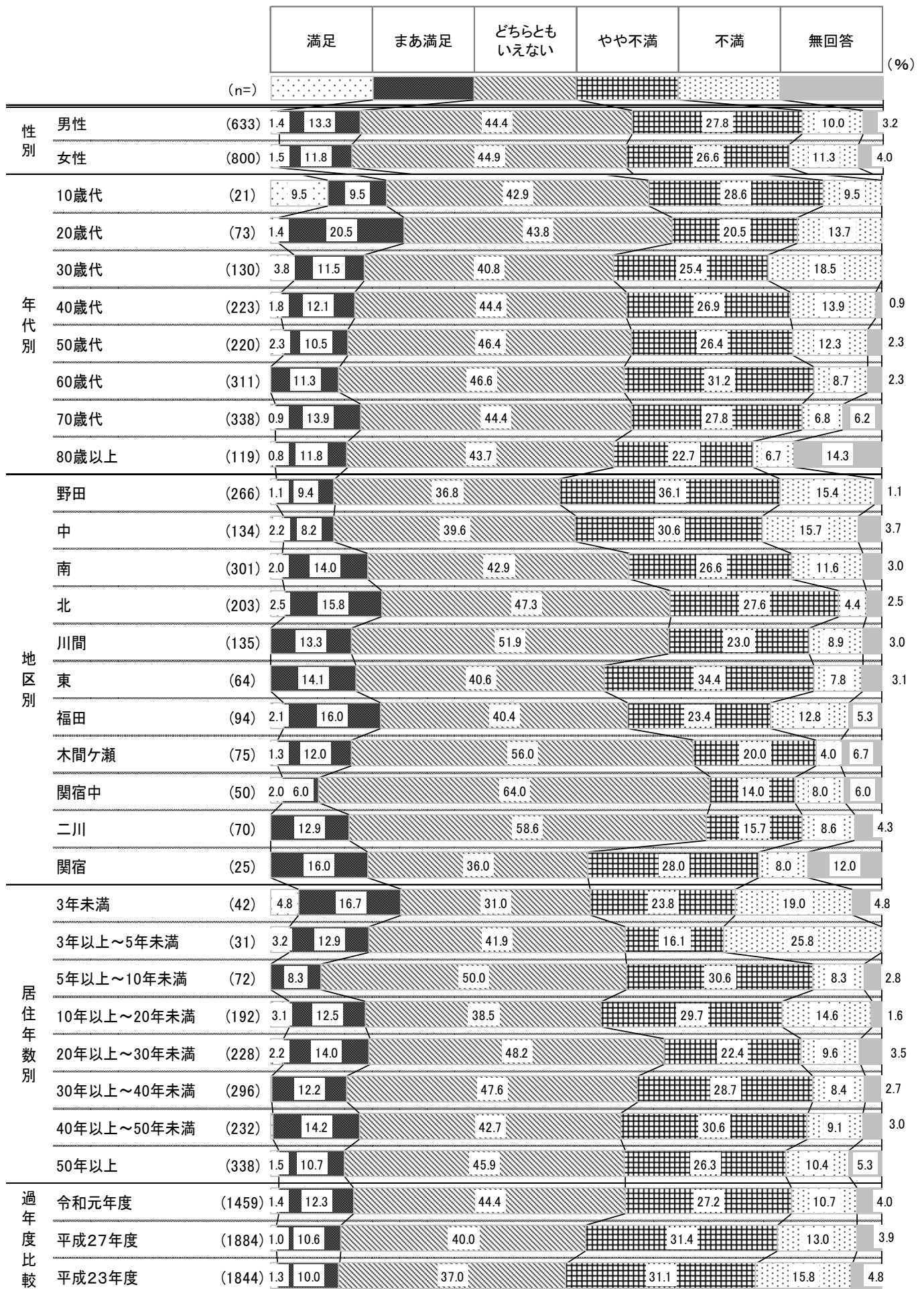
- 7 地区で「どちらともいえない 40～64%」が最も多いが、野田・中・東の 3 地区では『不満 42～52%』が最も多く、関宿地区では両者が同率 36.0%であった。
- 『満足』は、北地区（18.3%）が最も多く、関宿中地区（8.0%）が最も少ない。
- 全ての地区で、『不満 22～52%』が『満足 8～18%』を上回った。

(居住年数別)

- 『満足』は、「3 年未満 21.5%」が最も多く、「5 年以上～10 年未満 8.3%」が最も少ない。
- 全ての居住年数帯で、『不満 32～44%』が『満足 8～22%』を上回った。

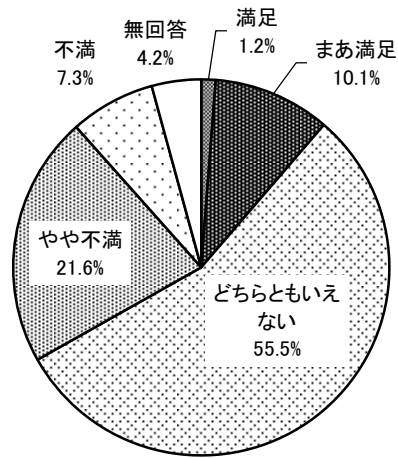
(過年度比較)

- 『満足』は、前回調査（平成 27 年度）と比べて若干増加した（11.6%→13.7%）。



カ)幹線道路沿道の景観

n=1459



(全体)

- 「どちらともいえない」が半数を超える 55.5%で最も多い。
- 『不満 28.9%』が『満足 11.3%』より 17.6P 多い。

(性別)

- 男女いずれも「どちらともいえない 55%前後」が最も多い。
- 男女いずれも、『不満 29%前後』が『満足 10～14%』を大きく上回っている。

(年代別)

- 全ての年代で「どちらともいえない 48～67%」が最も多い。
- 『満足』は、40 歳代 (8.9%) が最も少なく、10 歳代 (19.1%) が最も多い。
- 10 歳代を除く全ての年代で、『不満 20～38%』が『満足 9～15%』を上回った。

(地区別)

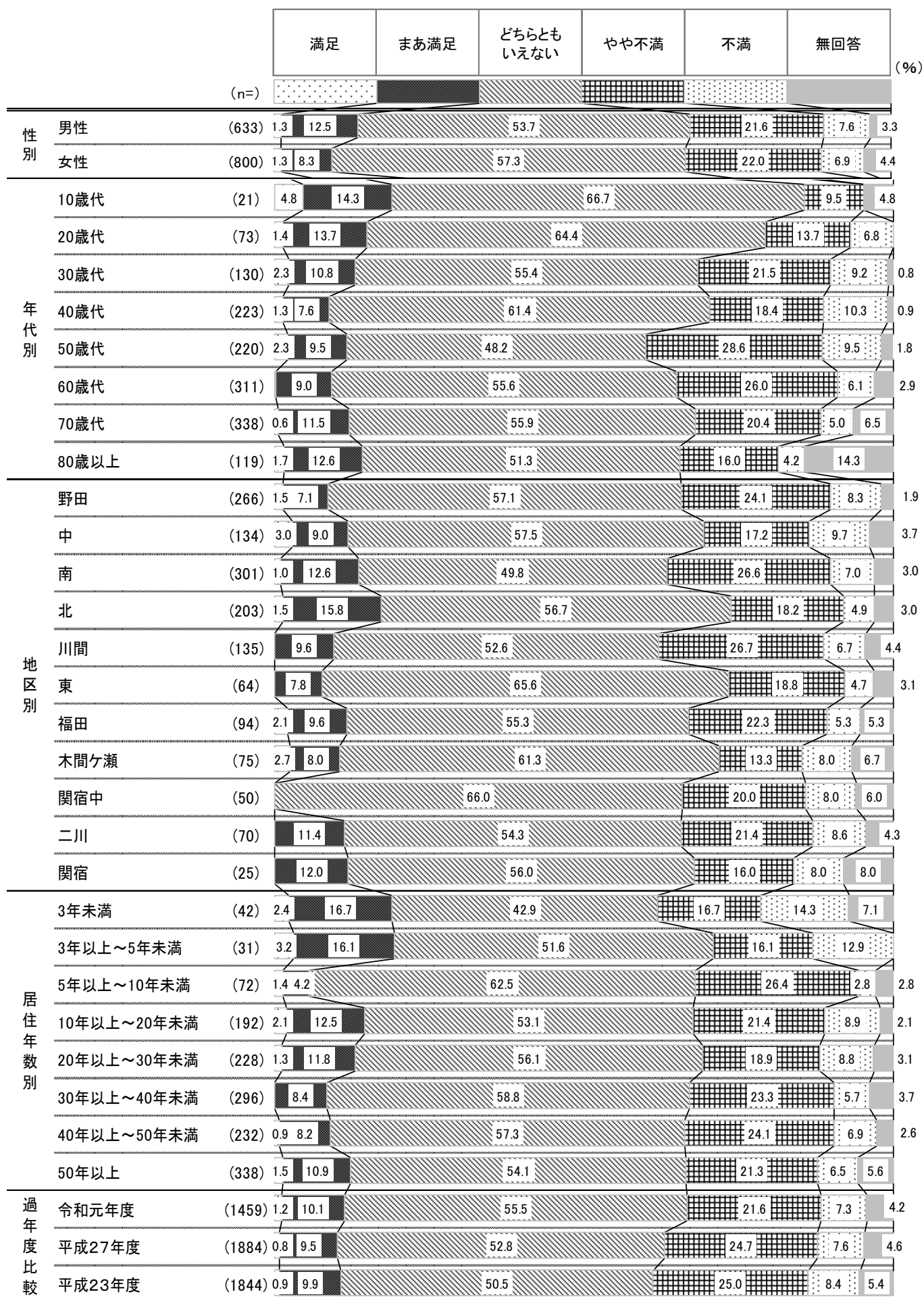
- 全ての地区で「どちらともいえない 50～66%」が最も多い。
- 『満足』は、北地区 (17.3%) が最も多く、関宿中地区 (0.0%) が最も少ない。
- 全ての地区で、『不満 21～34%』が『満足 0～17%』を上回った。

(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で「どちらともいえない 43～63%」が最も多い。
- 『満足』は、「3 年以上～5 年未満 19.3%」が最も多く、「5 年以上～10 年未満 5.6%」が最も少ない。
- 全ての居住年数帯で、『不満 28～31%』が『満足 6～19%』を上回った。

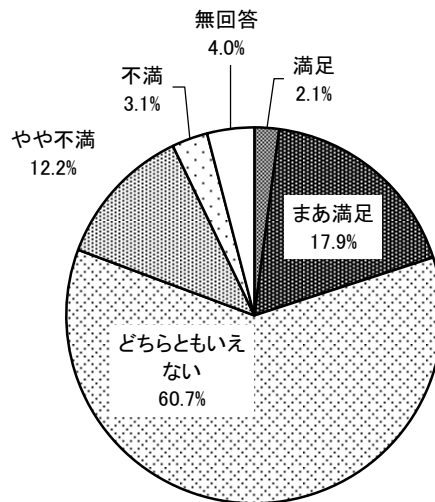
(過年度比較)

- 『満足』は、前回調査 (平成 27 年度) と比べて若干増加した (10.4%→11.3%)。



キ)住宅地の景観

n=1459



(全体)

- 「どちらともいえない」が半数を超える 60.7%で最も多い。
- 『満足 20.0%』が『不満 15.3%』よりやや多い。

(性別)

- 男女いずれも「どちらともいえない 60%前後」が最も多い。
- 男女いずれも、『満足 18～23%』が『不満 15%前後』よりやや多い。

(年代別)

- 10 歳代は「どちらともいえない」『満足』が 38.1%で同率だが、20 歳代以上になると「どちらともいえない 52～67%」が最も多くなる。
- 『満足』は、10 歳代 (38.1%) が最も多く、40 歳代 (16.1%) が最も少ない。
- 40 歳代を除く年代で、『満足 17～38%』が『不満 13～24%』を上回った。

(地区別)

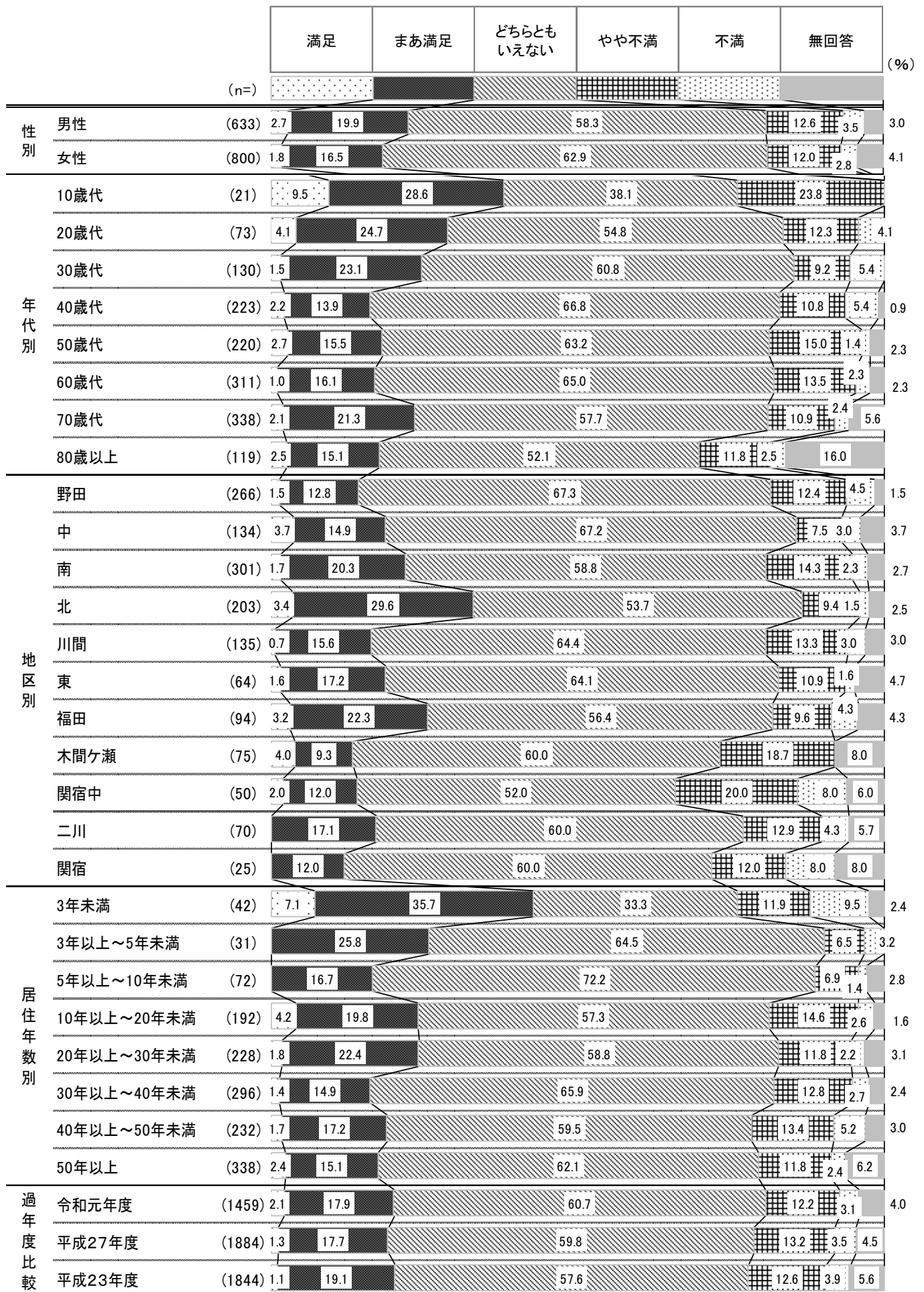
- 全ての地区で「どちらともいえない 52～67%」が最も多い。
- 『満足』は、北地区 (33.0%) が最も多く、関宿地区 (12.0%) が最も少ない。

(居住年数別)

- 「3 年未満」は『満足 42.8%』が最も多いが、3 年以上の全ての居住年数帯では「どちらともいえない 57～72%」が最も多い。
- 『満足』は、「3 年未満 42.8%」が最も多く、「30 年以上～40 年未満 16.3%」が最も少ない。
- 全ての居住年数帯で、『満足 16～43%』が『不満 8～21%』を上回った。

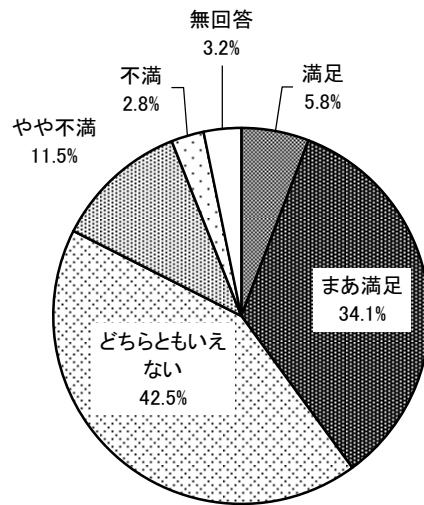
(過年度比較)

- 『満足』は、前回調査 (平成 27 年度) と比べて若干増加した (19.0%→20.0%)。



ク)大規模な公園・緑地の景観(総合公園や中央の杜など)

n=1459



(全体)

- 「どちらともいえない」が 42.5%で最も多い。
- 『満足 39.9%』が『不満 14.3%』より 25.6P 多い。

(性別)

- 男女いずれも「どちらともいえない 43%前後」が最も多い。
- 男女いずれも、『満足 40%前後』が『不満 14%前後』より多い。

(年代別)

- 『満足』は、50 歳代 (35.4%) が最も少なく、10 歳代 (52.4%) が最も多い。
- 全ての年代で、『満足 35～52%』が『不満 10～16%』を上回った。

(地区別)

- 8 地区で「どちらともいえない 40～68%」が最も多く、中・北・東の 3 地区では『満足 42～50%』が最も多い。
- 『満足』は、中地区 (50.0%) が最も多く、関宿地区 (16.0%) が最も少ない。
- 全ての地区で、『満足 16～50%』が『不満 10～27%』を上回った。

(居住年数別)

- 『満足』は、「3 年未満 47.6%」が最も多く、「5 年以上～10 年未満 26.4%」が最も少ない。
- 全ての居住年数帯で、『満足 26～48%』が『不満 13～21%』を上回った。

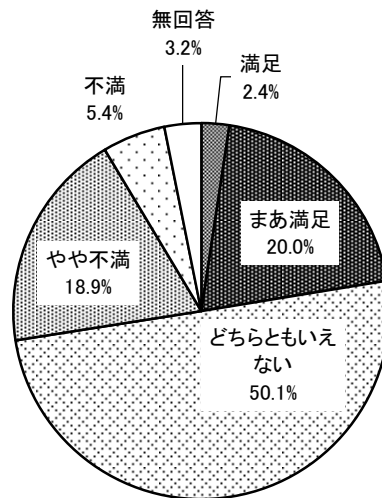
(過年度比較)

- 『満足』は、前回調査 (平成 27 年度) と比べてほとんど変化はない (39.1%→39.9%)。



ケ)まち全体の雰囲気と景観

n=1459



(全体)

- 「どちらともいえない」が半数を超える 50.1%で最も多い。
- 『不満 24.3%』が『満足 22.4%』より若干多い。

(性別)

- 男女いずれも「どちらともいえない 50%前後」が最も多い。
- 男性は『満足 25.7%』が『不満 23.4%』より多いが、女性は逆に『不満 25.4%』が『満足 20.0%』より多い。

(年代別)

- 10 歳代は『満足 38.1%』が最も多いが、20 歳代以上になると「どちらともいえない 41～54%」が最も多くなる。
- 『満足』は、40～70 歳代（20%前後）が少なく、10 歳代（38.1%）が最も多い。

(地区別)

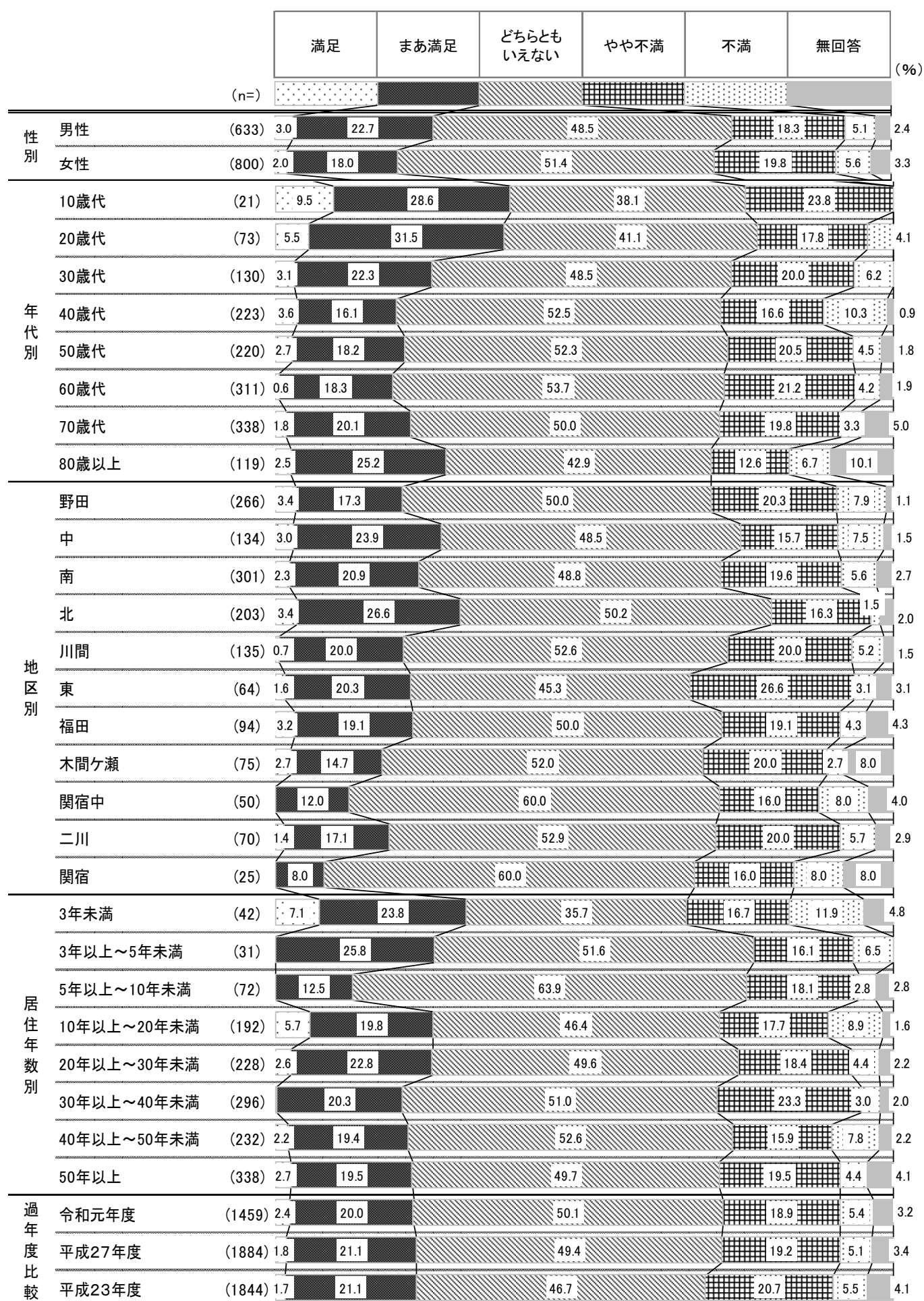
- 全ての地区で「どちらともいえない 45～60%」が最も多い。
- 『満足』は、北地区（30.0%）が最も多く、関宿地区（8.0%）が最も少ない。
- 中・北地区を除く 9 地区で、『不満 23～30%』が『満足 8～23%』を上回った。

(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で「どちらともいえない 36～64%」が最も多い。
- 『満足』は、「3 年未満 30.9%」が最も多く、「5 年以上～10 年未満 12.5%」が最も少ない。
- 「5 年未満」「20 年以上～30 年未満」を除く全ての居住年数帯で、『不満 21～27%』が『満足 13～26%』を上回った。

(過年度比較)

- 『満足』は、前回調査（平成 27 年度）と比べてほとんど変化はない（22.9%→22.4%）。

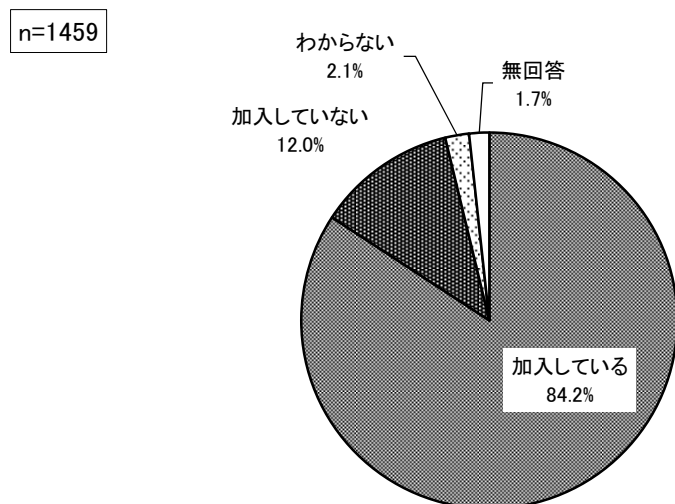


3 地域での社会活動

問8 自治会・町内会への加入状況

(問8 あなたの家では、自治会や町内会に加入していますか。次の中から1つだけ選んでください。)

◇「加入している」が8割台半ば



(全体)

➤自治会や町内会に「加入している」は84.2%に対し、「加入していない」は12.0%となっている。

(性別)

➤「加入している」は、男女いずれも84%前後であった。

(年代別)

➤「加入している」は、10歳代(57.1%)が最も少ないが、20～40歳代では69～75%、50歳代では84.5%になり、60歳代以上になると90%前後になる。

(地区別)

➤「加入している」は、関宿中地区(96.0%)が最も多く、川間地区(77.0%)が最も少ない。

(居住年数別)

➤「加入している」は、「3年未満57.1%」が最も少なく、「50年以上92.6%」が最も多い。

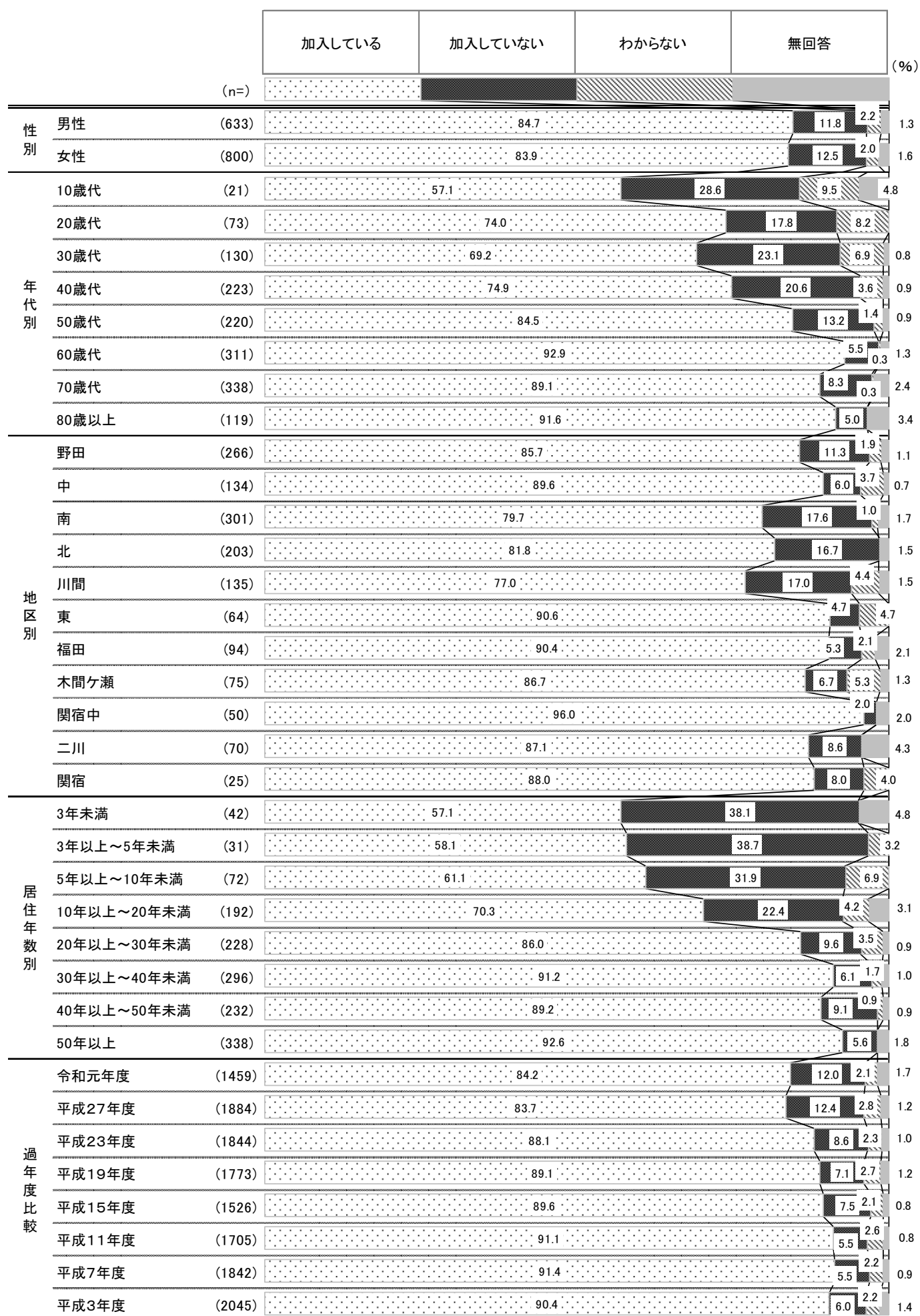
(住宅形態別)

➤「加入している」は、「戸建持ち家 89.2%」「分譲マンション 81.8%」では 8 割を超えているが、「民間の賃貸住宅（戸建て・アパート）」では 26.3%と大きく減少する。

		n	加入している	加入していない	わからない	無回答
全体		1459	84.2	12.0	2.1	1.7
住宅形態	戸建て持ち家	1273	89.2	8.2	1.1	1.5
	分譲マンション	33	81.8	6.1	12.1	0.0
	民間の賃貸住宅(戸建て・アパート)	95	26.3	64.2	8.4	1.1
	社宅・公務員住宅などの給与住宅	4	25.0	50.0	0.0	25.0
	公営の賃貸住宅	16	75.0	12.5	6.3	6.3
	その他	10	60.0	30.0	10.0	0.0

(過年度比較)

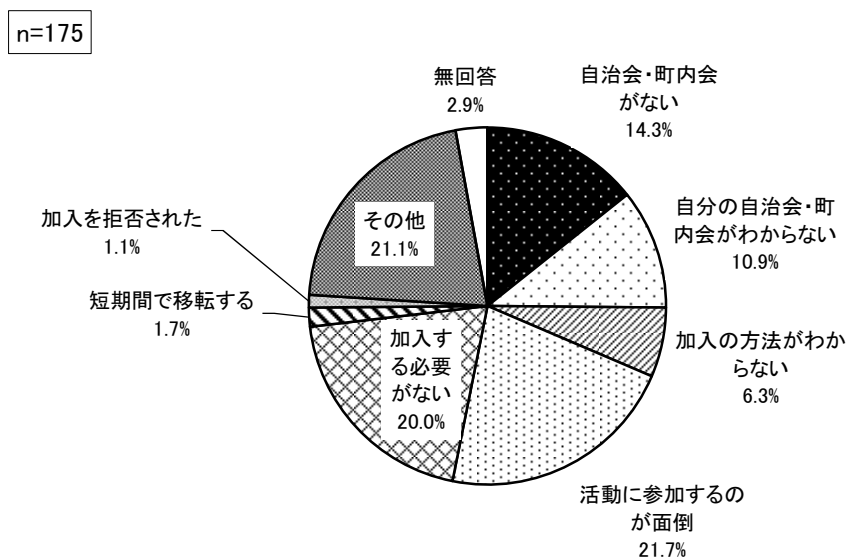
➤「加入している」は、前回調査（平成 27 年度）から変化はほとんどない（83.7%→84.2%）。



問8-1 加入していない理由

(問8-1 それはどのような理由からですか。次の中から1つだけ選んでください。)

◇「活動に参加するのが面倒」「加入する必要がある」が約2割



(全体)

- 前問で「2. 加入していない」を選択した回答者（全体の 12.0%）にその理由を聞いた。回答は分散したが、「活動に参加するのが面倒 21.7%」「加入する必要がある 20.0%」がそれぞれ 21%前後を占めて、他の理由に比べて多い。
- これら以外では、「自治会・町内会がない 14.3%」「自分の自治会・町内会がわからない 10.9%」が 10%を超えた。

(性別)

- 男女いずれも、「活動に参加するのが面倒」が最も多いが（女性は「加入する必要がある」も同率 1 位）、その割合は、男性（24.0%）が女性（20.0%）よりやや多い。

(年代別) ※多くの年代でnの数が少ない層が多いため、結果は参考として掲載する。

(地区別) ※多くの地区でnの数が少ない層が多いため、結果は参考として掲載する。

(居住年数別) ※多くの居住年数帯でnの数が少ない層が多いため、結果は参考として掲載する。

(住宅形態別)

- 「戸建持ち家」では「活動に参加するのが面倒」が 27.6%で最も多く、次いで「自治会・町内会がない」が 20.0%を占めた。
- 「民間の賃貸住宅（戸建て・アパート）」では「加入する必要がある」が 26.2%で最も多く、次いで「自分の自治会・町内会がわからない」が 24.6%を占めた。

		n	自治会・町内会がない	自分の自治会・町内会がわからない	加入の方法がわからない	活動に参加するのが面倒	加入する必要がある	短期間で移転する	加入を拒否された	その他	無回答
全体		175	14.3	10.9	6.3	21.7	20.0	1.7	1.1	21.1	2.9
住宅形態	戸建て持ち家	105	20.0	1.9	4.8	27.6	16.2	0.0	1.0	27.6	1.0
	分譲マンション	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	民間の賃貸住宅(戸建て・アパート)	61	4.9	24.6	9.8	14.8	26.2	3.3	1.6	8.2	6.6
	社宅・公務員住宅などの給与住宅	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	公営の賃貸住宅	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	その他	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

(過年度比較)

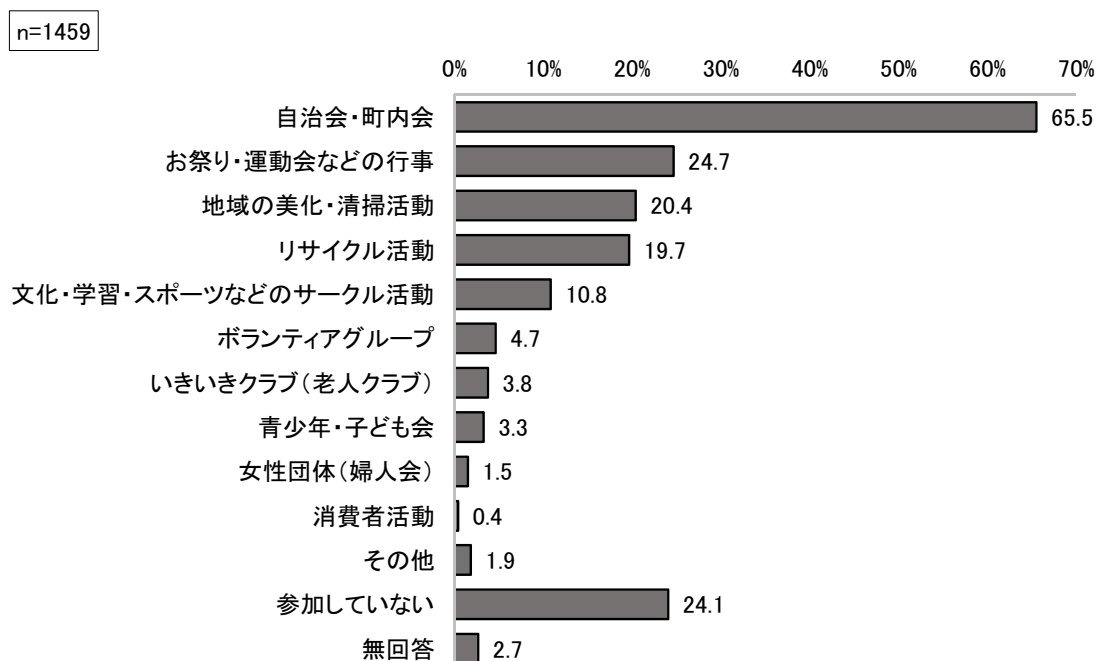
- 前回調査（平成 27 年度）と比較すると、どの項目でもほとんど変化がみられないが、「自治会・町内会がない」が 7.3%→14.3%に増加した。



問9 自治会(町内会)、団体・サークル活動への参加状況

(問9 現在お住まいの地域や市内で、自治会(町内会)、団体やサークル活動に参加していますか。参加しているものを次の中からすべて選んでください。)

◇「自治会・町内会」が6割半ば



(全体)

- 参加している活動としては、「自治会・町内会」を回答者の 65.5%が選択して、突出して多い。
- 一方、「参加していない」は 24.1%で、ほぼ 1/4 を占めた。

(性別)

- 男女で、上位 1～6 位まで同じであった。

(年代別)

- 全ての年代で、「自治会・町内会 33～75%」が最も多い。
- これに次いで、10・20 歳代及び 40～70 歳代では「お祭り・運動会などの行事 12～32%」だが、30 歳代・80 歳以上では「地域の美化・清掃活動 15～26%」であった。
- 「参加していない」は、10 歳代 (57.1%) が最も多く、80 歳以上 (15.1%) が最も少ない。

(地区別)

- 全ての地区で、「自治会・町内会 63～82%」が最も多い。
- 一方、「参加していない」は、川間地区 (30.4%) が最も多く、関宿中地区 (8.0%) が最も少ない。

(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で、「自治会・町内会 39～79%」が最も多い。

(過年度比較)

- 前回調査(平成 27 年度)と比べて主な変化は、「自治会・町内会」が 5.8P 増 (59.7%→65.5%)、「リサイクル活動」が 4.8P 増 (14.9%→19.7%)、「地域の美化・清掃活動」が 4.2P 増 (16.2%→20.4%) で、「参加していない」が若干減少した (26.1%→24.1%)。

(%)

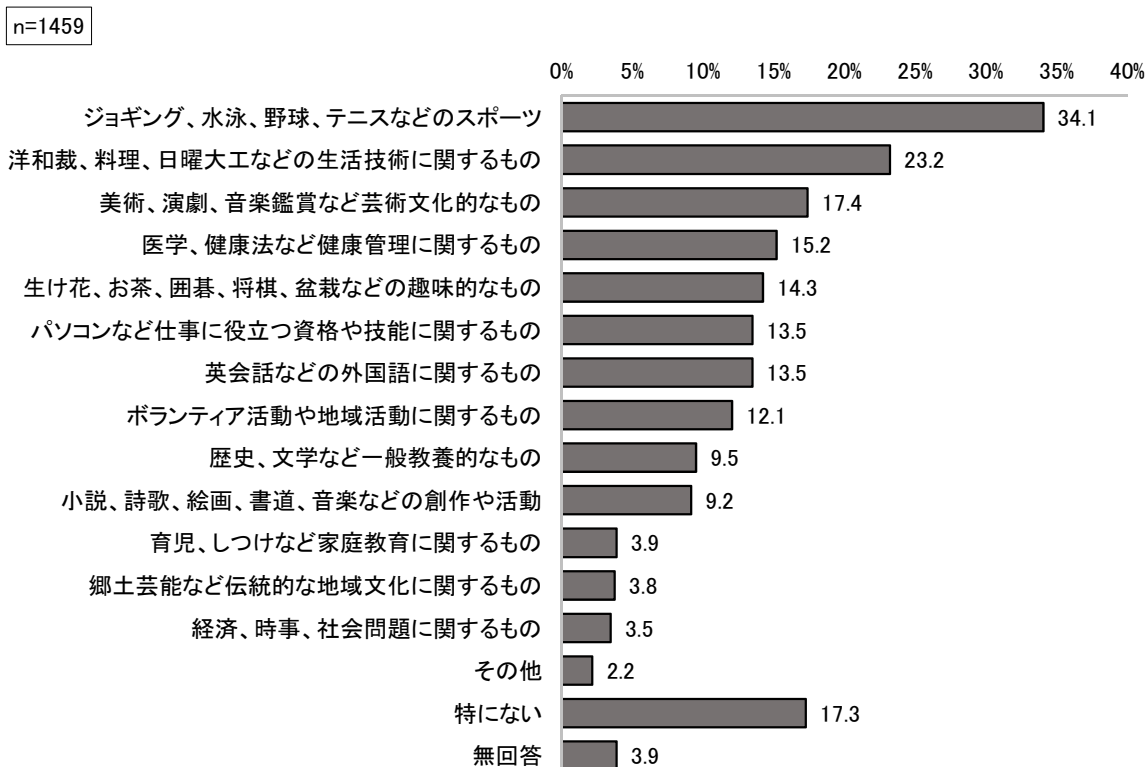
			1 自治会・町内会	2 青少年・子ども会	3 女性団体（婦人会）	4 いきいきクラブ（老人クラブ）	5 ボランティアグループ	6 文化・学習・スポーツなどのサークル活動	7 リサイクル活動	8 消費者活動	9 地域の美化・清掃活動	10 お祭り・運動会などの行事	11 その他	12 参加していない	無回答
		n													
全体		1459	65.5	3.3	1.5	3.8	4.7	10.8	19.7	0.4	20.4	24.7	1.9	24.1	2.7
性別	男性	633	66.4	3.2	0.2	4.4	5.4	9.0	20.5	0.2	21.8	26.7	2.7	23.1	3.0
	女性	800	65.6	3.5	2.6	3.3	4.0	12.5	19.4	0.6	19.4	23.6	1.3	24.8	2.0
年代別	10歳代	21	38.1	0.0	0.0	4.8	0.0	4.8	9.5	0.0	9.5	19.0	4.8	57.1	0.0
	20歳代	73	32.9	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	5.5	1.4	6.8	12.3	4.1	49.3	5.5
	30歳代	130	50.8	6.2	0.0	0.0	0.0	3.1	3.8	0.8	14.6	13.1	2.3	37.7	3.1
	40歳代	223	52.0	9.4	0.0	0.0	2.2	2.2	11.2	0.0	11.2	22.0	1.3	35.4	2.2
	50歳代	220	75.0	2.3	0.9	0.5	2.3	5.0	19.1	0.0	16.4	23.6	1.4	19.1	2.3
	60歳代	311	74.3	1.6	1.6	1.6	5.8	15.1	24.8	0.6	26.4	29.9	1.6	16.7	1.6
	70歳代	338	74.3	2.4	3.3	7.7	8.0	21.0	31.1	0.3	27.2	31.7	1.8	16.6	1.8
	80歳以上	119	72.3	0.0	3.4	17.6	9.2	14.3	21.0	0.8	26.1	23.5	2.5	15.1	5.9
地区別	野田	266	62.8	4.1	2.6	4.1	2.3	11.7	20.7	0.0	18.0	30.1	0.4	27.4	2.6
	中	134	73.1	5.2	3.0	5.2	6.7	9.7	22.4	0.7	14.9	26.9	2.2	17.2	1.5
	南	301	62.5	3.3	0.3	3.7	3.3	7.6	17.6	0.0	15.6	13.0	1.3	29.6	2.7
	北	203	65.5	3.4	2.0	5.4	5.4	18.2	19.7	1.0	23.6	28.1	1.5	24.1	1.5
	川間	135	63.7	3.0	1.5	4.4	5.9	8.9	15.6	0.0	28.9	25.9	3.0	30.4	1.5
	東	64	73.4	6.3	1.6	1.6	6.3	12.5	23.4	0.0	15.6	39.1	3.1	15.6	0.0
	福田	94	72.3	2.1	1.1	2.1	3.2	14.9	19.1	1.1	22.3	20.2	2.1	13.8	4.3
	木間ヶ瀬	75	66.7	1.3	1.3	2.7	6.7	5.3	17.3	0.0	24.0	24.0	5.3	21.3	2.7
	関宿中	50	82.0	0.0	2.0	2.0	6.0	8.0	34.0	0.0	30.0	34.0	2.0	8.0	4.0
	二川	70	64.3	2.9	0.0	1.4	7.1	12.9	20.0	1.4	14.3	30.0	4.3	20.0	4.3
	関宿	25	72.0	0.0	0.0	4.0	8.0	8.0	28.0	4.0	48.0	32.0	0.0	12.0	4.0
居住年数別	3年未満	42	40.5	2.4	0.0	0.0	2.4	4.8	4.8	0.0	11.9	9.5	0.0	52.4	2.4
	3年以上～5年未満	31	38.7	3.2	0.0	3.2	0.0	0.0	3.2	3.2	6.5	3.2	0.0	48.4	3.2
	5年以上～10年未満	72	43.1	8.3	0.0	0.0	1.4	1.4	4.2	0.0	9.7	15.3	2.8	47.2	1.4
	10年以上～20年未満	192	56.3	2.6	0.0	0.5	1.6	6.8	13.0	0.0	15.6	16.7	1.0	33.9	3.1
	20年以上～30年未満	228	61.8	2.6	0.9	1.3	3.1	6.1	17.1	0.9	15.4	18.9	1.3	28.9	2.6
	30年以上～40年未満	296	70.9	3.0	1.0	2.4	4.7	14.9	18.9	0.3	25.7	26.7	4.1	16.6	3.0
	40年以上～50年未満	232	69.4	4.7	2.6	4.7	7.3	18.1	21.6	0.4	21.6	25.0	1.7	18.5	2.6
	50年以上	338	78.7	2.7	3.3	8.9	6.8	12.1	32.2	0.3	26.0	38.8	1.2	13.9	1.8
比較	令和元年度	1459	65.5	3.3	1.5	3.8	4.7	10.8	19.7	0.4	20.4	24.7	1.9	24.1	2.7
	平成27年度	1884	59.7	2.5	1.3	5.2	2.8	11.6	14.9	0.4	16.2	24.3	1.5	26.1	3.8

4 文化やスポーツ活動

問10 余暇の時間の過ごし方

(問10 あなたが、やっている又はやってみたいことを、次の中から3つ以内で選んでください。)

◇「ジョギング、水泳、野球、テニスなどのスポーツ」が3割半ば



(全体)

- やっている又はやってみたいことの回答はやや分散したが、なかでは「ジョギング、水泳、野球、テニスなどのスポーツ（以下では、スポーツ）」を回答者の34.1%が選択して最も多い。
- 一方、「特にない」は17.3%であった。

(性別)

- 男女で、上位1～3位まで同じであった。

(年代別)

- 10～70歳代までは「スポーツ29～49%」が最も多いが、80歳以上では「生活技術22.7%」が最も多い。

(地区別)

- 関宿地区を除く10地区では、「スポーツ24～39%」が最も多く、次いで「生活技術20～31%」であった。
- 関宿地区では、「健康管理24.0%」が最も多く、次いで「スポーツ20.0%」であった。

(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で「スポーツ25～48%」が最も多い。

(過年度比較)

➤今回は「特にない」を追加したので正確な比較はできないが、前回調査（平成 27 年度）と比べて、「資格や技能に関するもの」が 7.0P 減（20.5%→13.5%）、「生活技術に関するもの」が 6.2P 減（29.4%→23.2%）、「創作や活動」が 5.6P 減（14.8%→9.2%）、「健康管理に関するもの」が 4.5P 減（19.7%→15.2%）、「スポーツ」が 4.2P 減（38.3%→34.1%）で、増加した項目はほとんどなく、新規追加の「特にない」が 17.3%を占めた。

(%)

			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	(%)
		n	の洋 生活 技術 に関 する もの など	盆栽 花、お 茶、囲 碁、将 棋、	ジョギ ング、 スイム グ、野 球、テ ニスな どのス ポーツ	も歴史 、文学 など一 般教養 的なも の	美術、 演劇、 音楽鑑 賞など 芸術文 化的な もの	小説、 詩歌、 絵画、 書道、 音楽な どの創 作や活 動	郷土芸 能など 伝統的 な地域 文化に 関する もの	経済、 時事、 社会問 題に関 するも の	格や技 能に関 するも のに役 立つ資 格	ボラン ティア 活動や 地域活 動に関 するも の	関育児 、しっ けなど 家庭教 育に関 するも の	関医学 、健康 法など 健康管 理に関 するも の	も英会 話など の外国 語に関 するも の	その他	特にな い	無回答
全体		1459	23.2	14.3	34.1	9.5	17.4	9.2	3.8	3.5	13.5	12.1	3.9	15.2	13.5	2.2	17.3	3.9
性別	男性	633	20.1	11.7	39.8	12.0	15.2	6.0	5.1	5.5	13.6	14.5	2.1	13.0	10.9	2.5	17.7	3.5
	女性	800	26.1	16.3	30.1	7.5	19.4	11.8	2.8	1.9	13.6	10.0	5.5	16.9	15.9	2.0	17.1	3.4
年代別	10歳代	21	14.3	0.0	42.9	19.0	23.8	14.3	0.0	4.8	23.8	4.8	14.3	14.3	14.3	19.0	9.5	0.0
	20歳代	73	19.2	12.3	38.4	8.2	24.7	11.0	4.1	4.1	30.1	8.2	19.2	8.2	20.5	1.4	11.0	0.0
	30歳代	130	19.2	6.9	48.5	5.4	16.9	5.4	2.3	1.5	19.2	5.4	18.5	11.5	19.2	1.5	20.8	0.8
	40歳代	223	26.0	10.3	43.5	4.5	18.4	6.7	3.1	3.1	24.7	7.6	5.4	9.4	24.7	2.7	14.8	2.2
	50歳代	220	27.7	14.5	39.1	9.1	18.2	8.6	3.6	2.3	14.5	11.8	0.9	11.4	18.2	2.3	15.9	2.3
	60歳代	311	24.8	14.1	28.9	12.9	20.6	11.3	4.2	2.3	8.4	15.4	0.3	15.1	10.6	1.3	17.4	3.2
	70歳代	338	21.6	20.1	29.9	12.4	13.6	11.2	5.3	5.6	6.5	16.9	0.3	22.2	6.2	2.4	17.2	5.0
	80歳以上	119	22.7	17.6	16.8	5.9	12.6	6.7	1.7	5.0	6.7	8.4	0.0	21.8	3.4	1.7	26.1	9.2
地区別	野田	266	21.4	15.8	35.0	9.4	17.7	7.5	4.1	3.4	12.4	10.9	3.8	12.8	16.9	1.5	18.8	2.3
	中	134	23.9	14.2	38.8	10.4	18.7	9.7	5.2	2.2	6.7	7.5	6.7	13.4	14.9	0.7	16.4	3.7
	南	301	21.9	13.3	35.9	12.3	20.9	10.6	3.0	4.0	16.9	15.3	5.6	15.9	14.6	3.0	13.0	2.0
	北	203	27.1	18.2	36.9	10.3	15.8	9.9	3.4	3.9	11.3	14.3	4.9	15.3	9.9	2.0	15.3	1.0
	川間	135	24.4	10.4	30.4	6.7	18.5	5.9	3.0	3.0	18.5	10.4	0.7	13.3	14.8	4.4	17.8	8.1
	東	64	31.3	20.3	35.9	3.1	20.3	7.8	4.7	6.3	20.3	9.4	4.7	14.1	15.6	1.6	12.5	3.1
	福田	94	20.2	8.5	39.4	9.6	17.0	8.5	3.2	2.1	16.0	13.8	4.3	20.2	11.7	1.1	16.0	3.2
	木間ヶ瀬	75	20.0	8.0	24.0	9.3	10.7	6.7	5.3	2.7	6.7	13.3	0.0	14.7	12.0	4.0	28.0	8.0
	関宿中	50	30.0	22.0	30.0	12.0	12.0	12.0	0.0	4.0	12.0	10.0	2.0	18.0	10.0	2.0	22.0	2.0
	二川	70	25.7	12.9	32.9	2.9	14.3	14.3	7.1	1.4	12.9	12.9	0.0	18.6	10.0	0.0	24.3	4.3
	関宿	25	16.0	8.0	20.0	8.0	12.0	8.0	4.0	4.0	12.0	8.0	8.0	24.0	16.0	0.0	36.0	0.0
居住年数別	3年未満	42	19.0	19.0	47.6	2.4	9.5	4.8	4.8	4.8	26.2	16.7	19.0	28.6	16.7	0.0	11.9	0.0
	3年以上～5年未満	31	29.0	16.1	48.4	16.1	19.4	9.7	3.2	3.2	12.9	16.1	16.1	9.7	12.9	3.2	12.9	3.2
	5年以上～10年未満	72	26.4	5.6	37.5	2.8	13.9	6.9	2.8	0.0	18.1	6.9	16.7	11.1	19.4	4.2	19.4	0.0
	10年以上～20年未満	192	22.4	14.1	38.5	8.3	20.3	7.3	2.1	3.1	15.6	10.9	5.7	12.5	15.6	4.7	14.6	2.6
	20年以上～30年未満	228	21.9	14.5	40.8	12.7	17.1	11.4	3.9	3.5	18.0	9.2	4.8	14.5	15.4	2.2	15.4	2.6
	30年以上～40年未満	296	24.0	13.5	35.8	9.8	19.3	8.8	3.4	2.7	10.8	13.9	1.7	14.9	14.5	1.4	15.2	4.4
	40年以上～50年未満	232	24.1	12.5	31.5	9.9	15.5	12.9	3.9	3.9	13.4	13.8	1.3	15.1	15.5	2.2	20.3	3.0
	50年以上	338	23.7	17.5	25.1	9.2	17.8	8.0	5.0	4.7	9.8	12.1	0.6	17.5	7.7	1.5	20.1	4.7
比較	令和元年度	1459	23.2	14.3	34.1	9.5	17.4	9.2	3.8	3.5	13.5	12.1	3.9	15.2	13.5	2.2	17.3	3.9
	平成27年度	1884	29.4	15.0	38.3	10.3	19.5	14.8	5.2	5.3	20.5	12.7	4.0	19.7	12.3	3.8		7.7

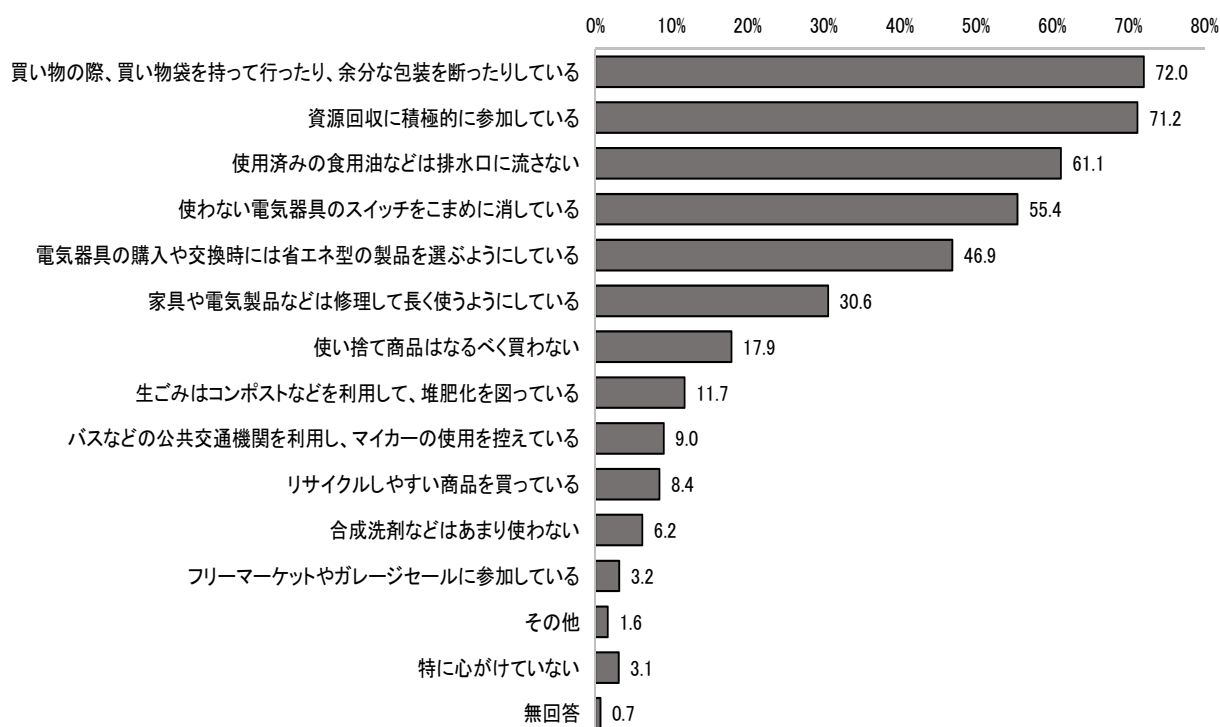
5 ごみや環境

問11 日常生活で心がけていること

(問11 あなたは、ごみ減量や環境をよくするために、日常生活の中でどのようなことを心がけていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。)

◇「買い物の際、買い物袋を持って行ったり、余分な包装を断ったりしている」「資源回収に積極的に参加している」が7割を超える

n=1459



(全体)

- ごみ減量や環境をよくするために日常生活で心がけていることとしては、「買物袋持参、余分包装辞退 72.0%」「資源回収に積極的に参加 71.2%」を回答者の 70%超が選択して多い。
- これらに次いで、「食用油などは排水口に流さない 61.1%」「スイッチをこまめに消す 55.4%」が半数を超え、「省エネ型の製品を選ぶ 46.9%」が半数に近い。
- 「特に心がけていない」は 3.1%にとどまった。

(性別)

- 男女ともに選択率が 50%を超える上位 1～4 位までの項目は同じだが、その選択率の多い順位は異なっており、男性は「資源回収に積極的に参加 67.0%」が最も多く、女性は「買物袋を持参したり、余分な包装を断ったり 80.6%」が最も多い。

(年代別)

- 10～50 歳代までは「買物袋持参、余分包装辞退 43～75%」が最も多いが、60 歳代以上になると「資源回収に積極的に参加 80%前後」が最も多い。

- 「特に心がけていない」は、年代が低いほど多く、年代が上がるにつれて減少し、50 歳代以上になると 2%未満になる。

(地区別)

- 関宿中地区を除く 10 地区では、順位は地区によって異なるものの、上位 1・2 位は「買物袋持参、余分包装辞退 60～84%」「資源回収に積極的に参加 57～74%」であった。
- 関宿中地区は「資源回収に積極的に参加 84.0%」が最も多く、次いで「食用油等は排水口に流さない 76.0%」であった。
- 「特に心がけていない」は、関宿地区 (8.0%) が最も多く、木間ヶ瀬・関宿中 (いずれも 0.0%) が最も少ない。

(居住年数別)

- 「30 年未満」は「買物袋持参、余分包装辞退 62～84%」が最も多く、「30 年以上」では「資源回収に積極的に参加 75～82%」が最も多い。

(過年度比較)

- 前回調査 (平成 27 年度) と比べて大きな変化はないが、長期的に見ると、「買物袋持参、余分包装辞退」が増加傾向、「修理して長く使う」「省エネ型製品を選ぶ」が減少傾向にある。

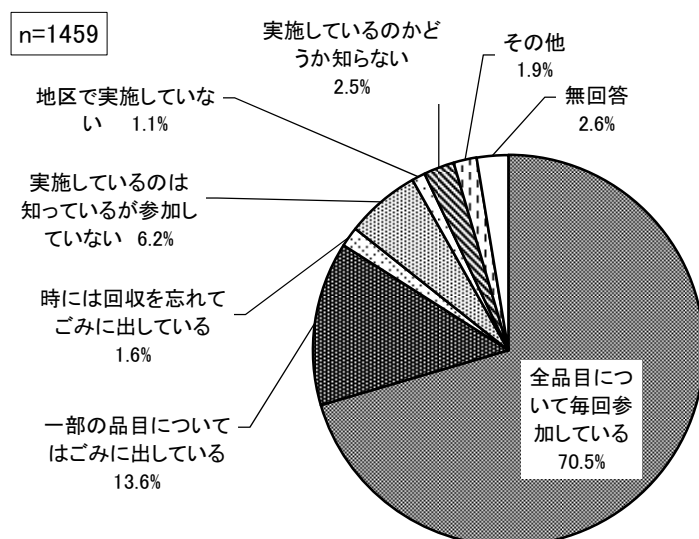
(%)

			1 資源 回収 に積 極的 に参 加し てい る	2 り、買 い、余 分の 包装 を断 つた りし てい る	3 使い 捨て 商品 はな るべ く買 わな い	4 家具 や電 気製 品な どは 修理 して 長く 使 うよ うに して いる	5 生ご みは コン ポス トな どを 利用 して 、 堆肥 化を 図っ てい る	6 リサ イク ルし やす い商 品を 買っ てい る	7 参加 して いる フリ ーマ ーケ ット やガ レージ セー ルに	8 合成 洗剤 など はあ まり 使わ ない	9 使用 済みの 食用 油な どは 排水 口に 流さ ない	10 バス など の公 共交 通機 関を 利用 し、 マ イカ ーの 使用 を控 えて いる	11 に使 わな い電 気器 具の スイ ッチ をこ まめ に消 して いる	12 の電 気器 具の 購入 や交 換時 には 省エ ネ型 の製 品を 選ぶ よう にし てい る	13 その 他	14 特に 心が けて いな い	無 回 答
		n															
全体		1459	71.2	72.0	17.9	30.6	11.7	8.4	3.2	6.2	61.1	9.0	55.4	46.9	1.6	3.1	0.7
性別	男性	633	67.0	62.1	15.0	34.0	11.2	6.0	2.2	7.6	50.1	9.5	56.1	44.7	1.6	3.9	0.8
	女性	800	74.5	80.6	20.3	28.5	11.9	10.6	4.0	5.1	70.4	8.5	55.3	49.1	1.8	2.5	0.1
年代別	10歳代	21	33.3	42.9	23.8	23.8	9.5	4.8	0.0	0.0	19.0	4.8	33.3	4.8	0.0	23.8	0.0
	20歳代	73	39.7	68.5	9.6	20.5	6.8	8.2	5.5	5.5	41.1	13.7	39.7	24.7	0.0	8.2	0.0
	30歳代	130	48.5	61.5	9.2	21.5	4.6	3.8	5.4	3.1	48.5	6.2	54.6	34.6	2.3	7.7	0.0
	40歳代	223	66.8	74.9	15.7	23.8	4.9	9.0	3.6	4.5	51.6	4.5	52.0	46.2	2.7	5.4	0.4
	50歳代	220	70.5	73.6	21.4	33.2	9.1	13.6	4.1	4.5	66.4	6.4	60.5	50.9	1.8	1.4	0.0
	60歳代	311	81.4	75.2	18.0	32.5	12.5	7.4	1.9	5.5	66.9	6.1	53.1	54.0	1.6	0.6	1.3
	70歳代	338	80.8	75.4	20.1	37.6	18.9	7.4	3.3	8.6	68.6	11.5	60.4	52.7	1.5	1.8	0.3
	80歳以上	119	78.2	68.9	22.7	33.6	16.8	10.9	0.8	12.6	68.9	23.5	62.2	42.9	0.8	0.8	0.0
地区別	野田	266	73.7	75.2	14.3	28.9	6.0	5.6	1.5	6.0	60.2	6.8	56.0	47.0	2.3	3.4	0.4
	中	134	76.1	83.6	21.6	31.3	14.9	11.2	2.2	7.5	63.4	6.7	53.7	49.3	2.2	2.2	0.7
	南	301	72.4	70.4	18.9	31.9	9.0	9.3	3.0	4.7	61.5	11.6	56.5	44.9	0.7	4.0	0.3
	北	203	72.9	79.8	18.2	30.0	9.9	8.4	6.4	10.3	63.1	10.3	61.6	51.7	2.0	2.5	0.0
	川間	135	68.9	70.4	15.6	31.1	17.0	6.7	3.0	3.7	61.5	10.4	53.3	45.9	3.0	3.7	1.5
	東	64	73.4	75.0	23.4	26.6	14.1	6.3	4.7	4.7	57.8	3.1	51.6	39.1	0.0	1.6	0.0
	福田	94	70.2	64.9	20.2	37.2	21.3	10.6	2.1	6.4	59.6	9.6	53.2	50.0	1.1	1.1	0.0
	木間ヶ瀬	75	57.3	60.0	12.0	32.0	14.7	8.0	2.7	8.0	54.7	8.0	48.0	40.0	2.7	0.0	0.0
	関宿中	50	84.0	66.0	20.0	40.0	6.0	2.0	4.0	4.0	76.0	12.0	60.0	60.0	4.0	0.0	0.0
	二川	70	62.9	64.3	20.0	25.7	15.7	14.3	2.9	7.1	57.1	7.1	60.0	47.1	0.0	4.3	0.0
	関宿	25	64.0	68.0	20.0	32.0	24.0	12.0	4.0	4.0	64.0	0.0	48.0	52.0	0.0	8.0	0.0
居住年数別	3年未満	42	38.1	61.9	9.5	19.0	2.4	2.4	4.8	2.4	61.9	7.1	50.0	42.9	0.0	4.8	0.0
	3年以上～5年未満	31	48.4	83.9	6.5	29.0	0.0	12.9	0.0	9.7	51.6	6.5	61.3	41.9	3.2	3.2	3.2
	5年以上～10年未満	72	51.4	72.2	19.4	15.3	5.6	8.3	6.9	9.7	44.4	9.7	50.0	40.3	2.8	4.2	0.0
	10年以上～20年未満	192	64.1	68.2	16.7	31.3	7.3	8.3	4.7	3.1	54.7	8.9	55.7	43.8	0.5	7.8	0.5
	20年以上～30年未満	228	68.4	75.4	18.4	25.4	8.3	8.3	4.4	6.6	57.5	6.6	52.2	43.4	1.8	4.8	0.0
	30年以上～40年未満	296	75.0	71.3	18.9	36.8	9.1	7.4	3.4	4.4	63.2	11.8	59.8	49.7	1.4	2.0	0.7
	40年以上～50年未満	232	75.9	75.9	20.3	30.2	11.6	10.3	2.6	8.2	65.9	12.5	54.3	53.4	3.0	2.2	0.0
	50年以上	338	82.0	72.2	17.5	34.3	22.2	8.9	1.2	7.4	67.5	6.2	56.8	47.3	1.5	0.3	0.3
過年度比較	令和元年度	1459	71.2	72.0	17.9	30.6	11.7	8.4	3.2	6.2	61.1	9.0	55.4	46.9	1.6	3.1	0.7
	平成27年度	1884	72.3	69.7	20.6	32.6	12.4	8.0	3.8	6.9	59.6	10.1	56.4	50.3	1.9	1.8	2.3
	平成23年度	1844	75.5	68.2		37.5					63.3		70.1	56.0			
	平成19年度	1773	72.9	48.1		37.4					60.2		61.9				
	平成15年度	1526	75.5	50.7		41.7					64.3		58.9				

問12 資源回収への参加状況

(問12 資源回収についておうかがいします。あなたは、地域の資源回収(品目:金属、空き缶、ビン、紙、布、ペットボトル)に参加していますか。次の中から1つだけ選んでください。)

◇『地域の資源回収に参加している(計)』は8割半ば



(全体)

- 資源回収に「全品目について毎回参加している(以下では、全品目毎回参加)」は70.5%であった。
- 「一部の品目について」「時には回収を忘れてごみに出している」を含めた『参加している(以下では、参加)』は85.7%であった。

(性別)

- 「全品目毎回参加」は、男性(71.7%)が女性(69.3%)よりやや多い。
- 『参加』は、男女いずれも85%強であった。

(年代別)

- 「全品目毎回参加」は、30歳代(43.8%)が最も少なく、80歳以上(84.9%)が最も多い。
- 『参加』は、10歳代(76.2%)が最も少なく、20・30歳代では72%前後、40・50歳代では83%前後、60歳代以上になると92%前後になる。

(地区別)

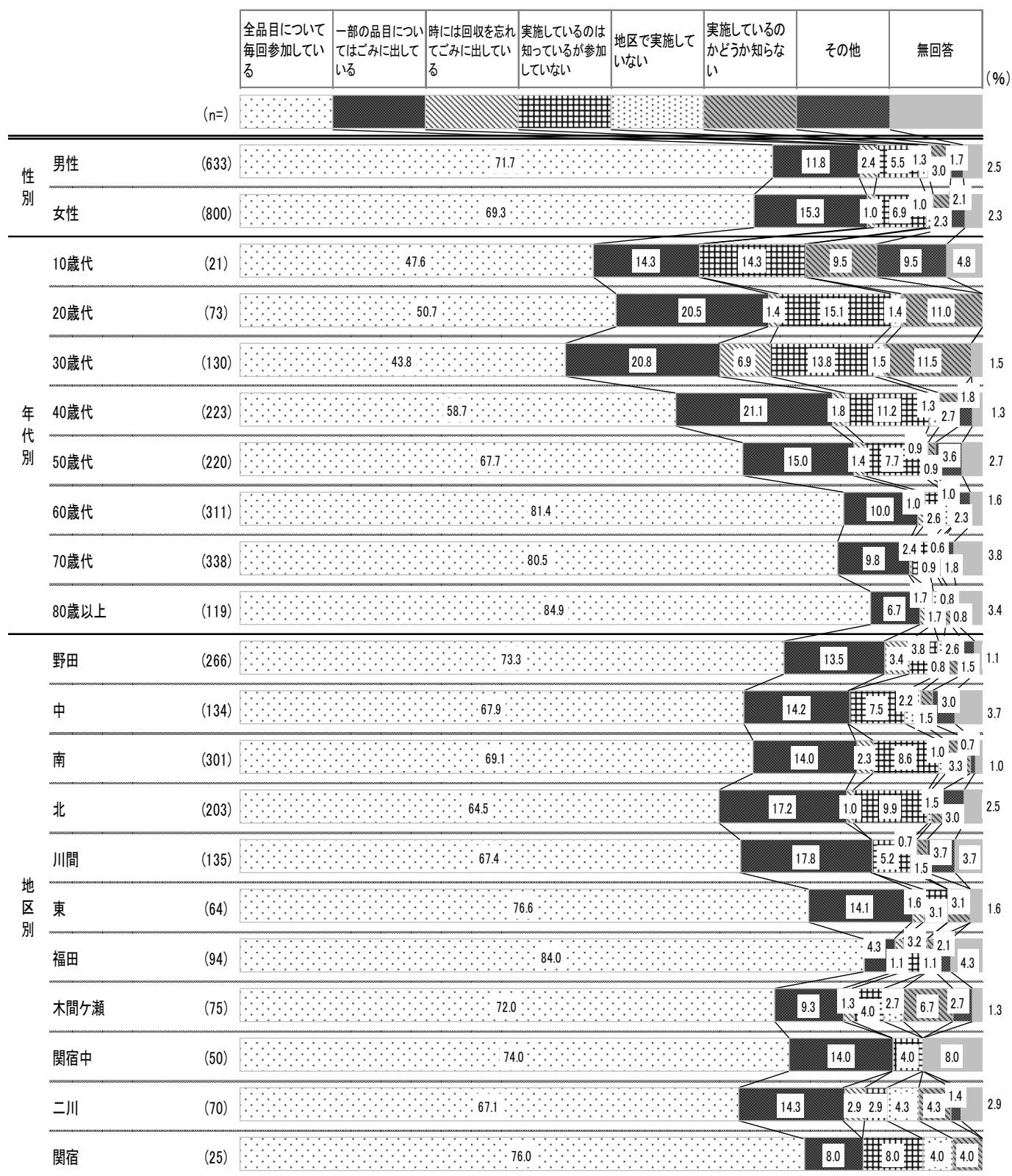
- 「全品目毎回参加」は、福田地区(84.0%)が最も多く、北地区(64.5%)が最も少ない。
- 『参加』は、東地区(92.3%)が最も多く、中地区(82.1%)が最も少ない。

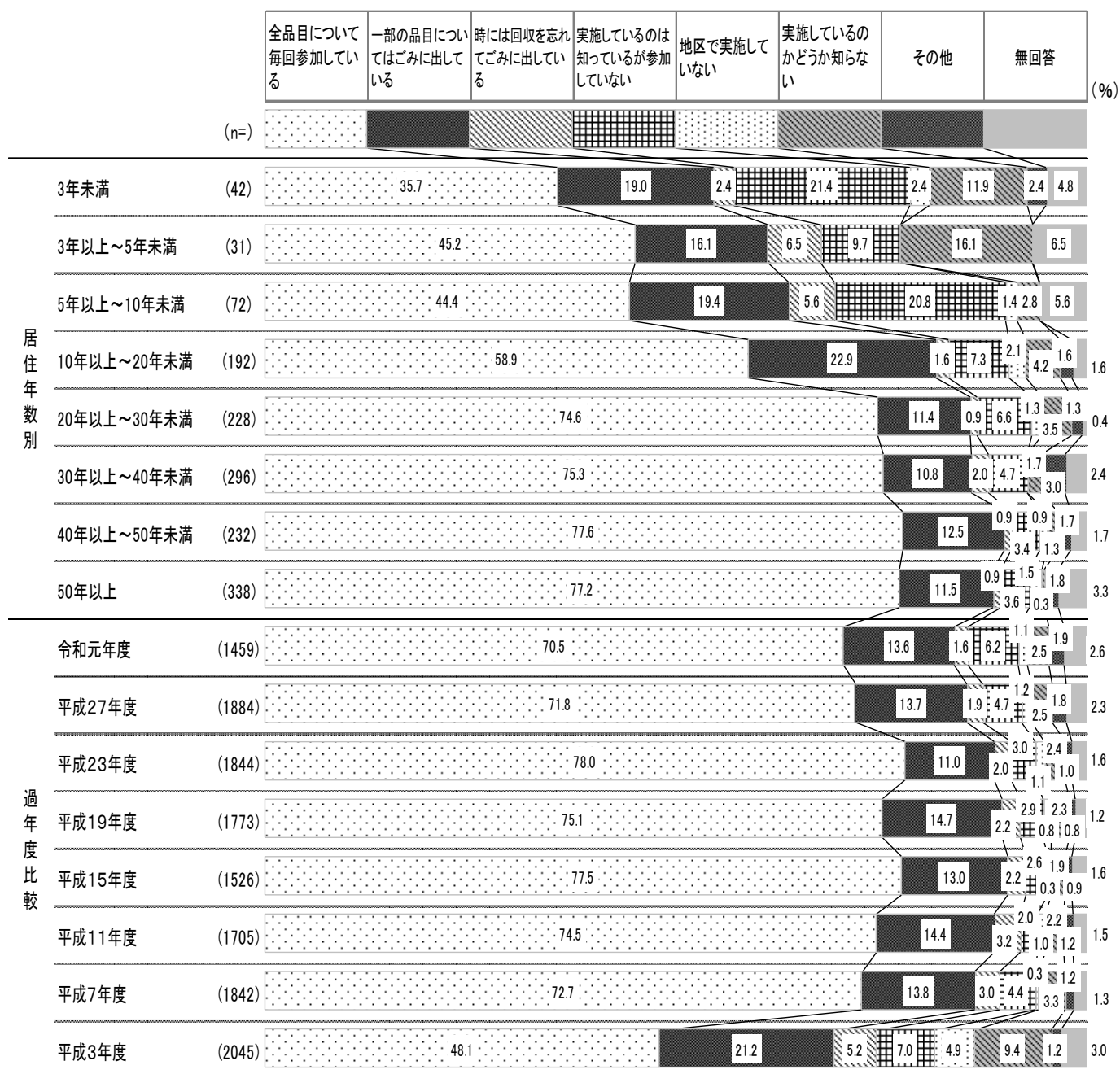
(居住年数別)

- 「全品目毎回参加」は、「3年未満35.7%」が最も少なく、概ね居住年数が長くなるにつれて多くなり、「40年以上」では77%強になる。
- 『参加』も、「3年未満57.1%」が最も少なく、概ね居住年数が長くなるにつれて多くなり、「30年以上」では90%前後になる。

(過年度比較)

- 前回調査(平成27年度)と比べて『参加している』が若干減少しており、また、平成15年度以降長期的にも漸減傾向にある。



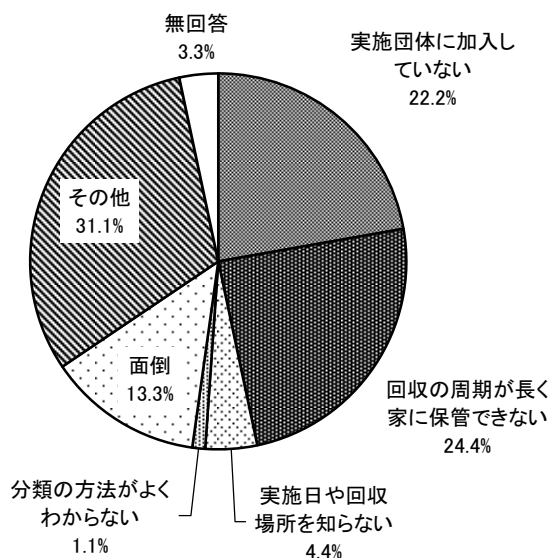


問12-1 知りながら参加していない理由

(問12-1 それはどうな理由からですか。次の中から1つだけ選んでください。)

◇「実施団体に加入していない」「回収の周期が長く家に保管できない」が2割を超える

n=90



(全体)

➤前問で「4. 実施しているのは知っているが参加していない」を選択した回答者(全体の6.2%)にその理由を聞いたところ、「回収の周期が長く家に保管できない」を回答者の24.4%が選択して最も多く、次いで「実施団体に加入していない」も差がなく22.2%を占めた。

(性別)

➤男性は「回収の周期が長く家に保管できない 25.7%」が最も多く、次いで「実施団体に加入していない 20.0%」だが、女性は両者がいずれも23.6%で同率であった。

(年代別) ※全年代のnの数が少ない層が多いため、結果は参考として掲載する。

(地区別) ※全地区のnの数が少ない層が多いため、結果は参考として掲載する。

(居住年数別) ※全居住年数帯のnの数が少ない層が多いため、結果は参考として掲載する。

(過年度比較)

➤前回調査(平成27年度)と比べると、「実施日や回収場所を知らない」が12.5P減(16.9%→4.4%)で大きく減少したものの、「回収の周期が長く家に保管できない」が10.9P増(13.5%→24.4%)と大きく増加した。

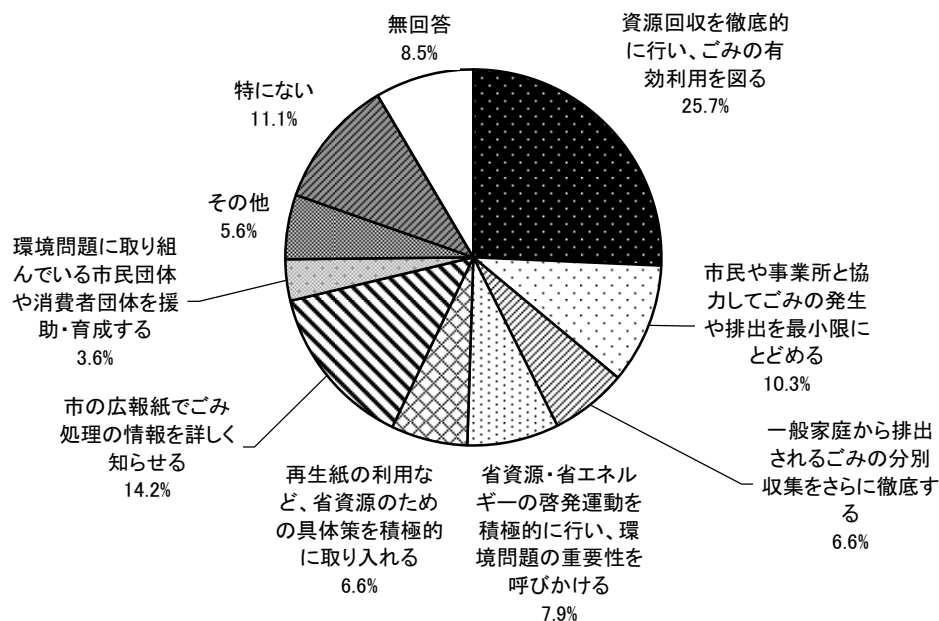


問13 ごみ減量化のために市に力を入れてほしいこと

(問13 あなたは、ごみ減量化のために市にどのようなことに力を入れてほしいとお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。)

◇「資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る」が2割半ば

n=1459



(全体)

➤ごみ減量化のために市に力を入れてほしいこととしては、「資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る」を回答者の25.7%が選択して最も多い。

(性別)

➤男女で上位1～3位まで同じであった。
➤全ての項目について、男女間で選択率の差は小さい。

(年代別)

➤10歳代は「市民や事業所と協力してごみの発生や排出を最小限にとどめる」「再生紙の利用など、省資源のための具体策を積極的に取り入れる」がいずれも14.3%で最も多いが、20歳代以上では「資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る19～34%」が最も多い(40歳代は「市の広報誌でごみ処理の情報を詳しく知らせる」も同率18.8%で最多)。

(地区別)

➤全ての地区で、「資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る19～31%」が最も多い。

(居住年数別)

➤「3年未満」は、「市の広報誌でごみ処理の情報を詳しく知らせる23.8%」が最も多い。
➤「3年以上」になると、全ての居住年数帯で「資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る17～30%」が最も多い。

(過年度比較)

➤前回調査(平成27年度)と比べて大きな変化はないが、「資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る」が3.8P減(29.5%→25.7%)、「市の広報誌でごみ処理の情報を詳しく知らせる」が2.4P減(16.6%→14.2%)でやや減少した。



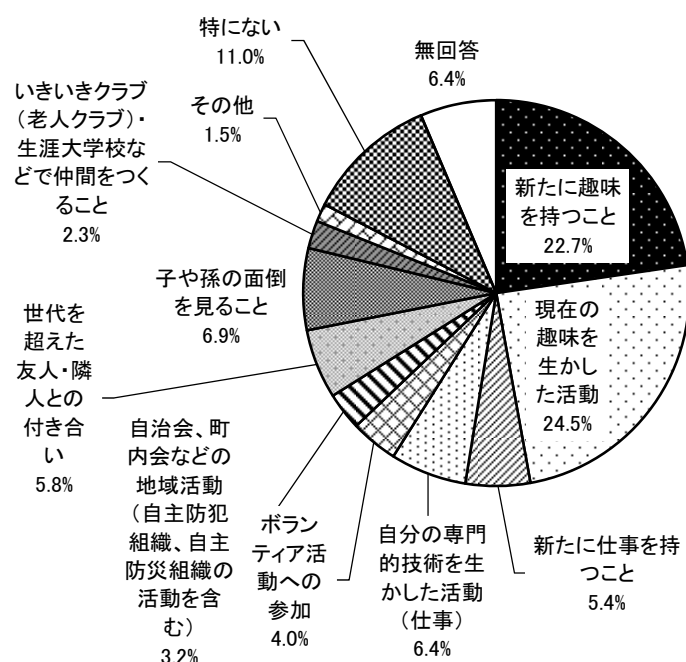
6 福祉やボランティア活動

問14 老後の生活の生きがい

(問14 あなたは老後の生活として、どのようなことに生きがいを求めたいとお考えですか。
次の中から1つだけ選んでください。)

◇「新たに趣味を持つこと」「現在の趣味を生かした活動」が2割を超える

n=1459



(全体)

➤老後の生活で生きがいを求めたいこととしては、「現在の趣味を活かした活動」が24.5%で最も多く、次いで「新たに趣味を持つこと」も差がなく22.7%であった。

(性別)

➤男性は「1位 現在の趣味を活かした活動 30.3%」「2位 新たに趣味を持つこと 19.6%」だが、女性はこれが逆転して「1位 新たに趣味を持つこと 24.9%」「2位 現在の趣味を活かした活動 20.3%」であった。

(年代別)

➤10～50歳代は「1位 新たに趣味を持つこと 29～39%」「2位 現在の趣味を活かした活動 18～24%」であった。

➤60・70歳代は、この順番が逆になり、「1位 現在の趣味を活かした活動 27～31%」「2位 新たに趣味を持つこと 11～19%」であった。

➤80歳以上は「1位 現在の趣味を活かした活動 26.1%」「2位 世代を超えた友人・隣人との付き合い 16.0%」であった。

(地区別)

➤野田・中・南・北・福田の 5 地区では、「1 位 現在の趣味を活かした活動 24～30%」「2 位 新たに趣味を持つこと 19～25%」であった。

➤川間・東・木間ヶ瀬・関宿中・二川・関宿の 6 地区では、「1 位 新たに趣味を持つこと 21～36%」「2 位 現在の趣味を活かした活動 8～22% (関宿中地区は「ボランティア活動」「友人・隣人との付き合い」も同率 8%で 2 位)」であった。

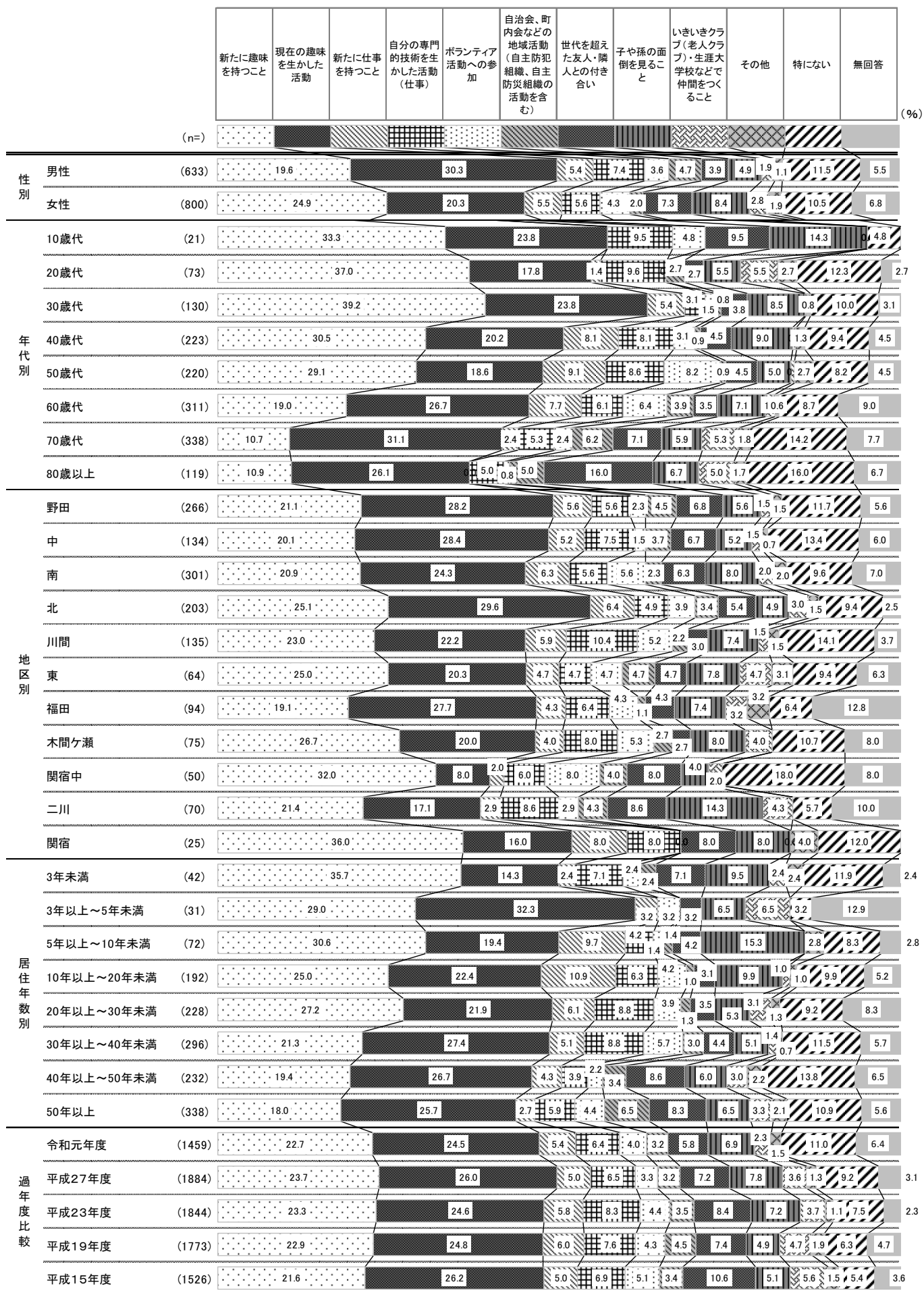
(居住年数別)

➤「3 年未満」「5 年以上～30 年未満」は、「1 位 新たに趣味を持つこと 25～36%」「2 位 現在の趣味を活かした活動 14～22%」であった。

➤「3 年以上～5 年未満」「30 年以上」は、「1 位 現在の趣味を活かした活動 26～32%」「2 位 新たに趣味を持つこと 18～29%」であった。

(過年度比較)

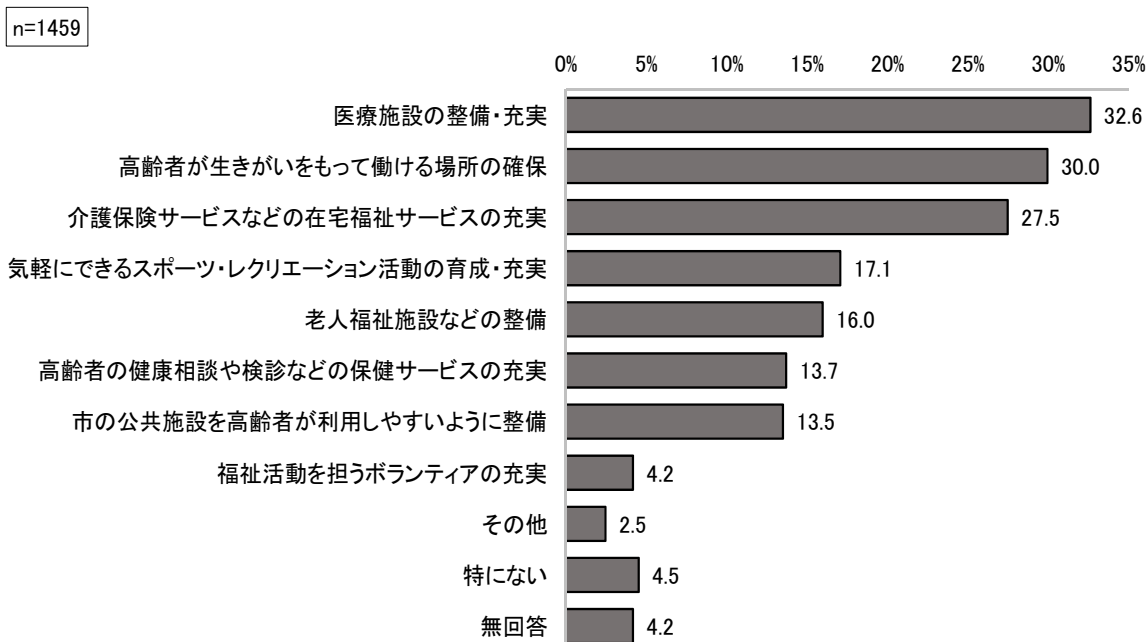
➤前回調査（平成 27 年度）と比べて、ほとんど変化はない。



問15 高齢社会が進む中で市に期待すること

(問15 高齢社会が進む中、あなたは市にどのようなことを期待しますか。次の中から2つ以内で選んでください。)

◇「医療施設の整備・充実」「高齢者が生きがいをもって働ける場所の確保」が約3割



(全体)

➤高齢社会が進む中で市に期待することとしては、「医療施設の整備・充実」を回答者の32.6%が選択して最も多く、次いで「高齢者が生きがいを持って働ける場所の確保」も差がなく30.0%であった。

(性別)

- 男女で上位1～3位まで同じであった。
- 男女で各項目の選択率の差は小さい。

(年代別)

- 10歳代は、「1位 医療施設の整備・充実 38.1%」「2位 介護保険サービスなどの在宅福祉サービスの充実 33.3%」であった。
- 20～50歳代は、「1位 高齢者が生きがいを持って働ける場所の確保 32～44%」で、2位は、20・40・50歳代は「医療施設の整備・充実 30～39%」、30歳代は「介護保険サービスなどの在宅福祉サービスの充実 25.4%」であった。
- 60・70歳代は、「1位 医療施設の整備・充実 32～36%」で、2位は、60歳代は「高齢者が生きがいを持って働ける場所の確保 28.9%」、70歳代は「介護保険サービスなどの在宅福祉サービスの充実 26.9%」であった。
- 80歳以上は、「1位 介護保険サービスなどの在宅福祉サービスの充実 35.3%」「2位 医療施設の整備・充実 31.1%」であった。

(地区別)

- 8地区で「医療施設の整備・充実 31～48%」が最も多いが、川間・二川の2地区では「高齢者が生きがいを持って働ける場所の確保 29～36%」、木間ヶ瀬地区では「介護保険サービスな

どの在宅福祉サービスの充実 40.0%」が最も多い。

(居住年数別)

- 「20 年未満」は「高齢者が生きがいを持って働ける場所の確保 33～45%」が最も多く、「20 年以上」は「医療施設の整備・充実 32～35%」が最も多い。

(過年度比較)

- 前回調査(平成 27 年度)と比べると、「老人福祉施設などの整備」が 6.2P 減(22.2%→16.0%)とやや大きく減少し、「働ける場所の確保」「在宅福祉サービスの充実」も 3P 前後減少したが、「スポーツ・レクリエーション活動の育成・充実」が 2.9P 増と若干増加した(14.2%→17.1%)。

(%)

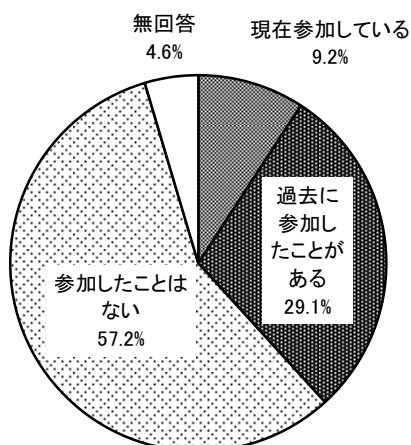
		n	1 高齢者が 生きがいを もって働け る場所の確 保	2 医療施設 の整備・充 実	3 介護保険サ ービスなど の在宅福 祉サービス の充実	4 老人福祉 施設など の整備	5 高齢者の 健康相談 や検診な どの保健 サービスの 充実	6 市の公共 施設を高 齢者が利 用しやす いように 整備	7 気軽にで きるスポ ーツ・レ クリエー ション活 動の育成 ・充実	8 福祉活動 を担うボ ランティア の充実	9 その他	10 特にな い	無 回 答
全体		1459	30.0	32.6	27.5	16.0	13.7	13.5	17.1	4.2	2.5	4.5	4.2
性別	男性	633	30.0	31.6	26.5	16.4	14.7	14.5	16.1	3.5	1.9	5.2	4.3
	女性	800	30.1	33.8	28.0	15.9	12.8	12.8	18.1	4.9	3.0	3.9	3.5
年代別	10歳代	21	28.6	38.1	33.3	14.3	14.3	4.8	28.6	9.5	9.5	0.0	0.0
	20歳代	73	31.5	30.1	16.4	19.2	8.2	13.7	19.2	4.1	5.5	11.0	0.0
	30歳代	130	39.2	24.6	25.4	14.6	16.2	7.7	19.2	3.1	6.2	5.4	1.5
	40歳代	223	43.5	30.5	27.4	14.8	8.1	8.5	20.6	2.7	2.7	5.4	2.2
	50歳代	220	39.1	38.6	25.9	17.3	9.5	10.5	16.4	4.5	4.1	0.9	2.7
	60歳代	311	28.9	35.7	28.6	18.0	14.1	16.4	14.1	4.8	1.0	2.3	4.2
	70歳代	338	19.5	32.2	26.9	14.8	16.6	18.3	19.8	5.3	0.6	6.2	5.3
	80歳以上	119	10.1	31.1	35.3	15.1	22.7	16.0	7.6	2.5	1.7	5.9	9.2
地区別	野田	266	31.2	32.0	28.2	15.4	11.7	13.5	20.3	2.6	1.5	4.9	4.5
	中	134	26.9	32.8	28.4	14.9	14.2	10.4	22.4	3.0	3.0	3.7	3.0
	南	301	30.2	31.2	25.6	16.9	14.6	11.3	18.3	5.0	4.0	4.3	4.0
	北	203	28.1	35.0	29.6	18.2	12.8	17.7	18.2	4.9	1.5	3.4	2.0
	川間	135	35.6	33.3	28.1	14.1	11.1	14.1	14.1	5.2	2.2	3.7	3.0
	東	64	29.7	37.5	25.0	17.2	12.5	12.5	6.3	10.9	3.1	3.1	3.1
	福田	94	35.1	36.2	22.3	16.0	14.9	9.6	21.3	3.2	2.1	4.3	4.3
	木間ヶ瀬	75	29.3	34.7	40.0	12.0	20.0	13.3	4.0	2.7	2.7	5.3	4.0
	関宿中	50	22.0	32.0	20.0	16.0	10.0	22.0	18.0	6.0	2.0	8.0	6.0
	二川	70	28.6	25.7	25.7	21.4	17.1	14.3	15.7	2.9	1.4	2.9	7.1
	関宿	25	28.0	48.0	20.0	12.0	12.0	20.0	12.0	4.0	0.0	8.0	0.0
居住年数別	3年未満	42	35.7	21.4	23.8	11.9	9.5	14.3	23.8	4.8	4.8	7.1	2.4
	3年以上～5年未満	31	41.9	32.3	9.7	6.5	25.8	16.1	32.3	0.0	6.5	0.0	6.5
	5年以上～10年未満	72	33.3	25.0	29.2	11.1	13.9	9.7	20.8	4.2	6.9	6.9	2.8
	10年以上～20年未満	192	45.3	34.4	20.8	13.5	13.0	7.3	18.8	3.6	4.7	3.6	3.6
	20年以上～30年未満	228	32.5	34.6	24.1	18.4	10.5	10.5	21.1	3.9	3.1	3.9	2.6
	30年以上～40年未満	296	29.7	33.4	28.7	13.9	13.2	16.9	16.2	3.7	1.7	3.7	3.7
	40年以上～50年未満	232	23.7	31.5	29.7	17.7	16.8	14.2	15.9	5.6	1.3	3.9	3.9
	50年以上	338	21.9	34.6	32.2	19.5	13.6	16.6	12.7	4.7	0.9	5.0	5.0
過 比較 年度	令和元年度	1459	30.0	32.6	27.5	16.0	13.7	13.5	17.1	4.2	2.5	4.5	4.2
	平成27年度	1884	32.7	29.9	30.9	22.2	14.8	13.2	14.2	3.9	1.8	3.5	2.6

問16 ボランティア活動への参加状況

(問16 あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。)

◇『活動経験がある(計)』は約4割

n=1459



(全体)

➤ボランティア活動に参加したことが『ある』は38.3%（「現在参加している9.2%」「過去に参加したことがある29.1%」の合計。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『ある』は、男女いずれも38%強であった。

(年代別)

➤『ある』は、10歳代が52.4%で最も多く、30・40歳代が33%強でやや少なく、他の年代は概ね36～41%であった。

(地区別)

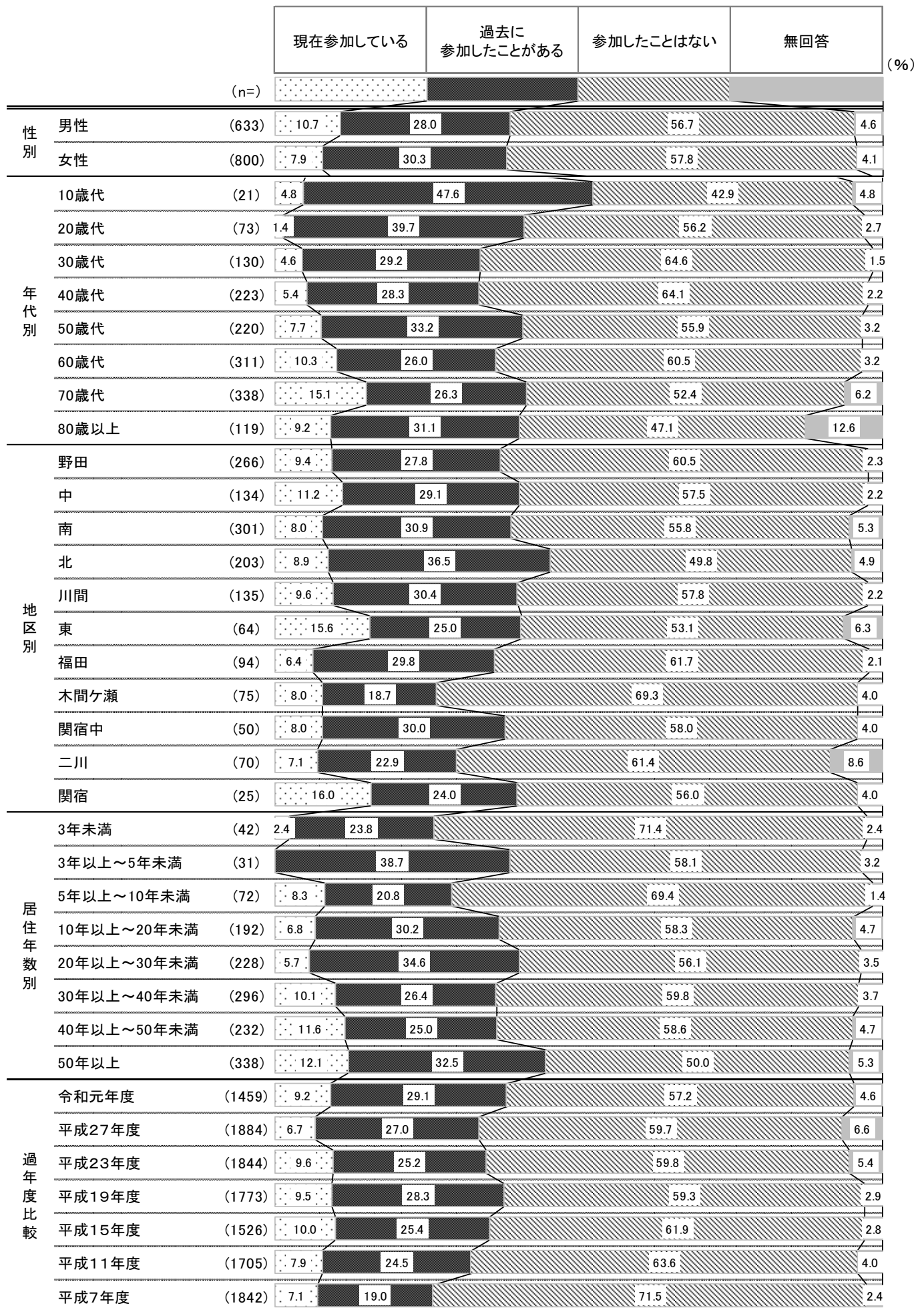
➤『ある』は、北地区（45.4%）が最も多く、木間ヶ瀬地区（26.7%）が最も少ない。

(居住年数別)

➤『ある』は、居住年数による規則的な傾向は見受けられないが、「50年以上44.6%」が最も多く、「3年未満26.2%」が最も少ない。

(過年度比較)

➤前回調査（平成27年度）と比べて、参加したことが『ある』が4.6P増（33.7%→38.3%）とやや増加した。

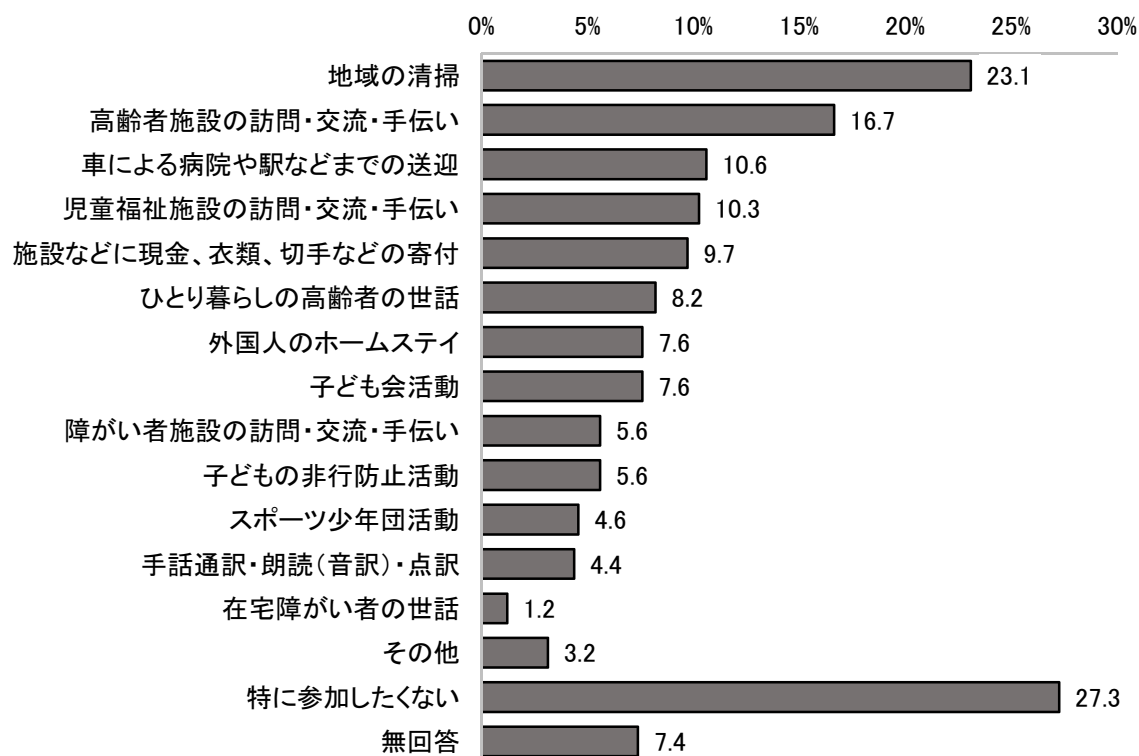


問17 やってみたいボランティア活動

(問17 次のようなボランティア活動について、あなたがやってみたいと思われる活動はありますか。次の中から3つ以内で選んでください。)

◇「地域の清掃」が2割を超える

n=1459



(全体)

➤ やってみたいボランティア活動は、回答がやや分散したが、なかでは「地域の清掃」を回答者の23.1%が選択して最も多い。次いで「高齢者施設の訪問・交流・手伝い」が16.7%であった。

➤ 一方、「特に参加したくない」は27.3%で1/4強を占めた。

(性別)

➤ 男性は「1位 地域の清掃 28.0%」「2位 高齢者施設の訪問・交流・手伝い 13.4%」「2位 車による病院や駅などまでの送迎 13.4%」であった。

➤ 女性は順番が逆になり、「1位 高齢者施設の訪問・交流・手伝い 19.6%」「2位 地域の清掃 19.5%」であった。

(年代別)

➤ 10歳代は「高齢者施設の訪問・交流・手伝い 28.6%」が最も多いが、20歳代以上になると「地域の清掃 18~28%」が最も多くなり、これ以外の活動の選択割合順位は年代によって異なる。

➤ 「特に参加したくない」は、30歳代及び70歳代以上が31%強で多く、40・50歳代が22%前後で少ない。

(地区別)

➤ 10地区で「地域の清掃 19~48%」が最も多いが、二川地区のみは「高齢者施設の訪問・交流・手伝い 25.7%」が最も多い。

(居住年数別)

➤ほとんどの居住年数帯で「地域の清掃 19～28%」が最も多いが、「5 年以上～10 年未満」は「児童福祉施設の訪問・交流・手伝い 18.1%」、「20 年以上～30 年未満」は「高齢者施設の訪問・交流・手伝い 20.6%」が最も多い。

(過年度比較)

➤前回調査(平成 27 年度)と比べて、「現金、衣類、切手などの寄付」が 6.9P 減(16.6%→9.7%)とやや大きく減少し、一方、「特に参加したくない」が 4.3P 増加(23.0%→27.3%)した。

(%)																		
			1 流・高 手・高 者・施 設・訪 問・交	2 交・児 流・童 手・福 祉・施 設・訪 問・	3 交・障 流・が 手・伝 い・者 施・設 の・訪 問・	4 在・宅 障・が い・者 の・世 話	5 の・ひ と・り 暮・ら し・の 高・齢 者	6 類・施 、・切 手・な ど・に 現・金 、・衣	7 ま・で の・送 迎・病 院・や 駅・な ど	8 訳・手 話・通 訳・朗 読・(音	9 外・国 人・の ホ・ム ス・テ イ	10 子・ど も・会 活・動	11 地・域 の・清 掃	12 ス・ポ ー・ツ 少・年 団・活 動	13 子・ど も・の 非・行 防・止 活・動	14 そ・の 他	15 特・に 参・加 し・た く・な い	無 回 答
全体		1459	16.7	10.3	5.6	1.2	8.2	9.7	10.6	4.4	7.6	7.6	23.1	4.6	5.6	3.2	27.3	7.4
性別	男性	633	13.4	7.1	4.9	0.8	7.0	7.9	13.4	2.4	6.8	8.5	28.0	7.6	8.4	2.4	27.2	7.6
	女性	800	19.6	13.1	6.4	1.6	9.4	11.1	8.3	6.1	8.4	7.1	19.5	2.3	3.5	3.8	27.1	6.5
年代別	10歳代	21	28.6	9.5	9.5	0.0	4.8	4.8	4.8	9.5	23.8	19.0	14.3	19.0	4.8	4.8	23.8	0.0
	20歳代	73	16.4	15.1	2.7	2.7	11.0	8.2	4.1	9.6	17.8	9.6	17.8	6.8	4.1	2.7	26.0	2.7
	30歳代	130	12.3	10.0	9.2	0.0	4.6	10.0	4.6	3.8	14.6	18.5	20.0	11.5	9.2	1.5	31.5	0.0
	40歳代	223	17.0	14.8	8.1	1.8	7.2	14.8	15.2	6.3	14.8	8.5	21.5	9.0	8.1	1.8	21.5	2.7
	50歳代	220	18.2	13.2	5.9	1.4	13.6	7.7	19.1	6.4	7.3	6.8	19.5	3.2	5.5	4.1	22.7	4.1
	60歳代	311	16.4	9.6	7.1	1.3	6.4	9.6	9.3	4.2	3.9	5.8	28.0	2.9	5.8	4.2	26.4	6.4
	70歳代	338	20.4	7.4	3.8	0.9	8.9	8.6	9.2	2.1	2.7	4.7	26.0	1.5	3.6	3.0	31.4	11.8
	80歳以上	119	8.4	5.9	0.0	1.7	6.7	9.2	5.0	1.7	2.5	6.7	21.8	0.8	4.2	3.4	31.1	21.0
地区別	野田	266	16.5	8.6	3.4	1.9	6.8	11.3	12.4	4.9	6.0	7.5	20.3	5.3	3.8	1.9	30.8	9.0
	中	134	11.9	8.2	5.2	3.0	3.7	11.2	6.7	1.5	7.5	10.4	23.9	5.2	5.2	3.7	31.3	7.5
	南	301	19.6	11.6	7.6	1.7	12.0	10.3	7.3	4.0	9.0	10.0	21.3	5.0	5.3	4.3	26.6	3.7
	北	203	17.2	14.3	3.9	0.0	7.9	10.3	11.3	6.9	8.4	7.4	29.1	5.4	6.9	1.5	23.6	5.9
	川間	135	16.3	12.6	8.1	0.0	10.4	9.6	17.8	3.0	9.6	5.2	22.2	3.0	3.7	6.7	20.7	5.9
	東	64	14.1	15.6	6.3	1.6	7.8	4.7	17.2	7.8	9.4	4.7	29.7	6.3	7.8	1.6	17.2	6.3
	福田	94	13.8	8.5	3.2	0.0	10.6	10.6	8.5	4.3	6.4	9.6	26.6	4.3	5.3	3.2	30.9	9.6
	木間ヶ瀬	75	16.0	8.0	8.0	1.3	1.3	9.3	6.7	5.3	6.7	2.7	18.7	2.7	5.3	4.0	29.3	10.7
	関宿中	50	18.0	8.0	6.0	0.0	14.0	10.0	20.0	4.0	6.0	2.0	24.0	2.0	6.0	2.0	26.0	6.0
	二川	70	25.7	8.6	10.0	2.9	7.1	4.3	8.6	5.7	1.4	11.4	14.3	5.7	12.9	0.0	30.0	10.0
	関宿	25	16.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	4.0	0.0	16.0	4.0	48.0	0.0	8.0	8.0	20.0	4.0
居住年数別	3年未満	42	14.3	14.3	9.5	2.4	11.9	9.5	4.8	0.0	16.7	11.9	19.0	9.5	9.5	2.4	16.7	4.8
	3年以上～5年未満	31	12.9	6.5	9.7	3.2	6.5	6.5	9.7	6.5	6.5	16.1	25.8	3.2	12.9	3.2	29.0	0.0
	5年以上～10年未満	72	15.3	18.1	2.8	1.4	5.6	6.9	9.7	5.6	11.1	13.9	11.1	6.9	6.9	1.4	37.5	2.8
	10年以上～20年未満	192	17.7	13.0	7.8	1.6	9.9	8.3	14.6	6.8	12.5	10.9	23.4	6.3	7.3	2.6	22.4	4.2
	20年以上～30年未満	228	20.6	14.0	3.9	0.9	7.9	9.2	10.1	5.7	8.8	7.0	19.3	5.3	4.8	2.6	26.8	6.6
	30年以上～40年未満	296	19.3	8.4	6.1	0.7	10.1	12.8	9.8	4.4	7.1	6.1	27.7	4.7	4.7	3.0	25.3	7.4
	40年以上～50年未満	232	15.9	10.8	7.3	1.7	6.5	10.8	6.9	3.9	5.6	6.0	20.3	5.6	6.9	4.3	28.9	6.9
	50年以上	338	13.6	6.5	4.1	1.2	7.7	8.6	13.3	3.0	4.1	6.5	26.9	1.5	3.8	3.6	29.0	10.4
比較	過年度 令和元年度	1459	16.7	10.3	5.6	1.2	8.2	9.7	10.6	4.4	7.6	7.6	23.1	4.6	5.6	3.2	27.3	7.4
	平成27年度	1884	14.9	11.6	5.0	1.4	11.2	16.6	12.6	6.1	6.7	6.3	22.5	5.3	7.9	2.7	23.0	7.9

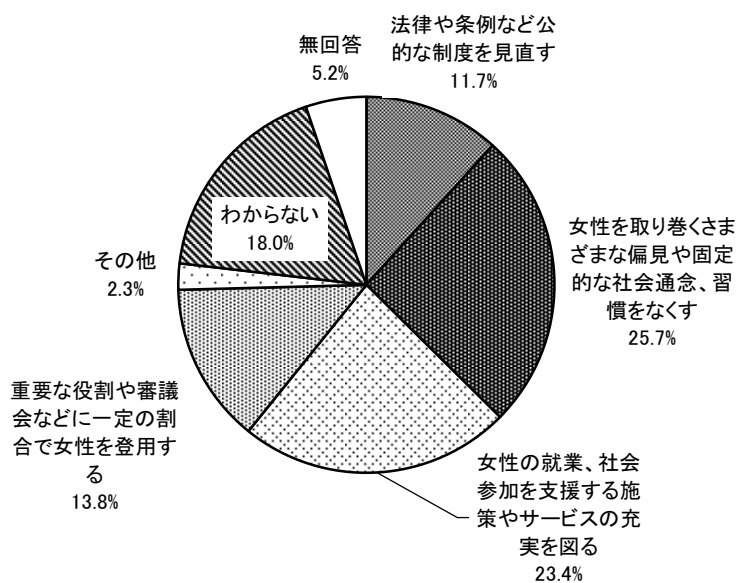
7 男女共同参画

問18 男女共同参画社会の実現において重要なこと

(問18 男女共同参画社会を実現していくためには、何が最も重要だと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。)

◇意見が分散傾向である

n=1459



※以下の記述では、回答選択肢を下表に示すように略した。

回答選択肢	(略)
1. 法律や条例など公的な制度を見直す	→ 公的な制度を見直す
2. 女性を取り巻くさまざまな偏見や固定的な社会通念、習慣をなくす	→ 偏見・社会通念・習慣をなくす
3. 女性の就業、社会参加を支援する施策やサービスの充実を図る	→ 施策やサービスを充実
4. 重要な役割や審議会などに一定の割合で女性を登用する	→ 女性を登用

(全体)

- 男女共同参画社会を実現していくために重要なこととしては、回答が分散したが、なかでは「偏見・社会通念・習慣をなくす」を回答者の25.7%が選択して最も多く、次いで、「施策やサービスの充実を図る」も差がなく23.4%であった。
- 一方、「わからない」が18.0%であった。

(性別)

➤男性は「偏見・社会通念・習慣をなくす 27.3%」が最も多いが、女性は「施策やサービスを充実 27.3%」が最も多い。

(年代別)

➤10・20・40・70 歳代及び 80 歳以上では「偏見・社会通念・習慣をなくす 20～36%」が最も多いが、30・50・60 歳代では「施策やサービスを充実 27～30%」が最も多い。

➤「わからない」は、20 歳代 (6.8%) が最も少なく、概ね年代が上がるにつれて多くなり、80 歳以上 (26.1%) が最も多い。

(地区別)

➤6 地区で「偏見・社会通念・習慣をなくす 24～ 30%」が最も多いが、福田・木間ヶ瀬・二川・関宿の 4 地区では「施策やサービスを充実 20～32%」が最も多い。

(居住年数別)

➤「3 年未満」「5 年以上～10 年未満」「30 年以上」は「偏見・社会通念・習慣をなくす 21～31%」が最も多いが、「3 年以上～5 年未満」「10 年以上～30 年未満」は「施策やサービスを充実 26～29%」が最も多い。

(過年度比較)

➤今年度は「わからない」を追加したことから正確な比較はできないが、前回調査 (平成 27 年度) と比べて、「施策やサービスを充実」が 15.3P 減 (38.7%→23.4%)、「偏見・社会通念・習慣をなくす」が 6.1P 減 (31.8%→25.7%) と大きく減少する一方で、「女性を登用」が 5.2P 増 (8.6%→13.8%) となり、また、「わからない」が 18.0%を占めた。

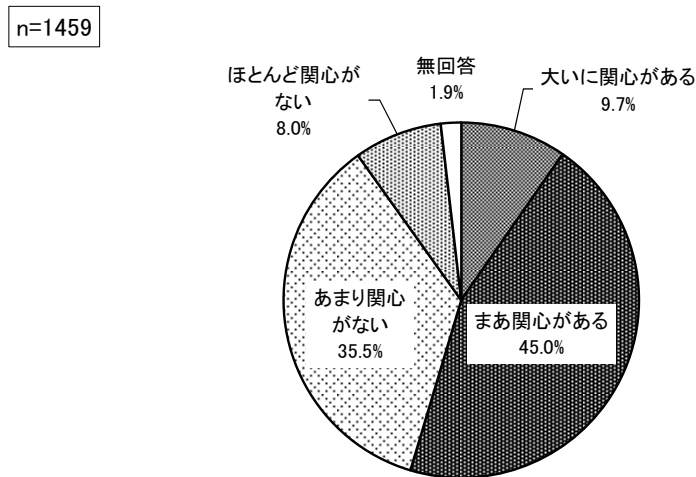


8 市政への参加意識

問19 市政についての関心度

(問19 あなたは、市政についてどの程度関心がありますか。次の中から1つだけ選んでください。)

◇『関心がある(計)』は5割半ば



(全体)

➤ 市政についての関心は、『ある』が 54.7% (「大いに関心がある 9.7%」「まあ関心がある 45.0%」の合計。以下、同じ) であった。

(性別)

➤ 『ある』は男女いずれも半数を超えたが、その割合は、男性 (60.9%) が女性 (50.2%) より 10.7P 多い。

(年代別)

➤ 『ある』は、20 歳代 (36.9%) が最も少なく、年代が上がるにつれて多くなり、70 歳代 (66.5%) が最も多い。

(地区別)

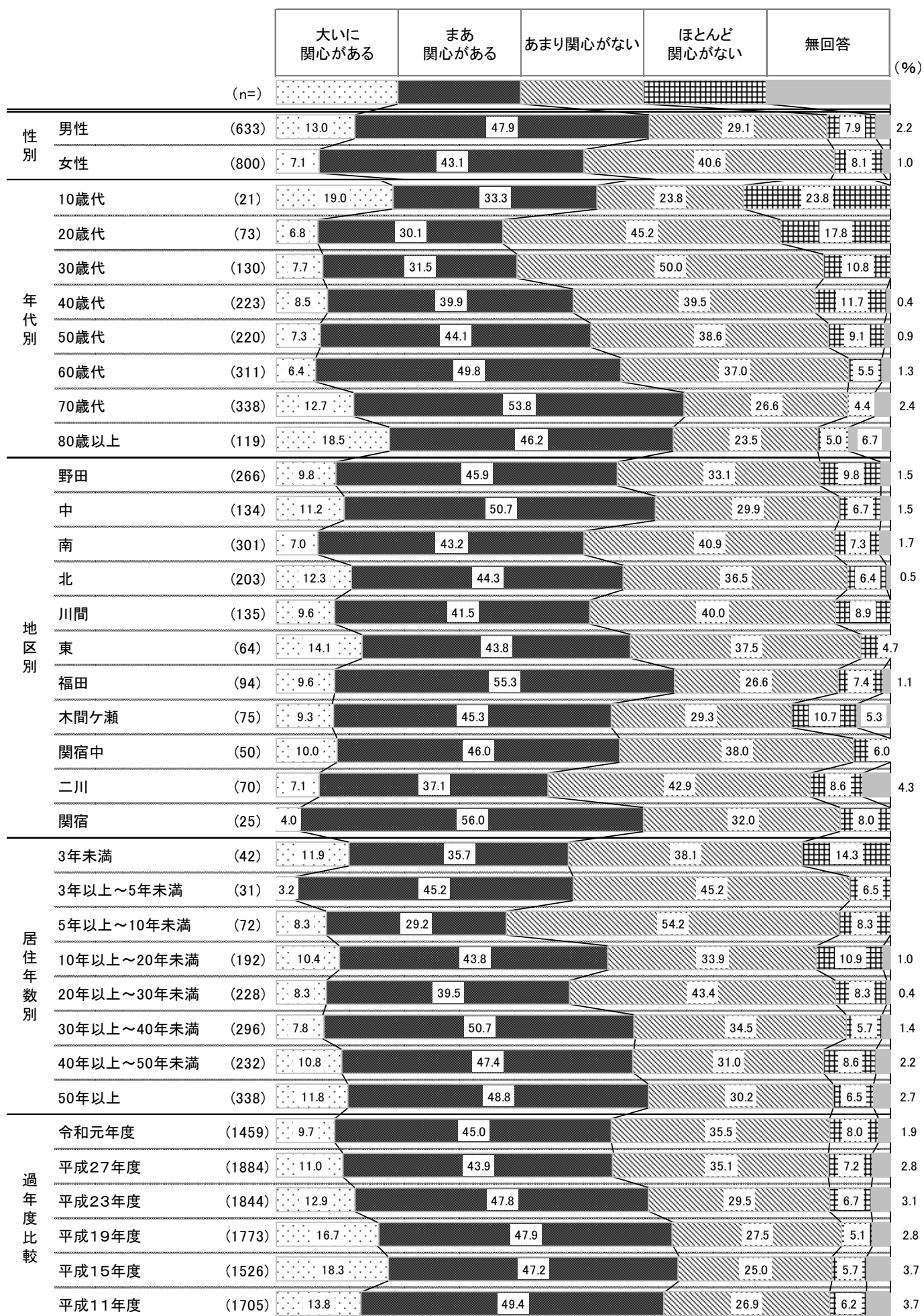
➤ 『ある』は、福田地区 (64.9%) が最も多く、二川地区 (44.2%) が最も少ない。

(居住年数別)

➤ 『ある』は、「50 年以上 60.6%」が最も多く、「5 年以上～10 年未満 37.5%」が最も少ない。

(過年度比較)

➤ 前回調査 (平成 27 年度) と比べてほとんど変化はないが、市政に感心が『ある』は長期的には減少傾向にある。

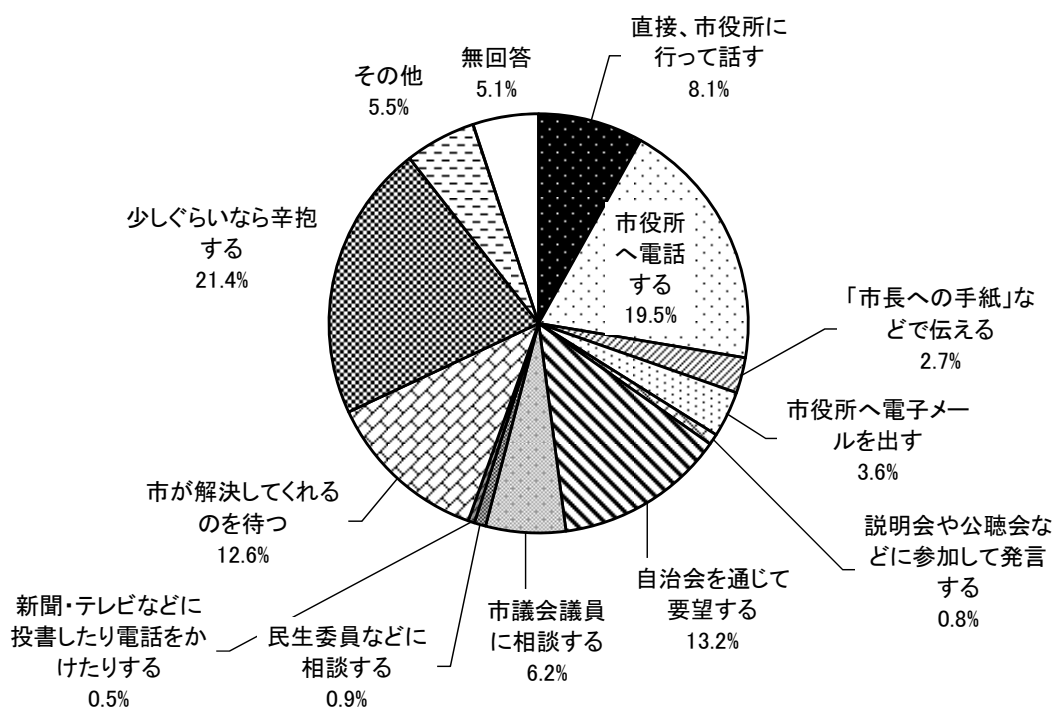


問20 市政に関して意見・不満があるときに取る行動

(問20 あなたは、市政に関することで意見や不満があるとき、まず、どのようにしますか。次の中から1つだけ選んでください。)

◇「市役所へ電話する」は約2割

n=1459



問20: あなたは、市政に関することで意見や不満があるとき、まず、どのようにしますか。次の中から1つだけ選んでください。(SA)

(降順)

		回答数	%	%
	全体	1459	100.0	100.0
『行動する』	1 市役所へ電話する	285	19.5	55.5
	2 自治会を通じて要望する	192	13.2	
	3 直接、市役所に行って話す	118	8.1	
	4 市議会議員に相談する	90	6.2	
	5 市役所へ電子メールを出す	52	3.6	
	6 「市長への手紙」などで伝える	40	2.7	
	7 民生委員などに相談する	13	0.9	
	8 説明会や公聴会などに参加して発言する	12	0.8	
	9 新聞・テレビなどに投書したり電話をかけた	7	0.5	
『行動しない』	10 少しぐらいなら辛抱する	312	21.4	34.0
	11 市が解決してくれるのを待つ	184	12.6	
	12 その他	80	5.5	5.5
	無回答	74	5.1	5.0

(全体)

- 市政に関すること意見や不満があるときの行動として回答選択肢の内の「1」～「9」（いずれも何らかの行動を取る）を選択した場合を『行動する』とすれば、『行動する』回答者の合計割合は 55.5%であった。
- その内訳を見ると、「市役所へ電話する」が 19.5%で最も多く、次いで「自治会を通じて要望する」が 13.2%で、これら以外の行動については 10%未満であった。
- 一方、回答選択肢の「10. 市が解決してくれるのを待つ」「11. 少しぐらいなら辛抱する」を選択した場合を『行動しない』とすれば、『行動しない』回答者の合計割合は 34.0%であった。
- その内訳を見ると、「少しぐらいなら辛抱する」が 21.4%、「市が解決してくれるのを待つ」が 12.6%であった。

(性別)

- 『行動する』は、男性（61.2%）が女性（51.4%）より 9.8P 多い。
- 『行動する』場合の具体的行動としては、男女で上位 1～6 位まで同じであった。

(年代別)

- 『行動する』は、年代による規則的な傾向は見受けられないが、10 歳代（23.9%）・20 歳代（28.8%）が他年代に比べてかなり少ない。30 歳代以上になると『行動する』は 42～67%に増加するが、なかでは 70 歳代（67.3%）が最も多い。
- 『行動する』場合の具体的行動としては、10～70 歳代では「市役所へ電話する 8～25%」が最も多いが、80 歳以上では「自治会を通じて要望する 18.5%」が最も多い。

(地区別)

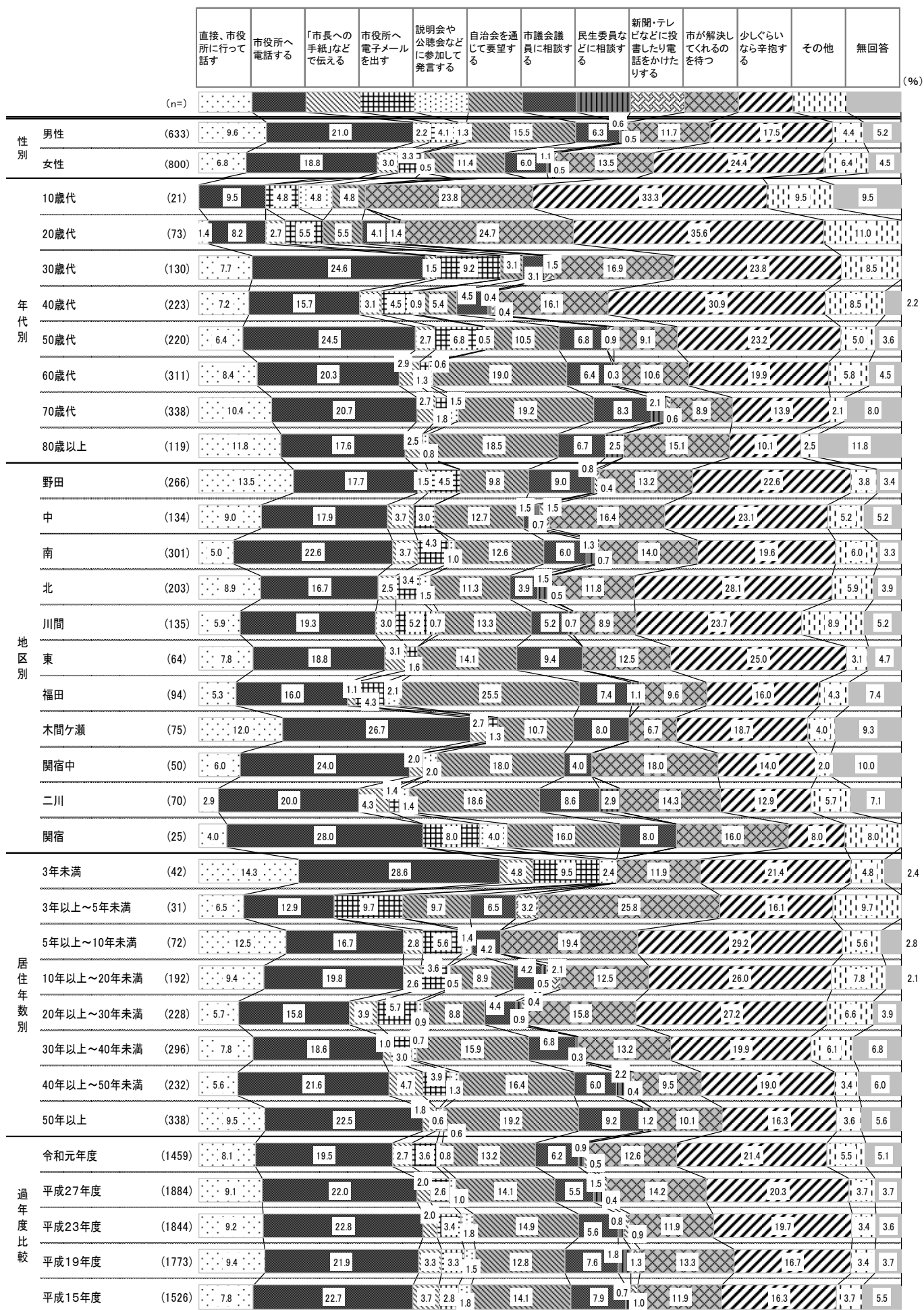
- 『行動する』は、関宿地区（68.0%）が最も多く、中地区（50.0%）が最も少ない。
- 『行動する』場合の具体的行動としては、福田地区を除く 10 地区で「市役所へ電話する 17～28%」が最も多く、これに次いで 8 地区が「自治会を通じて要請する 11～19%」であった。
- 福田地区のみは「自治会を通じて要請する 25.5%」が最も多く、次いで「市役所へ電話する 16.0%」であった。

(居住年数別)

- 『行動する』は、「5 年以上～10 年未満 43.2%」が最も少なく、「50 年以上 64.6%」が最も多い。
- 『行動する』場合の具体的行動としては、全ての居住年数帯で「市役所へ電話する 13～29%」が最も多いが、これ以外の行動項目の選択割合順位は居住年数によって異なる。

(過年度比較)

- 前回調査（平成 27 年度）と比べて大きな変化はないものの、長期的に見ると、『行動する』は漸減傾向、『行動しない』は漸増傾向にある。

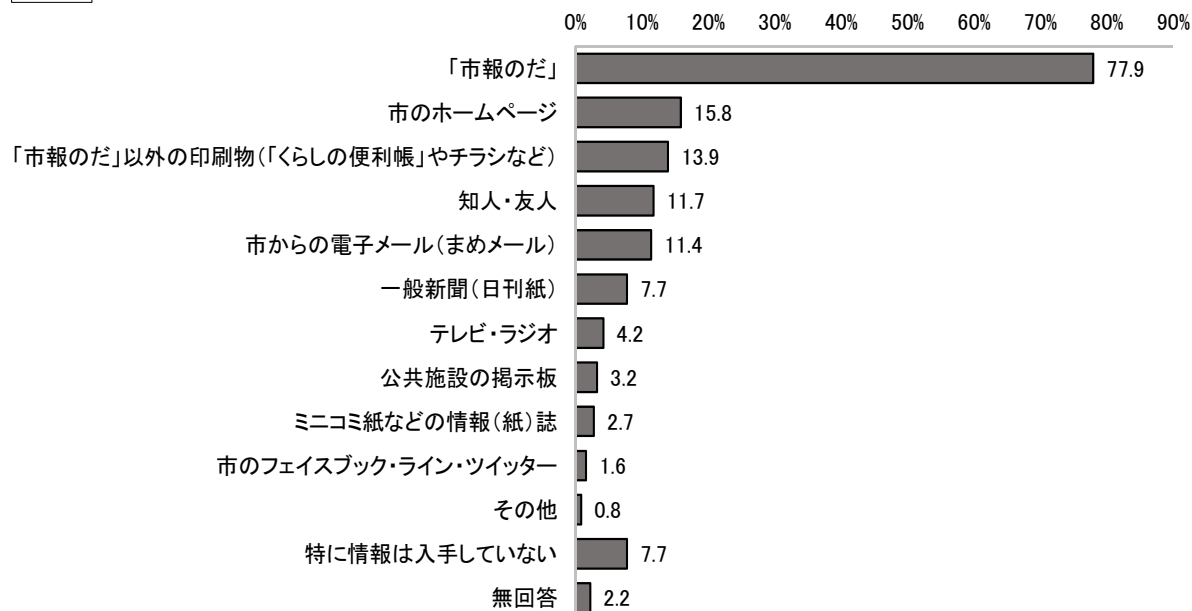


問21 市に関する情報の入手手段

(問21 あなたは、市に関する情報を主に何によって知りますか。次の中から2つ以内で選んでください。)

◇「市報のだ」が約8割

n=1459



(全体)

- 市に関する情報の入手手段としては、「市報のだ」を回答者の 77.9%が選択して突出して多い。
- 一方、「特に情報は入手していない」は 7.7%であった。

(性別)

- 男女いずれも、「市報のだ 78%前後」が突出して多い。

(年代別)

- 全ての年代で、「市報のだ 44~90%」が突出して多い。
- 「特に情報は入手しない」は、10・20歳代は 30%前後だが、30・40歳代では 12%前後に減少し、さらに 50歳代以上になると 4%前後になる。

(地区別)

- 全ての地区で、「市報のだ 73~90%」が突出して多いが、これ以外の情報入手手段の選択割合順位は地区によって異なる。
- 「特に情報は入手しない」は、木間ヶ瀬 (12.0%) が最も多く、関宿中 (0.0%) が最も少ない。

(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で、「市報のだ 55~86%」が突出して多いが、これ以外の情報入手手段の選択割合順位は居住年数によって異なる。

(過年度比較)

- 今年度は「市のフェイスブック・ライン・ツイッター」「特に情報は入手していない」を追加したことから正確な比較はできないが、前回調査(平成 27 年度)と比べると、「市報のだ」「市報のだ以外の印刷物」「公共施設の掲示版」「一般新聞」「ミニコミ誌など」「知人・友人」がいずれも 4P 前後減少し、代わりに「市のホームページ」「市からの電子メール(まめメール)」がそれぞれ 3P 強増え、また、「特に情報は入手していない」が 7.7%を占めた。

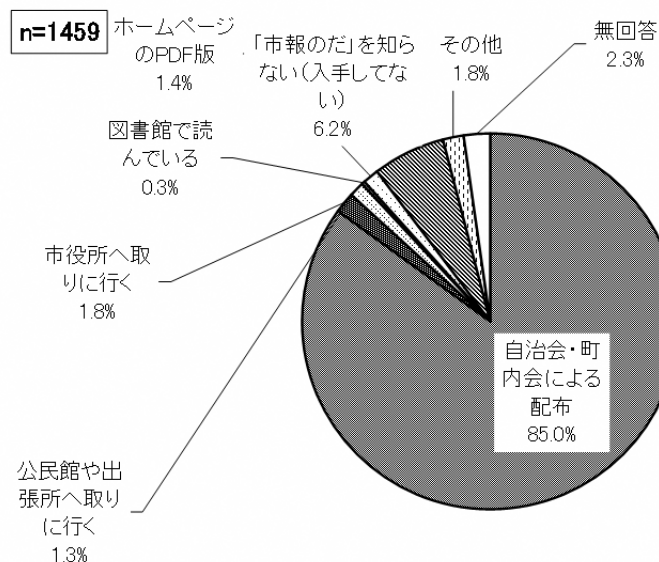
(%)

			1 「市報のだ 」	2 「市報のだ」以外の印刷物（「く らしの便利帳」やチラシなど）	3 市のホームページ	4 市のフェイスブック・ライン・ツ イッター	5 市からの電子メール（まめメー ル）	6 公共施設の掲示板	7 一般新聞（日刊紙）	8 ミニコミ紙などの情報（紙）誌	9 テレビ・ラジオ	10 知人・友人	11 その他	12 特に情報は入手していない	無回 答
		n													
全体		1459	77.9	13.9	15.8	1.6	11.4	3.2	7.7	2.7	4.2	11.7	0.8	7.7	2.2
性別	男性	633	77.9	13.7	19.1	1.3	6.0	3.6	8.5	2.7	2.5	10.9	0.8	8.2	2.8
	女性	800	78.3	14.1	13.4	1.9	16.0	2.9	7.4	2.8	5.3	12.5	0.9	7.5	1.3
年代別	10歳代	21	47.6	4.8	19.0	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	4.8	14.3	9.5	28.6	0.0
	20歳代	73	43.8	9.6	15.1	1.4	6.8	0.0	6.8	0.0	9.6	13.7	1.4	30.1	0.0
	30歳代	130	64.6	9.2	24.6	4.6	9.2	4.6	2.3	0.0	2.3	13.1	1.5	12.3	0.0
	40歳代	223	70.0	7.6	25.1	4.9	21.5	1.3	2.2	1.8	3.1	9.0	2.7	11.7	0.9
	50歳代	220	78.2	13.2	25.5	1.4	14.1	2.3	6.4	2.7	2.7	12.7	0.5	5.5	1.4
	60歳代	311	89.7	16.1	13.2	0.3	13.5	2.6	9.0	3.5	4.2	10.0	0.0	3.2	1.3
	70歳代	338	84.9	19.8	6.2	0.3	6.8	4.7	11.5	3.8	5.0	13.6	0.0	4.1	4.1
	80歳以上	119	84.0	16.0	5.9	0.0	4.2	6.7	14.3	4.2	4.2	11.8	0.0	5.0	4.2
地区別	野田	266	75.2	11.3	18.0	0.8	10.2	4.5	7.9	2.6	5.3	12.0	1.1	7.9	1.9
	中	134	82.8	16.4	23.1	1.5	9.7	3.0	4.5	3.0	4.5	11.9	0.7	3.7	1.5
	南	301	78.1	14.0	15.6	2.3	12.3	3.3	8.3	2.0	4.7	10.0	1.0	7.3	1.7
	北	203	76.8	15.8	19.7	1.5	14.3	3.9	8.9	3.4	3.9	6.4	0.5	7.9	1.5
	川間	135	72.6	15.6	19.3	1.5	10.4	2.2	3.7	3.0	5.2	9.6	0.7	9.6	3.7
	東	64	82.8	12.5	17.2	0.0	4.7	1.6	7.8	3.1	1.6	18.8	0.0	6.3	3.1
	福田	94	83.0	12.8	7.4	0.0	16.0	3.2	11.7	5.3	0.0	14.9	0.0	7.4	3.2
	木間ヶ瀬	75	73.3	12.0	10.7	2.7	9.3	1.3	8.0	4.0	6.7	18.7	1.3	12.0	0.0
	関宿中	50	90.0	22.0	10.0	6.0	12.0	2.0	6.0	2.0	0.0	10.0	2.0	0.0	4.0
	二川	70	84.3	8.6	4.3	1.4	11.4	4.3	12.9	0.0	2.9	20.0	0.0	8.6	1.4
	関宿	25	84.0	24.0	4.0	4.0	28.0	0.0	8.0	0.0	0.0	20.0	4.0	4.0	0.0
居住年数別	3年未満	42	54.8	7.1	19.0	2.4	4.8	9.5	2.4	0.0	2.4	7.1	0.0	35.7	0.0
	3年以上～5年未満	31	64.5	12.9	29.0	3.2	9.7	6.5	3.2	0.0	3.2	3.2	0.0	16.1	0.0
	5年以上～10年未満	72	66.7	9.7	26.4	0.0	16.7	1.4	8.3	1.4	4.2	9.7	1.4	6.9	0.0
	10年以上～20年未満	192	68.8	15.6	20.8	2.1	12.5	4.2	5.7	2.1	5.2	13.0	1.6	8.9	2.6
	20年以上～30年未満	228	74.6	10.1	18.9	3.1	12.3	0.9	7.5	0.9	5.7	11.4	0.4	10.5	1.3
	30年以上～40年未満	296	85.8	13.5	12.5	1.4	12.2	3.4	8.1	2.0	3.7	11.5	1.4	4.7	2.0
	40年以上～50年未満	232	84.5	15.9	14.2	1.7	13.4	2.2	9.5	3.9	4.3	9.5	0.9	6.5	2.2
	50年以上	338	82.0	17.2	11.5	0.6	8.9	4.1	8.9	5.0	3.0	15.1	0.3	3.6	2.7
比較	令和元年度	1459	77.9	13.9	15.8	1.6	11.4	3.2	7.7	2.7	4.2	11.7	0.8	7.7	2.2
	平成27年度	1884	83.1	17.3	12.6		8.0	6.9	11.1	4.7	4.0	15.6	0.7		1.6

問22 「市報のだ」の入手手段

(問22 あなたは「市報のだ」をどのように入手していますか。次の中から1つだけ選んでください。)

◇「自治会・町内会による配布」は8割半ば



(全体)

- 「市報のだ」の入手手段としては、「自治会・町内会による配布」が85.0%で突出して多い。
- 一方、「市報のだを知らない(入手していない)」は6.2%であった。

(性別)

- 男女いずれも「自治会・町内会による配布 85%前後」が突出して多く、これ以外の入手手段はいずれも3%未満であった。
- 「市報のだを知らない(入手していない)」も男女いずれも6.3%であった。

(年代別)

- 全ての年代で「自治会・町内会による配布 57~94%」が突出して多く、その割合は概ね年代が上がるにつれて多くなる。
- 「市報のだを知らない(入手していない)」は10歳代(33.3%)が最も多く、これより年代が上がるにつれて減少し、80歳以上(0.8%)が最も少ない。

(地区別)

- 全ての地区で「自治会・町内会による配布 77~94%」が突出して多い。
- 「市報のだを知らない(入手していない)」は、木間ヶ瀬(9.3%)が最も多く、関宿中(0.0%)が最も少ない。

(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で、「自治会・町内会による配布 57~92%」が突出して多く、その割合は居住年数が長くなるにつれて多くなる。
- 「市報のだを知らない(入手していない)」は、「3年未満」が28.6%で最も多く、居住年数が長くなるにつれて減少し、居住年数「30年以上」では2%強になる。

(自治会・町内会への加入状況別)

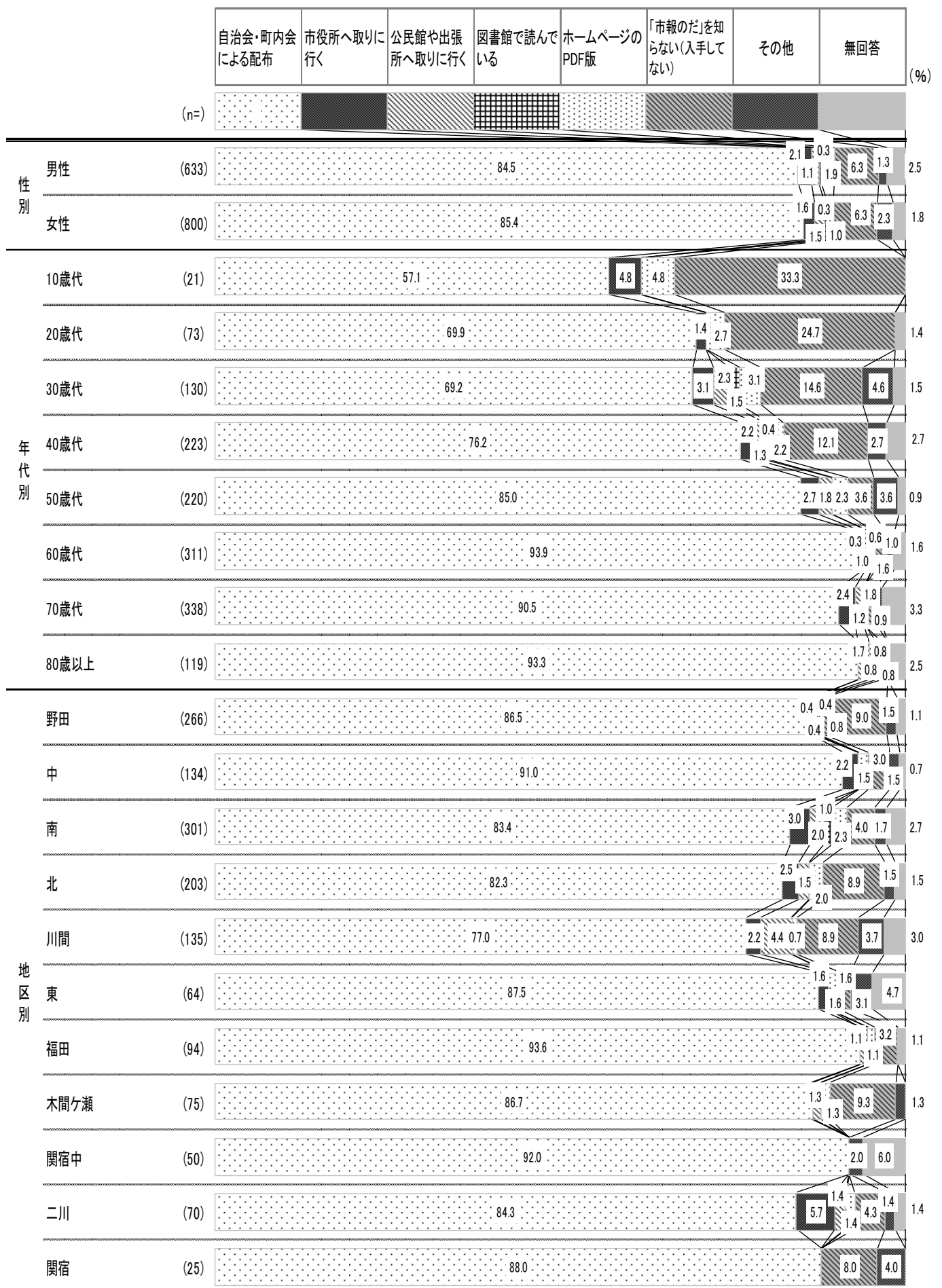
➤問 8 で自治会・町内会に「加入している」とした回答者では「自治会・町内会による配布」が 96.8%だが、「加入していない」とした回答者では「自治会・町内会による配布」は 16.0%に減少し、代わりに他の入手手段(注)の合計が 33.1% (自治会・町内会加入者では 0.3%) に増加し、さらに「市報のだを知らない(入手していない)」も 33.7% (自治会・町内会加入者では 1.3%) に増加する。

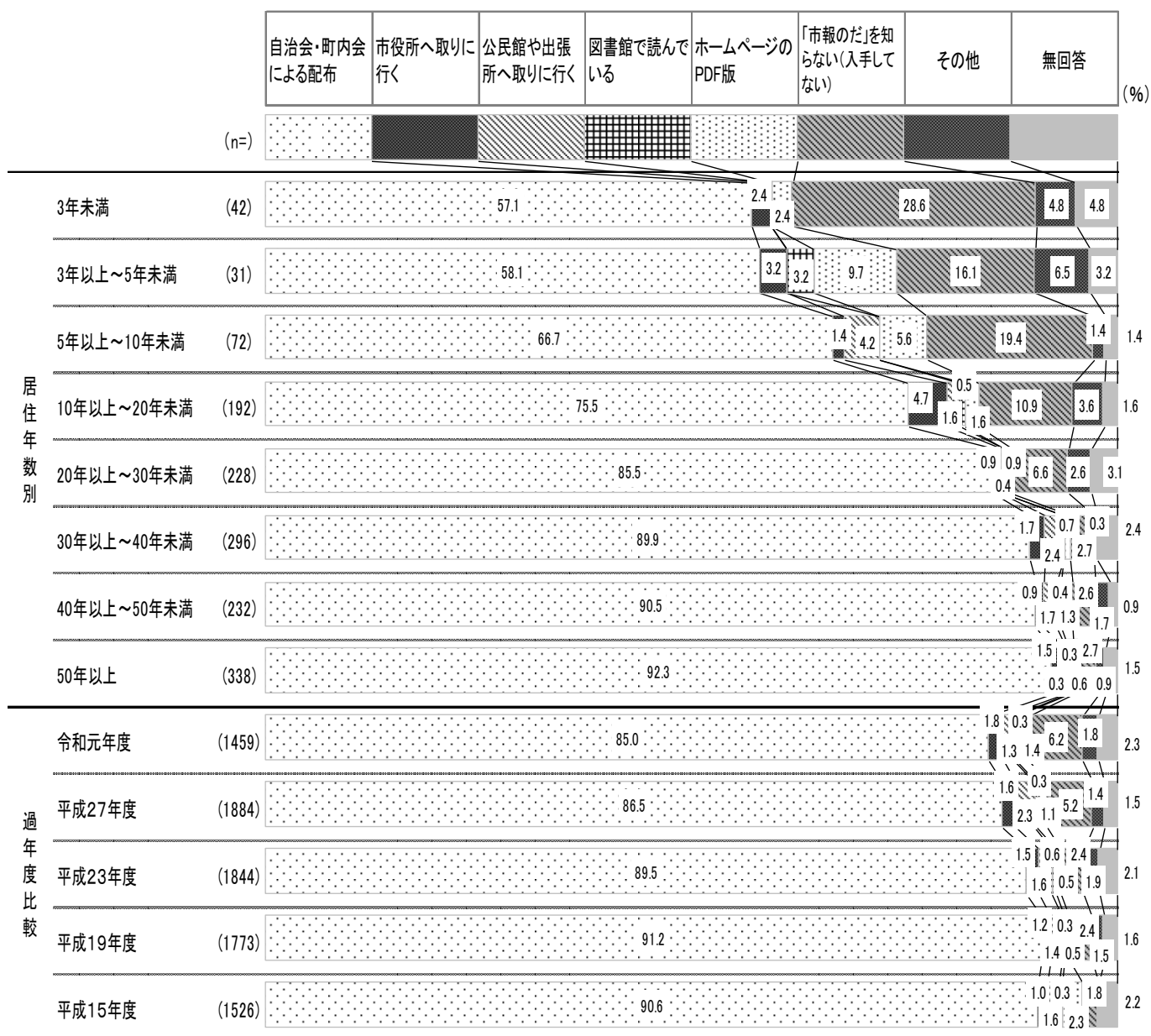
(注)「市役所へ取りに行く」「公民館や出張所へ取りに行く」「図書館で読んでいる」「ホームページの PDF 版」

		n	1 自治会・町内会による配布	2 市役所へ取りに行く	3 公民館や出張所へ取りに行く	4 図書館で読んでいる	5 ホームページの PDF 版	6 「市報のだ」を知らない(入手していない)	7 その他	無回答
全体		1459	85.0	1.8	1.3	0.3	1.4	6.2	1.8	2.3
自治会・町内会への加入の有無	加入している	1229	96.8	0.1	0.0	0.0	0.2	1.3	0.2	1.3
	加入していない	175	16.0	13.1	9.7	2.3	8.0	33.7	12.0	5.1
	わからない	30	40.0	0.0	3.3	0.0	3.3	43.3	6.7	3.3

(過年度比較)

➤前回調査(平成 27 年度)と比べて大きな変化はないものの、長期的には「自治会・町内会による配布」は漸減傾向、「市報のだを知らない(入手していない)」が漸増傾向にある。



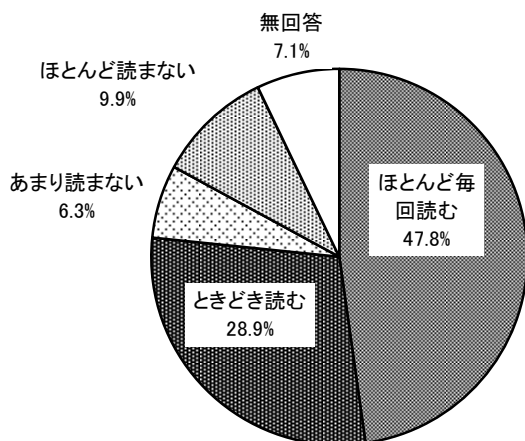


問23 「市報のだ」の閲読状況

(問23 あなたは、「市報のだ」をどれぐらい読んでいますか。次の中から1つだけ選んでください。)

◇『読む(計)』は7割半ば

n=1459



(全体)

➤「市報のだ」を『読む』は76.7%（「ほとんど毎回読む47.8%」「ときどき読む28.9%」の合計。以下、同じ）であった。

(性別)

➤『読む』は男女いずれも77%前後だが、「ほとんど毎回読む」は女性(49.9%)が男性(45.0%)よりやや多い。

(年代別)

➤『読む』は、10歳代(42.9%)・20歳代(34.3%)は半数を下回っているが、30歳代以上になると半数を超え、年代が上がるにつれて多くなり、60歳代以上になると81~87%になる。
➤「ほとんど毎回読む」も、10歳代(14.3%)・20歳代(11.0%)は少ないが、年代が上がるにつれて増加し、80歳以上では61.3%になる。

(地区別)

➤『読む』は、全ての地区で70%を超えており、関宿地区(92.0%)が最も多く、川間地区(71.9%)が最も少ない。
➤「ほとんど毎回読む」は、関宿中地区(58.0%)が最も多く、木間ヶ瀬地区(40.0%)が最も少ない。

(居住年数別)

➤『読む』は、「3年未満」が54.8%で最も少ないが、「3年以上~30年未満」では70%前後に増加し、「30年以上」ではさらに増加して82%前後になる。
➤「ほとんど毎回読む」も、「3年未満」が31.0%で最も少ないが、「3年以上~30年未満」では40%近くに増加し、さらに居住年数が長くなるにつれて増加し、「50年以上」では57.7%になる。

(過年度比較)

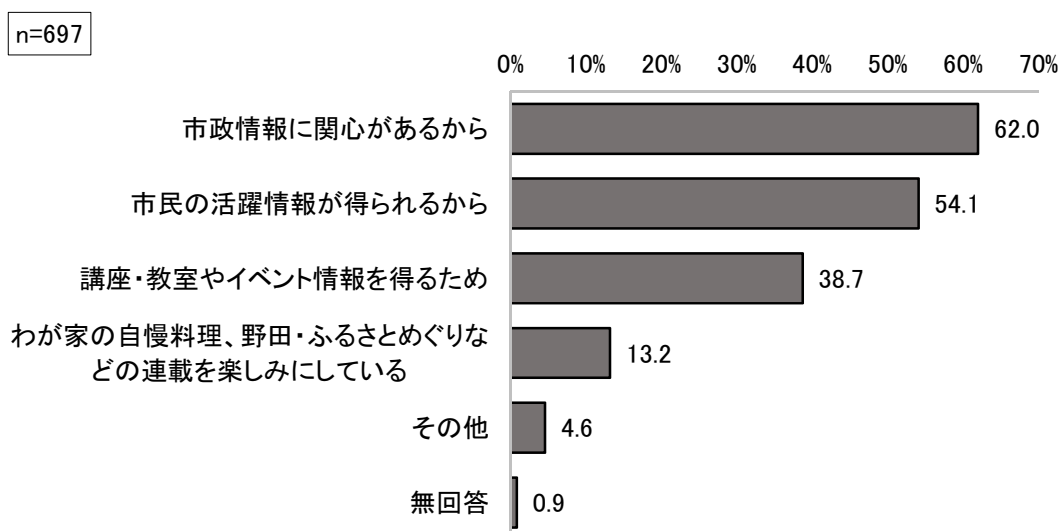
➤前回調査(平成27年度)と比べて、『読む』は7.7P減少(84.4%→76.7%)した。



問23-1 ほとんど毎回読む理由

(問23-1 それはどのような理由からですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。)

◇「市政情報に関心があるから」が6割を超える



(全体)

➤前問で「1. ほとんど毎回読む」を選択した回答者（全体の 47.8%）に読む理由を聞いたところ、「市政情報に関心があるから」を回答者の 62%が選択して最も多く、次いで「市民の活躍情報が得られるから」も半数を超える 54.1%であった。

(性別)

➤男女で、上位 1～4 位まで同じであった。

(年代別)

➤20 歳代と 60 歳代を除く全ての年代で上位 1～4 位まで同じだが、60 歳代では 1 位と 2 位が逆転している。

➤「市政情報」は 40 歳代（67.7%）の関心が最も高く、「市民の活躍情報」「講座・教室やイベント情報」「連載を楽しみに」はいずれも 70 歳代の関心が最も高い。

(地区別)

➤東・関宿中・二川を除く 8 地区で、上位 1～2 位まで同じであった。東・関宿中・二川の 3 地区では 1 位と 2 位が逆転している。

(居住年数別)

➤「3 年以上～10 年未満」「20 年以上～30 年未満」を除く居住年数帯で、「市政情報 64～77%」が最も多い。

(過年度比較)

➤本問は今年度の新規設問。

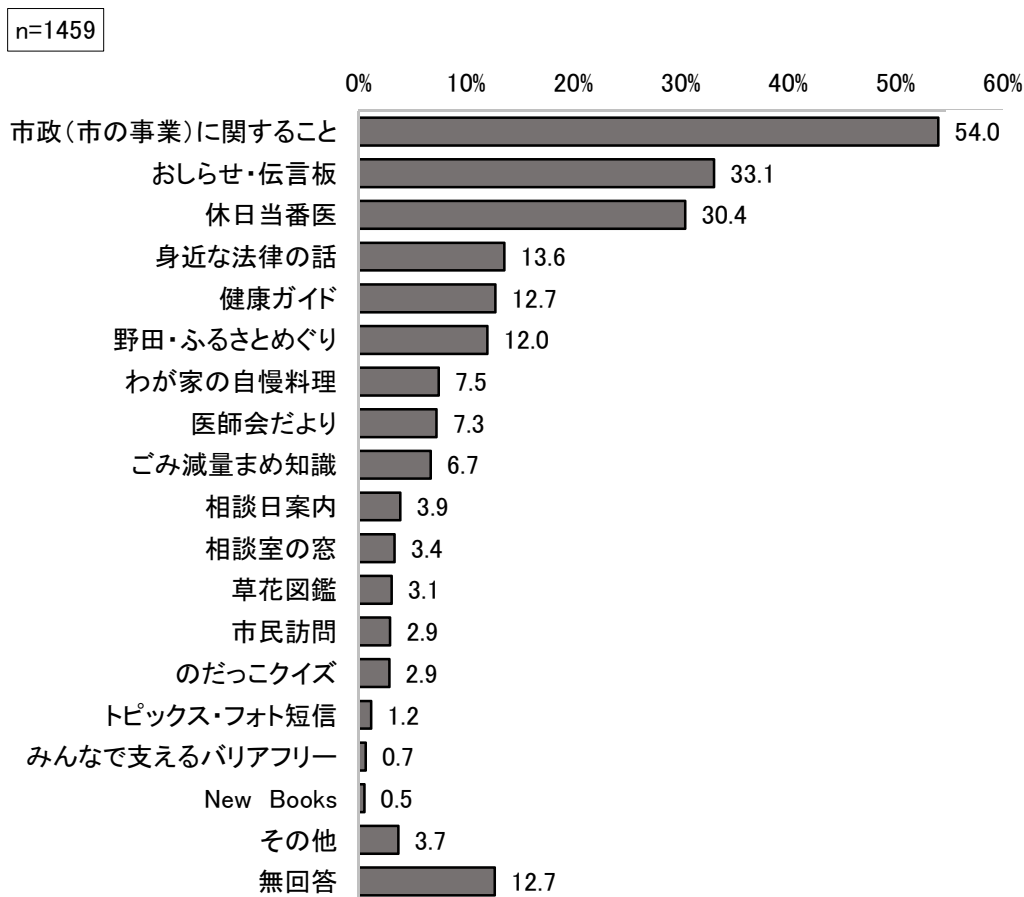
(%)

			1 市 政 情 報 に 関 心 が あ る か ら	2 市 民 の 活 躍 情 報 が 得 ら れ る か ら	3 講 座 ・ 教 室 や イ ベ ン ト 情 報 を 得 る た め	4 わ が 家 の 自 慢 料 理 、 野 田 ・ を ふ る さ と め ぐ り な ど の 連 載 を 楽 し み に し て い る	5 そ の 他	無 回 答
		n						
全体		697	62.0	54.1	38.7	13.2	4.6	0.9
性 別	男性	285	70.2	53.0	27.4	9.8	4.2	0.7
	女性	399	56.6	55.4	47.4	15.8	4.5	0.5
年 代 別	10歳代	3	100.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0
	20歳代	8	37.5	37.5	12.5	25.0	0.0	0.0
	30歳代	40	67.5	27.5	27.5	2.5	10.0	0.0
	40歳代	93	67.7	41.9	35.5	5.4	8.6	0.0
	50歳代	95	65.3	60.0	31.6	14.7	8.4	0.0
	60歳代	173	50.9	57.8	41.0	15.0	3.5	0.0
	70歳代	200	67.0	60.5	45.5	16.0	1.5	2.0
	80歳以上	73	63.0	53.4	39.7	13.7	1.4	1.4
地 区 別	野田	119	65.5	51.3	32.8	14.3	3.4	0.8
	中	76	63.2	52.6	28.9	9.2	6.6	0.0
	南	131	57.3	52.7	44.3	9.2	6.1	0.8
	北	114	60.5	50.9	43.0	15.8	6.1	0.0
	川間	58	65.5	53.4	53.4	12.1	5.2	3.4
	東	34	52.9	64.7	44.1	11.8	0.0	0.0
	福田	48	72.9	58.3	45.8	16.7	0.0	0.0
	木間ヶ瀬	30	56.7	56.7	20.0	20.0	6.7	0.0
	関宿中	29	62.1	65.5	44.8	6.9	3.4	0.0
	二川	31	54.8	67.7	32.3	25.8	3.2	0.0
	関宿	12	91.7	33.3	8.3	16.7	0.0	0.0
居 住 年 数 別	3年未満	13	76.9	38.5	30.8	38.5	7.7	0.0
	3年以上～5年未満	12	25.0	50.0	33.3	0.0	8.3	0.0
	5年以上～10年未満	26	46.2	42.3	53.8	0.0	15.4	0.0
	10年以上～20年未満	76	68.4	50.0	43.4	11.8	7.9	1.3
	20年以上～30年未満	86	45.3	62.8	33.7	15.1	3.5	0.0
	30年以上～40年未満	150	67.3	50.0	42.7	11.3	4.0	0.0
	40年以上～50年未満	127	66.9	55.1	47.2	13.4	3.1	0.8
	50年以上	195	63.6	57.4	30.3	15.4	3.1	1.5
比 較	過 年 度		令和元年度新設設問					

問24 「市報のだ」でよく読む記事

(問24 あなたが、「市報のだ」の中でよく読む記事は何ですか。次の中から主なものを3つ以内で選んでください。)

◇「市政(市の事業)に関すること」は5割台半ば



(全体)

➤「市報のだ」でよく読む記事としては、「市政(市の事業)に関すること」を回答者の半数を超える 54.0%が選択して最も多い。

(性別)

➤男女で、上位1～3位まで同じであった。

(年代別)

➤全ての年代で「市政(市の事業) 27～62%」が最も多い。

➤これに次いで、10歳代は「野田・ふるさとめぐり 19.0%」、20～50歳代は「休日当番医 21～38%」、60歳代以上は「おしらせ・伝言板 40%前後」であった。

(地区別)

➤全ての地区で「市政に関すること 41～72%」が最も多い。

➤これに次いで、8地区で「おしらせ・伝言板 23～43%」(木間ヶ瀬地区は「休日当番医」も同率2位)だが、南・川間の2地区は「休日当番医 32～37%」、関宿地区は「野田・ふるさとめぐり 36.0%」であった。

(居住年数別)

➤全ての居住年数帯で「市政に関すること 38～61%」が最も多く、2・3位は、居住年数によって順位は異なるものの、「おしらせ・伝言板 17～38%」「休日当番医 19～36%」であった。

(過年度比較)

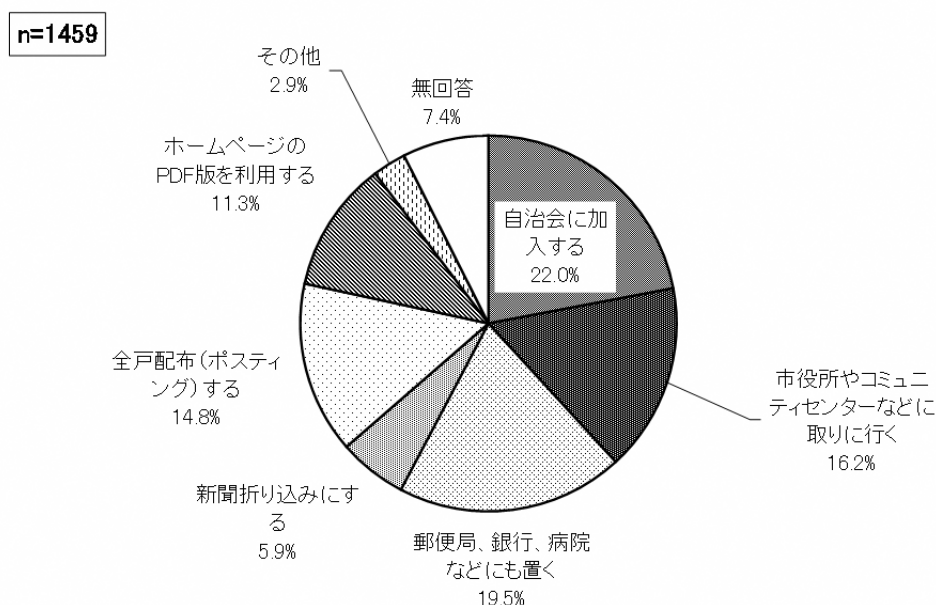
➤今年度は回答選択肢を前回から 6 項目削除、4 項目追加したことから正確な比較はできないが、前回調査（平成 27 年度）と比べて、「市政に関すること」は 2.8P 減で、長期的にも漸減傾向にある。一方、「野田・ふるさとめぐり」「休日当番医」がそれぞれ 4P 程度増加した。

			1 市 政 事 業 に 関 する こ と	2 市 民 訪 問	3 N e w B o o k s	4 ア ミ ン な で 支 え る バ リ	5 短 信 ト ピ ッ ク ス ・ フ ォ ト	6 わ が 家 の 自 慢 料 理	7 お し ら せ ・ 伝 言 板	8 医 師 会 だ よ り	9 野 田 ・ ふ る さ と め ぐ	10 相 談 日 案 内	11 の だ っ こ ク イ ズ	12 休 日 当 番 医	13 相 談 室 の 窓	14 身 近 な 法 律 の 話	15 健 康 ガ イ ド	16 ご み 減 量 ま め 知 識	17 草 花 図 鑑	18 そ の 他	無 回 答
全体		1459	54.0	2.9	0.5	0.7	1.2	7.5	33.1	7.3	12.0	3.9	2.9	30.4	3.4	13.6	12.7	6.7	3.1	3.7	12.7
性 別	男性	633	61.0	3.0	0.3	0.5	1.9	3.2	30.5	6.2	16.3	3.3	2.2	27.6	2.1	11.8	10.0	6.6	2.8	3.9	12.3
	女性	800	48.5	3.0	0.8	0.9	0.6	10.8	35.6	8.1	8.6	4.4	3.5	33.1	4.3	15.1	15.0	7.0	3.0	3.6	12.4
年 代 別	10歳代	21	42.9	9.5	0.0	4.8	0.0	9.5	9.5	0.0	19.0	0.0	9.5	9.5	4.8	9.5	9.5	0.0	0.0	19.0	14.3
	20歳代	73	27.4	4.1	4.1	1.4	4.1	6.8	17.8	8.2	5.5	0.0	5.5	20.5	2.7	2.7	2.7	1.4	4.1	12.3	24.7
	30歳代	130	46.9	1.5	0.0	0.8	0.8	4.6	23.1	6.9	8.5	2.3	0.8	30.0	1.5	3.1	6.9	2.3	2.3	11.5	14.6
	40歳代	223	55.6	2.7	0.4	0.0	0.9	6.3	22.4	6.3	5.4	3.6	1.8	37.2	4.9	13.0	10.3	4.9	0.4	4.5	18.8
	50歳代	220	55.9	3.2	1.4	1.4	0.5	6.8	33.6	4.5	11.4	4.1	1.8	38.2	5.9	12.7	11.8	7.7	1.4	3.2	7.3
	60歳代	311	58.8	2.6	0.3	0.3	1.6	8.4	39.9	9.0	13.5	2.9	2.6	31.8	3.5	17.4	16.1	10.0	4.8	1.0	7.4
	70歳代	338	53.8	3.3	0.0	0.6	0.9	9.2	40.5	7.7	18.3	6.2	4.7	24.9	1.8	18.0	16.9	7.1	3.6	0.9	13.6
	80歳以上	119	62.2	3.4	0.0	0.8	1.7	5.9	39.5	9.2	10.9	5.0	2.5	27.7	0.8	13.4	12.6	9.2	4.2	2.5	9.2
地 区 別	野田	266	51.5	3.8	0.0	0.8	1.5	7.1	34.2	9.0	9.8	4.5	1.5	31.2	3.0	10.2	12.8	5.6	2.6	5.6	13.5
	中	134	66.4	3.7	0.7	0.7	2.2	10.4	34.3	4.5	11.9	6.0	4.5	32.1	5.2	13.4	11.9	4.5	5.2	3.0	6.7
	南	301	50.2	2.3	0.7	1.0	1.0	5.3	29.9	6.3	11.3	3.3	2.3	37.2	2.3	9.6	13.3	6.3	2.7	4.7	12.6
	北	203	61.1	3.9	0.0	0.0	1.0	7.4	38.9	8.9	11.8	4.4	3.9	32.0	3.4	14.3	12.8	5.4	1.5	3.0	11.8
	川間	135	40.7	1.5	2.2	0.7	0.7	8.9	28.9	10.4	8.9	4.4	2.2	31.9	4.4	15.6	14.1	6.7	3.7	3.0	17.8
	東	64	60.9	3.1	0.0	0.0	3.1	4.7	40.6	3.1	9.4	0.0	3.1	37.5	3.1	15.6	10.9	6.3	0.0	1.6	6.3
	福田	94	61.7	4.3	2.1	1.1	0.0	5.3	35.1	7.4	13.8	4.3	3.2	25.5	5.3	20.2	11.7	8.5	2.1	2.1	9.6
	木間ヶ瀬	75	53.3	0.0	0.0	0.0	2.7	5.3	22.7	6.7	16.0	4.0	4.0	22.7	0.0	10.7	8.0	8.0	5.3	5.3	16.0
	関宿中	50	52.0	6.0	0.0	0.0	0.0	8.0	40.0	2.0	14.0	0.0	2.0	28.0	2.0	22.0	14.0	8.0	4.0	0.0	18.0
	二川	70	47.1	1.4	0.0	1.4	0.0	18.6	42.9	8.6	15.7	4.3	7.1	17.1	2.9	21.4	20.0	14.3	4.3	2.9	5.7
	関宿	25	72.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	20.0	4.0	36.0	0.0	0.0	8.0	8.0	28.0	8.0	24.0	0.0	0.0	8.0
居 住 年 数 別	3年未満	42	38.1	2.4	0.0	0.0	4.8	7.1	16.7	4.8	14.3	4.8	0.0	19.0	2.4	4.8	14.3	2.4	4.8	11.9	31.0
	3年以上～5年未満	31	38.7	0.0	3.2	0.0	0.0	3.2	29.0	3.2	9.7	3.2	6.5	25.8	0.0	9.7	16.1	0.0	0.0	12.9	22.6
	5年以上～10年未満	72	48.6	2.8	0.0	0.0	0.0	4.2	23.6	9.7	5.6	5.6	1.4	25.0	2.8	8.3	12.5	4.2	1.4	4.2	23.6
	10年以上～20年未満	192	57.8	3.6	0.5	1.6	2.6	5.2	27.1	8.9	13.5	1.6	2.6	32.8	3.6	10.4	12.0	2.6	3.1	5.7	11.5
	20年以上～30年未満	228	40.8	3.9	0.4	0.9	0.4	7.0	32.0	6.6	10.5	3.1	1.3	28.1	4.4	11.0	10.5	7.5	2.6	6.6	14.5
	30年以上～40年未満	296	55.7	2.7	1.0	0.7	0.3	9.5	37.2	8.1	14.2	2.4	3.7	28.4	1.0	14.2	15.9	7.1	4.4	2.0	10.8
	40年以上～50年未満	232	60.8	2.6	0.4	0.9	0.4	5.6	37.5	8.6	10.3	6.5	3.4	36.2	5.2	17.2	14.2	7.8	1.3	1.7	9.1
	50年以上	338	60.1	3.0	0.3	0.3	2.1	9.5	36.1	5.6	13.0	5.0	3.6	32.8	3.6	17.2	10.7	9.5	3.3	1.5	8.9
過 年 度 比 較	令和元年度	1459	54.0	2.9	0.5	0.7	1.2	7.5	33.1	7.3	12.0	3.9	2.9	30.4	3.4	13.6	12.7	6.7	3.1	3.7	12.7
	平成27年度	1884	56.8	2.4			2.0	7.9	29.0	8.0	9.3	3.3	2.5	25.9	4.7	15.9	15.1			4.1	7.1

問25 自治会に加入していない場合の「市報のだ」の入手方法

(問25 現在、「市報のだ」の戸別配布は、自治会等を通じて行われており、自治会等に参加していない方には配布されていません。あなたは、自治会等に参加されていない方が、今後どのように入手できるようにすればよいとお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。)

◇「自治会に加入する」が2割を超える



(全体)

➤自治会等非加入者の「市報のだ」入手手段については、回答が分散した。なかでは「自治会に加入する」が22.0%で最も多いが、差がなく「郵便局、銀行、病院などにも置く」も19.5%で続く。

(性別)

➤男性は『自治会に加入する 26.4%』が最も多いが、女性は「郵便局、銀行、病院などにも置く 23.6%」が最も多い。

(年代別)

➤10・20・30・50歳代は「郵便局、銀行、病院などにも置く 19～29%」が最も多い(20歳代は「全戸配布 19.2%」も同率最多)。

➤40歳代は「ホームページのPDF版 23.3%」が最も多い。

➤70歳代以上は「自治会に加入(34～40%)」が最も多い。

(地区別)

➤7地区(野田・中・南・北・木間ヶ瀬・二川・関宿)で「自治会に加入 21～36%」が最も多い。

➤4地区(川間・東・福田・木間ヶ瀬)で「郵便局、銀行、病院などにも置く 19～23%」が最も多い(木間ヶ瀬地区は「自治体に参加 22.7%」と同率1位)。

➤関宿中地区は「市役所やコミュニティセンターに取りに 26.0%」が最も多い。

(居住年数別)

- 「3年未満」「5年以上～10年未満」「20年以上～30年未満」では「郵便局、銀行、病院等にも置く 19～25%」が最も多い。
- 「3年以上～5年未満」「10年以上～20年未満」では「全戸配布 19～32%」が最も多い。
- 「30年以上」では「自治会に加入 21～33%」が最も多い。

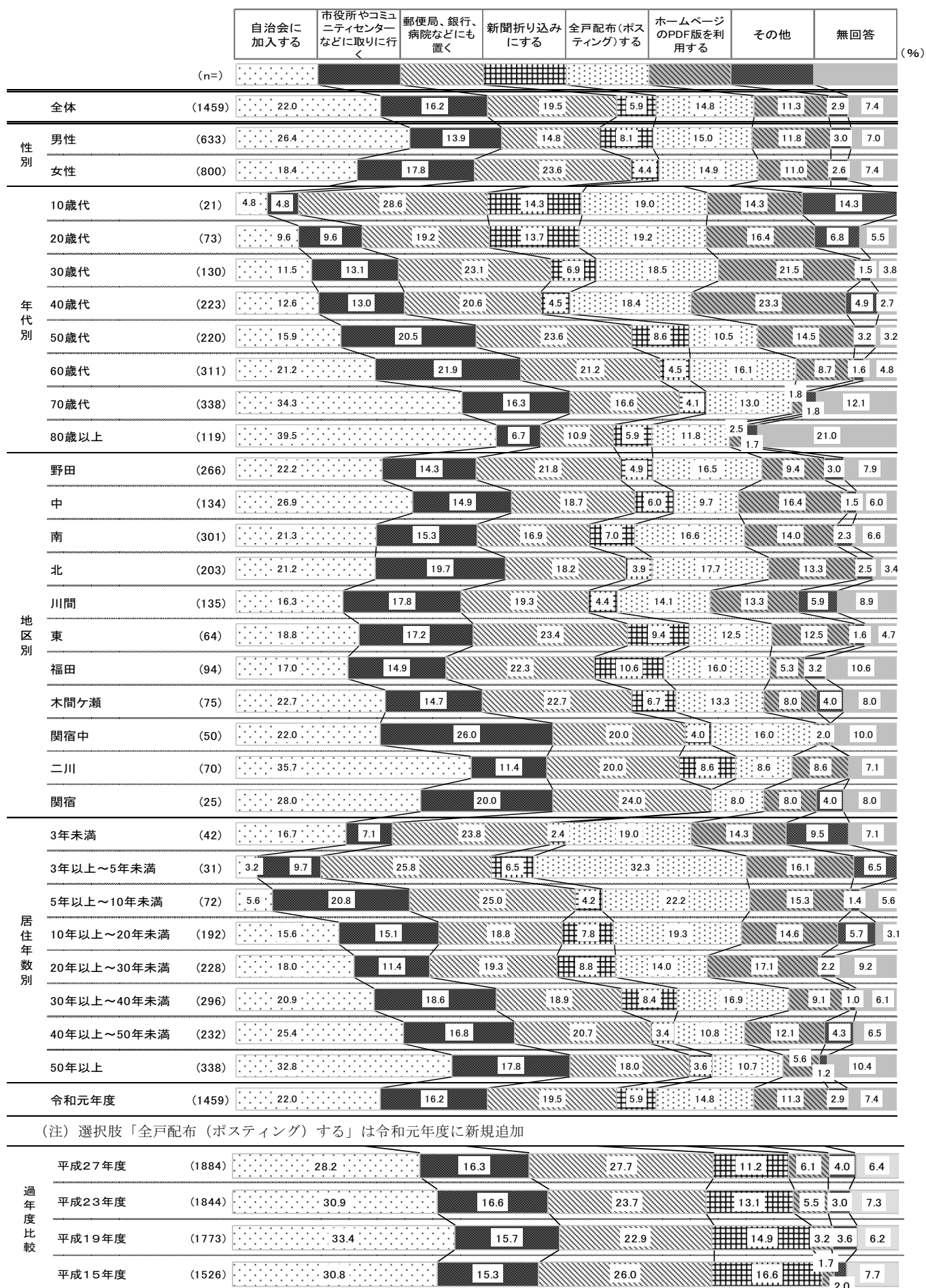
(自治会等への加入・非加入別)

- 自治会等への加入者では「自治会に加入する 25.4%」が最も多い。
- 自治会等への非加入者では「全戸配布 27.4%」が最も多く、「自治会に加入する」は 1.7%にとどまる。

		n	1	2	3	4	5	6	7	無回答
			自治会に加入する	市役所や コミュニ ティセン ターなど に取りに 行く	郵便局、 銀行、病 院などに も置く	新聞折り 込みにす る	全戸配布 (ポスティ ング)する	ホーム ページの PDF版を 利用する	その他	
全体		1459	22.0	16.2	19.5	5.9	14.8	11.3	2.9	7.4
自治会・町 内会への加 入の有無	加入している	1229	25.4	17.6	19.2	5.1	12.9	10.4	2.4	6.9
	加入していない	175	1.7	9.1	22.9	9.1	27.4	17.1	4.6	8.0
	わからない	30	0.0	10.0	23.3	16.7	16.7	16.7	6.7	10.0

(過年度比較)

- 今年度は「全戸配布（ポスティング）」を追加したことから正確な比較はできないが、「自治会加入」が 6.2P 減（28.2%→22.0%）、「郵便局、銀行、病院等にも置く」が 8.2P 減（27.7%→19.5%）、「新聞折込」が 5.3P 減（11.2%→5.9%）の一方で、「ホームページの PDF 版利用」が 5.2P 増（6.1%→11.3%）、そして「全戸配布（ポスティング）」が新たに 14.8%を占めた。

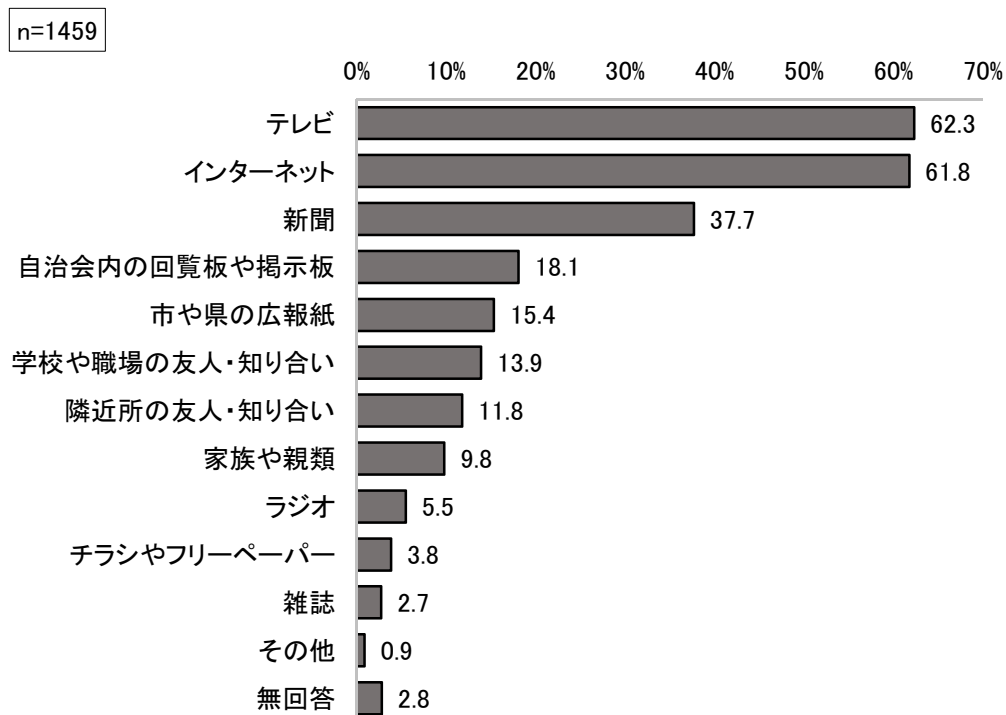


9 情報の入手方法

問26 情報の入手方法

(問26 あなたは、何か情報を入手したい時に、主に何から入手していますか。次の中からあてはまるものを3つ以内で選んでください。)

◇「テレビ」「インターネット」は6割を超える



(全体)

➤情報の入手手段としては、「テレビ 62.3%」「インターネット 61.8%」が拮抗しつつ、やや突出して多い。

(性別)

➤男女で上位1～4位まで同じであった。

(年代別)

➤10～50歳代は「1位 インターネット 90～95%」「2位 テレビ 53～71%」であった。

➤60歳代は「1位 テレビ 65.6%」「2位 インターネット 57.6%」であった。

➤70歳代以上は「1位 テレビ 68%前後」「2位 新聞 59%強」であった。

(地区別)

➤全ての地区で、順番は異なるものの、1・2位は「インターネット」「テレビ」であった。

➤7地区(野田・川間・東・福田・木間ヶ瀬・関宿中・二川)で「テレビ 57～70%」が最も多く、4地区(中・南・北・関宿)で「インターネット 64～71%」が最も多い。

(居住年数別)

- 「30 年未満」は「1 位 インターネット 75～87%」「2 位 テレビ 52～65%」であった。
- 「30 年～50 年未満」は「1 位 テレビ 63%前後」「2 位 インターネット 55～62%」であった。
- 「50 年以上」は、「1 位 テレビ 67.2%」「2 位 新聞 51.5%」であった。

(過年度比較)

- 前回調査（平成 27 年度）と比較すると、「インターネット」が 8.5P 増（53.3%→61.8%）と大きく増加し、「新聞」が 8.3P 減（46.0%→37.7%）と大きく減少した。

(%)

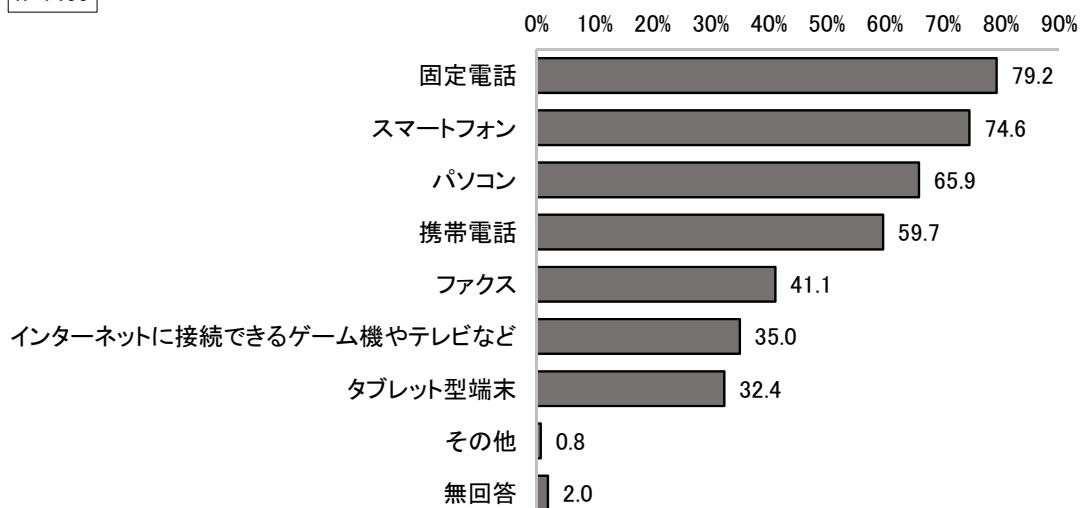
		n	1 テレビ	2 インターネット	3 新聞	4 市や県の広報紙	5 家族や親類	6 板自治会内の回覧板	7 学校や職場の友人・知合い	8 隣近所の友人・知合い	9 チラシやフリーペーパー	10 雑誌	11 ラジオ	12 その他	無回答
全体		1459	62.3	61.8	37.7	15.4	9.8	18.1	13.9	11.8	3.8	2.7	5.5	0.9	2.8
性別	男性	633	62.1	61.9	43.1	16.7	7.1	17.9	11.2	6.3	3.3	4.1	7.1	1.3	3.5
	女性	800	63.3	62.8	33.9	14.1	11.9	17.8	16.3	16.1	4.4	1.6	4.1	0.6	1.6
年代別	10歳代	21	71.4	95.2	9.5	4.8	33.3	0.0	42.9	0.0	4.8	0.0	4.8	9.5	0.0
	20歳代	73	57.5	93.2	9.6	4.1	21.9	1.4	21.9	2.7	4.1	5.5	4.1	0.0	0.0
	30歳代	130	53.1	93.1	15.4	7.7	10.8	3.1	23.8	9.2	4.6	3.1	1.5	0.8	0.8
	40歳代	223	60.5	92.8	17.0	5.4	11.7	4.9	29.6	9.0	4.9	1.8	5.4	0.4	0.9
	50歳代	220	57.7	89.5	27.3	10.0	7.7	8.2	17.3	7.3	5.0	6.8	4.5	0.9	0.9
	60歳代	311	65.6	57.6	47.3	18.3	8.0	19.9	10.6	13.2	3.9	1.3	7.7	0.3	2.6
	70歳代	338	67.5	26.9	59.2	25.4	7.1	32.0	1.8	17.8	3.0	1.8	5.9	1.5	4.1
	80歳以上	119	68.1	8.4	59.7	25.2	9.2	43.7	1.7	15.1	1.7	1.7	5.9	0.8	6.7
地区別	野田	266	65.0	63.2	39.5	11.3	10.2	17.3	14.7	8.6	4.9	2.3	6.4	0.4	2.6
	中	134	61.9	70.9	38.8	9.7	11.2	14.2	14.9	11.9	3.0	4.5	5.2	0.0	2.2
	南	301	63.5	67.4	36.5	15.3	9.3	14.3	13.6	12.0	4.7	2.7	6.3	1.0	3.0
	北	203	57.6	68.0	38.9	19.2	6.9	15.8	18.7	9.9	3.4	1.5	4.4	2.0	0.5
	川間	135	63.0	58.5	32.6	18.5	9.6	19.3	13.3	13.3	3.7	3.0	4.4	0.7	3.0
	東	64	70.3	62.5	53.1	7.8	10.9	20.3	10.9	14.1	0.0	1.6	1.6	0.0	1.6
	福田	94	63.8	58.5	47.9	12.8	9.6	20.2	6.4	13.8	4.3	6.4	7.4	2.1	3.2
	木間ヶ瀬	75	57.3	50.7	36.0	17.3	8.0	22.7	16.0	10.7	6.7	4.0	8.0	0.0	2.7
	関宿中	50	60.0	42.0	30.0	26.0	12.0	24.0	14.0	18.0	0.0	0.0	2.0	0.0	10.0
	二川	70	70.0	45.7	31.4	22.9	11.4	27.1	12.9	17.1	2.9	1.4	4.3	1.4	0.0
	関宿	25	56.0	64.0	28.0	28.0	8.0	20.0	12.0	12.0	4.0	0.0	8.0	0.0	4.0
居住年数別	3年未満	42	57.1	85.7	11.9	9.5	9.5	9.5	14.3	14.3	4.8	2.4	9.5	0.0	0.0
	3年以上～5年未満	31	51.6	87.1	12.9	16.1	19.4	9.7	22.6	19.4	9.7	3.2	3.2	3.2	0.0
	5年以上～10年未満	72	52.8	83.3	16.7	9.7	12.5	6.9	18.1	15.3	2.8	1.4	4.2	1.4	2.8
	10年以上～20年未満	192	59.9	81.8	24.5	14.1	8.9	10.9	24.0	6.8	7.3	1.6	4.7	2.6	1.0
	20年以上～30年未満	228	64.5	75.0	33.3	11.8	11.8	10.5	18.4	8.8	2.2	2.6	3.9	1.3	2.6
	30年以上～40年未満	296	61.8	61.5	43.2	16.9	8.1	17.6	13.2	11.1	3.4	4.1	5.7	0.0	2.7
	40年以上～50年未満	232	64.2	54.7	42.2	18.1	8.2	18.1	10.8	14.7	2.6	2.6	6.5	0.4	2.2
	50年以上	338	67.2	39.1	51.5	17.2	9.8	30.5	6.8	13.6	4.1	2.7	6.2	0.3	4.1
過比較	令和元年度	1459	62.3	61.8	37.7	15.4	9.8	18.1	13.9	11.8	3.8	2.7	5.5	0.9	2.8
	平成27年度	1884	62.7	53.3	46.0	17.4	11.1	18.8	14.1	15.4	7.2	4.7	6.6	0.5	1.3

問27 保有している情報通信機器

(問27 あなたの世帯には、次のような情報通信機器がありますか。あなた自身が保有していない場合でも、世帯のどなたかが利用しているものも含めて、次の中からあてはまるものをすべて選んでください。)

◇「固定電話」は約8割

n=1459



(全体)

➤回答者の世帯が保有している情報通信機器としては、「固定電話」を回答者の 79.2%が選択して最も多く、次いで「スマートフォン」も 74.6%でほぼ 3/4 を占めた。

(性別)

➤男女で、上位 1～7 位まで同じであった。

(年代別)

➤10～40 歳代は「1 位 スマートフォン 93～99%」「2 位 パソコン 74～83%」であった（10 歳代は「固定電話 81.0%」が同率 2 位）。

➤50 歳代は「1 位 スマートフォン 90.5%」「2 位 固定電話 84.5%」であった。

➤60 歳代は「1 位 固定電話 86.8%」「2 位 スマートフォン 77.8%」であった。

➤70 歳代以上は「1 位 固定電話 83～87%」「2 位 携帯電話 67～73%」であった。

(地区別)

➤南・関宿を除く 9 地区で、「1 位 固定電話 76～86%」「2 位 スマートフォン 64～79%」であった。

➤南地区は、「1 位 スマートフォン 79.1%」「2 位 固定電話 77.1%」であった。

➤関宿地区は、「1 位 スマートフォン 76.0%」「2 位 携帯電話 72.0%」であった。

(居住年数別)

➤「30 年未満」は「スマートフォン 83～94%」が最も多いが、「30 年以上」は「固定電話 86% 前後」が最も多い。

(過年度比較)

➤前回調査（平成 27 年度）と比較すると、「携帯電話」が 11.8P 減（71.5%→59.7%）と大きく減少し、「固定電話」「ファクス」もそれぞれ 3%強減少する一方で、「スマートフォン」が 18.4P 増（56.2%→74.6%）、「タブレット型端末」が 11.4P 増（21.0%→32.4%）と大きく増加し、「インターネットに接続できるゲーム機・テレビ」も 5.1P 増加（29.9%→35.0%）した。

(%)

			1 固定電話	2 パソコン	3 携帯電話	4 スマートフォン	5 ファクス	6 インターネットに接続できるゲーム機やテレビなど	7 タブレット型端末	8 その他	無回答
		n									
全体		1459	79.2	65.9	59.7	74.6	41.1	35.0	32.4	0.8	2.0
性別	男性	633	79.1	67.1	63.7	71.2	39.3	33.0	30.0	0.9	2.2
	女性	800	80.0	65.9	57.1	78.0	43.3	36.8	34.9	0.6	1.3
年代別	10歳代	21	81.0	81.0	71.4	95.2	38.1	61.9	52.4	9.5	0.0
	20歳代	73	63.0	74.0	42.5	98.6	38.4	63.0	45.2	0.0	0.0
	30歳代	130	53.1	76.9	50.0	93.1	22.3	49.2	53.1	0.8	0.0
	40歳代	223	77.1	82.5	51.6	93.3	41.7	54.3	47.1	0.0	1.3
	50歳代	220	84.5	80.5	58.2	90.5	50.5	39.1	43.6	0.5	0.5
	60歳代	311	86.8	67.8	58.8	77.8	47.3	26.7	30.2	1.3	1.3
	70歳代	338	82.5	50.3	72.5	53.6	43.8	21.3	15.7	0.9	3.0
	80歳以上	119	86.6	33.6	67.2	26.1	26.1	16.0	6.7	0.0	5.9
地区別	野田	266	79.3	66.9	57.5	75.9	41.7	30.1	25.6	0.4	0.8
	中	134	83.6	70.1	65.7	77.6	39.6	39.6	33.6	2.2	1.5
	南	301	77.1	68.8	57.8	79.1	39.5	36.9	34.2	0.7	2.3
	北	203	83.7	72.9	58.1	79.3	48.8	43.3	38.4	0.0	0.0
	川間	135	75.6	64.4	60.0	71.1	31.1	32.6	29.6	1.5	3.0
	東	64	78.1	57.8	67.2	71.9	43.8	32.8	29.7	0.0	1.6
	福田	94	86.2	67.0	64.9	74.5	51.1	28.7	39.4	2.1	1.1
	木間ヶ瀬	75	81.3	56.0	57.3	70.7	41.3	29.3	33.3	0.0	5.3
	関宿中	50	82.0	60.0	60.0	70.0	40.0	40.0	34.0	2.0	2.0
	二川	70	82.9	57.1	60.0	64.3	42.9	32.9	31.4	0.0	1.4
	関宿	25	68.0	68.0	72.0	76.0	44.0	48.0	44.0	0.0	0.0
居住年数別	3年未満	42	21.4	66.7	33.3	83.3	7.1	42.9	31.0	0.0	0.0
	3年以上～5年未満	31	35.5	83.9	45.2	93.5	12.9	45.2	48.4	0.0	0.0
	5年以上～10年未満	72	52.8	69.4	43.1	88.9	29.2	54.2	41.7	0.0	1.4
	10年以上～20年未満	192	78.6	72.4	56.3	86.5	38.5	46.4	41.7	1.6	1.0
	20年以上～30年未満	228	82.5	71.5	57.0	83.8	42.1	40.8	39.0	0.0	0.9
	30年以上～40年未満	296	84.8	69.6	63.2	74.3	50.3	35.1	32.8	1.0	2.4
	40年以上～50年未満	232	84.9	62.9	63.4	69.4	46.6	28.4	28.9	1.3	1.7
	50年以上	338	87.9	57.1	66.9	61.5	41.4	24.3	22.8	0.6	2.4
比較年度	令和元年度	1459	79.2	65.9	59.7	74.6	41.1	35.0	32.4	0.8	2.0
	平成27年度	1884	82.6	64.1	71.5	56.2	44.1	29.9	21.0	0.2	3.7

10 市政全般

問28 よくなった施策と力を入れるべき施策

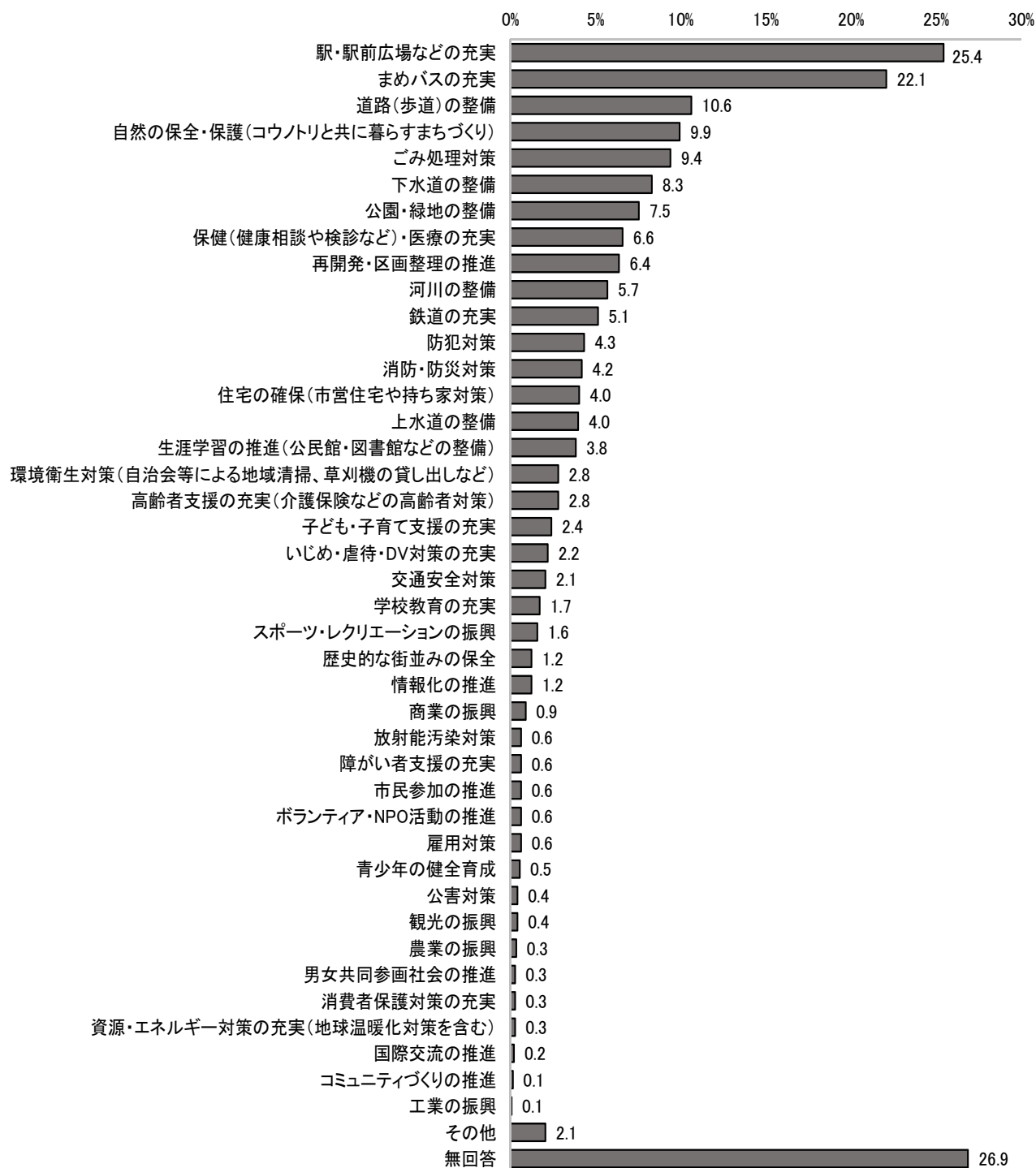
(問28 これまで、市ではさまざまな施策を進めてきましたが、①ここ数年特によくなったと感じるもの、②これから野田市がより住みやすく、豊かなまちへ発展していくために、今後、力を入れていったらよいと思うものを、次の中からそれぞれ3つ以内で選んで下の回答欄に番号を記入してください。)

(n=1,459)		
	よくなった	力を入れる
1 公園・緑地の整備	7.5 %	5.7 %
2 道路(歩道)の整備	10.6	25.0
3 住宅の確保(市営住宅や持ち家対策)	4.0	1.4
4 上水道の整備	4.0	0.8
5 下水道の整備	8.3	6.5
6 河川の整備	5.7	6.7
7 再開発・区画整理の推進	6.4	3.2
8 歴史的な街並みの保全	1.2	2.8
9 まめバスの充実	22.1	13.2
10 鉄道の充実	5.1	19.2
11 駅・駅前広場などの充実	25.4	12.3
12 ごみ処理対策	9.4	6.6
13 環境衛生対策(自治会等による地域清掃、草刈機の貸し出しなど)	2.8	1.2
14 公害対策	0.4	1.0
15 放射能汚染対策	0.6	0.8
16 自然の保全・保護(コウノトリと共に暮らすまちづくり)	9.9	1.4
17 消防・防災対策	4.2	6.5
18 防犯対策	4.3	14.9
19 交通安全対策	2.1	5.1
20 学校教育の充実	1.7	9.3
21 青少年の健全育成	0.5	1.8
22 生涯学習の推進(公民館・図書館などの整備)	3.8	4.3
23 スポーツ・レクリエーションの振興	1.6	3.3
24 保健(健康相談や検診など)・医療の充実	6.6	5.0
25 高齢者支援の充実(介護保険などの高齢者対策)	2.8	15.6
26 子ども・子育て支援の充実	2.4	11.2
27 障がい者支援の充実	0.6	3.2
28 いじめ・虐待・DV対策の充実	2.2	20.6
29 市民参加の推進	0.6	1.0
30 男女共同参画社会の推進	0.3	1.2
31 ボランティア・NPO活動の推進	0.6	1.1
32 コミュニティづくりの推進	0.1	1.6
33 雇用対策	0.6	5.3
34 農業の振興	0.3	2.2
35 工業の振興	0.1	0.5
36 商業の振興	0.9	4.2
37 観光の振興	0.4	3.7
38 消費者保護対策の充実	0.3	0.6
39 資源・エネルギー対策の充実(地球温暖化対策を含む)	0.3	5.8
40 情報化の推進	1.2	1.9
41 国際交流の推進	0.2	1.8
42 その他	2.1	1.1
無回答	26.9	13.2

問28ー① ここ数年特によくなったと感じるもの

◇「駅・駅前広場などの充実」が2割半ば

n=1459



(全体)

- ここ数年特によくなったと感じるものとしては、「駅・駅前広場などの充実」を回答者の 25.4% が選択して最も多く、次いで、「まめバスの充実」も差がなく 22.1%であった。

(性別)

- 男女で上位 1～6 位まで同じ項目が選択され、選択割合順位もほぼ同じだが、男性の「3 位 道路（歩道の整備）」「4 位 自然の保全・保護」が女性では逆転している。
- 各項目の男女の選択率の差は大きなものではない。

(年代別)

- 10 歳代は「1 位 道路（歩道）の整備 23.8%」「2 位 駅・駅前広場などの充実 19.0%」「2 位 消防・防火対策 19.0%」であった。
- 20 歳代は「1 位 駅・駅前広場などの充実 27.4%」「2 位 道路（歩道）の整備 17.8%」「2 位 住宅の確保 17.8%」であった。
- 30・50・70 歳代は「1 位 まめバスの充実 20～26%」「2 位 駅・駅前広場などの充実 19～26%」であった。
- 40・60・80 歳以上は「1 位 駅・駅前広場などの充実 24～35%」「2 位 まめバスの充実 17～26%」であった。
- 10・20 歳代を除く全ての年代で、順位は異なるものの、上位 2 位までを「駅・駅前広場などの充実」「まめバスの充実」が占めた。

(地区別)

- 二川・関宿を除く 9 地区で、順位は異なるものの、上位 1・2 位は「まめバスの充実 15～36%」「駅・駅前広場などの充実 17～35%」であった。内、5 地区（野田・中・東・木間ヶ瀬・関宿中）で「まめバスの充実 19～36%」が最も多く、4 地区（南・北・川間・福田）で「駅・駅前広場などの充実 28～35%」が最も多い。
- 二川地区は、「1 位 まめバスの充実 27.1%」「2 位 道路（歩道）の整備 17.1%」であった。
- 関宿地区は、「1 位 道路（歩道）の整備 20.0%」「2 位 ごみ処理対策 16.0%」であった。

(居住年数別)

- 「3 年未満」は「公園・緑地の整備 14.3%」「住宅の確保 14.3%」が最も多い。
- 「3 年以上～5 年未満」「30 年以上～40 年未満」「50 年以上」は「まめバスの充実 16～29%」が最も多い。
- 「5 年以上～30 年未満」「40 年以上～50 年未満」は「駅・駅前広場などの充実 18～35%」が最も多い。

(過年度比較)

- 前回調査（平成 27 年度）と比較すると、「自然の保全・保護」「駅・駅前広場などの充実」「まめバスの充実」が 4%前後増加する一方で、「道路（歩道）の整備」「保健・医療の充実」「公園・緑地の整備」が 3%前後減少した。

			(%)																				
		n	1 公園・緑地の整備	2 道路（歩道）の整備	3 住宅の確保（市営住宅や持ち家対策）	4 上水道の整備	5 下水道の整備	6 河川の整備	7 再開発・区画整理の推進	8 歴史的な街並みの保全	9 まめバスの充実	10 鉄道の充実	11 駅・駅前広場などの充実	12 ごみ処理対策	13 環境衛生対策（自治会等による地域清掃、草刈機の貸し出しなど）	14 公害対策	15 放射能汚染対策	16 自然の保全・保護（コウノトリと共に暮らすまちづくり）	17 消防・防災対策	18 防犯対策	19 交通安全対策	20 学校教育の充実	21 青少年の健全育成
全体		1459	7.5	10.6	4.0	4.0	8.3	5.7	6.4	1.2	22.1	5.1	25.4	9.4	2.8	0.4	0.6	9.9	4.2	4.3	2.1	1.7	0.5
性別	男性	633	9.2	11.5	2.8	5.2	9.2	7.1	8.1	1.1	23.9	5.8	25.6	9.3	1.9	0.6	0.3	10.0	4.9	5.7	2.1	1.1	0.8
	女性	800	6.4	9.9	5.0	3.1	7.9	4.6	5.0	1.3	21.1	4.5	25.4	9.8	3.5	0.3	0.9	10.1	3.8	3.4	2.1	2.3	0.4
年代別	10歳代	21	9.5	23.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	0.0	14.3	4.8	19.0	9.5	0.0	0.0	0.0	9.5	19.0	4.8	4.8	4.8	0.0
	20歳代	73	16.4	17.8	17.8	1.4	4.1	9.6	6.8	2.7	15.1	4.1	27.4	2.7	0.0	0.0	1.4	4.1	1.4	4.1	5.5	2.7	1.4
	30歳代	130	9.2	10.8	10.0	0.8	5.4	8.5	11.5	0.0	20.0	8.5	19.2	3.8	0.8	0.8	0.8	8.5	6.2	4.6	2.3	3.1	0.8
	40歳代	223	5.8	9.9	4.5	1.8	3.6	4.5	8.5	0.4	20.6	4.9	35.0	6.7	2.7	0.4	0.9	9.0	3.6	5.8	4.0	2.7	0.9
	50歳代	220	4.1	10.9	2.7	6.4	11.4	7.3	6.8	2.3	25.9	6.8	25.9	7.3	2.7	0.5	0.5	10.9	3.6	4.1	0.9	1.4	0.0
	60歳代	311	8.4	9.3	2.3	4.5	11.6	7.4	4.2	1.9	26.0	5.1	26.4	11.6	2.9	0.0	0.3	10.3	4.2	4.5	1.9	0.6	0.3
	70歳代	338	8.3	10.7	1.2	5.6	9.2	3.3	5.6	0.9	22.5	3.6	21.0	13.9	4.1	0.6	0.9	13.9	5.0	4.4	1.2	2.1	0.9
	80歳以上	119	5.9	7.6	3.4	3.4	8.4	2.5	3.4	0.8	16.8	3.4	24.4	11.8	3.4	0.8	0.0	5.0	1.7	1.7	0.8	0.0	0.0
地区別	野田	266	8.3	7.1	5.3	3.0	6.4	9.0	9.8	1.1	23.7	9.0	22.6	9.0	1.9	1.1	0.8	9.8	4.9	4.9	0.8	1.9	0.8
	中	134	4.5	10.4	7.5	0.7	7.5	3.7	3.0	1.5	28.4	9.7	23.1	8.2	2.2	0.0	0.7	17.9	4.5	6.0	4.5	0.0	0.7
	南	301	9.0	9.3	4.7	3.7	15.6	2.3	5.3	1.3	18.6	4.0	27.6	10.0	1.7	0.0	0.7	8.0	3.7	3.3	2.0	1.7	0.7
	北	203	8.9	13.8	2.5	4.9	8.4	7.9	8.9	1.5	24.6	5.9	31.0	9.4	3.0	0.0	0.0	9.4	3.0	5.9	2.5	3.9	0.0
	川間	135	4.4	9.6	3.0	5.2	3.7	5.2	5.9	1.5	14.8	3.7	29.6	14.1	3.0	0.0	0.0	8.1	4.4	6.7	3.0	2.2	0.0
	東	64	3.1	10.9	9.4	9.4	12.5	4.7	3.1	0.0	18.8	3.1	17.2	7.8	3.1	3.1	1.6	12.5	3.1	6.3	3.1	1.6	1.6
	福田	94	14.9	12.8	1.1	4.3	5.3	2.1	6.4	2.1	17.0	3.2	35.1	5.3	6.4	0.0	0.0	12.8	3.2	1.1	1.1	3.2	0.0
	木間ヶ瀬	75	6.7	13.3	1.3	6.7	2.7	4.0	2.7	0.0	34.7	2.7	20.0	6.7	1.3	0.0	1.3	12.0	4.0	1.3	2.7	0.0	1.3
	関宿中	50	6.0	8.0	2.0	6.0	4.0	8.0	4.0	2.0	36.0	0.0	28.0	8.0	8.0	0.0	2.0	8.0	6.0	2.0	2.0	0.0	0.0
	二川	70	5.7	17.1	1.4	1.4	7.1	11.4	5.7	0.0	27.1	0.0	15.7	12.9	1.4	0.0	1.4	5.7	8.6	2.9	1.4	0.0	1.4
	関宿	25	0.0	20.0	4.0	8.0	12.0	8.0	12.0	4.0	8.0	0.0	8.0	16.0	8.0	0.0	0.0	12.0	4.0	8.0	0.0	0.0	0.0
居住年数別	3年未満	42	14.3	9.5	14.3	0.0	0.0	4.8	4.8	2.4	11.9	2.4	7.1	2.4	0.0	0.0	0.0	4.8	2.4	0.0	2.4	0.0	0.0
	3年以上～5年未満	31	6.5	9.7	12.9	3.2	3.2	3.2	6.5	0.0	16.1	3.2	9.7	6.5	0.0	0.0	0.0	6.5	6.5	0.0	0.0	0.0	3.2
	5年以上～10年未満	72	8.3	15.3	8.3	2.8	8.3	5.6	6.9	0.0	12.5	8.3	18.1	5.6	0.0	0.0	1.4	5.6	5.6	5.6	2.8	6.9	0.0
	10年以上～20年未満	192	7.8	13.0	7.3	3.1	8.3	4.2	9.9	1.0	17.2	3.6	34.9	5.7	2.6	0.5	0.5	10.9	4.7	6.3	2.6	3.6	0.0
	20年以上～30年未満	228	10.1	8.8	3.5	2.6	8.3	5.7	4.4	2.2	22.8	5.3	30.7	7.5	2.2	0.4	1.8	11.4	4.4	3.9	3.1	2.2	1.3
	30年以上～40年未満	296	7.4	10.1	2.4	2.7	7.1	7.4	8.8	1.4	29.4	6.4	27.4	12.5	2.7	1.0	0.3	12.8	3.4	3.0	1.0	0.7	0.7
	40年以上～50年未満	232	7.8	9.1	1.3	3.9	11.2	3.9	6.0	1.7	20.3	4.7	29.7	13.4	5.6	0.0	0.9	12.1	3.9	4.3	3.4	1.7	0.0
	50年以上	338	5.0	11.2	2.7	7.7	9.5	6.5	3.8	0.6	24.6	4.7	17.8	10.1	2.7	0.3	0.0	7.1	4.4	5.6	1.2	0.6	0.6
比較年度	令和元年度	1459	7.5	10.6	4.0	4.0	8.3	5.7	6.4	1.2	22.1	5.1	25.4	9.4	2.8	0.4	0.6	9.9	4.2	4.3	2.1	1.7	0.5
	平成27年度	1884	9.4	14.7	4.7	4.3	9.9	6.3	6.4	1.4	19.0	4.4	22.2	9.8	2.4	0.6	1.6	5.3	5.1	4.5	2.5	1.8	0.6

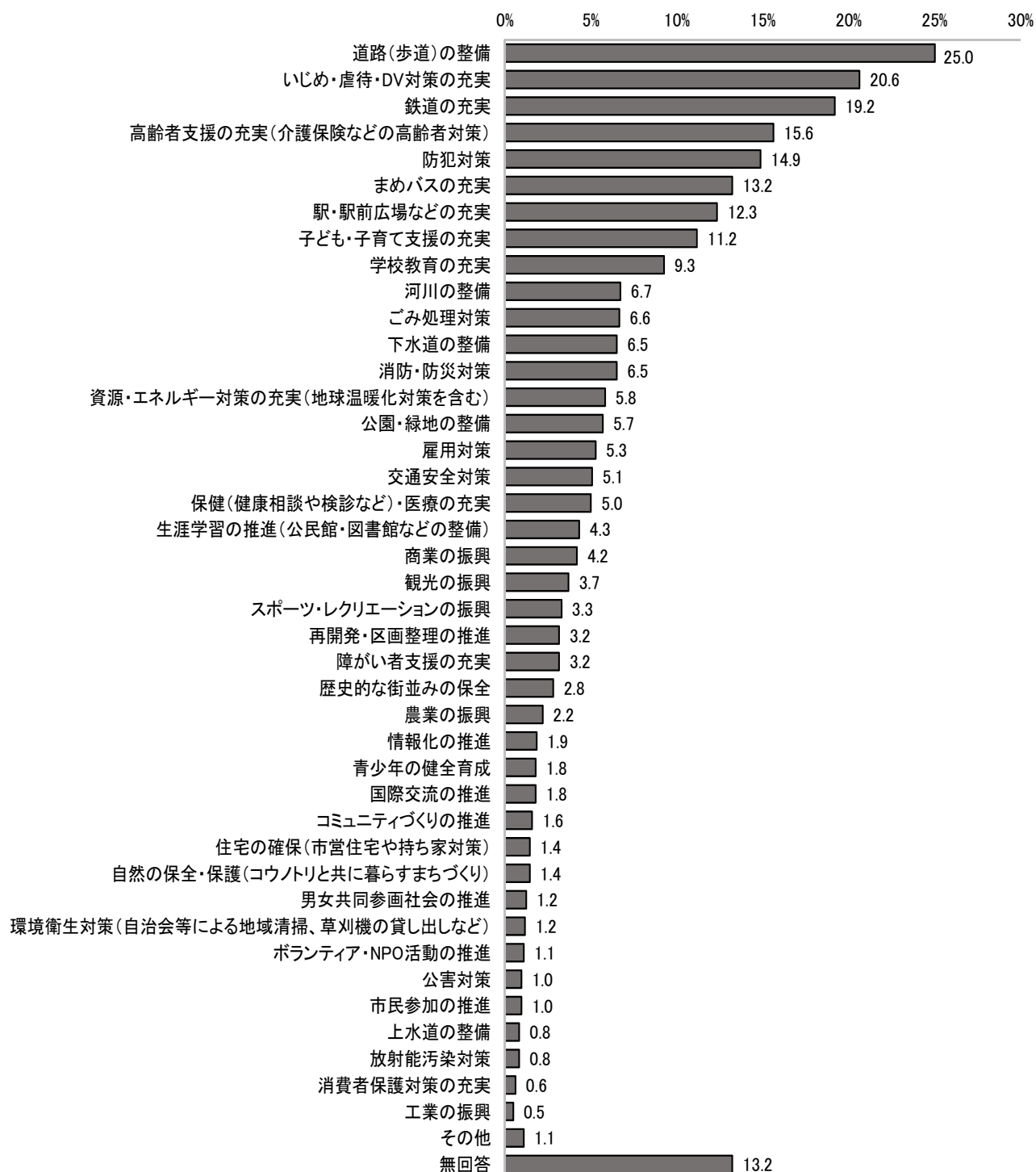
(%)

				22 生涯学習の推進（公民館・図書館などの整備）	23 スポーツ・レクリエーションの振興	24 保健（健康相談や検診など）・医療の充実	25 高齢者支援の充実（介護保険などの高齢者対策）	26 子ども・子育て支援の充実	27 障がい者支援の充実	28 いじめ・虐待・DV対策の充実	29 市民参加の推進	30 男女共同参画社会の推進	31 ボランティア・NPO活動の推進	32 コミュニティづくりの推進	33 雇用対策	34 農業の振興	35 工業の振興	36 商業の振興	37 観光の振興	38 消費者保護対策の充実	39 資源・エネルギー対策の充実（地球温暖化対策を含む）	40 情報化の推進	41 国際交流の推進	42 その他	無回答
全体			1459	3.8	1.6	6.6	2.8	2.4	0.6	2.2	0.6	0.3	0.6	0.1	0.6	0.3	0.1	0.9	0.4	0.3	0.3	1.2	0.2	2.1	26.9
性別	男性	633	3.2	1.4	5.2	2.4	1.3	0.5	2.8	0.8	0.3	0.8	0.2	0.8	0.2	0.0	1.1	0.6	0.3	0.5	1.3	0.3	1.7	25.0	
	女性	800	4.4	1.8	7.8	3.1	3.4	0.8	1.6	0.5	0.3	0.5	0.1	0.5	0.5	0.1	0.8	0.3	0.3	0.1	1.3	0.1	2.4	27.4	
年代別	10歳代	21	0.0	9.5	4.8	9.5	9.5	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	14.3	
	20歳代	73	4.1	1.4	1.4	2.7	4.1	1.4	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	2.7	0.0	4.1	19.2
	30歳代	130	3.1	0.8	5.4	2.3	3.8	0.8	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	0.8	0.0	0.8	20.0
	40歳代	223	4.0	0.9	3.6	0.9	3.6	0.0	2.7	0.4	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	1.8	0.0	0.0	0.0	2.2	0.4	4.0	23.3
	50歳代	220	3.2	1.4	2.3	2.7	1.8	0.0	2.3	0.0	0.5	1.4	0.5	1.8	0.5	0.0	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.8	22.7
	60歳代	311	2.3	1.0	9.3	2.9	2.3	1.3	2.3	1.0	0.3	0.3	0.0	1.0	0.3	0.0	0.6	0.3	0.0	0.3	1.9	0.6	1.3	24.4	
	70歳代	338	6.8	2.4	10.9	4.1	1.5	0.9	1.5	1.2	0.3	0.9	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.9	0.3	0.3	0.0	2.1	29.6	
	80歳以上	119	1.7	2.5	5.9	1.7	0.8	0.0	0.8	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	0.0	0.8	0.0	0.8	47.9	
地区別	野田	266	3.8	0.8	4.1	3.0	1.5	0.0	4.1	0.4	0.4	1.1	0.0	0.8	0.4	0.0	1.1	0.4	0.0	0.4	1.1	0.4	3.4	25.6	
	中	134	4.5	1.5	9.0	3.0	2.2	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0	0.7	0.0	1.5	22.4	
	南	301	2.7	1.0	6.0	3.3	2.7	0.3	2.3	1.0	0.3	0.3	0.0	1.0	0.3	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	1.7	0.0	2.3	27.2	
	北	203	4.9	1.5	7.9	2.5	2.5	0.5	1.0	1.0	0.0	0.5	0.0	1.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	2.5	19.7	
	川間	135	8.1	3.0	8.9	3.0	5.2	0.7	3.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.7	2.2	0.0	0.7	0.0	3.0	0.7	0.7	28.9
	東	64	3.1	0.0	3.1	1.6	3.1	3.1	4.7	1.6	1.6	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	3.1	0.0	1.6	28.1
	福田	94	3.2	2.1	6.4	3.2	1.1	1.1	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	2.1	29.8	
	木間ヶ瀬	75	1.3	4.0	13.3	1.3	0.0	0.0	1.3	1.3	0.0	2.7	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	2.7	24.0
	関宿中	50	4.0	6.0	10.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	26.0
	二川	70	0.0	0.0	4.3	0.0	7.1	2.9	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	0.0	1.4	34.3
	関宿	25	8.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.0
居住年数別	3年未満	42	2.4	2.4	0.0	0.0	4.8	0.0	7.1	0.0	0.0	4.8	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	2.4	0.0	7.1	38.1
	3年以上～5年未満	31	3.2	3.2	12.9	0.0	6.5	0.0	3.2	3.2	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	35.5
	5年以上～10年未満	72	1.4	0.0	5.6	1.4	4.2	0.0	4.2	1.4	0.0	1.4	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	1.4	31.9
	10年以上～20年未満	192	4.2	1.0	5.2	3.6	2.6	1.0	1.6	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	1.0	0.5	0.5	2.6	0.5	0.0	0.0	2.1	0.0	3.6	22.9
	20年以上～30年未満	228	3.1	1.3	5.7	1.8	3.1	0.4	1.8	0.9	0.0	0.4	0.0	0.9	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	3.1	21.9	
	30年以上～40年未満	296	5.4	1.7	10.1	3.4	1.4	0.7	2.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0	1.0	0.3	0.3	1.0	0.3	1.0	1.7	20.3	
	40年以上～50年未満	232	3.0	2.6	7.8	1.7	3.4	0.9	2.2	0.4	0.4	0.9	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.4	0.4	0.0	0.9	0.0	0.4	24.6	
	50年以上	338	4.1	1.5	4.7	4.1	1.2	0.6	1.8	0.6	0.6	0.6	0.3	0.6	0.3	0.0	0.6	0.3	0.3	0.3	1.2	0.0	1.8	33.4	
比較	過年度 令和元年度	1459	3.8	1.6	6.6	2.8	2.4	0.6	2.2	0.6	0.3	0.6	0.1	0.6	0.3	0.1	0.9	0.4	0.3	0.3	1.2	0.2	2.1	26.9	
	平成27年度	1884	3.8	1.5	8.8	4.0	1.3	1.0		0.8	0.1	1.0	0.6	0.7	0.7	0.1	0.5	0.6	0.2	0.7	1.4	0.4	0.5	27.6	

問28－② 今後、力を入れていったらよいと思うもの

◇「道路(歩道)の整備」が2割半ば

n=1459



(全体)

- 今後、力を入れていったらよいと思うものとしては、「道路（歩道）の整備」を回答者の 25.0% が選択して最も多く、次いで、「いじめ・虐待・DV対策の充実 20.6%」「鉄道の充実 19.2%」が 20%前後であった。

(性別)

- 男女で上位 1～3 位まで同じ項目が選択されたが、男性の「2 位 鉄道の充実」「3 位 いじめ・虐待・DV対策の充実」が女性では逆転している。

(年代別)

- 10 歳代は「1 位 いじめ・虐待・DV対策の充実 42.9%」「2 位 駅・駅前広場などの充実 38.1%」であった。
- 20 歳代は「1 位 鉄道の充実 28.8%」「2 位 いじめ・虐待・DV対策の充実 27.4%」であった。
- 30 歳代は「1 位 子ども・子育て支援の充実 31.5%」「2 位 いじめ・虐待・DV対策の充実 30.8%」であった。
- 40 歳代は「1 位 道路（歩道）の整備 28.3%」「2 位 いじめ・虐待・DV対策の充実 26.0%」であった。
- 50・60 歳代は「1 位 道路（歩道）の整備 26～30%」「2 位 鉄道の充実 21～26%」であった。
- 70 歳代は「1 位 道路（歩道）の整備 25.4%」「2 位 高齢者支援の充実 24.6%」であった。
- 80 歳以上は「1 位 高齢者支援の充実 21.0%」「2 位 まめバスの充実 19.3%」であった。

(地区別)

- 6 地区（野田・中・南・北・川間・関宿中）は「1 位 道路（歩道）の整備 24～34%」「2 位 いじめ・虐待・DV対策の充実 19～28%」であった。
- 東地区は「1 位 いじめ・虐待・DV対策の充実 25.0%」「2 位 道路（歩道）の整備 21.9%」であった。
- 福田地区は「鉄道の充実 19.1%」「いじめ・虐待・DV対策の充実 19.1%」が同率で 1 位であった。
- 木間ヶ瀬地区は「1 位 道路（歩道）の整備 29.3%」「2 位 鉄道の充実 21.3%」であった。
- 二川地区は「1 位 鉄道の充実 27.1%」「2 位 道路（歩道）の整備 17.1%」であった。
- 関宿地区は、「1 位 道路（歩道）の整備 28.0%」「1 位 河川の整備 28.0%」が同率で 1 位であった。

(居住年数別)

- 「3 年未満」は「駅・駅前広場などの充実 31.0%」が最も多い。
- 「3 年以上～5 年未満」は「道路（歩道）の整備 22.6%」「鉄道の充実 22.6%」「ごみ処理対策 22.6%」「防犯対策 22.6%」「子ども・子育て支援の充実 22.6%」が同率で最も多い。
- 「5 年以上～10 年未満」は「鉄道の充実 23.6%」が最も多い。
- 「10 年以上～20 年未満」「30 年以上」は「道路（歩道）の整備 25～29%」が最も多い。
- 「20 年以上～30 年未満」は「いじめ・虐待・DV対策の充実 24.1%」が最も多い。

(過年度比較)

- 前回調査（平成 27 年度）と比較すると、今年度新規に追加した「いじめ・虐待・DV対策の充実」が 20.6%を占め、「子ども・子育て支援の充実」が 7.8P 増加（3.4%→11.2%）したことから、「道路（歩道）の整備」「自然の保全・保護」「高齢者支援の充実」「下水道の整備」「駅・駅前広場などの充実」が 4%前後減少した。

			(%)																					
				1 公園・緑地の整備	2 道路（歩道）の整備	3 住宅の確保（市営住宅や持ち家対策）	4 上水道の整備	5 下水道の整備	6 河川の整備	7 再開発・区画整理の推進	8 歴史的な街並みの保全	9 まめバスの充実	10 鉄道の充実	11 駅・駅前広場などの充実	12 ごみ処理対策	13 環境衛生対策（自治会等による地域清掃、草刈機の貸し出しなど）	14 公害対策	15 放射能汚染対策	16 自然の保全・保護（コウノトリと共に暮らすまちづくり）	17 消防・防災対策	18 防犯対策	19 交通安全対策	20 学校教育の充実	21 青少年の健全育成
全体			1459	5.7	25.0	1.4	0.8	6.5	6.7	3.2	2.8	13.2	19.2	12.3	6.6	1.2	1.0	0.8	1.4	6.5	14.9	5.1	9.3	1.8
性別	男性	633	5.5	26.1	1.7	0.6	8.1	6.5	3.8	3.2	10.0	21.8	13.4	5.5	1.1	0.9	0.8	1.6	6.0	16.1	5.8	8.4	2.5	
	女性	800	5.9	24.3	1.3	1.0	5.5	7.0	2.6	2.6	15.9	17.5	11.6	7.8	1.3	1.0	0.9	1.3	6.6	13.9	4.5	10.1	1.3	
年代別	10歳代	21	9.5	9.5	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0	9.5	19.0	38.1	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	4.8	19.0	14.3	19.0	4.8	
	20歳代	73	8.2	16.4	1.4	1.4	4.1	4.1	2.7	0.0	13.7	28.8	19.2	9.6	1.4	0.0	0.0	2.7	4.1	13.7	6.8	12.3	1.4	
	30歳代	130	9.2	19.2	1.5	0.0	3.8	7.7	3.8	0.8	14.6	23.1	7.7	10.8	0.8	0.0	0.8	2.3	0.8	21.5	7.7	15.4	1.5	
	40歳代	223	7.2	28.3	0.9	1.3	6.3	6.3	4.5	3.6	9.9	20.2	10.3	8.5	0.4	1.3	1.3	0.4	7.2	18.4	4.9	18.4	1.8	
	50歳代	220	5.0	25.9	1.4	0.9	5.5	6.4	2.3	1.8	12.7	25.5	16.4	9.5	0.5	1.4	0.5	0.5	8.6	18.6	4.5	8.2	0.9	
	60歳代	311	5.5	30.2	3.2	1.0	8.4	9.3	3.5	3.2	11.3	20.6	13.2	5.8	0.6	0.6	1.6	1.0	9.0	14.1	4.5	6.1	2.6	
	70歳代	338	5.0	25.4	0.9	0.6	9.2	5.9	2.4	4.1	15.4	14.8	11.2	4.4	3.0	0.9	0.6	2.1	5.9	10.7	4.7	5.9	1.8	
	80歳以上	119	1.7	17.6	0.0	0.8	3.4	5.0	2.5	3.4	19.3	6.7	6.7	2.5	0.8	1.7	0.0	2.5	2.5	7.6	3.4	2.5	1.7	
地区別	野田	266	5.6	27.1	2.3	0.8	3.0	5.6	2.6	3.4	10.5	20.7	19.2	6.8	0.4	0.8	0.8	1.5	5.3	16.2	6.0	9.0	1.5	
	中	134	6.7	24.6	0.0	0.7	6.7	5.2	2.2	3.7	9.0	16.4	21.6	10.4	0.7	0.7	0.0	2.2	2.2	14.9	8.2	13.4	1.5	
	南	301	6.0	27.9	0.7	0.7	7.6	2.3	3.3	4.0	17.3	18.6	12.6	4.7	1.3	0.7	1.3	1.3	8.6	15.9	3.7	11.6	3.0	
	北	203	5.9	24.1	1.0	1.0	5.9	8.9	5.4	1.5	15.8	19.2	9.9	10.8	2.5	1.5	1.0	1.0	5.4	18.2	3.4	9.4	2.0	
	川間	135	5.2	24.4	3.0	0.0	6.7	7.4	3.0	3.7	17.8	17.8	4.4	8.9	0.7	0.7	0.7	0.7	6.7	9.6	5.9	12.6	0.0	
	東	64	1.6	21.9	4.7	3.1	7.8	3.1	1.6	3.1	9.4	20.3	17.2	7.8	1.6	0.0	0.0	0.0	9.4	9.4	6.3	6.3	0.0	
	福田	94	6.4	17.0	0.0	1.1	7.4	11.7	4.3	2.1	17.0	19.1	12.8	4.3	1.1	3.2	2.1	2.1	7.4	13.8	3.2	11.7	2.1	
	木間ヶ瀬	75	6.7	29.3	2.7	0.0	13.3	6.7	1.3	2.7	10.7	21.3	4.0	4.0	0.0	1.3	1.3	0.0	6.7	17.3	6.7	2.7	0.0	
	関宿中	50	2.0	34.0	0.0	0.0	10.0	12.0	4.0	2.0	10.0	24.0	2.0	6.0	2.0	0.0	0.0	0.0	8.0	8.0	6.0	2.0	4.0	
	二川	70	11.4	17.1	2.9	0.0	5.7	12.9	1.4	0.0	8.6	27.1	5.7	0.0	2.9	0.0	0.0	4.3	4.3	12.9	7.1	1.4	4.3	
	関宿	25	0.0	28.0	0.0	4.0	4.0	28.0	8.0	0.0	8.0	12.0	4.0	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0	12.0	20.0	0.0	8.0	0.0	
居住年数別	3年未満	42	4.8	16.7	0.0	0.0	0.0	2.4	4.8	0.0	21.4	23.8	31.0	7.1	0.0	0.0	0.0	4.8	2.4	14.3	11.9	14.3	0.0	
	3年以上～5年未満	31	12.9	22.6	0.0	0.0	6.5	6.5	3.2	0.0	19.4	22.6	9.7	22.6	0.0	0.0	6.5	9.7	3.2	22.6	6.5	12.9	0.0	
	5年以上～10年未満	72	8.3	20.8	1.4	2.8	9.7	5.6	5.6	1.4	19.4	23.6	11.1	12.5	0.0	0.0	1.4	0.0	5.6	22.2	6.9	18.1	1.4	
	10年以上～20年未満	192	6.3	26.6	2.1	1.6	3.1	7.3	2.6	1.0	16.7	19.8	11.5	9.4	2.1	3.1	0.5	1.0	6.3	21.9	5.2	15.6	3.1	
	20年以上～30年未満	228	6.6	23.2	3.1	0.9	6.1	5.3	2.6	2.2	10.5	23.7	12.3	5.7	0.4	0.0	0.0	0.0	5.7	12.7	4.8	10.5	3.5	
	30年以上～40年未満	296	7.1	25.7	1.0	0.0	7.8	7.8	4.4	4.4	13.2	21.3	11.5	6.1	0.7	1.0	0.7	1.7	6.8	14.2	4.7	7.4	1.4	
	40年以上～50年未満	232	3.9	28.9	1.7	0.9	7.8	5.2	3.0	5.6	14.7	15.9	10.3	3.4	3.0	0.9	1.7	2.2	8.2	13.4	4.3	7.8	1.7	
	50年以上	338	4.1	25.1	0.6	0.9	7.4	8.3	2.4	2.1	9.8	15.7	13.6	5.6	0.9	0.9	0.6	0.6	6.2	11.8	4.7	5.0	0.9	
比較	令和元年度	1459	5.7	25.0	1.4	0.8	6.5	6.7	3.2	2.8	13.2	19.2	12.3	6.6	1.2	1.0	0.8	1.4	6.5	14.9	5.1	9.3	1.8	
	平成27年度	1884	7.1	29.6	1.9	1.5	9.3	7.9	3.8	2.4	12.5	18.2	15.0	5.1	1.7	2.6	2.7	5.0	5.5	15.8	5.0	7.3	3.1	

			22 生涯学習の推進（公民館・図書館などの整備）	23 スポーツ・レクリエーションの振興	24 保健（健康相談や検診など）・医療の充実	25 高齢者支援の充実（介護保険などの高齢者対策）	26 子ども・子育て支援の充実	27 障がい者支援の充実	28 いじめ・虐待・DV対策の充実	29 市民参加の推進	30 男女共同参画社会の推進	31 ボランティア・NPO活動の推進	32 コミュニティづくりの推進	33 雇用対策	34 農業の振興	35 工業の振興	36 商業の振興	37 観光の振興	38 消費者保護対策の充実	39 資源・エネルギー対策の充実（地球温暖化対策を含む）	40 情報化の推進	41 国際交流の推進	42 その他	無回答
全体		1459	4.3	3.3	5.0	15.6	11.2	3.2	20.6	1.0	1.2	1.1	1.6	5.3	2.2	0.5	4.2	3.7	0.6	5.8	1.9	1.8	1.1	13.2
性別	男性	633	4.3	4.9	3.8	15.2	12.5	2.5	18.2	1.1	1.7	0.9	0.9	5.2	1.7	0.8	4.9	4.1	0.5	5.5	1.9	2.4	0.5	13.4
	女性	800	4.5	2.1	6.0	16.5	10.5	3.6	22.9	0.9	0.9	1.3	2.1	5.4	2.5	0.3	3.8	3.4	0.8	6.1	1.8	1.4	1.6	12.1
年代別	10歳代	21	4.8	9.5	4.8	9.5	28.6	0.0	42.9	0.0	0.0	9.5	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	73	6.8	1.4	9.6	2.7	19.2	0.0	27.4	0.0	4.1	0.0	1.4	8.2	0.0	1.4	5.5	5.5	0.0	2.7	2.7	5.5	1.4	5.5
	30歳代	130	4.6	6.2	6.2	6.2	31.5	7.7	30.8	0.0	0.8	0.0	1.5	6.2	3.1	0.8	3.8	2.3	1.5	1.5	1.5	0.8	0.0	3.1
	40歳代	223	3.1	4.9	4.9	9.4	12.6	2.7	26.0	0.9	0.4	0.4	1.8	8.5	0.4	0.4	4.9	6.7	0.4	4.0	1.3	3.1	1.8	7.2
	50歳代	220	2.3	4.5	5.5	16.4	9.1	3.6	20.5	1.8	0.5	0.9	1.8	7.3	2.3	0.5	3.6	4.1	0.9	5.5	2.7	2.3	1.4	7.7
	60歳代	311	5.8	2.3	5.8	16.4	9.3	3.2	19.9	1.3	1.0	1.6	1.9	4.8	3.5	1.0	4.8	3.5	0.0	7.7	1.0	1.3	1.3	8.7
	70歳代	338	5.3	2.4	2.7	24.6	6.5	3.0	16.9	0.9	2.1	1.2	1.2	3.3	2.4	0.0	3.3	2.4	1.2	8.6	1.5	1.2	0.6	18.9
	80歳以上	119	2.5	0.8	5.0	21.0	2.5	0.8	5.9	0.8	1.7	1.7	1.7	0.0	1.7	0.0	5.9	1.7	0.0	5.0	4.2	0.8	1.7	42.9
地区別	野田	266	2.6	4.5	5.6	17.3	12.4	3.0	21.4	0.8	0.4	0.8	0.4	6.0	0.8	1.1	7.1	3.8	0.8	4.1	2.6	2.3	1.5	10.5
	中	134	6.0	4.5	5.2	10.4	15.7	4.5	22.4	0.0	0.0	1.5	2.2	4.5	0.7	0.0	3.0	5.2	0.0	6.0	1.5	0.7	0.7	11.2
	南	301	4.7	4.0	5.6	14.6	10.6	3.7	19.3	1.0	1.0	1.7	3.0	4.7	1.7	0.0	3.3	2.0	0.7	6.3	2.0	2.0	0.7	11.3
	北	203	6.4	3.9	4.9	17.2	13.8	3.9	24.1	1.5	0.0	1.0	2.0	3.0	1.0	0.5	3.4	5.9	1.5	7.9	2.0	2.0	0.0	8.4
	川間	135	3.7	0.7	3.7	19.3	8.1	2.2	20.0	1.5	3.0	0.7	3.0	7.4	2.2	0.0	5.2	4.4	0.7	5.2	1.5	3.0	1.5	13.3
	東	64	7.8	4.7	4.7	9.4	12.5	0.0	25.0	1.6	3.1	0.0	0.0	9.4	1.6	1.6	3.1	0.0	0.0	4.7	3.1	1.6	3.1	17.2
	福田	94	5.3	3.2	2.1	18.1	9.6	1.1	19.1	1.1	3.2	2.1	1.1	2.1	4.3	0.0	6.4	4.3	1.1	6.4	0.0	0.0	2.1	14.9
	木間ヶ瀬	75	4.0	1.3	5.3	18.7	6.7	6.7	10.7	1.3	4.0	0.0	0.0	9.3	8.0	1.3	1.3	1.3	0.0	6.7	2.7	2.7	2.7	14.7
	関宿中	50	2.0	0.0	4.0	22.0	10.0	2.0	28.0	0.0	2.0	2.0	0.0	6.0	2.0	0.0	4.0	8.0	0.0	8.0	0.0	4.0	0.0	12.0
	二川	70	1.4	1.4	7.1	14.3	7.1	1.4	17.1	1.4	1.4	1.4	1.4	5.7	4.3	1.4	2.9	2.9	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0	22.9
	関宿	25	0.0	4.0	8.0	12.0	16.0	4.0	24.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	12.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0	4.0	12.0
居住年数別	3年未満	42	2.4	2.4	7.1	7.1	26.2	0.0	11.9	0.0	0.0	2.4	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	2.4	0.0	2.4	19.0
	3年以上～5年未満	31	3.2	0.0	3.2	9.7	22.6	6.5	12.9	3.2	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.7
	5年以上～10年未満	72	1.4	1.4	1.4	8.3	18.1	4.2	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	5.6	4.2	1.4	2.8	0.0	0.0	1.4	6.9
	10年以上～20年未満	192	4.7	5.7	4.2	9.9	14.6	3.1	25.0	0.5	0.0	1.0	2.6	5.2	0.0	0.0	4.2	5.2	0.5	3.1	2.1	3.6	2.1	6.8
	20年以上～30年未満	228	5.7	4.8	6.1	14.9	14.0	1.8	24.1	1.8	1.8	0.9	1.8	3.9	0.4	1.8	4.8	4.8	0.4	5.7	2.2	2.6	0.4	9.2
	30年以上～40年未満	296	7.1	4.1	6.1	21.3	11.5	4.4	21.3	0.3	2.0	1.0	2.0	8.4	2.7	0.3	3.7	3.7	0.7	6.4	2.0	1.4	0.3	8.8
	40年以上～50年未満	232	3.9	2.2	4.7	14.7	6.0	2.6	19.4	1.3	1.7	1.7	2.2	4.3	2.2	0.0	2.2	4.7	1.3	7.8	0.9	2.2	2.2	16.8
	50年以上	338	2.4	2.1	4.7	19.5	7.1	3.3	18.3	1.2	1.2	1.2	0.3	5.3	5.0	0.6	6.2	2.1	0.3	7.1	2.1	1.2	0.9	19.2
比較	令和元年度	1459	4.3	3.3	5.0	15.6	11.2	3.2	20.6	1.0	1.2	1.1	1.6	5.3	2.2	0.5	4.2	3.7	0.6	5.8	1.9	1.8	1.1	13.2
	平成27年度	1884	4.7	3.2	8.1	18.8	3.4	3.0		1.0	0.7	1.1	1.6	7.3	2.2	0.6	4.5	4.2	1.8	4.1	2.0	2.0	1.1	14.7

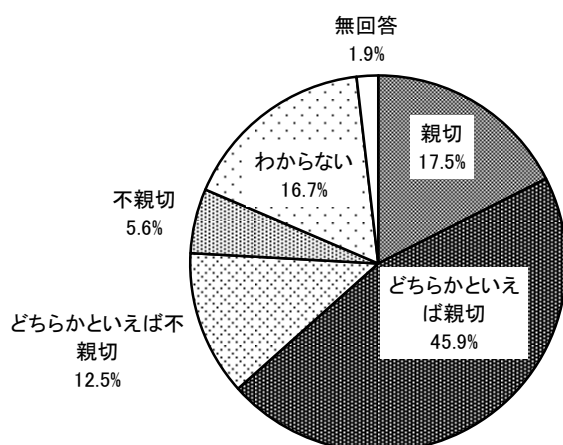
11 市役所について

問29 市役所職員の対応に対する印象

（問29 あなたは、市役所の職員の対応について、どのような印象をもっていますか。次の中から1つだけ選んでください。）

◇『親切(計)』が6割を超える

n=1459



（全体）

➤市役所の職員の対応について、『親切』は 63.4%（「親切 17.5%」「どちらかといえば親切 45.9%」の合計。以下、同じ）であった。

（性別）

➤男女いずれも『親切』が 6 割を超えたが、その割合は男性（65.2%）が女性（62.3%）よりやや多い。

（年代別）

➤『親切』は、30 歳代（46.9%）のみが半数を下回って最も少ないが、これより年代が上がる下がるにつれて多くなり、80 歳以上（77.4%）が最も多い。

（地区別）

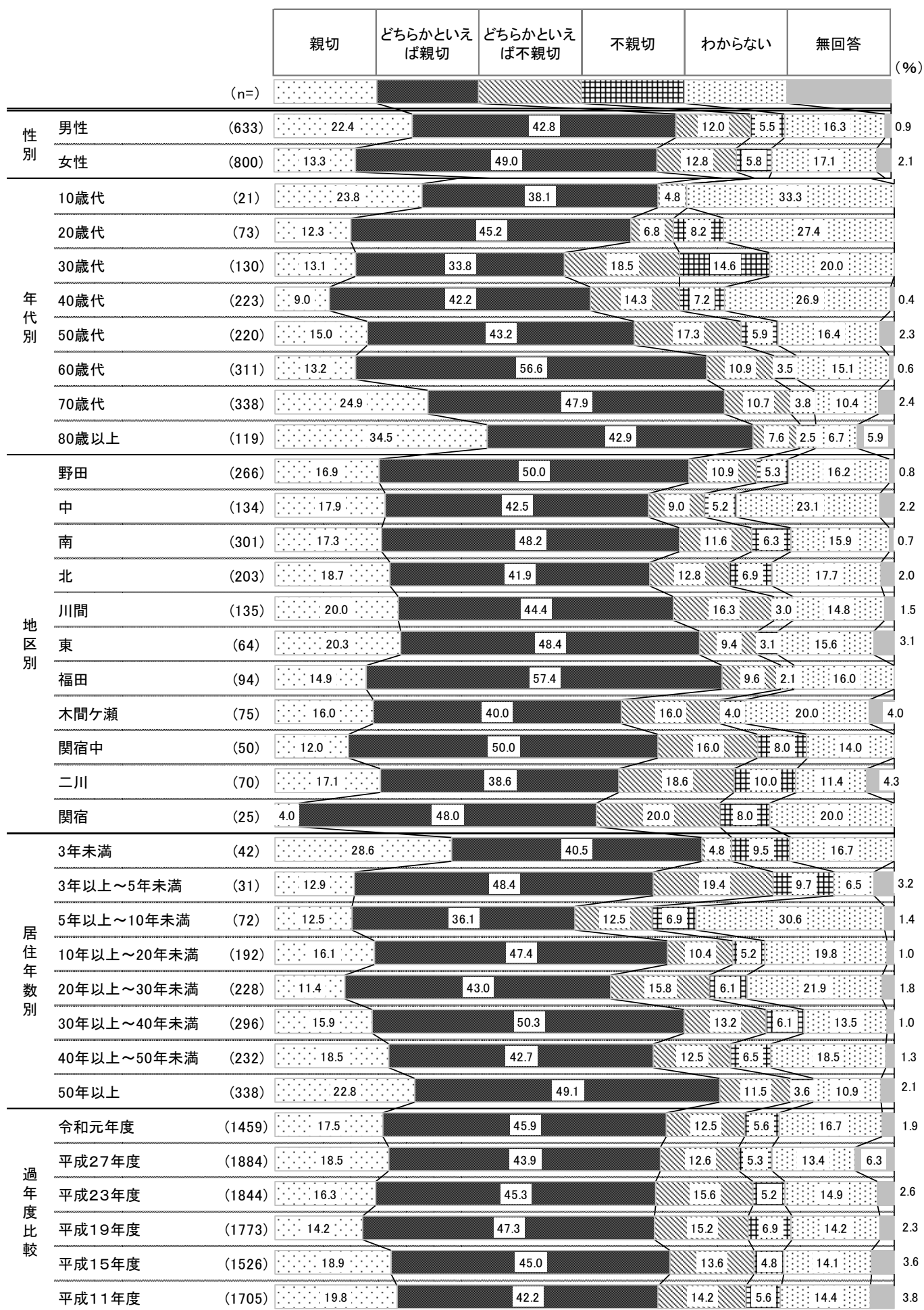
➤『親切』は全ての地区で半数を上回り、福田地区（72.3%）が最も多く、関宿地区（52.0%）が最も少ない。

（居住年数別）

➤『親切』は「5 年以上～10 年未満 48.6%」のみが半数を下回って最も少なく、「50 年以上 71.9%」が最も多い。

（過年度比較）

➤前回調査（平成 27 年度）と比較して、『親切』が若干（62.4%→63.4%）増加した。

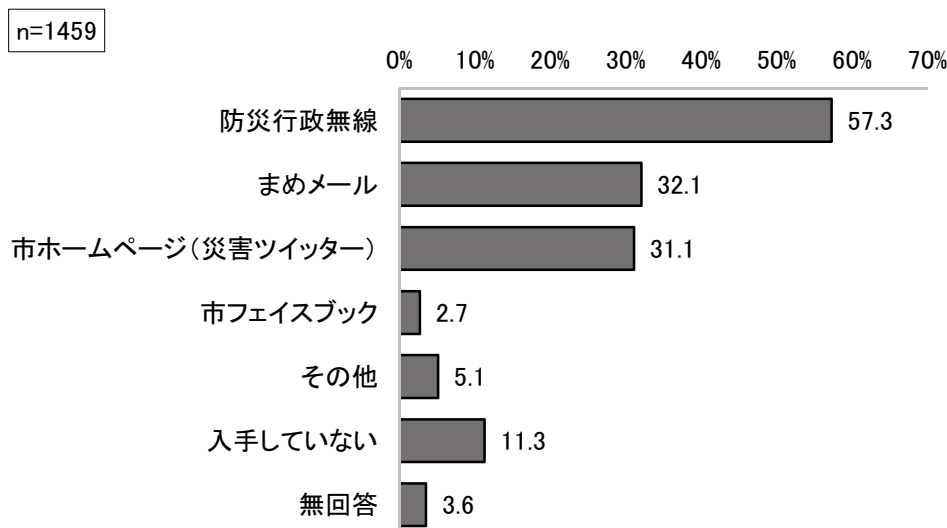


12 防災対策

問30 災害発生時の市情報の入手手段

(問30 あなたは災害が発生した際、何から市の情報を入手しますか。次の中からあてはまるものすべて選んでください。)

◇「防災行政無線」が6割弱



(全体)

- 災害発生時の市情報の入手源は、「防災行政無線」を回答者の半数を超える 57.3%が選択して最も多い。
- 一方、「入手していない」は 11.3%であった。

(性別)

- 男女いずれも「防災行政無線」が半数を超えて最も多いが、その割合は男性 (61.1%) が女性 (54.6%) より 6.5P 多い。

(年代別)

- 30 歳代を除く全ての年代で「防災行政無線 52～65%」が半数を超えて最も多く (40 歳代は「まめメール 52%」も同率で最多)、これに次いで、10・20・50 歳代は「市ホームページ 33～47%」(10 歳代は「まめメール 33.3%」も同率 2 位)、60 歳代以上は「まめメール 13～37%」であった。
- 30 歳代のみは「市ホームページ 50.0%」が最も多く、以下、「防災行政無線 46.9%」「まめメール 27.7%」の順であった。

(地区別)

- 9 地区 (中・南・北・川間・福田・木間ヶ瀬・関宿中・二川・関宿) は「1 位 防災行政無線 51～72%」「2 位 まめメール 28～40%」「3 位 市ホームページ 15～38%」の順であった。
※南地区は「まめメール」「市ホームページ」が 32.2%で同率。
- 2 地区 (野田・東) は「1 位 防災行政無線 58～70%」「2 位 市ホームページ 35～39%」「3 位 まめメール 22～32%」の順であった。

(居住年数別)

➤ほとんどの居住年数帯で「防災行政無線 45～66%」が最も多いが、「3 年以上～5 年未満」のみは「市ホームページ 51.6%」が最も多い。

(過年度比較)

➤本問は今年度の新規設問。

(%)

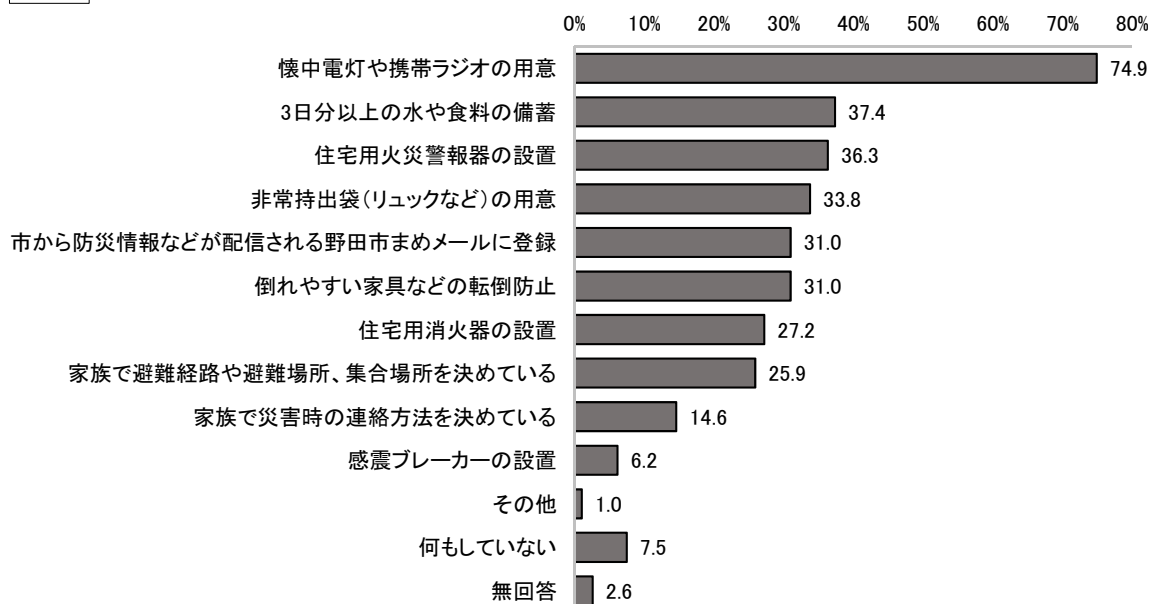
			1 防災行政無線	2 (市ホームページ 災害ツイッター)	3 まめメール	4 市フェイスブック	5 その他	6 入手していない	無回答
		n							
全体		1459	57.3	31.1	32.1	2.7	5.1	11.3	3.6
性別	男性	633	61.1	32.4	25.3	2.4	6.3	10.7	3.0
	女性	800	54.6	30.6	38.3	3.1	4.4	11.4	3.4
年代別	10歳代	21	57.1	33.3	33.3	9.5	4.8	14.3	0.0
	20歳代	73	52.1	46.6	20.5	0.0	5.5	11.0	0.0
	30歳代	130	46.9	50.0	27.7	3.8	7.7	10.0	0.0
	40歳代	223	52.0	41.7	52.0	5.4	6.3	6.3	1.8
	50歳代	220	56.8	37.3	36.8	1.8	2.7	10.0	1.4
	60歳代	311	60.8	28.9	37.0	1.9	4.8	9.6	2.6
	70歳代	338	65.4	19.2	24.0	2.1	5.6	13.6	4.7
	80歳以上	119	52.1	11.8	12.6	3.4	5.0	20.2	13.4
地区別	野田	266	58.3	35.0	32.0	1.5	4.5	13.5	1.1
	中	134	50.7	38.1	40.3	1.5	5.2	6.7	5.2
	南	301	53.8	32.2	32.2	3.7	4.7	14.0	2.3
	北	203	58.1	34.5	36.9	2.0	7.4	8.4	3.0
	川間	135	52.6	31.1	34.8	3.7	5.9	11.9	3.7
	東	64	70.3	39.1	21.9	3.1	1.6	6.3	3.1
	福田	94	60.6	24.5	31.9	3.2	10.6	10.6	3.2
	木間ヶ瀬	75	56.0	14.7	28.0	2.7	2.7	16.0	5.3
	関宿中	50	72.0	24.0	28.0	4.0	2.0	10.0	2.0
	二川	70	65.7	24.3	28.6	5.7	1.4	7.1	7.1
	関宿	25	72.0	20.0	28.0	4.0	8.0	4.0	0.0
居住年数別	3年未満	42	45.2	45.2	11.9	7.1	7.1	19.0	4.8
	3年以上～5年未満	31	48.4	51.6	25.8	0.0	19.4	6.5	0.0
	5年以上～10年未満	72	47.2	43.1	38.9	2.8	6.9	15.3	1.4
	10年以上～20年未満	192	53.1	34.9	38.5	2.6	4.2	10.4	2.1
	20年以上～30年未満	228	54.8	36.0	33.8	2.2	4.4	10.1	2.6
	30年以上～40年未満	296	59.8	32.8	31.4	4.1	6.4	9.1	2.7
	40年以上～50年未満	232	65.5	29.7	36.2	3.9	5.2	9.1	2.2
	50年以上	338	59.5	20.4	28.4	1.2	3.3	13.9	5.6
比較	過年度		令和元年度新設設問						

問31 防災対策として備えていること

(問31 あなたのお宅で、防災対策として日頃から備えていることは何ですか。次の中からあてはまるものすべて選んでください。)

◇「懐中電灯や携帯ラジオの用意」が7割半ば

n=1459



(全体)

- 防災対策として日頃から備えていることとしては、「懐中電灯や携帯ラジオの用意」を回答者の74.9%が選択して突出して多い。
- 一方、「何もしていない」は7.5%であった。

(性別)

- 男女で上位1～3位までが同じであった。

(年代別)

- 全ての年代で「懐中電灯や携帯ラジオの用意 55～84%」が最も多いが、これ以外の項目の選択割合順位は年代によって異なる。
- 「何もしていない」は、20・30歳代(13%強)が他年代(10%未満)に比べて多い。

(地区別)

- 全ての地区で「懐中電灯や携帯ラジオの用意 55～84%」が最も多いが、これ以外の項目の選択割合順位は地区によって異なる。
- 「何もしていない」は、木間ヶ瀬地区(14.7%)が最も多く、関宿(0.0%)が最も少ない。

(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で「懐中電灯や携帯ラジオの用意 60～81%」が最も多いが、これ以外の項目の選択割合順位は居住年数によって異なる。

(過年度比較)

- 本問は今年度の新規設問。

(%)

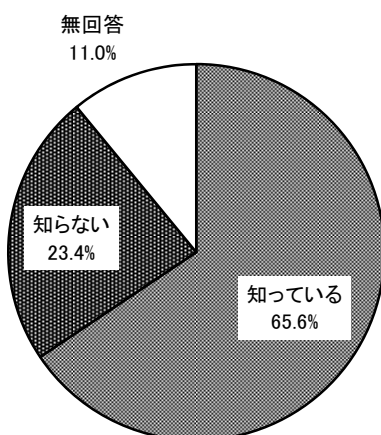
			1 れる市 野田 市ま め防 災情 報な どが 配信 さ る	2 懐中 電灯 や携 帯ラ ジオ の用 意	3 の非常 持出 袋（ リュ ック など ）	4 住宅 用消 火器 の設 置	5 感震 ブレ ーカ ーの 設置	6 住宅 用火 災警 報器 の設 置	7 止倒 れや すい 家具 など の転 倒防 止	8 集家 族で 避難 経路 や避 難場 所、 集合 場所 を決 めて いる	9 め家 族で 災害 時の 連絡 方法 を決 めて いる	10 3日 以上 の水 や食 料の 備蓄	11 その他	12 何も して いな い	無 回 答
		n													
全体		1459	31.0	74.9	33.8	27.2	6.2	36.3	31.0	25.9	14.6	37.4	1.0	7.5	2.6
性別	男性	633	24.5	74.9	33.3	30.0	7.9	34.8	32.1	24.2	14.4	36.7	1.3	7.4	2.2
	女性	800	36.8	75.6	34.3	25.4	4.9	38.1	30.4	27.5	15.0	38.4	0.9	7.5	2.4
年代別	10歳代	21	47.6	66.7	19.0	14.3	14.3	38.1	42.9	33.3	19.0	52.4	0.0	4.8	0.0
	20歳代	73	21.9	54.8	28.8	9.6	4.1	26.0	30.1	23.3	12.3	27.4	1.4	13.7	0.0
	30歳代	130	26.2	62.3	32.3	15.4	2.3	35.4	26.2	24.6	10.0	25.4	0.8	13.1	0.8
	40歳代	223	50.2	68.2	36.3	17.5	2.2	39.0	23.3	28.3	16.1	32.7	0.4	9.0	0.9
	50歳代	220	38.6	70.0	28.6	22.3	4.5	36.8	29.5	20.9	11.8	38.2	0.9	9.5	1.4
	60歳代	311	33.1	83.6	32.5	32.5	7.7	36.0	32.2	26.0	13.8	42.8	1.6	4.2	1.9
	70歳代	338	21.3	84.0	40.2	38.8	7.7	37.9	37.6	29.3	18.3	42.0	1.2	5.0	4.4
	80歳以上	119	14.3	79.0	31.9	36.1	12.6	36.1	31.1	24.4	16.0	37.0	0.8	6.7	5.0
地区別	野田	266	29.3	77.8	28.9	27.8	4.5	35.0	28.6	22.6	13.9	35.7	0.8	8.3	0.8
	中	134	36.6	71.6	40.3	30.6	9.0	44.8	37.3	26.9	17.2	42.5	1.5	4.5	2.2
	南	301	32.6	77.4	37.2	20.9	7.6	41.9	32.6	28.6	15.0	35.5	1.0	7.3	2.3
	北	203	35.0	81.8	40.9	30.5	5.4	42.9	33.5	32.0	18.2	43.3	0.5	5.9	0.5
	川間	135	31.9	74.8	33.3	30.4	5.2	26.7	32.6	23.0	9.6	42.2	0.7	8.9	3.0
	東	64	21.9	54.7	23.4	21.9	0.0	39.1	21.9	20.3	10.9	31.3	0.0	7.8	6.3
	福田	94	36.2	72.3	29.8	36.2	12.8	27.7	31.9	23.4	17.0	34.0	3.2	7.4	2.1
	木間ヶ瀬	75	26.7	72.0	21.3	33.3	5.3	32.0	25.3	13.3	12.0	33.3	1.3	14.7	4.0
	関宿中	50	32.0	78.0	44.0	18.0	2.0	34.0	28.0	38.0	14.0	42.0	2.0	6.0	2.0
	二川	70	22.9	74.3	28.6	27.1	7.1	24.3	32.9	28.6	15.7	30.0	0.0	5.7	4.3
	関宿	25	32.0	84.0	40.0	40.0	8.0	44.0	32.0	32.0	20.0	44.0	4.0	0.0	0.0
居住年数別	3年未満	42	11.9	59.5	38.1	11.9	11.9	33.3	19.0	23.8	9.5	38.1	2.4	14.3	0.0
	3年以上～5年未満	31	29.0	77.4	41.9	12.9	0.0	45.2	22.6	41.9	12.9	45.2	0.0	3.2	0.0
	5年以上～10年未満	72	38.9	68.1	36.1	22.2	0.0	45.8	20.8	36.1	11.1	34.7	1.4	11.1	2.8
	10年以上～20年未満	192	40.6	79.7	34.9	19.3	4.7	43.8	31.8	29.7	18.2	33.3	1.0	6.3	1.0
	20年以上～30年未満	228	33.3	68.4	35.1	19.7	4.4	31.1	36.0	26.3	16.2	39.0	0.4	10.1	2.2
	30年以上～40年未満	296	29.4	75.0	36.5	32.8	7.8	34.1	31.8	26.0	15.9	40.9	1.4	8.8	2.4
	40年以上～50年未満	232	34.1	76.3	39.2	25.9	7.8	39.2	34.9	28.0	16.8	37.9	1.7	6.5	1.3
	50年以上	338	25.4	80.8	25.1	38.2	7.1	34.3	28.7	19.2	11.2	36.4	0.6	4.4	3.3
比較	過年度		令和元年度新設設問												

問32 災害別の指定避難場所の認知度

(問32 災害(地震・風水害)別に、避難場所を指定しています。あなたの避難場所はご存じですか。次の中から1つ選んでください。)

◇「知っている」が6割半ば

n=1459



(全体)

➤指定避難場所を「知っている」は65.6%であった。

(性別)

➤男女いずれも「知っている」は60%を超えたが、その割合は女性(67.6%)が男性(63.8%)よりやや多い。

(年代別)

➤「知っている」は、年代による規則的な傾向は見受けられないが、10歳代(81.0%)が最も多く、80歳以上(58.0%)が最も少ない。

(地区別)

➤「知っている」は、関宿地区(84.0%)が最も多く、木間ヶ瀬地区(48.0%)が最も少なく、地区間で大きな差が発生している。

(居住年数別)

➤「知っている」は、「30年以上～40年未満70.9%」が最も多く、「3年未満57.1%」が最も少ない。

(過年度比較)

➤本問は今年度の新規設問。

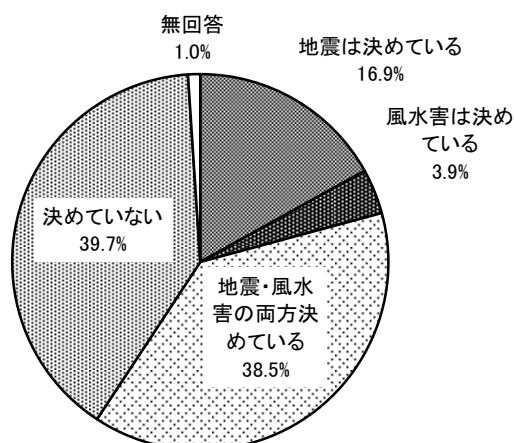


問32-1 災害別の家族での避難場所の決定状況

(問32-1 災害(地震・風水害)別に、家族で避難する場所を決めていますか。次の中から1つ選んでください。)

◇『決めている(計)』は約6割

n=957



(全体)

- 災害別の家族での避難場所の決定状況としては、「地震・風水害の両方決めている」が38.5%、「地震は決めている」が16.9%、「風水害は決めている」が3.9%であった。
- 一方、「決めていない」は39.7%で、ほぼ4割を占めている。

(性別)

- 男女いずれも、ほぼ全体集計結果に準じており、男女差は小さい。

(年代別)

- 全ての年代で「1位 地震・風水害の両方決めている 29~43%」「2位 地震は決めている 12~29%」「3位 風水害は決めている 0~7%」の順となっている(10歳代は「地震・風水害の両方」「地震」が同率1位)。
- 「決めていない」は、10~60歳代(41~49%)が70歳代以上(26~30%)に比べて多い。

(地区別)

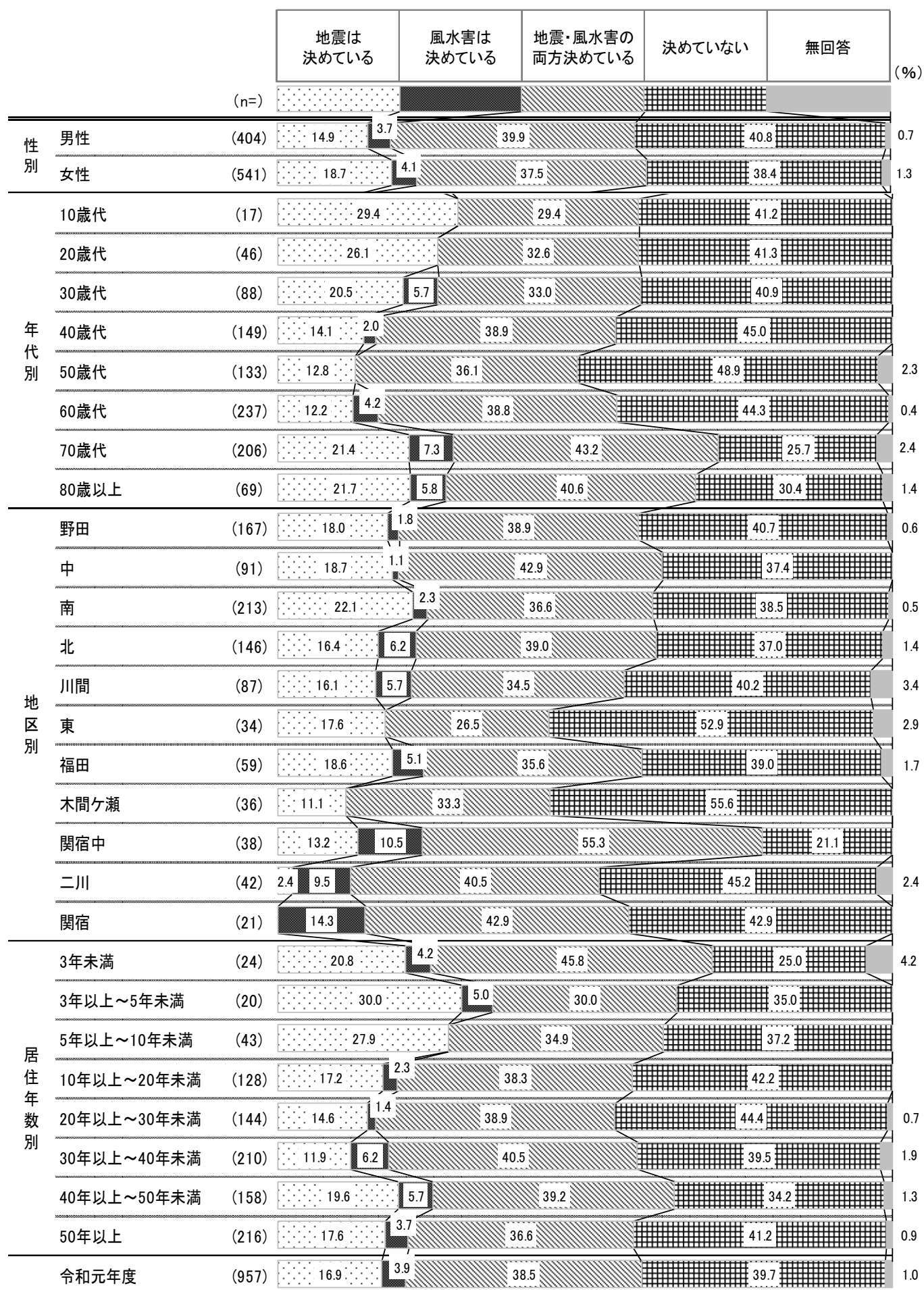
- 9地区で「1位 地震・風水害の両方決めている 27~55%」「2位 地震は決めている 11~22%」「3位 風水害は決めている 0~11%」の順となっている。
- 二川・関宿の2地区では「1位 地震・風水害の両方決めている 42%前後」「2位 風水害は決めている 10~14%」「3位 地震は決めている 1%前後」の順となっている。
- 「決めていない」は、木間ヶ瀬地区(55.6%)が最も多く、関宿中地区(21.1%)が最も少ない。

(居住年数別)

- 全ての居住年数帯で、「1位 地震・風水害の両方決めている 30~46%」「2位 地震は決めている 12~30%」「3位 風水害は決めている 0~6%」の順となっている。

(過年度比較)

- 本問は今年度の新規設問。



13 自由意見

(※最後に、野田市の市政やまちづくりについて、ご意見やご要望があれば、どんなことでもご自由にお書きください。)

➤挙げられた意見・要望をテーマ別に分類すると以下となった。

大分類	小分類	(件数)	大分類	小分類	(件数)	大分類	小分類	(件数)
↓	↓		↓	↓		↓	↓	
1	環境整備	240	4	ごみ処理	80	10	児童虐待	42
(1)	道路整備	52	(1)	記名制の廃止	21	(1)	心愛ちゃん事件	41
(2)	歩道・散歩コース、サイクリングロード	43	(2)	ゴミ袋価格が高い、配布量増加	15	(2)	通報	1
(3)	駅前の整備・開発	28	(3)	分別が細かすぎる、面倒	11	11	高齢化対策・支援	28
(4)	街灯の整備	25	(4)	資源・不燃ごみ回収頻度の増加	7	(1)	高齢者支援	9
(5)	緑の保全、自然保護	19	(5)	資源ごみの回収場所	5	(2)	介護施設の拡充	8
(6)	樹木剪定	10	(6)	ごみステーションを市管理に	3	(3)	高齢者のための環境づくり	7
(7)	害虫・害獣・野鳥・野良猫	10	(7)	ルールの徹底	3	(4)	介護支援	4
(8)	空き家対策	9	(8)	現制度に同意	2	12	防犯対策	27
(9)	不法投棄	9	(9)	その他	13	(1)	防犯カメラ	13
(10)	下水道	9	5	街づくり	79	(2)	街灯	5
(11)	雑草	7	(1)	街づくりについて	27	(3)	交番設置	3
(12)	側溝	5	(2)	魅力を創出、アピール	22	(4)	パトロール	3
(13)	橋・歩道橋	4	(3)	商業施設	15	(5)	その他	3
(14)	臭い、煙、大気汚染	2	(4)	乱開発	8	13	医療	23
(15)	その他	8	(5)	企業・大学等の誘致	4	(1)	病院の質の向上	6
2	交通網	174	(6)	商店街を活性化	3	(2)	総合病院の設置	5
(1)	まめバス運行の改善	54	6	公共施設	78	(3)	病院過小	3
(2)	東京8号線延伸(東京直結鉄道)	28	(1)	改善、補修、建替え	38	(4)	医療費補助	2
(3)	交通規制の徹底・改善、信号の設置・調整	26	(2)	設置を	31	(5)	夜間・休日診療の充実	2
(4)	交通が不便	18	(3)	利用方法	8	(6)	救急対応病院を増加	2
(5)	路線バス網の拡充	12	(4)	その他	1	(7)	その他	3
(6)	東武野田線の複線化	12	7	教育	48	14	公衆モラルの向上	19
(7)	渋滞の解消	10	(1)	土曜授業	18	15	自治会	19
(8)	タクシー拡充	5	(2)	学力の向上	4	(1)	負担過重	3
(9)	道路上表示の劣化、見えない	5	(3)	教員の質の向上	3	(2)	強制加入の見直し	2
(10)	その他	4	(4)	中学校を増設	3	(3)	あり方を再考	2
3	市政運営全般	127	(5)	二学期制	2	(4)	未加入ゼロへ	2
(1)	市民対応	32	(6)	学び環境の拡充	2	(5)	再編	2
(2)	税金、公共料金、国民健康保険料 等	17	(7)	制服	2	(6)	その他	8
(3)	コウノトリ	15	(8)	その他	14	16	障害者支援	7
(4)	市報のだ	11	8	防災	47	(1)	障がい者施設の設置	3
(5)	経費削減 (議員・職員数削減、給与削減、システム化)	10	(1)	防災対策の強化	19	(2)	発達障害	2
(6)	意識改革、職員のレベルアップ	8	(2)	防災無線	11	(3)	その他	2
(7)	生活保護、母子家庭手当	7	(3)	避難場所・施設	7	17	その他	53
(8)	情報発信	4	(4)	防災訓練・教育	3			
(9)	適正な施策判断	3	(5)	情報提供手段	2			
(10)	夜間・休日業務、支所等業務の拡大	3	(6)	災害弱者対策	2			
(11)	買物難民	3	(7)	その他	3			
(12)	自然エネルギーへの取組	2	9	子育て支援	44			
(13)	雇用対策	2	(1)	子育て支援	14			
(14)	地域格差	2	(2)	児童館・学童保育の増設・拡充	11			
(15)	その他	8	(3)	子どもの医療費助成	10			
			(4)	保育園・保育士の拡充	8			
			(5)	その他	1			

➤前頁掲載表の大分類別に、意見・要望を抜粋して以下に掲載する。

(1)環境整備

- 場所によって道路がボコボコの所があったり狭い道で、区画整理とかで広げれば、安全なの
と思う所がありますので整備してほしいです（女性／30 歳代／野田地区）
- 自分はよく市内で車を運転するのですが、道路がもう少しきれいに整備されているとありがた
いです（女性／20 歳代／川間地区）
- 市街地の歩道が狭くて、下水へ落ちたり、凹凸が多いのでつまづきケガをする人が多い、改
善をお願いしたい（女性／80 歳以上／川間地区）
- 歩道を整備して歩く人、自転車の利用がしやすい様にして欲しいです（男性／50 歳代／南地区）
- 野田市の各駅の前に、銀行、郵便を何とかしてほしいです（女性／70 歳代／南地区）
- 緑の保全は重要。やはり緑多い地域として残していただきたい（男性／70 歳代／中地区）
- 歩道のあるところの街路樹、夏は涼しく、助かる。が、大きく成長しすぎ、電線より上へ伸び、
強風では電線が切れたり、火事にならないかと考える場面がある（男性／50 歳代／二川地区）。
- 近くに水質が悪い川があるため、ユスリカなどの虫が多くて不衛生、夏は臭い。とにかく生活
は不便（男性／40 歳代／福田地区）
- 空家の対応、空地の管理。ごみのたまり場になっている。放置せずに積極的に取り締まってほ
しい、迷惑（女性／80 歳以上／関宿中地区）
- 不法投棄のごみが道路脇、森、林の中に多くあり、なんとか処理をしてほしい（男性／70 歳代
／福田地区）
- 今どき、下水道が通っていないのは、どうかと思う。施設や活動の充実の前に、ライフライン
を充実させるべき。道路に関しても。いつも、ムダに同じ場所を掘っているイメージがある（男
性／40 歳代／南地区）
- 道路脇の草やごみが目立つので、まめに清掃や草かりをすべき（特に幹線道路）。他の市に比べ
野田市は汚ない（女性／50 歳代／中地区）
- 側溝をふさぐこと。不法投棄がでる、子供が落ち危険（女性／40 歳代／野田地区）
- 電線の地中化（男性／50 歳代／木間ヶ瀬地区）

(2)交通網

- まめバスの充実（ルートの見直し、朝・夕の通勤通学時間帯の運行）。（男性／30 歳代／野田地
区）
- まめバスの本数を増やして欲しいです（女性／50 歳代／南地区）
- 地下鉄 8 号線の早期実現（女性／40 歳代／南地区）
- 都心直結の鉄道の早期完成が望ましい。その駅前の整備があればなお良いと思います（男性／
70 歳代／福田地区）
- 野田橋の渋滞緩和の対策。野田橋へ至る道路の直線の方が渋滞がひどいので対策してほしい（男
性／30 歳代／野田地区）
- 街道の右折車両の多い交差点に右折レーンを作してほしい（女性／40 歳代／南地区）
- 交通の便が良いといいです。車が必須では高齢者には不便です（女性／60 歳代／北地区）
- 運転免許返納に対する高齢者の買い物、通院対策不十分（男性／70 歳代／福田地区）
- バス路線も増やして、せめて 30 分に 1 本は通る様にすればもっとバスを利用する事が出来る
と思う（女性／70 歳代／南地区）
- 東京直結鉄道は不要だが、野田線の複線化は進めて欲しい（男性／40 歳代／中地区）

- 道路上のペイントが消えかかっている所が多い。特にセンターラインや停止線は問題です（女性／50 歳代／北地区）

(3)市政運営全般

- 全ての方ではないですが、市役所の方で上から目線の方がいらっしゃり、とても困っています。もっと市民にやさしい窓口を期待致します（男性／30 歳代／中地区）
- 市政と市民の距離がもっと近くになったらと思います（女性／60 歳代／南地区）
- 近隣市と比べて市民税が高い（女性／40 歳代／南地区）
- コウノトリはいらない。多額の費用の無駄。お金の使い方の優先順位がちがうと思う（女性／40 歳代／南地区）
- 市報が月 2 回ありますが、月に一回でも良いと思います。その分の予算を福祉の方に回してほしいと考えます（男性／70 歳代／中地区）
- 市役所の職員多すぎる（女性／60 歳代／川間地区）
- 市議会議員が多すぎる。定員を減らす（女性／40 歳代／中地区）
- 市の職員はもう少し改革に強い意志を持ってほしい（男性／70 歳代／南地区）
- 生活保護を受けている人のマナーモラルがかけています。市民の大事な税金です。本当に必要とされている方にその税金を分けて下さい（女性／50 歳代／南地区）
- 医療福祉の充実やいじめや虐待に対する政策をもっと市民にわかりやすく公表して欲しい。その部分が不透明で改善されているとは思えない。1 つに重点を置くのではなく、いろんな所を上手に稼働させて欲しいです（女性／40 歳代／二川地区）
- コストを意識した市政について。様々な業務がある中で、利用者がどうなったら、やめるとか再開するといった数値基準をもって業務を計画してほしい（男性／30 歳代／川間地区）
- 東京まで通勤していて、休日は、土・日・祝日なので、市役所に用事がある時は、会社を休む為、土・日・祝日も対応してほしい（男性／70 歳代／野田地区）
- 就職氷河期世代の若者たちの雇用対策をしてほしい。働ける場所の確保（女性／60 歳代／川間地区）
- 合併してからも、あまり町は見た目等良くなったと思われません。もう少し合併前の地域に力を入れた行政を御願い致します（男性／70 歳代／二川地区）

(4)ごみ処理

- ごみ袋に名前を書くことに抵抗があります。ルールを守らない人がいるから仕方ないと思いますが、若い女性とかプライバシーの点からも心配です。登録番号にするなど他に方法はないのかなと思います（女性／60 歳代／南地区）
- ごみ袋が高価だと思います。安い物で対応できないもののでしょうか？（男性／50 歳代／川間地区）
- 他の市に比べてごみの分別が面倒です。可燃、不燃を一緒に出せるしくみにして欲しいです（女性／30 歳代／野田地区）
- 資源ごみ回収の回数を増やしてほしいです。夜勤や、旅行等で、不在にすると、2 ヶ月分のごみがたまってしまいます（女性／40 歳代／野田地区）
- 資源物の回収について可燃・不燃同様に回収場所単位で設営して欲しい（男性／40 歳代／北地区）
- 自治会は加入者が減っているので、ごみステーションの管理は市で行った方が良くと思います。全世帯、ごみ捨ては必要なのに対し、管理しなければならない自治会は任意加入なので、無理

があると思います（女性／50 歳代／北地区）

- 家の前のごみ出し場には、出してはいけないごみがしょっちゅう置きざりにされていてすごく迷惑しています。もう少し考えて欲しいです（男性／50 歳代／野田地区）

(5)まちづくり

- 昔からの住宅地がゴーストタウン化していくのではと案じます。若い人が住んでくれるよう、考えていかなくてはと、思っています（女性／70 歳代／北地区）
- 古い町並み残してもらいたい。野田市駅から、キッコーマン本社、興風会館までの間の板塀、公園等、ステキだと思います。夏祭りがある愛宕⇄野田下町の間、昭和レトロな感じも。愛宕神社、由緒ある立派な神社なのに、本堂があまり手入れされていなくもったいなく残念（女性／50 歳代／川間地区）
- 野田の長所である自然やスポーツ施設、清水公園を活用し、若い世代（子育て世代）に魅力ある町づくりを期待。レジャー観光を強化し、外からの客を呼び収益を得られる商業施設なども充実させる（男性／40 歳代／野田地区）
- 活気のない市になってしまっている。企業や大学の誘致等をもっと積極的にするべき（女性／40 歳代／南地区）
- 商店街を活性化してほしい（女性／40 歳代／南地区）

(6)公共施設

- 子供が安心して外で遊べる環境がほしいです。公園に遊具を設置であったり、街灯を増やす、防犯カメラの設置（男性／30 歳代／二川地区）
- 野田市役所の駐車場の一区画が小さすぎて安心して車を泊められません（女性／60 歳代／二川地区）
- 子ども館の老朽化が目につくので、無駄を削減してこれからを担う子供達が使う子ども館・学童を充実させて下さい（女性／60 歳代／福田地区）
- 駅前の自転車を置く駐輪場を無料にしてほしいです!! 県外から野田に引っ越してきて有料なことに驚きました（女性／20 歳代／南地区）
- みんなが行きたくなるような、公園や公共施設を作って欲しい。自慢できる、観光施設がないので、淋しい（女性／40 歳代／関宿中地区）
- 公民館等利用申込が高齢者には大変になっている。若い人がいなければ早朝から申し込みに決められた日に出向くのは困難になって来た。最近では申し込み代行のアルバイトもあるとか。不公平にならない簡略化を考えて欲しい（女性／70 歳代／中地区）

(7)教育

- 土曜日の小中学校授業は野田市のみなのは何故でしょうか？本当に必要なのでしょうか？（男性／60 歳代／東地区）
- 学校の先生の質は良いとは言えない。学校でのイジメ問題の解決方法より隠蔽方法の方が良く知っている（女性／50 歳代／川間地区）
- 南部中に子供が通っています。人数が多すぎると感じています。みずきの街あたりにもう 1 つ中学校を増やしてほしいです（女性／30 歳代／南地区）
- やめてほしいもの、2 学期制。学力が把握できない（男性／50 歳代／中地区）
- 野田市の財産である子供達の為に小中学校の環境整備について市県民税の優先使用配分をしてもらいたい（男性／70 歳代／北地区）

- 中学校女子の制服、スカート（自転車通学、危険…に見える）とスラックスを選べるようになると良い。自分もそうでしたが、冬はものすごく寒い（女性／50 歳代／二川地区）

(8)防災

- 近年は自然災害が多くとても不安です。野田市は江戸川と利根川の間にあり、台風の際の河川の氾濫の恐れがとても心配されています。早めに河川の整備をお願いしたいと思います（女性／50 歳代／野田地区）
- 地球温暖化で自然災害の発生が多発傾向にある様に見受けられます。国内においても昨年は台風 15 号と 19 号の被害が身近に感じられ、幸いに当市は免れ良かったと思っております。今後はこのようなことが頻繁に起きると予想されます。従って市政に於いて、自然災害に強いまちづくりを目ざして頂きたいと思えます（男性／80 歳以上／南地区）
- 防災無線が聞き取りにくい（男性／50 歳代／関宿地区）
- 災害時避難勧告が出されても指定された場所が遠い。高齢者がいる場合夜間既に暴風雨になっている場合、判断が難しい（女性／50 歳代／川間地区）
- 利根川増水時に避難をしたが、水害を想定したのに 1 階に避難場所が作られていたので、自宅に居ても同じかなと思った。又、神戸のような大火災の際の逃げ場所が思いつかない（男性／70 歳代／北地区）
- 防災対策についてですが、自治体別で良いですので、防災訓練の実施をして頂きたいと思えます。いざと言う時に、どのように避難すべきか?迷うところです（女性／70 歳代／木間ヶ瀬地区）
- 若い人はスマホやメールなどで入手が容易だと思います。高齢者等はそうは行きません。防災無線は風にかき消されて、何を言っているのか全然聞き取れません。市の広報車や警察や消防署の協力を求めパトカーや消防車の出動を御願いしたら如何でしょう。高齢者の方も緊急事態だと察知すると思えます（男性／40 歳代／野田地区）
- 私の家の回りには一人暮らしのお年寄りが結構おります。耳が遠かったり足が不自由だったり…。多分、そういう方には連絡が届いてないと思えます。普段も、声をかけても、なかなかでてこられません。なんとか一緒に避難できる方法を考えたのですが、どうしたらよいものかと、とても心配になりました。そういう対策は、とっているのでしょうか（女性／60 歳代／東地区）

(9)子育て支援

- 育児している人のための環境作りに力を入れてほしい（女性／20 歳代／南地区）
- 児童館を増やしていただけると助かります（女性／30 歳代／二川地区）
- 子供の医療費を無料にしてください（女性／70 歳代／北地区）
- 保育所の充実なければ働けないです。決定時期も遅いです。女性が働きに出にくい（女性／30 歳代／中地区）

(10)児童虐待

- 昨年の事件のような悲劇を二度と起こさない対策を徹底的に講じてほしい（男性／30 歳代／野田地区）
- 今回の教育委員会の対応についてことなかれ主義が見えており非常に残念である。社会人としての経験からすれば、ありえない対応であったと思う。警察署がすぐそばにあるのにどうしたことか（男性／70 歳代／北地区）
- 虐待の事件、防げなかった市の対応に信用できなくなった（女性／40 歳代／関宿中地区）

(11)高齢化対策・支援

- 一人暮らしの高齢者も増えていて身よりがなく入院しても保証人がいない、足がなく買い物に不自由しているという話もよくききます。安心して年がとれるように保障のことを考えて欲しいです（女性／50 歳代／二川地区）
- 老人介護施設の充実に力を入れていただきたい（男性／70 歳代／福田地区）
- 高齢化が進んでいくことを考えてしっかり対応できる町づくりをする必要があると思います（男性／50 歳代／南地区）

(12)防犯対策

- 街灯が少なく、人通りも少ないので防犯上、良くない状況です。防犯カメラの設置も考えて欲しい（女性／30 歳代／北地区）
- 最近空き巣被害の連絡も多い、防犯にも力を入れてもらいたい。住宅が増えているので交番や警察の数を増やすなど対策をお願いします（女性／50 歳代／野田地区）
- 不審者情報がすごく多いので怖いです。もっと防犯カメラやパトカーのパトロールがあるとよいと思います（男性／40 歳代／関宿中地区）

(13)医療

- 良い病院がないので万一の時に心配です。医療施設が充実していればずっと住み続けたいと思います（女性／40 歳代／北地区）
- 公共の医療機関（総合病院）が無いが将来的に整備する構想は無いのか？（男性／60 歳代／野田地区）
- 病院が少ない。もっと増やすべき。（女性／40 歳代／南地区）
- 夜間救急の小児科が少ないと思います。休日こそ子どもは何かをするのに、野田市だけ、休日当番医に小児科がない。なぜ？（女性／30 歳代／南地区）
- 市内で救急対応している病院が少なすぎると思います。救急車を受けている病院は、いつも一ヶ所で、いつもとても忙しそうです。市内で救急対応出来る病院がなくては、困るのは市民の皆さんだと思います（女性／40 歳代／北地区）

(14)公衆モラルの向上

- 市民のモラルアップの施策をして欲しい。例えば①宅地でのごみ焼き②宅地での犬の放し飼い③敷地内から市道等へはみだしている植木等④大人の信号無視⑤本来見本となるべき、市長や一部市議のタバコのマナー違反。罰則条例や、巡回で良いまちづくりが出来ませんか？（男性／50 歳代／野田地区）
- 歩きスマホや、自転車にのりながらのスマホ、注意する看板がほしいです。もちろん、車の運転中も。野田市はこのようなながらの方達が多すぎます（女性／40 歳代／南地区）

(15)自治会

- 住民の高齢化が進み、私の町内は、自治会活動（町内の草取り、班長の仕事）を 80 才代の方が行っている具合です。その活動が維持出来るか、非常に不安です（女性／50 歳代／野田地区）
- 自治会活動（特に生活環境といった諸事情で自治会に参加したくない人）の事実上の強制加入の見直し（男性／30 歳代／野田地区）
- 自治会に参加していないためにごみが捨てられない、参加住民と不参加住民との間に確執が生じる、会費の使用目的や管理に疑問を感じるなどといった問題を目の当たりにすることがあり

ます。これにより、ごみの不法投棄の増加や、人間関係を原因とした犯罪事件などの問題へと発展しかねません。現代のライフスタイルや考え方に合った地域コミュニティのあり方を再考し、実践していくべきだと思います（男性／40 歳代／野田地区）

■自治会は地域ごとにまとまるよう市で指導できないか？町名ごととか道路の区分けでとなり、どうしても自治会が違って入っていることがある（男性／80 歳以上／南地区）

(16)障害者支援

■重度障害者の施設が野田市に無いので早く施設を作って頂きたいです（女性／70 歳代／中地区）

■軽度の発達障害者は、障害者の世界ではなく、一般社会で仕事をし、生活していかなくてもいいかもしれませんが、重度知的障害者や身体障害者に比べて行政のサポートが、足りていないと思います。市の障害者雇用も身体が中心で、発達や精神障害者はあまり採用していない。積極的に発達、精神障害者を市で採用して欲しい（男性／40 歳代／関宿中地区）

IV 調査票

あなたの声をお聞かせください

～ 第 16 回 野田市民意識調査へのご協力のお願い ～

日ごろ、市政にご協力をいただきましてありがとうございます。

この調査は、市民の皆様のまちづくりに対する意識の変化や、これまでの施策の変化、市政についてのご意見・ご要望を幅広くお聞きし、市民の皆様のご要望に沿った市政運営に役立てていこうとするものです。

調査の実施にあたり、市内にお住まいの満 18 歳以上の方 3,000 人を、住民基本台帳から無作為に選ばせていただきました。

なお、調査は無記名で行い、結果はすべて統計的に処理いたしますので、お答えいただいた皆様にご迷惑をおかけすることは決してございません。また、調査結果につきましては、まとまり次第、市報などでお知らせする予定です。

つきましては、お忙しい中、大変恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 2 年 1 月

野田市長 鈴木 有

【ご記入にあたって】

1. 必ず宛名のご本人がお答えください。
2. ご記入は、ボールペン、濃い鉛筆、万年筆でお願いいたします。
3. 最初から 1 問ずつ、すべての質問にお答えください。
4. お答えは、あてはまる回答の番号に○を付けてください。
5. お答えの中で「その他」を選んだときは、その内容を（ ）の中に具体的に記入してください。

すべてのご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にて **2月14日(金)** までにご投函ください。なお、住所、氏名はご記入いただく必要はありません。

また、この調査についてのお問合せは、下記へお願いいたします。

野田市 企画財政部 広報広聴課
電話 04-7125-1111（内線 2373・2981）

〇● 住み心地と生活環境についておうかがいします ●〇

問 1. あなたにとって、現在の野田市の住み心地はいかがですか。次の中から 1 つだけ 選んでください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 住みよい | 3. やや住みにくい |
| 2. まあ住みよい | 4. 住みにくい |

問 2. あなたは、現在お住まいの地域に、今後もずっと住み続けたいと思いますか。次の中から 1 つだけ 選んでください。

1. 住み続けたい	3. できれば野田市内の他の地域に移転したい	→ 問 2 - 2
2. できれば住み続けたい	4. できれば野田市外に移転したい	
	5. ぜひ野田市内の他の地域に移転したい	
	6. ぜひ野田市外に移転したい	
	7. わからない	

【問 2 で「1. 住み続けたい」または「2. できれば住み続けたい」とお答えの方におうかがいします。】

問 2 - 1. 住み続けたいと思う主な理由は何ですか。次の中から 2 つ以内 で選んでください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 生まれ育ったところだから | 7. 日常生活（買い物など）に便利だから |
| 2. 長年住み慣れ愛着があるから | 8. 公共施設が整っているから |
| 3. 通勤・通学に便利だから | 9. 教育文化の程度が高いから |
| 4. 土地・家屋があるから | 10. 仕事や商売の関係で |
| 5. 自然環境に恵まれているから | 11. その他（ ） |
| 6. 近所との人間関係が良好だから | |

【問 2 で「3. できれば野田市内の他の地域に移転したい」「4. できれば野田市外に移転したい」「5. ぜひ野田市内の他の地域に移転したい」「6. ぜひ野田市外に移転したい」とお答えの方におうかがいします。】

問 2 - 2. 移転したいと思う主な理由は何ですか。次の中から 2 つ以内 で選んでください。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 生まれ育ったところではないから | 7. 日常生活（買い物など）に不便だから |
| 2. 将来は故郷に帰りたいから | 8. 公共施設が整っていないから |
| 3. 通勤・通学に不便だから | 9. 教育文化の程度が低いから |
| 4. 現在住んでいる住宅が不便だから | 10. 仕事や商売の関係で |
| 5. 自然環境が悪いから | 11. その他（ ） |
| 6. 近所との人間関係がうまくいかないから | |

問3. あなたは、野田市に誇りや、愛着のようなものを感じますか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 感じる	3. あまり感じない
2. 少し感じる	4. 感じない
	5. わからない

問4. あなたの生活環境についておうかがいします。下記の項目（ア～ニ）について、あてはまるものをそれぞれ1～5の中から1つだけ選んでください。

		良い	まあ良い	普通	良くない	あまり	悪い
安全性	ア) 防犯の面はどうですか	1	2	3	4	5	
	イ) 地震や火災、水害等の災害が起きたときの身の安全性はどうですか	1	2	3	4	5	
	ウ) 交通面での安全性はどうですか	1	2	3	4	5	
利便性	エ) 交通の便はどうですか	1	2	3	4	5	
	オ) 買い物の便はどうですか	1	2	3	4	5	
快適性	カ) 下水・排水の状況はどうですか	1	2	3	4	5	
	キ) 道路の整備状況はどうですか	1	2	3	4	5	
	ク) 日照や風通しはどうですか	1	2	3	4	5	
	ケ) 騒音や振動はどうですか	1	2	3	4	5	
	コ) 大気汚染や悪臭はどうですか	1	2	3	4	5	
	サ) ごみの回収状況はどうですか	1	2	3	4	5	
	シ) 公園や子どもの遊び場はどうですか	1	2	3	4	5	
	ス) 上水道の状況はどうですか	1	2	3	4	5	
	セ) 緑の保全や自然環境はどうですか	1	2	3	4	5	
福祉・保健	ソ) 検診など保健活動はどうですか	1	2	3	4	5	
	タ) 病院など医療施設はどうですか	1	2	3	4	5	
	チ) 子ども・子育ての支援や施設の状況はどうですか	1	2	3	4	5	
	ツ) 高齢者の支援や施設の状況はどうですか	1	2	3	4	5	
	テ) 障がい者の支援や施設の状況はどうですか	1	2	3	4	5	
教育	ト) 学校教育はどうですか	1	2	3	4	5	
	ナ) 公民館や図書館等の生涯学習環境はどうですか	1	2	3	4	5	
	ニ) スポーツ・レクリエーション施設はどうですか	1	2	3	4	5	

問5. あなたが、次の①「保健・医療・福祉施設」、②「教育・文化・スポーツ施設」、③「生活環境施設」のそれぞれの公共施設の中で、特に充実を望むものをそれぞれ2つ以内で選んでください。

①「保健・医療・福祉施設」

1. 高齢者施設	5. 医療施設（病院・診療所）
2. 障がい者施設	6. 公営住宅
3. 児童館（子ども館）	7. 保育所・認定こども園
4. 学童保育所	

②「教育・文化・スポーツ施設」

1. 幼稚園	7. 文化会館	13. サッカー場
2. 小・中学校	8. 美術館	14. ゲートボール場
3. 高校・大学	9. 体育館	15. グラウンドゴルフ場
4. 公民館	10. 陸上競技場	16. 武道場
5. 図書館	11. サイクリング施設	17. 野球場
6. 博物館	12. テニスコート	18. 水泳場

③「生活環境施設」

1. 通学路	5. 公共上下水道	9. バス・鉄道
2. 公園	6. 排水溝	10. 防犯灯
3. 駐車場	7. 子どもの遊び場	11. 防犯カメラ
4. 道路（歩道）	8. コミュニティセンター	

※ 上記の①②③で例示されたもの以外に充実してほしい施設がある場合は、枠内に3つ以内で記入してください。

--	--	--

●● 野田市の景観についておうかがいします ●●

問6. あなたは、野田市の景観（自然や歴史、文化、街並みなどを見たり、感じたりすること）を魅力的だと感じますか。次の中から1つだけ選んでください。

1. とても魅力的である	4. あまり魅力的でない
2. やや魅力的である	5. 魅力的でない
3. どちらともいえない	

問7. あなたは、野田市の景観にどのくらい満足していますか。下記の項目（ア～ケ）について、あてはまるものをそれぞれ1～5の中から1つだけ選んでください。

	満足	まあ満足	いえない	どちらとも	やや不満	不満
ア) 自然の景観や眺望（里山や桜など）	1	2	3	4	5	
イ) 水辺の環境（川や沼など）	1	2	3	4	5	
ウ) 農村集落のある田園景観	1	2	3	4	5	
エ) 寺や神社、古い街並みなどの歴史的景観	1	2	3	4	5	
オ) 市街地や駅周辺の景観	1	2	3	4	5	
カ) 幹線道路沿道の景観	1	2	3	4	5	
キ) 住宅地の景観	1	2	3	4	5	
ク) 大規模な公園・緑地の景観（総合公園や中央の杜など）	1	2	3	4	5	
ケ) まち全体の雰囲気と景観	1	2	3	4	5	

●● 地域での社会活動についておうかがいします ●●

問8. あなたの家では、自治会や町内会に加入していますか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 加入している	2. 加入していない	3. わからない
-----------	------------	----------

【問8で「2. 加入していない」とお答えの方におうかがいします。】

問8-1. それはどのような理由からですか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 自治会・町内会がない	5. 加入する必要がある
2. 自分の自治会・町内会がわからない	6. 短期間で移転する
3. 加入の方法がわからない	7. 加入を拒否された
4. 活動に参加するのが面倒	8. その他（ ）

問9. 現在お住まいの地域や市内で、自治会（町内会）、団体やサークル活動に参加していますか。
参加しているものを次の中からすべて選んでください。

1. 自治会・町内会	7. リサイクル活動
2. 青少年・子ども会	8. 消費者活動
3. 女性団体（婦人会）	9. 地域の美化・清掃活動
4. いきいきクラブ（老人クラブ）	10. お祭り・運動会などの行事
5. ボランティアグループ	11. その他（ ）
6. 文化・学習・スポーツなどのサークル活動	12. 参加していない

〇〇 文化やスポーツ活動についておうかがいします 〇〇

問 10. あなたが、やっている又はやってみたいことを、次の中から3つ以内で選んでください。

1. 洋和裁、料理、日曜大工などの生活技術に関するもの
2. 生け花、お茶、囲碁、将棋、盆栽などの趣味的なもの
3. ジョギング、水泳、野球、テニスなどのスポーツ
4. 歴史、文学など一般教養的なもの
5. 美術、演劇、音楽鑑賞など芸術文化的なもの
6. 小説、詩歌、絵画、書道、音楽などの創作や活動
7. 郷土芸能など伝統的な地域文化に関するもの
8. 経済、時事、社会問題に関するもの
9. パソコンなど仕事に役立つ資格や技能に関するもの
10. ボランティア活動や地域活動に関するもの
11. 育児、しつけなど家庭教育に関するもの
12. 医学、健康法など健康管理に関するもの
13. 英会話などの外国語に関するもの
14. その他 ()
15. 特にない

〇〇 ごみや環境についておうかがいします 〇〇

問 11. あなたは、ごみ減量や環境をよくするために、日常生活の中でどのようなことを心がけていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 資源回収に積極的に参加している
2. 買い物の際、買い物袋を持って行ったり、余分な包装を断ったりしている
3. 使い捨て商品はなるべく買わない
4. 家具や電気製品などは修理して長く使うようにしている
5. 生ごみはコンポストなどを利用して、堆肥化を図っている
6. リサイクルしやすい商品を買っている
7. フリーマーケットやガレージセールに参加している
8. 合成洗剤などはあまり使わない
9. 使用済みの食用油などは排水口に流さない
10. バスなどの公共交通機関を利用し、マイカーの使用を控えている
11. 使わない電気器具のスイッチをこまめに消している
12. 電気器具の購入や交換時には省エネ型の製品を選ぶようにしている
13. その他 ()
14. 特に心がけていない

問 12. 資源回収についておうかがいします。あなたは、地域の資源回収（品目：金属、空き缶、ビン、紙、布、ペットボトル）に参加していますか。次の中から 1 つだけ選んでください。

1. 全品目について毎回参加している
2. 一部の品目についてはごみに出している
3. 時には回収を忘れてごみに出している
4. 実施しているのは知っているが参加していない
5. 地区で実施していない
6. 実施しているのかどうか知らない
7. その他 ()

【問 12 で「4. 実施しているのは知っているが参加していない」とお答えの方におうかがいします。】

問 12-1. それはどのような理由からですか。次の中から 1 つだけ選んでください。

1. 実施団体に加入していない
2. 回収の周期が長く家に保管できない
3. 実施日や回収場所を知らない
4. 分類の方法がよくわからない
5. 面倒
6. その他（ ）

問 13. あなたは、ごみ減量化のために市にどのようなことに力を入れてほしいとお考えですか。次の中から 1 つだけ選んでください。

1. 資源回収を徹底的に行い、ごみの有効利用を図る
2. 市民や事業所と協力してごみの発生や排出を最小限にとどめる
3. 一般家庭から排出されるごみの分別収集をさらに徹底する
4. 省資源・省エネルギーの啓発運動を積極的に行い、環境問題の重要性を呼びかける
5. 再生紙の利用など、省資源のための具体策を積極的に取り入れる
6. 市の広報紙でごみ処理の情報を詳しく知らせる
7. 環境問題に取り組んでいる市民団体や消費者団体を援助・育成する
8. その他（ ）
9. 特になし

○● 福祉やボランティア活動についておうかがいします ●○

問 14. あなたは老後の生活として、どのようなことに生きがいを求めたいとお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 新たに趣味を持つこと
2. 現在の趣味を生かした活動
3. 新たに仕事を持つこと
4. 自分の専門的技術を生かした活動（仕事）
5. ボランティア活動への参加
6. 自治会、町内会などの地域活動（自主防犯組織、自主防災組織の活動を含む）
7. 世代を超えた友人・隣人との付き合い
8. 子や孫の面倒を見ること
9. いきいきクラブ（老人クラブ）・生涯大学校などで仲間をつくること
10. その他（）
11. 特にない

問 15. 高齢社会が進む中、あなたは市にどのようなことを期待しますか。次の中から2つ以内で選んでください。

1. 高齢者が生きがいをもって働ける場所の確保
2. 医療施設の整備・充実
3. 介護保険サービスなどの在宅福祉サービスの充実
4. 老人福祉施設などの整備
5. 高齢者の健康相談や検診などの保健サービスの充実
6. 市の公共施設を高齢者が利用しやすいように整備
7. 気軽にできるスポーツ・レクリエーション活動の育成・充実
8. 福祉活動を担うボランティアの充実
9. その他（）
10. 特にない

問 16. あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 現在参加している 2. 過去に参加したことがある 3. 参加したことはない

問 20. あなたは、市政に関することで意見や不満があるとき、まず、どのようにしますか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. 直接、市役所に行って話す | 8. 民生委員などに相談する |
| 2. 市役所へ電話する | 9. 新聞・テレビなどに投書したり電話をかけたりする |
| 3. 「市長への手紙」などで伝える | 10. 市が解決してくれるのを待つ |
| 4. 市役所へ電子メールを出す | 11. 少しぐらいなら辛抱する |
| 5. 説明会や公聴会などに参加して発言する | 12. その他（ ） |
| 6. 自治会を通じて要望する | |
| 7. 市議会議員に相談する | |

問 21. あなたは、市に関する情報を主に何によって知りますか。次の中から2つ以内で選んでください。

- | | |
|----------------------------------|-------------------|
| 1. 「市報のだ」 | 7. 一般新聞（日刊紙） |
| 2. 「市報のだ」以外の印刷物（「くらしの便利帳」やチラシなど） | 8. ミニコミ紙などの情報（紙）誌 |
| 3. 市のホームページ | 9. テレビ・ラジオ |
| 4. 市のフェイスブック・ライン・ツイッター | 10. 知人・友人 |
| 5. 市からの電子メール（まめメール） | 11. その他（ ） |
| 6. 公共施設の掲示板 | 12. 特に情報は入手していない |

問 22. あなたは「市報のだ」をどのように入手していますか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 自治会・町内会による配布 | 5. ホームページのPDF版 |
| 2. 市役所へ取りに行く | 6. 「市報のだ」を知らない（入手していない） |
| 3. 公民館や出張所へ取りに行く | 7. その他（ ） |
| 4. 図書館で読んでいる | |

問 23. あなたは、「市報のだ」をどれぐらい読んでいますか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほとんど毎回読む | 3. あまり読まない |
| 2. ときどき読む | 4. ほとんど読まない |

【問 23 で「1. ほとんど毎回読む」とお答えの方へおうかがいします】

問 23-1. それはどのような理由からですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|----------------------|--------------------------------------|
| 1. 市政情報に関心があるから | 4. わが家の自慢料理、野田・ふるさとめぐりなどの連載を楽しみにしている |
| 2. 市民の活躍情報が得られるから | 5. その他（ ） |
| 3. 講座・教室やイベント情報を得るため | |

問 24. あなたが、「市報のだ」の中でよく読む記事は何ですか。次の中から主なものを3つ以内で選んでください。

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 市政（市の事業）に関すること | 10. 相談日案内 |
| 2. 市民訪問 | 11. のだっこクイズ |
| 3. New Books | 12. 休日当番医 |
| 4. みんなで支えるバリアフリー | 13. 相談室の窓 |
| 5. トピックス・フォト短信 | 14. 身近な法律の話 |
| 6. わが家の自慢料理 | 15. 健康ガイド |
| 7. おしらせ・伝言板 | 16. ごみ減量まめ知識 |
| 8. 医師会だより | 17. 草花図鑑 |
| 9. 野田・ふるさとめぐり | 18. その他（ ） |

問 25. 現在、「市報のだ」の戸別配布は、自治会等を通じて行われており、自治会等に参加されていない方には配布されていません。あなたは、自治会等に参加されていない方が、今後どのように入手できるようにすればよいとお考えですか。次の中から 1 つだけ選んでください。

1. 自治会に加入する
2. 市役所やコミュニティセンターなどに
取りに行く
3. 郵便局、銀行、病院などにも置く
4. 新聞折り込みにする
5. 全戸配布（ポスティング）する
6. ホームページのPDF版を利用する
7. その他（ ）

○● 情報の入手方法 ●○

問 26. あなたは、何か情報を入手したい時に、主に何から入手していますか。次の中からあてはまるものを3つ以内で選んでください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. テレビ | 7. 学校や職場の友人・知り合い |
| 2. インターネット | 8. 隣近所の友人・知り合い |
| 3. 新聞 | 9. チラシやフリーペーパー |
| 4. 市や県の広報紙 | 10. 雑誌 |
| 5. 家族や親類 | 11. ラジオ |
| 6. 自治会内の回覧板や掲示板 | 12. その他（ ） |

問 27. あなたの世帯には、次のような情報通信機器がありますか。あなた自身が利用していない場合でも、世帯のどなたかが利用しているものを含めて、次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 固定電話
2. パソコン
3. 携帯電話
4. スマートフォン
5. ファクス
6. インターネットに接続できるゲーム機やテレビなど
7. タブレット型端末
8. その他（ ）

○● 市政全般についておうかがいします ●○

問 28. これまで、市ではさまざまな施策を進めてきましたが、①ここ数年特によくなったと感じるもの、②これから野田市がより住みやすく、豊かなまちへ発展していくために、今後、力を入れていったらよいと思うものを、次の中からそれぞれ3つ以内で選んで下の回答欄に番号を記入してください。

1. 公園・緑地の整備	22. 生涯学習の推進(公民館・図書館などの整備)
2. 道路(歩道)の整備	23. スポーツ・レクリエーションの振興
3. 住宅の確保(市営住宅や持ち家対策)	24. 保健(健康相談や検診など)・医療の充実
4. 上水道の整備	25. 高齢者支援の充実(介護保険などの高齢者対策)
5. 下水道の整備	26. 子ども・子育て支援の充実
6. 河川の整備	27. 障がい者支援の充実
7. 再開発・区画整理の推進	28. いじめ・虐待・DV対策の充実
8. 歴史的な街並みの保全	29. 市民参加の推進
9. まめバスの充実	30. 男女共同参画社会の推進
10. 鉄道の充実	31. ボランティア・NPO活動の推進
11. 駅・駅前広場などの充実	32. コミュニティづくりの推進
12. ごみ処理対策	33. 雇用対策
13. 環境衛生対策(自治会等による地域清掃、草刈機の貸し出しなど)	34. 農業の振興
14. 公害対策	35. 工業の振興
15. 放射能汚染対策	36. 商業の振興
16. 自然の保全・保護(コウノトリと共に暮らすまちづくり)	37. 観光の振興
17. 消防・防災対策	38. 消費者保護対策の充実
18. 防犯対策	39. 資源・エネルギー対策の充実(地球温暖化対策を含む)
19. 交通安全対策	40. 情報化の推進
20. 学校教育の充実	41. 国際交流の推進
21. 青少年の健全育成	42. その他()

①ここ数年特によくなったと感じるもの ⇒

--	--	--

②今後、力を入れていったらよいと思うもの ⇒

--	--	--

〇● 市役所のことについておうかがいします ●〇

問 29. あなたは、市役所の職員の対応について、どのような印象をもっていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 親切 | 3. どちらかといえば不親切 |
| 2. どちらかといえば親切 | 4. 不親切 |
| | 5. わからない |

〇● 防災対策のことについておうかがいします ●〇

問 30. あなたは災害が発生した際、何から市の情報を入手しますか。次の中からあてはまるものすべて選んでください。

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 防災行政無線 | 4. 市フェイスブック |
| 2. 市ホームページ（災害ツイッター） | 5. その他（ ） |
| 3. まめメール | 6. 入手していない |

問 31. あなたのお宅で、防災対策として日頃から備えていることは何ですか、次の中からあてはまるものすべて選んでください。

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 市から防災情報などが配信される野田市
まめメールに登録 | 7. 倒れやすい家具などの転倒防止 |
| 2. 懐中電灯や携帯ラジオの用意 | 8. 家族で避難経路や避難場所、集合場所を
決めている |
| 3. 非常持出袋（リュックなど）の用意 | 9. 家族で災害時の連絡方法を決めている |
| 4. 住宅用消火器の設置 | 10. 3日分以上の水や食料の備蓄 |
| 5. 感震ブレーカーの設置 | 11. その他（ ） |
| 6. 住宅用火災警報器の設置 | 12. 何もしていない |

問 32. 災害（地震・風水害）別に、避難場所を指定しています。あなたの避難場所をご存じですか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

【問 32 で「1. 知っている」とお答えの方におうかがいします】

問 32-1. 災害（地震・風水害）別に、家族で避難する場所を決めていますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 地震は決めている | 3. 地震・風水害の両方決めている |
| 2. 風水害は決めている | 4. 決めていない |

○● あなたご自身について ●○

調査結果を統計的に処理するために、あなたご自身についておうかがいします。

【F 1】あなたの性別は

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

【F 2】あなたの年齢は

- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1. 10 歳代 | 3. 30 歳代 | 5. 50 歳代 | 7. 70 歳代 |
| 2. 20 歳代 | 4. 40 歳代 | 6. 60 歳代 | 8. 80 歳以上 |

【F 3】あなたの家族構成は

- | | | |
|----------|-----------------|------------|
| 1. 一人暮らし | 3. 親と子 | 5. その他 () |
| 2. 夫婦のみ | 4. 親、子、孫など3世代以上 | |

【F 4】あなたの職業は

- | | | |
|------------|--------------|--------|
| 1. 農業 | 4. パート・アルバイト | 7. 無職 |
| 2. 自営業 | 5. 専業主婦（主夫） | 8. その他 |
| 3. 会社員・公務員 | 6. 学生 | () |

【F 5】あなたのお住まいの地域は

※小学校の学区を参考にお答えください。

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1. 野田地区（中央小、清水台小） | 7. 福田地区（福田第一小、福田第二小、二ツ塚小） |
| 2. 中地区（宮崎小、柳沢小） | 8. 木間ヶ瀬地区（木間ヶ瀬小） |
| 3. 南地区（南部小、山崎小、みずき小） | 9. 関宿中地区（関宿中央小） |
| 4. 北地区（北部小、岩木小、七光台小） | 10. 二川地区（二川小） |
| 5. 川間地区（川間小、尾崎小） | 11. 関宿地区（関宿小） |
| 6. 東地区（東部小） | |

【F 6】あなたは野田市にお住まいになって、通算で何年になりますか。

※合併以前に関宿町に住んでいらした方は、その年数を野田市に住んでいたとみなして加えてください。

- | | | |
|-----------------|------------------|------------------|
| 1. 3 年未満 | 4. 10 年以上～20 年未満 | 7. 40 年以上～50 年未満 |
| 2. 3 年以上～5 年未満 | 5. 20 年以上～30 年未満 | 8. 50 年以上 |
| 3. 5 年以上～10 年未満 | 6. 30 年以上～40 年未満 | |

【F 7】あなたのお住まいは、次のどれに当たりますか。

- | | |
|----------------------|--------------------------------|
| 1. 戸建て持ち家 | 4. 社宅・公務員住宅などの給与住宅 |
| 2. 分譲マンション | 5. 公営の賃貸住宅 |
| 3. 民間の賃貸住宅（戸建て・アパート） | 6. その他（ ） |

【F 8】あなたの勤務地、就学地は。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 自宅 | 4. 東京都 |
| 2. 野田市内 | 5. 埼玉県または茨城県 |
| 3. 千葉県内（野田市以外） | 6. その他（ ） |

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no text or other markings on the paper.

これで設問は終わりです。ご協力いただきまして、ありがとうございました。まことに恐縮ですが、**2月14日（金）まで**に返信用封筒に入れてご投函ください。

第16回 野田市民意識調査 報告書

令和2年6月発行

野田市企画財政部広報広聴課

〒278-8550 千葉県野田市鶴奉7-1

電話:04-7125-1111(代)